

第 1 回 たつの市総合計画審議会
一次 第一

日 時 令和3年8月5日（木）
午前10時から
場 所 たつの市役所新館
3階301・302会議室

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員及び事務局紹介

5 会長及び副会長の選出

6 協議・報告事項

(1) 第2次たつの市総合計画審議会及び策定スケジュールについて

(2) 第2次たつの市総合計画（R4～8）の全体構成及び改定の考え方について

(3) 第2次たつの市総合計画基本構想（素案）について

(4) 第2次たつの市総合計画後期基本計画（素案）について

7 その他

(1) 今後のスケジュールについて

・ご質問ご意見の受け付け

・パブリックコメント 9月

・第2回総合計画審議会（答申） 10月下旬

8 閉 会

たつの市総合計画審議会委員名簿

氏 名	条例上の区分	所属団体・役職等	摘要
柏 原 要	市 議 会 の 議 員	たつの市議会議員	
和 田 美 奈		たつの市議会議員	
松 尾 壯 典	市 教 育 委 員 会 の 委 員	たつの市教育委員会委員	
猪 澤 敏 一	市 農 業 委 員 会 の 委 員	たつの市農業委員会会長	
徳 永 耕 造	各 種 団 体 の 推 薦 す る 者	たつの市連合自治会会長	
井 上 末 廣		たつの市老人クラブ連合会会長	
古 橋 淳 夫		たつの市・揖保郡医師会会長	
井 上 猛		龍野商工会議所会頭	
木 津 眞 人		たつの市商工会会長	
三 宅 崇 輝		龍野青年会議所副理事長	
船 引 真 永		たつの市民生委員児童委員連合会会長	
井 戸 正 文		たつの市観光協会会長	
高 坂 誠	学 識 経 験 を 有 す る 者	兵庫県立大学副学長	
渡 瀬 康 英	関 係 機 関 の 職 員	西播磨県民局局長	
村 上 早百合		株式会社神戸新聞社姫路本社代表	

※職名は、委員委嘱時点（令和３年８月５日）

たつの市総合計画審議会条例

平成17年10月 1 日
条例第13号

(設置)

第1条 たつの市の総合計画を審議するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、たつの市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、総合計画の基本構想及び基本計画について審議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから必要の都度、市長が委嘱する。

- (1) 市議会の議員
- (2) 市教育委員会の委員
- (3) 市農業委員会の委員
- (4) 各種団体の推薦する者
- (5) 学識経験を有する者
- (6) 関係機関の職員

(任期等)

第4条 委員の任期は、審議会の答申が終了するまでとする。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 前条第2項第1号から第4号までの規定により委嘱された委員が当該各号の身分を失ったときは、委員を辞したものとみなす。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員のうちから互選する。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 審議会に部会を置くことができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、総合計画担当課において処理する。

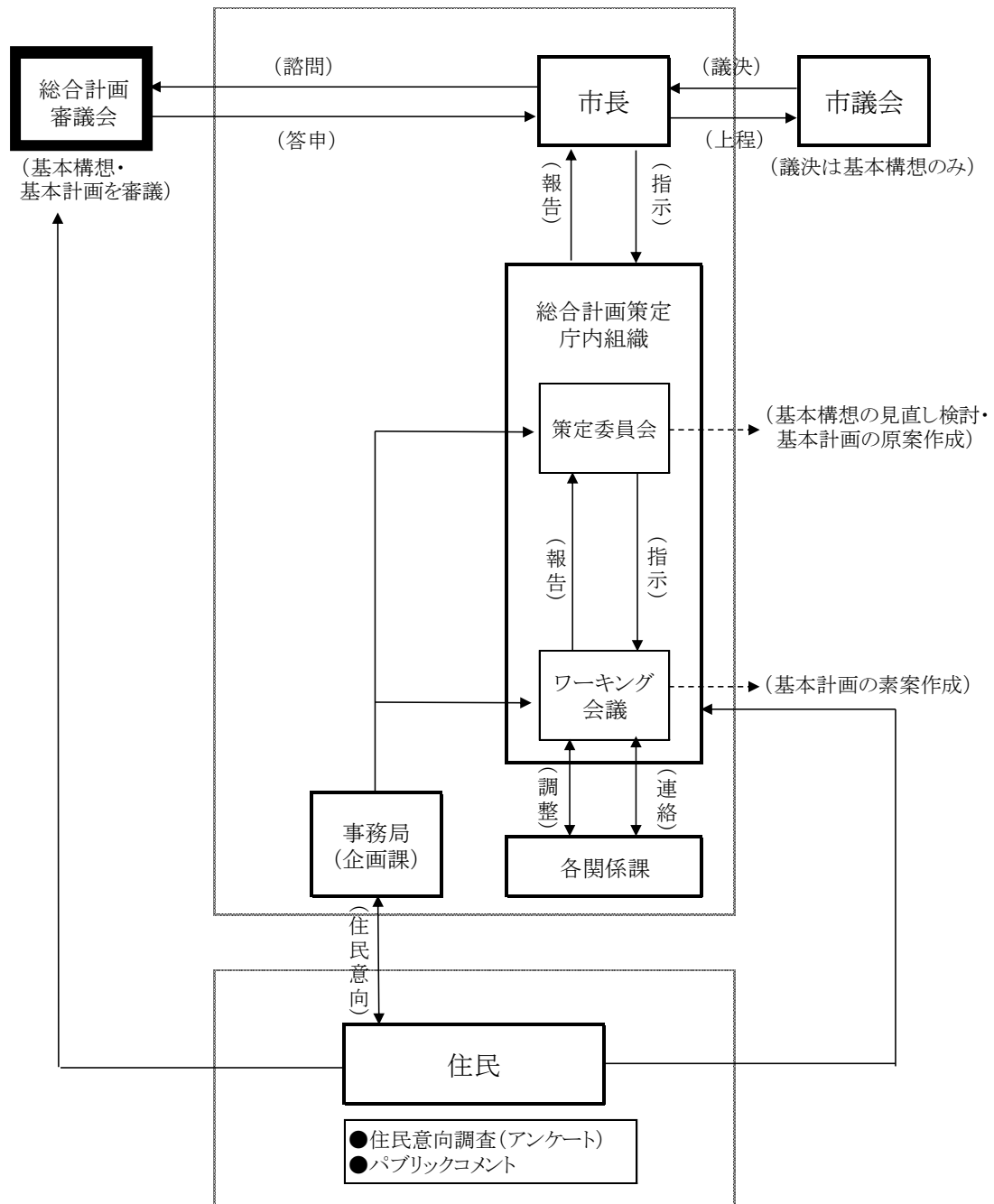
(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この条例は、平成17年10月 1 日から施行する。

第2次たつの市総合計画 策定フロー



第2次たつの市総合計画 策定スケジュール

内 容	令和3年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅰ 会議の開催												
総合計画策定委員会												
総合計画審議会												
市議会												
2 基本構想の改定												
社会潮流の整理												
人ロビジョンの改定												
原案の策定												
3 後期基本計画の策定												
前期計画の検証・総括												
素案作成												
原案の策定												
庁内調整												
計画書の編集・印刷												
4 市民意見の把握												
市民アンケート調査												
パブリックコメント												

第2次たつの市総合計画の全体構成

前期(平成29年度～令和3年度)	後期(令和4年度～令和8年度)
第1編 序論 第1章 計画の概要 ○策定の趣旨 ○計画の役割 ○計画の構成と期間 ○その他計画等との関連性 ○計画の進行管理 第2章 計画の背景 ○地域特性 ○社会の潮流 ○取組状況と今後の課題 ○市民からみた たつの市の状況	第1編 序論 第1章 計画の概要 ○策定の趣旨 ○計画の役割 ○計画の構成と期間 ○人口ビジョン及びまち未来創生戦略との関連性 ○その他計画等との関連性 ○計画の進行管理 第2章 計画の背景 ○地域特性 ○社会の潮流 ○取組状況と今後の課題 ○市民からみた たつの市の状況
第2編 基本構想 第1章 まちづくりの将来像 みんなで創る 快適実感都市「たつの」 第2章 まちづくりの基本目標 1 安全・安心なまちづくりへの挑戦 2 やすらぎづくりへの挑戦 3 ひとづくりへの挑戦 4 にぎわいづくりへの挑戦 5 ふるさとづくりへの挑戦 第3章 将来人口の見通しと財政運営の基本的方向 第4章 土地利用の基本構想 第5章 施策の大綱 1 安全・安心なまちづくりへの挑戦 2 やすらぎづくりへの挑戦 3 ひとづくりへの挑戦 4 にぎわいづくりへの挑戦 5 ふるさとづくりへの挑戦 第6章 総合計画の推進に向けて まちづくりの将来像・政策・施策目標関連表	第2編 基本構想 第1章 まちづくりの将来像 みんなで創る 快適実感都市「たつの」 第2章 まちづくりの基本目標 1 安全・安心なまちづくりへの挑戦 2 やすらぎづくりへの挑戦 3 ひとづくりへの挑戦 4 にぎわいづくりへの挑戦 5 ふるさとづくりへの挑戦 第3章 将来人口の見通しと財政運営の基本的方向 第4章 土地利用の基本構想 第5章 施策の大綱 1 安全・安心なまちづくりへの挑戦 2 やすらぎづくりへの挑戦 3 ひとづくりへの挑戦 4 にぎわいづくりへの挑戦 5 ふるさとづくりへの挑戦 第6章 総合計画の推進に向けて まちづくりの将来像・政策・施策目標関連表
第3編 基本計画 ○実施状況と課題 ○基本方針 ○施策の内容 ○各主体（市民・団体・事業者等）が取り組むこと、期待する役割 ○まちづくりの指標 ○関連する計画 ※行財政改革大綱を施策に位置づけ	第3編 基本計画 ○これまでの取組 ○これからの課題 ○基本方針 ○施策の内容 ○各主体（市民・団体・事業者等）が取り組むこと（期待する役割） ○まちづくりの指標 ○関連する計画 ※行財政改革大綱を施策に位置づけ
	第4編 まち未来創生戦略
	総合計画の各施策とSDGsの関係

※赤字は前期から変更する項目

第2次たつの市総合計画の序論と基本構想の概要

計画策定の前提条件	第1編 序論
	第1章 計画の概要
	策定の趣旨や計画の役割、構成・期間、まち未来創生戦略等の他計画との関連性など、計画の概要について記載するとともに、今後の進行管理の方向性について示します。
	第2章 計画の背景

本市の地域特性や社会全体の潮流等、計画の前提条件となる状況のとりまとめや、第1次計画の取り組み状況と第2次計画に向けた課題、市民アンケートからのニーズ等について示します。

めざすべき将来像の提示	第2編 基本構想
	第1章 まちづくりの将来像
	本市独自の魅力やまちづくりの方向性について、市民と行政など、これからのまちづくりの主体が共有できる本市のまちづくりの将来像として、まちの将来像や根幹となる考え方を示すまちづくりの理念を示します。
	第2章 まちづくりの基本目標
	まちづくりの将来像を実現するための分野別の目標として、5つの柱に基づき、次の10年に向けた「挑戦」の方向を示します。
	第3章 将来人口の見通しと財政運営の基本的方向
	まちづくりの基本となる人口の想定について、人口ビジョンとの整合を図りながら、将来人口の見通しを示します。また、健全財政を堅持していく上で、今後の財政運営の基本的な考え方、方向性を示します。

第4章 土地利用の基本構想
土地利用の方針や、これからの都市構造のあり方や、拠点や軸、ゾーン別の考え方について示します。(都市計画マスタープランとの整合)

第5章 施策の大綱
基本目標ごとに、まちづくりの将来像を実現するために各分野の施策において取り組むべき方向性を示します。

第6章 総合計画の推進に向けて
まちづくりや行政運営全般に関わる個別計画や指針等を基本計画に位置付け、総合計画の推進、適切な進行管理につなげます。



基本計画において将来像実現のための具体的施策を提示

第2次たつの市総合計画の基本計画の概要

第3編 基本計画

【1 基本計画の目的】

基本計画は、基本構想に掲げられた「まちの将来像」の実現に向けて、施策の大綱を推進するため、必要な個々の施策の内容等を体系的に示すものです。

【2 計画期間】

計画期間は、平成29年度からの5年間を前期計画、令和4年度からの5年間を後期計画の計画期間とします。後期計画については、令和3年度の段階での社会情勢等を踏まえて、前期計画を見直す形で策定するものです。

【3 基本計画の構成】

施策の体系	基本構想に基づき、施策の体系を示したものです。
施策分野別の基本計画	基本構想で示す政策の基本方向に対応した施策を分野別に体系化(第1章～第5章)し、施策ごとに実施状況と課題、基本方針、施策の内容、各主体が取り組むこと(期待する役割)、まちづくりの指標、関連する計画を定めたものです。

《施策ごとの掲載内容》

実施状況と課題 (これまでの取組・これからの課題)	施策に係るまちづくりの動向や課題、これまでの市の取組について記載しています。
基本方針	施策の目的・方向性について記載しています。
施策の内容	施策の基本的取組について記載しています。
各主体が 取り組むこと (期待する役割)	施策の目的達成に向けて、市民・団体・事業者等に期待される役割について記載しています。
まちづくりの指標	施策の取組による成果向上を把握するための指標とその現状値・目標値について記載しています。原則として、現状値は(前期)平成27年度、(後期)令和2年度、目標値は(前期)令和3年度、(後期)令和8年度の数値を記載しています。
関連する計画	施策を推進していくために関連する個別の計画を記載しています。

総合計画後期基本計画に盛り込む視点

総合計画後期基本計画の策定に当たっては、継続的な東京一極集中や少子高齢化を背景とした人口構造の変化に伴う、地域活力の低下という課題に対応するため、①国が将来にわたって「活力ある地域社会」を実現するため策定した、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や②国の第32次地方制度調査会が答申した、「2040 年頃から逆算し顕在化する諸問題に対応するための必要な地方行政体制のあり方」で示された新たな視点を取り入れることに留意し進めることとします。

また、前期基本計画の進捗状況(まちづくり指標の達成状況含む。)や市民アンケート調査からみる各施策の満足度を踏まえ、社会潮流や市民ニーズに基づき、今後対応すべき課題を把握した上で施策内容のリニューアルを行います。(EBPMの推進)

未来のまちの姿の検討

①将来対応が必要な課題の整理

▼踏まえるべき社会潮流

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 地域経済及び雇用状況の悪化
- 情報通信技術の進展
- 自立したまちづくりの推進
- 子育て支援・教育の充実
- 安全・安心の意識の高まり
- 持続可能な社会の創造

▼国が示す新たな視点

- 地方行政のデジタル化の推進
- 地方自治体の広域連携
- 移住・定住の推進と関係人口の創出・拡大
- 結婚・出産・子育てしやすい環境の整備
- 活力を生み、安心な生活を実現する環境の整備
- 新たな日常を実現するための地方創生の取組の推進
- 公共私連携
- 稼ぐ地域と安心して働ける環境の実現
- グリーン社会の実現

未来と現在のギャップの確認

②現在のまちの状況の把握

▼エビデンスに基づいた行政評価の実施

- 前期基本計画の進捗状況の把握
- まちづくり指標の達成状況の確認
- 市民アンケート調査からみる、施策ごとの満足度の確認

▼市民参画の機会によるニーズの把握

- 総合計画改定のための市民アンケート
- 所管課が実施した市民アンケート
- 市民ワークショップ
- パブリックコメント

ギャップを解消する取組の検討

③よりよい未来を実現するための施策の検討

▼新しい視点を踏まえた施策のリニューアル

- 策定委員会における施策の検討
- ワーキング会議による施策内容の見直し
- 総合計画審議会での意見聴取

第2次たつの市総合計画における「まちづくりの指標」の進捗状況

																		指標の達成度100%以上（施策） （指標）		21／50 39／95	18／50 30／95	今回 3.07				前回 2.89	
章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 （A/C）	R2 達成度 （B/D）	担当課	市民アンケート（市民満足度）（アンケート結果報告書P21参照）											
		目標値の設定理由（下段）		現状値 （H27）		H28	H29	H30	R1 （A）	R2 （B）	目標値 （R1） （C）	目標値 （R2） （D）				目標値 （R3）	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差							
安全・安心なまちづくりへの挑戦	1	里山整備の面積（里山防災林整備、野生動物育成林整備）	ha	230	実績値	248	278	314	333	356	310	330	350	107.4%	107.9%	農林水産課	自然を大切にし、共に暮らす	3.35	3.24	0.11							
		年20haの整備			達成率	70.9%	79.4%	89.7%	95.1%	101.7%																	
	2	緑化活動団体数	団体	352	実績値	343	354	350	355	355	352	352	352	100.9%	100.9%	都市計画課											
		現状維持			達成率	97.4%	100.6%	99.4%	100.9%	100.9%																	
	3	家庭系普通ごみ年間排出量	t	14,050	実績値	13,799	13,705	13,768	13,815	13,653	13,930	13,900	13,870	100.8%	101.8%	環境課											
		毎年度30 t の削減			達成率	100.5%	101.2%	100.7%	100.3%	101.6%																	
		家庭不用品年間交換件数	件	49	実績値	55	59	63	74	91	65	69	73	113.8%	131.9%	環境課											
		現状値を基に増加見込			達成率	75.3%	80.8%	86.7%	101.3%	124.7%																	
	4	住宅用再生可能エネルギー利用システム導入総数	件	1,371	実績値	1,068	1,248	1,379	1,484	1,733	1,771	1,871	1,971	83.8%	92.6%	環境課											
		毎年度100件の導入			達成率	54.2%	63.3%	70.0%	75.3%	87.9%																	
		住宅用蓄電池導入総数	件	26	実績値	40	64	－	－	－	74	86	98	#VALUE!	#VALUE!	環境課											
		毎年度12件の導入			達成率	40.8%	65.3%	－	－	－																	
	5	定住促進住宅取得奨励金を活用した住宅取得総数	戸	365	実績値	594	836	1,072	1,328	1,596	1,285	1,515	1,745	103.3%	105.3%	まちづくり推進課											
		毎年度230戸の取得			達成率	34.0%	47.9%	61.4%	76.1%	91.5%																	
		住宅の耐震化率	%	72	実績値	75	次回計画改定時に記入			76.1	－	－	79	#VALUE!	96.6%	建築課											
		たつの市耐震改修促進計画から設定			達成率	94.9%	次回計画改定時に記入			96.6%																	
	6	公園・緑地の利用満足度	%	23.9	実績値						－	－	29.9	#VALUE!	#VALUE!	都市計画課											
		現状値から6%増			達成率	次回計画改定時に記入																					
	7	駅周辺環境に対する満足度	%	28.0	実績値	竜野駅周辺地区事業効果分析調査後に記入				52	－	45	45.0	#VALUE!	115.6%	都市計画課											
		アンケート調査による			達成率	竜野駅周辺地区事業効果分析調査後に記入				115.6%																	
		地籍調査事業の進捗率（市街化区域対象）	%	21.6	実績値	24.2	27.6	30.7	34.5	39.8	35.0	38.4	41.7	98.6%	103.8%	用地課											
		第6次国土調査事業十箇年計画から			達成率	58.3%	66.4%	73.6%	72.0%	95.4%																	
	8	水道基幹管路の耐震適合率	%	9.2	実績値	9.9	10.5	11.1	11.3	11.6	18.1	20.4	22.6	62.3%	57.0%	上水道課											
		10年間で全国平均値			達成率	43.8%	46.5%	49.1%	50.0%	51.3%																	
		水洗化率（処理区域内人口に対する水洗化人口の割合）	%	93.4	実績値	92.4	93.2	93.7	94.3	94.9	94.8	95.2	95.5	99.5%	99.1%	下水道管理課											
		5年間で約2%増			達成率	96.8%	97.6%	98.1%	98.7%	99.4%																	

章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 (A/C)	R2 達成度 (B/D)	担当課	市民アンケート(市民満足度)(アンケート結果報告書P21参照)																																
		目標値の設定理由（下段）		現状値 (H27)		H28	H29	H30	R1 (A)	R2 (B)	目標値 (R1) (C)	目標値 (R2) (D)				目標値 (R3)	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差																												
安全・安心なまちづくりへの挑戦	9	幹線道路の整備率	%	18.5	実績値	18.9	29.2	38.4	46.0	47.5	47.1	54.3	61.4	97.7%	87.6%	建設課	安全便利な交通環境を整える	2.95	2.77	0.18																												
		道路整備目標による			達成率	30.8%	47.6%	62.5%	74.9%	77.4%																																						
	10	道路ストック長寿命化達成率	%	3.8	実績値	5.1	9.1	11.7	18.9	26.0	12.5	14.6	16.8	151.6%	177.7%	建設課					安全便利な交通環境を整える	2.95	2.77	0.18																								
		道路橋長寿命化修繕計画の目標値			達成率	30.6%	54.2%	69.6%	112.5%	154.8%																																						
	11	公共交通利用者数（1日平均）	人	7,164	実績値	7,308	7,384	7,421	7,452	6,027	7,321.3	7,360.7	7,400	101.8%	81.9%	まちづくり推進課									安全便利な交通環境を整える	2.95	2.77	0.18																				
		毎年40人の増加			達成率	98.8%	99.8%	100.3%	100.7%	81.4%																																						
		デマンド交通年間利用者数	人	－	実績値	2,844	44,379	57,965	68,433	56,346	46,666.7	58,333.3	70,000	146.6%	96.6%	まちづくり推進課													安全便利な交通環境を整える	2.95	2.77	0.18																
					たつの市地域公共交通会議にて設定	達成率	4.1%	63.4%	82.8%	97.8%																							80.5%															
	12	避難者受入連携市町数	市町	0	実績値	0	0	0	0	0	3.3	4.2	5	0.0%	0.0%	危機管理課	大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03																												
		播磨科学公園都市圏域定住自立圏連携事業及び揖保川減災対策協議会取組方針から設定			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%																																						
		家屋被害認定士数	人	17	実績値	21	24	27	31	31	25	27	29	124.0%	114.8%	危機管理課					大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03																								
					毎年2名の増員	達成率	72.4%	82.8%	93.1%	106.0%																							106.9%															
	13	消防用車両更新数	台	－	実績値	4	6	7	8	10	6.7	8.3	10	120.0%	120.0%	危機管理課									大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03																				
		車両配置計画から （33台のうち10台を更新）			達成率	40.0%	60.0%	70.0%	80.0%	100.0%																																						
		応急手当普及員受講者総数	人	301	実績値	325	346	369	378	378	381	401	421	99.2%	94.3%	危機管理課													大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03																
					毎年20名の受講者	達成率	77.2%	82.3%	87.6%	89.8%																							89.8%															
		消防用設備等点検結果年間報告件数	件	781	実績値	1,387	1,483	1,503	1,050	869	1,093	1,171	1,249	96.1%	74.2%	危機管理課																	大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03												
					消防用設備等点検結果報告推進計画から	達成率	111.0%	118.7%	120.3%	84.1%																											69.6%											
		消防団員総数	人	1,381	実績値	1,374	1,360	1,337	1,326	1,296	1,460.3	1,480.2	1,500	90.8%	87.6%	危機管理課																					大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03								
					条例定数を満たす	達成率	91.6%	90.7%	89.1%	88.4%																															86.4%							
	14	年間交通事故死傷者数	人	646	実績値	584	534	504	489	325	600.0	600.0	600	122.7%	184.6%	危機管理課																									大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03				
		過去5年の最低死傷者数から設定			達成率	134.8%	243.5%	119.0%	122.0%	54.2%																																						
	15	年間犯罪発生件数	件	492	実績値	454	495	518	408	394	439.3	426.2	413	107.7%	108.2%	危機管理課																													大切な命と地域を守る	3.24	3.21	0.03
		県の目標値を参考に前年比3％減			達成率	48.1%	0.0%	79.7%	101.0%	95.4%																																						

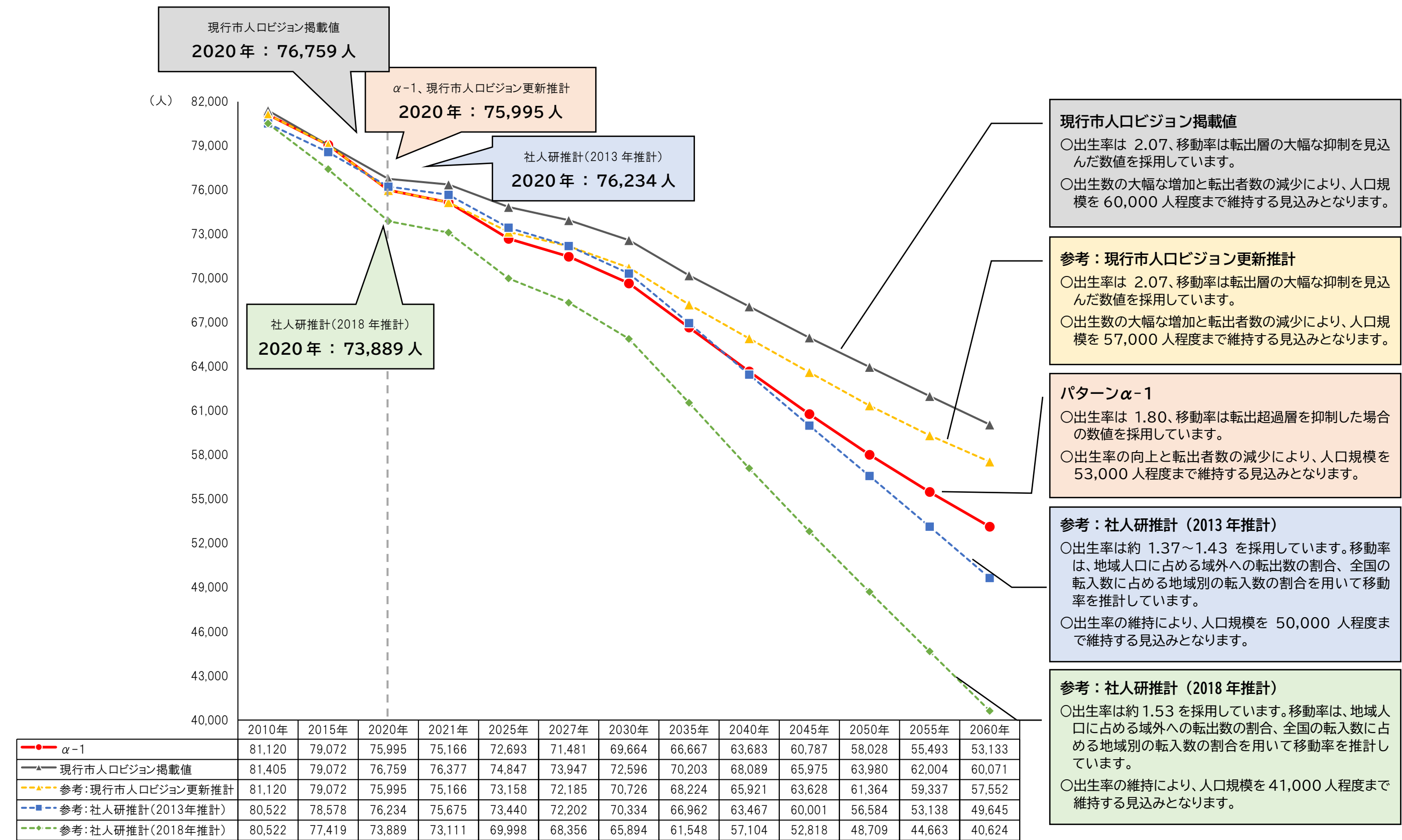
章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 (A/C)	R2 達成度 (B/D)	担当課	市民アンケート(市民満足度)(アンケート結果報告書P21参照)								
		目標値の設定理由（下段）		現状値 (H27)		H28	H29	H30	R1 (A)	R2 (B)	目標値 (R1) (C)	目標値 (R2) (D)				目標値 (R3)	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差				
やすらぎづくりへの挑戦	16	カップルの年間誕生数	組	23	実績値	6	15	10	－	－	47.7	53.8	60	#VALUE!	#VALUE!	児童福祉課	安心して子育てができるまちをつくる	3.14	2.69	0.45				
		現状の3倍			達成率	10.0%	25.0%	16.7%	－	－														
		婚活支援団体数	団体	2	実績値	1	3	3	－	－	8.7	10.3	12	#VALUE!	#VALUE!	児童福祉課								
		各地域3団体			達成率	8.3%	25.0%	25.0%	－	－														
	17	子育てきらきらクーポン事業満足度アンケート	%	－	実績値	97	92	93	91	－	85	#VALUE!	85	107.1%	#VALUE!	児童福祉課								
		市民満足度の成果			達成率	114.1%	108.2%	109.4%	107.1%	－														
		子育て世帯包括支援センター年間相談件数「すくすく」	件	－	実績値	－	809	1,067	1,300	1,616	600.0	600.0	600	416.8%	542.7%	児童福祉課								
		1日当たり2.5件			達成率	－	134.8%	177.8%	216.7%	269.3%														
		子育て世帯包括支援センター年間相談件数「はつらつ」	件	－	実績値	－	－	－	1,201	1,640	600.0	600.0				健康課								
		1日当たり2.5件			達成率	－	－	－	200.2%	273.3%														
		ファミリーサポートセンター運営事業会員数	人	618	実績値	654	637	635	644	643	639.3	644.7	650	100.7%	99.7%	児童福祉課								
		近年の動向			達成率	100.6%	98.0%	97.7%	99.1%	98.9%														
	18	ひとり親家庭等年間相談回数	回	435	実績値	585	621	505	516	497	465.0	472.5	480	111.0%	105.2%	児童福祉課								
		近年の動向			達成率	121.9%	129.3%	105.2%	107.5%	103.5%														
		高等職業訓練促進給付金年間新規申請件数	件	2	実績値	0	1	1	0	1	4.0	4.5	5	0.0%	22.2%	児童福祉課								
		現状値の2.5倍			達成率	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%														
	19	保育所及び認定こども園の待機児童数	人	0	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	100%	100%	幼児教育課								
		現状維持			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%														
		認定こども園数	園	7	実績値	9	11	12	15	18	15.7	17.8	20	95.7%	100.9%	教育環境整備課								
		計画の目標値を参考			達成率	45.0%	55.0%	60.0%	75.0%	90.0%														
	20	認知症サポーター1人当たりの高齢者数	人	5.8	実績値	4.5	3.6	3.0	2.6	2.5	3.9	3.4	2.9	148.7%	135.3%	地域包括支援課					高齢者が暮らしやすい環境をつくる	3.10	2.76	0.34
		厚生労働省新オレンジプランの目標値			達成率	44.8%	75.9%	96.6%	110.3%	116.0%														
		介護給付金に占める居宅介護サービス費の割合	%	52.5	実績値	53.7	53.2	52.1	51.4	51.1	54.4	54.9	55.4	94.4%	93.1%	高年福祉課								
		過去5年間の推移			達成率	96.8%	96.0%	94.1%	92.7%	92.2%														
	21	老人クラブの会員数	人	14,888	実績値	14,143	13,496	12,077	11,545	11,145	14,888	14,888	14,888	77.5%	74.9%	高年福祉課								
		現状維持			達成率	95.0%	90.7%	81.1%	77.5%	74.9%														
		シルバー人材センター年間受託業務件数	件	3,566	実績値	4,237	4,244	4,307	4,191	4,069	4,166	4,316	4,466	100.6%	94.3%	高年福祉課								
		過去5年間の推移			達成率	94.9%	95.0%	96.4%	93.8%	91.1%														
22	障害者サービス利用年間相談件数	件	789	実績値	799	936	1,202	1,305	1,527	929.7	964.8	1,000	140.4%	158.3%	地域福祉課	障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境をつくる	2.99	2.81	0.18					
	サービスの更なる普及を見込んで			達成率	79.9%	93.6%	120.2%	130.5%	152.7%															
	就労継続支援年間利用人数	人	199	実績値	207	205	213	190	198	233.0	241.5	250	81.5%	82.0%	地域福祉課									
	サービス利用数の増加を見込んで			達成率	82.8%	82.0%	85.2%	76.0%	79.2%															

章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 (A/C)	R2 達成度 (B/D)	担当課	市民アンケート(市民満足度)(アンケート結果報告書P21参照)								
		目標値の設定理由（下段）		現状値 (H27)		H28	H29	H30	R1 (A)	R2 (B)	目標値 (R1) (C)	目標値 (R2) (D)				目標値 (R3)	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差				
やすらぎづくりへの挑戦	23	小地域福祉活動実施地区数	地区	146	実績値	146	147	150	151	152	158	161	164	95.6%	94.4%	高年福祉課	共に助け合い、支え 合うまちをつくる	3.09						
		各地区への普及を見込んで			達成率	89.0%	89.6%	92.3%	92.0%	92.7%														
		高齢者福祉タクシー年間利用料助成件数	件	1,355	実績値	1,406	1,441	1,476	1,487	1,523	1,518.3	1,559.2	1,600	97.9%	97.7%	高年福祉課								
		デマンド交通へのタクシー券利用を見込んで			達成率	87.9%	90.1%	92.3%	92.9%	95.2%														
		障害者福祉タクシー年間利用料助成件数	件	204	実績値	204	195	196	200	193	234.7	242.3	250	85.2%	79.6%	地域福祉課								
		デマンド交通へのタクシー券利用を見込んで			達成率	81.6%	78.0%	78.4%	80.0%	77.2%														
	24	がん検診受診率	%	22.1	実績値	20.3	19.3	19.0	19.7	18.8	25.4	26.2	27.0	77.7%	71.8%	健康課	生涯を健やかに過 ごせる体制を整える	3.13	2.77	0.36				
		近年の動向			達成率	75.2%	71.5%	70.4%	73.0%	69.6%														
		乳幼児健診受診率	%	97.6	実績値	97.7	97.6	97.2	97.7	98	98.5	98.8	99.0	99.2%	99.2%	健康課								
		近年の動向			達成率	98.7%	98.6%	98.2%	98.7%	99.0%														
	25	国民健康保険被保険者の特定健診受診率	%	35.4	実績値	34.7	32.7	33.7	33.5	30.0	51.8	55.9	60.0	64.7%	53.7%	国保医療年金課								
		厚生労働省が定めた目標値を参考に設定			達成率	57.8%	54.5%	56.2%	55.8%	50.0%														
		国民健康保険被保険者のジェネリック医薬品普及率	%	38.1	実績値	43.0	73.5	77.4	80.3	82.7	66.0	73.0	80.0	121.6%	113.3%	国保医療年金課								
		厚生労働省が定めた目標値を参考に設定			達成率	53.8%	91.9%	96.8%	100.4%	103.4%														
		病院事業の経常収支比率	%	92.6	実績値	99.8	104.0	105.3	102.9	109.3	100	100	100	102.9%	109.3%	企画課								
		総務省が定めた目標値を参考に設定			達成率	99.8%	104.0%	105.3%	102.9%	109.3%														
ひとづくりへの挑戦	26	地域子育て拠点事業の年間利用者数	人	48,834	実績値	47,881	55,382	47,180	41,155	29,473	48,944.7	48,972.3	49,000	84.1%	60.2%	児童福祉課					豊かな人間性を育 み、創造力あふれる 子どもを育てる	3.16	2.90	0.26
		計画の目標値を参考			達成率	97.7%	113.0%	96.3%	84.0%	60.1%														
		幼保こども園交流研修の年間参加率	%	89.4	実績値	93.5	86.4	97.5	91.1	61.0	96.5	98.2	100	94.4%	62.1%	幼児教育課								
		常勤職員の全員参加			達成率	93.5%	86.4%	97.5%	91.1%	61.0%														
	27	中学校における不登校出現率	%	3.5	実績値	3.88	3.81	4.0	3.7	3.6	3.2	3.1	3.0	86.5%	84.9%	学校教育課								
		近年の動向を踏まえて国の指標から			達成率	77.3%	78.7%	75.0%	81.1%	82.6%														
		イングリッシュチャレンジデーの年間参加希望人数	人	38	実績値	46	38	76	83	-	59.3	64.7	70	139.9%	#VALUE!	学校教育課								
		現状値の倍増			達成率	65.7%	54.3%	108.6%	118.6%	-														
		教員のICT活用率	%	70.0	実績値	76.0	76.3	79.0	81.2	83.5	83.3	86.7	90.0	97.4%	96.3%	学校教育課								
		国の目標値を基準			達成率	84.4%	84.7%	88.1%	90.2%	92.8%														
	28	放課後児童クラブの待機児童数	人	0	実績値	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	100.0%	社会教育課								
		現状維持			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%														

章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 (A/C)	R2 達成度 (B/D)	担当課	市民アンケート(市民満足度)(アンケート結果報告書P21参照)				
		目標値の設定理由（下段）		現状値 (H27)		H28	H29	H30	R1 (A)	R2 (B)	目標値 (R1) (C)	目標値 (R2) (D)				目標値 (R3)	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差
ひとづくりへの挑戦	29	図書館の年間貸出冊数	冊	529,107	実績値	544,933	552,927	555,053	507,254	362,353	543,035.7	546,517.8	550,000	93.4%	66.3%	社会教育課	生涯を通して学び、 スポーツに親しめる まちをつくる	3.12	生涯学習： 2.85 スポーツ： 3.01	0.19
		過去5年間の推移			達成率	99.1%	100.5%	100.9%	92.2%	65.9%										
		図書館主催事業の年間参加人数	人	2,802	実績値	3,100	3,829	3,303	3,374	2,535	2,934	2,967	3,000	115.0%	85.4%	社会教育課				
		現状値の200人増			達成率	100.3%	127.6%	110.1%	112.5%	84.5%										
	30	スポーツ施設の年間利用者数	人	516,842	実績値	492,927	488,519	464,326	480,625	357,888	525,614	527,807	530,000	91.4%	67.8%	スポーツ振興課				
		過去5年間の推移			達成率	93.0%	92.2%	87.6%	90.7%	67.5%										
		市民体育大会の年間参加人数	人	4,929	実績値	5,035	5,494	6,198	5,168	3,190	4,976.3	4,988.2	5,000	103.9%	64.0%	スポーツ振興課				
		現状維持			達成率	100.7%	109.9%	124.0%	103.4%	63.8%										
	31	指定文化財総数（国・県・市指定、国登録）	件	94	実績値	96	96	97	99	99	96.0	96.5	97	103.1%	102.6%	歴史文化財課	歴史と文化を生かした 個性的で魅力ある まちをつくる	3.28	3.02	0.26
		近年の動向			達成率	99.0%	99.0%	100.0%	105.0%	102.1%										
		資料館・埋蔵文化財センター等の年間来館者数	人	22,935	実績値	22,166	21,503	20,164	18,828	12,429	24,311.7	24,655.8	25,000	77.4%	50.4%	歴史文化財課				
		近年の動向			達成率	88.7%	86.0%	80.7%	82.0%	49.7%										
	32	総合文化会館主催事業の年間来場者及び施設利用者数	人	133,244	実績値	142,337	146,468	140,397	135,364	45,858	141,081.3	143,040.7	145,000	95.9%	32.1%	社会教育課				
		現状値の10%増			達成率	98.2%	101.0%	96.8%	93.5%	31.6%										
		たつの市美術展におけるたつの市民の年間出品点数	点	163	実績値	143	148	137	143	-	174.3	177.2	180	82.0%	#VALUE!	社会教育課				
		現状値の10%増			達成率	79.4%	82.2%	76.1%	79.4%	-										
	33	人権に関する研修会・学習会の参加率	%	29.1	実績値	33.3	36.9	34.1	33.5	6.4	29.7	29.9	30.0	112.8%	21.4%	人権教育推進課	互いの人権を尊重し、 心豊かな社会をつくる	3.07	2.85	0.22
		近年の動向			達成率	111.0%	123.0%	113.7%	111.7%	21.3%										
		教育集会所・隣保館の利用率	%	67.4	実績値	71.1	70.2	76.3	74.5	41.3	69.1	69.6	70.0	107.8%	59.4%	人権推進課 人権教育推進課				
		近年の動向			達成率	101.6%	100.3%	109.0%	106.4%	59.0%										
	34	市審議会の女性委員の構成比率	%	18.2	実績値	21.9	20.7	21.2	20.5	19.8	26.1	28.0	30.0	78.6%	70.6%	人権推進課				
		国の目標値から			達成率	73.0%	69.0%	70.7%	68.3%	66.0%										
にぎわいづくりへの挑戦	35	認定農業者数	人	93	実績値	91	72	76	79	88	113	118	123	69.9%	74.6%	農林水産課	次世代へ伝え育む農 林業を活性化する	2.81	2.87	-0.06
		近年の動向			達成率	74.0%	58.5%	61.8%	64.2%	71.5%										
		新規就農者数	人	8	実績値	9	11	11	8	5	12	13	14	66.7%	38.5%	農林水産課				
		近年の動向			達成率	64.2%	78.6%	78.6%	57.1%	35.7%										
		人・農地プランの策定地区数	地区	21	実績値	34	35	35	34	22	29	31	33	117.2%	71.0%	農林水産課				
		近年の動向			達成率	103.0%	106.1%	106.1%	103.0%	66.7%										
	36	ひょうご推奨ブランド認証食品数（農産物）	品目	42	実績値	44	41	41	41	51	54	57	60	75.9%	89.5%	農林水産課				
		近年の動向			達成率	73.3%	68.3%	68.3%	68.3%	85.0%										
		ひょうご安心ブランド認証食品数（農産物）	品目	14	実績値	17	21	22	23	154	18	19	20	127.8%	810.5%	農林水産課				
		近年の動向			達成率	85.0%	105.0%	110.0%	115.0%	770.0%										

章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 (A/C)	R2 達成度 (B/D)	担当課	市民アンケート(市民満足度)(アンケート結果報告書P21参照)				
		目標値の設定理由（下段）		現状値 (H27)		H28	H29	H30	R1 (A)	R2 (B)	目標値 (R1) (C)	目標値 (R2) (D)				目標値 (R3)	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差
にぎわいづくりへの挑戦	37	新規漁業就業者の育成人数	品目	3	実績値	7	11	14	17	20	7	8	9	242.9%	250.0%	農林水産課	活気ある水産業を推進する	3.02	2.97	0.05
		近年の動向			達成率	77.8%	122.2%	155.6%	188.9%	222.2%										
		ひょうご推奨ブランド認証食品数（水産物）	品目	6	実績値	6	6	6	5	4	8.0	8.5	9	62.5%	47.1%	農林水産課				
		近年の動向			達成率	66.7%	66.7%	66.7%	55.6%	44.4%										
	38	年間観光客数	万人	217.0	実績値	221.7	221.6	206	200	112.3	225.9	228.1	230.3	88.7%	49.2%	観光振興課	地域資源を生かした観光を推進する	2.97	2.87	0.10
		毎年度1％の増員			達成率	96.3%	96.2%	89.6%	87.0%	48.8%										
		道の駅年間利用者数（しんぐう・みつ）	万人	37.3	実績値	36.0	36.1	33.8	34.1	32.6	38.2	38.4	38.6	89.3%	84.9%	観光振興課				
		毎年度2,200人の増員			達成率	93.3%	93.5%	87.6%	88.3%	84.5%										
	39	年間観光客数	万人	217.0	実績値	221.7	221.6	206	200	112.3	225.9	228.1	230.3	88.7%	49.2%	観光振興課				
		実勢から毎年度1％の増員			達成率	96.3%	96.2%	89.6%	87.0%	48.8%										
		年間イベント来客数（主な18事業）	千人	509	実績値	545.6	539.5	492	457	14.5	543.0	551.5	560	84.2%	2.6%	観光振興課				
		実績から約10％増			達成率	97.4%	96.3%	87.8%	81.6%	2.6%										
	40	事業所数	事業所	3,471	実績値	次回経済センサス公表後に記入					—	—	3,255	#VALUE!	#VALUE!	商工振興課	にぎわいのある商工業を推進する	2.88	2.48	0.40
		H21とH26の経済センサス値の比較による			達成率															
		従業者数	人	32,526	実績値						—	—	30,355	#VALUE!	#VALUE!	商工振興課				
		H21とH26の経済センサス値の比較による			達成率															
ふるさとづくりへの挑戦	41	将来人口	人	78,508	実績値	77,968	77,276	76,600	75,995	75,166	76,832.0	76,413.0	75,994	98.9%	98.4%	企画課	まちづくりを進めるための基盤を整える	2.90	2.70	0.20
		たつの市人口ビジョンから			達成率	102.6%	101.7%	100.8%	100.0%	98.9%										
	42	自立のまちづくり事業年間実施団体数	団体	154	実績値	140	122	128	136	114	164.7	167.3	170	82.6%	68.1%	総務課・農林水産課・農地整備課・まちづくり推進課				
		現状値から10%増			達成率	82.4%	71.8%	75.3%	82.9%	67.1%										
	43	市役所出前講座年間参加人数	人	11,143	実績値	11,639	9,910	8,786	7,893	3,053	16,874.3	18,307.2	19,740	46.8%	16.7%	広報秘書課				
		毎年10%増			達成率	59.0%	50.2%	44.5%	40.0%	15.5%										
		ホームページ年間アクセス数	件	884,450	実績値	906,659	1,029,489	1,086,493	1,157,484	1,680,380	1,339,483.3	1,453,241.7	1,567,000	86.4%	115.6%	広報秘書課				
		毎年10%増			達成率	57.9%	65.7%	69.3%	73.9%	107.2%										
	44	ふるさと応援寄附金年間寄附件数	件	1,094	実績値	5,625	5,111	4,413	5,275	14,369	5,031.3	6,015.7	7,000	104.8%	238.9%	企画課	多様で活発な交流を促進する	2.83		
		H28実績から毎年度5％増			達成率	80.4%	73.0%	63.0%	75.3%	205.3%										
		赤とんぼくん・あかねちゃん年間出演件数	件	77	実績値	64	68	45	36	9	94.3	98.7	103	38.2%	9.1%	観光振興課				
		毎年度5％増			達成率	62.1%	66.0%	43.7%	35.0%	8.7%										
	45	国内姉妹都市年間交流人数	人	83	実績値	109	158	144	209	—	154.3	172.2	190	135.4%	#VALUE!	広報秘書課				
		過去10年の平均実績から			達成率	57.4%	83.2%	75.8%	110.0%	—										
		多文化共生サポートセンター年間相談件数	件	—	実績値	107	65	121	150	276	133.4	142.2	151	112.4%	194.1%	広報秘書課				
		H28実績を踏まえ毎年度10%増			達成率	70.9%	43.0%	80.1%	99.3%	182.8%										

章	施策 番号	指標名（上段）	単位	目標・実績の推移（※目標値（R1及びR2）については、現状値（H27）及び目標値（R3）から企画課が設定）									R1 達成度 (A/C)	R2 達成度 (B/D)	担当課	市民アンケート(市民満足度)(アンケート結果報告書P21参照)				
		目標値の設定理由（下段）		現状値 (H27)		H28	H29	H30	R1 (A)	R2 (B)	目標値 (R1) (C)	目標値 (R2) (D)				目標値 (R3)	前期基本計画の節名称	満足度 平均点	前回調査	前回調査 との差
ふるさとづくりへの挑戦	46	将来負担比率	%	45.1	実績値	38.0	24.3	15.4	16.8	15.4	45.0	45.0	45.0%以下	267.9%	292.2%	財政課	健全で効率的な自治 体運営を推進する	2.88	2.74	0.14
		たつの市財政計画に基づく試算値			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%										
		実質公債費比率	%	13.3	実績値	12.9	12.4	11.8	11.0	10.3	15.0	15.0	15.0%以下	136.4%	145.6%	財政課				
		たつの市財政計画に基づく試算値			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%										
		市税収納率（現年分）	%	98.5	実績値	98.7	98.8	98.9	99.1	98.0	98.6	98.7	98.7	100.4%	99.3%	納税課				
		上位3分の1の地方公共団体が達成している収納率（過去5年平均）			達成率	100.0%	100.1%	100.2%	100.4%	99.3%										
	47	職員数（市民病院に勤務する医療職及び技能労務職を除く。）	人	547	実績値	552	548	547	543	546	541.0	539.5	538	99.6%	98.8%	総務課				
		職員定員適正化計画から設定			達成率	97.5%	98.2%	98.4%	99.1%	98.5%										
		管理・監督職に占める女性職員の割合（医療職、技能労務職、保育士・教諭を除く。）	%	23.5	実績値	24.4	25.2	25.6	26.2	27.3	27.8	28.9	30.0	94.1%	94.4%	総務課				
		国の目標値から			達成率	81.3%	84.0%	85.3%	87.3%	91.0%										
	48	公共建築物の保有量（総延床面積）の縮減	%	－	実績値	2.0	2.0	2.7	3.3	6.3	8.0	10.0	12%減	41.3%	63.0%	契約課				
		たつの市公共建築物再編実施計画から			達成率	16.7%	16.7%	25.0%	25.0%	52.5%										
	49	クラウド化の推進による年間の平均コスト削減額	千円	－	実績値	0	5,100	7,844	7,844	7,844	5,000	5,000	5,000	63.7%	63.7%	情報推進課				
		現行方式とクラウド方式の経費差（5年間）の平均額			達成率	－	98.0%	63.7%	63.7%	63.7%										
		情報セキュリティポリシーの順守	%	100	実績値	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0%	100.0%	情報推進課				
		セキュリティポリシー順守を堅持			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%										
	50	播磨科学公園都市圏域定住自立圏域人口	人	151,942	実績値	150,003	147,962	146,119	144,214	142,159	145,314	143,657	142,000	99.2%	99.0%	企画課				
		播磨科学公園都市圏域定住自立圏域人口ビジョンから			達成率	105.6%	104.2%	102.9%	101.6%	100.1%										



第2次たつの市総合計画基本計画 前期・後期基本計画施策対比表(取組レベル)

基本構想			前期基本計画					後期基本計画(案)				
施策の大綱		節	施策		施策の内容		担当課	施策		施策の内容		担当課
第1章 安全・安心な まちづくり への挑戦	第1節	自然を大切にし、共に暮らす	1	自然環境の保全と整備	1	山林の整備	農林水産課、建設課	1	自然環境の保全と整備	1	山林の整備	農林水産課、建設課
					2	河川環境の保全と活用	建設課、都市計画課			2	河川環境の保全と活用	建設課、都市計画課
					3	海岸環境の保全と整備	建設課			3	海岸環境の保全と整備	農林水産課
					4	生物多様性の保全と啓発	建設課			4	生物多様性の保全と啓発	環境課、農林水産課
	第2節	持続可能な社会をつくる	2	緑化の推進	1	生活環境の緑化	都市計画課	2	緑化の推進	1	生活環境の緑化	都市計画課
					2	公共施設等の緑化	商工振興課、都市計画課			2	公共施設等の緑化	商工振興課、都市計画課
			3	廃棄物処理対策の推進	1	ごみの減量化・再資源化の推進	環境課	3	廃棄物処理対策の推進	1	ごみの減量化・再資源化の推進	環境課
					2	ごみ処理施設における長期的処理	環境課			2	ごみ処理施設における長期的処理	環境課
					3	市民意識の高揚	環境課			3	市民意識の高揚	環境課
	第3節	良質な住環境を整備する	4	地球環境の保全	1	地球温暖化防止活動の推進	環境課	4	地球環境の保全	1	地球温暖化防止活動の推進	環境課
					2	再生可能エネルギーの導入促進	環境課、農林水産課、社会教育課			2	再生可能エネルギーの導入促進	環境課、社会教育課
					3	環境保全意識の高揚	環境課、下水道課			3	環境保全意識の高揚	環境課
					4	公害防止体制の推進	環境課			4	公害防止体制の推進	環境課
	第4節	安全便利な交通環境を整える	5	住宅の供給	1	公営住宅の整備	都市計画課	5	住宅の供給	1	公営住宅の整備	都市計画課
					2	住宅取得の支援	まち未来創造課、都市計画課			2	住宅取得の支援	都市計画課、まちづくり推進課
					3	空き家対策の推進	まち未来創造課			3	空き家対策の推進	まちづくり推進課
					4	耐震化の支援	都市計画課			4	耐震化の支援	建築課
			6	都市公園の整備と活用	1	住区基幹公園の整備と活用	都市計画課	6	都市公園の整備と活用	1	住区基幹公園の整備と活用	都市計画課
					2	都市基幹公園等の整備と活用	都市計画課			2	都市基幹公園等の整備と活用	都市計画課
					3	防災に配慮した公園の整備と活用	都市計画課			3	防災に配慮した公園の整備と活用	都市計画課
			7	地域特性を生かした土地利用の推進	1	地域の特性にあった土地利用の推進	都市計画課	7	地域特性を生かした土地利用の推進	1	地域の特性にあった土地利用の推進	都市計画課
					2	計画的な既成市街地の整備	まち未来創造課、都市計画課			2	計画的な既成市街地の整備	都市計画課
					3	駅周辺の整備	都市計画課			3	駅周辺の整備	都市計画課
					4	地籍調査の推進	用地課			4	地籍調査の推進	用地課
			8	上下水道施設の整備	1	上水の安定供給と水質の改善	水道事業所	8	上下水道施設の整備	1	上水の安定供給と水質の改善	下水道課
					2	下水道事業の推進	下水道課			2	下水道事業の推進	下水道管理課、下水道施設課
					3	前処理場の維持管理	前処理場対策課			3	前処理場の維持管理	下水道管理課、下水道施設課
					4	地方公営企業法の適用	下水道課、前処理場対策課					
	第5節	大切な命と地域を守る	9	幹線道路網の整備	1	揖龍南北幹線道路の整備	建設課	9	幹線道路網の整備	1	揖龍南北幹線道路の整備	建設課
					2	東西幹線道路の渋滞緩和	建設課			2	東西幹線道路の渋滞緩和	建設課
					3	広域幹線道路の整備	建設課			3	広域幹線道路の整備	建設課
			10	安全で快適な道路環境の整備	1	地域内道路の整備	建設課	10	安全で快適な道路環境の整備	1	地域内道路の整備	建設課
					2	地域間連絡道路の整備	建設課			2	地域間連絡道路の整備	建設課
					3	道路・橋りょうインフラの長寿命化	建設課			3	道路・橋りょうインフラの長寿命化	建設課
			11	公共交通の充実	1	JR姫新線利用促進活動の展開	企画課	11	公共交通の充実	1	JR姫新線利用促進活動の展開	まちづくり推進課
					2	JR山陽本線の利便性の向上	企画課			2	JR山陽本線の利便性の向上	まちづくり推進課
					3	路線バスの確保	企画課			3	路線バスの確保	まちづくり推進課
					4	地域公共交通の再編	企画課			4	地域公共交通の再編	まちづくり推進課
			12	防災体制の確立	1	情報伝達体制の充実	危機管理課	12	防災体制の確立	1	情報伝達体制の充実	危機管理課
					2	避難対策の充実	危機管理課			2	避難対策の充実	危機管理課
					3	自主防災組織の育成	危機管理課			3	自主防災組織の育成	危機管理課
					4	広域連携体制の充実	危機管理課			4	広域連携体制の充実	危機管理課
					5	危機管理体制の整備	危機管理課			5	危機管理体制の整備	危機管理課
			13	消防・救急・救助体制の充実	1	消防署の消防力の強化	西はりま消防組合	13	消防・救急・救助体制の充実	1	消防署の消防力の強化	西はりま消防組合
					2	救急・救助業務の充実	西はりま消防組合			2	救急・救助業務の充実	西はりま消防組合
					3	消防団の消防力の強化	危機管理課			3	消防団の消防力の強化	危機管理課
					4	火災予防の推進	西はりま消防組合			4	火災予防の推進	西はりま消防組合
					5	消防水利の充実	危機管理課			5	消防水利の充実	危機管理課
					6	広域消防の推進	危機管理課、企画課			6	広域消防の充実	危機管理課
	第5節	大切な命と地域を守る	14	交通安全対策の推進	1	安全・安心な道路交通環境の整備	建設課	14	交通安全対策の推進	1	安全・安心な道路交通環境の整備	建設課
					2	交通安全意識の高揚	危機管理課			2	交通安全意識の高揚	危機管理課
	第5節	大切な命と地域を守る	15	暮らしの安全確保	1	防犯体制の充実	危機管理課	15	暮らしの安全確保	1	防犯体制の充実	危機管理課、建設課
					2	国民保護体制の確立	危機管理課			2	国民保護体制の確立	危機管理課
					3	消費生活の安全確保	商工振興課			3	消費生活の安全確保	商工振興課

第2章 やすらぎづくりへの挑戦	第1節	安心して子育てができるまちをつくる	16	出会いの支援	1	結婚を希望する男女への支援	子育て支援課
					2	出会いをサポートする団体への支援	子育て支援課
			17	子育て支援の充実	1	経済的支援の充実	国保医療年金課、子育て支援課
					2	子育て支援サービスの充実	子育て支援課
					3	子育て家庭の交流を促進する事業の充実	子育て支援課
					4	相談・支援体制の充実	子育て支援課
					5	放課後児童クラブの充実	社会教育課
			18	ひとり親家庭等の福祉の充実	1	経済的自立支援の充実	子育て支援課
					2	生活支援の充実	子育て支援課
					3	相談・支援体制の充実	子育て支援課
			19	保育サービスの充実	1	保育所等における特別保育の充実	子育て支援課
					2	保育の質・量の確保と保育環境の充実	子育て支援課
					3	認定こども園の推進	こども園推進課
					4	認定こども園の整備	こども園推進課
	第2節	高齢者が暮らしやすい環境をつくる	20	地域包括ケアシステムの構築	1	生活支援・介護予防サービスの充実	高年福祉課、地域包括支援課
					2	地域における介護体制の充実	高年福祉課、地域包括支援課
					3	支え合う地域づくりの推進	地域包括支援課
					4	認知症施策の推進	地域包括支援課
					5	在宅医療と介護の連携	地域包括支援課
			21	生きがいづくりと社会参加の支援	1	生きがいづくり・社会参加	高年福祉課
					2	敬老事業の実施	高年福祉課
					3	高齢者の地域貢献	高年福祉課
	第3節	障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境をつくる	22	障害のある人への生活支援と社会参加の促進	1	相談・支援体制の充実	地域福祉課
					2	障害者への不当な差別をなくす支援	地域福祉課
					3	障害者の社会参加と自立した生活の促進	地域福祉課
	第4節	共に助け合い、支え合うまちをつくる	23	地域福祉の充実	1	地域のネットワークづくり	地域福祉課、高年福祉課、地域包括支援課
					2	福祉のまちづくりの推進	地域福祉課、高年福祉課
					3	生活困窮世帯に対する自立支援と生活援護	地域福祉課
	第5節	生涯を健やかに過ごせる体制を整える	24	健康づくりの推進	1	健康増進計画・食育推進計画(第2次)の推進	健康課
					2	母子の健康づくりの推進	健康課
					3	成人と高齢者の健康づくりの推進	健康課
					4	歯科保健の推進	健康課
					5	感染症対策の推進	健康課
					6	健康づくり組織への支援	健康課
			25	医療サービスの向上	1	地域医療体制の充実	健康課、市民病院
					2	市民病院の運営	市民病院
					3	国民健康保険・後期高齢者医療保険の健全運営	国保医療年金課
					4	福祉医療費助成制度の適正運営	国保医療年金課
	第1節	豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる	26	幼児教育・保育の充実	1	幼児教育・保育の充実	子育て支援課、こども園推進課、教育総務課、学校教育課
					2	子育て支援体制の充実	子育て支援課、学校教育課
					3	幼稚園給食の実施検討と食育の推進	教育総務課
					4	認定こども園の推進	こども園推進課
					5	関係機関・保護者・地域等の連携	子育て支援課、学校教育課
			27	義務教育の充実	1	基礎学力の向上	学校教育課
					2	体験活動の推進	学校教育課
					3	道德教育の推進	学校教育課
					4	人権学習の充実	人権教育推進課
					5	特別支援教育の充実・推進	学校教育課
					6	国際理解教育の推進	学校教育課
					7	情報教育の推進	教育総務課、学校教育課
					8	教育相談・進路指導の充実	学校教育課
					9	キャリア教育の展開	学校教育課
					10	読書活動の推進	学校教育課
					11	学校給食の充実	教育総務課
					12	学校施設整備の計画的な実施	施設課
					13	関係機関・保護者・地域等の連携	学校教育課
					14	学校の適正規模及び適正配置の検討	教育総務課
			28	青少年の健全な育成	1	青少年健全育成事業の推進	社会教育課
					2	放課後児童健全育成事業の推進	社会教育課
	第1節	結婚・出産・子育て支援の充実	16		1	経済的支援の充実	国保医療年金課、児童福祉課、健康課、学校教育課、幼児教育課
					2	子育て支援サービスの充実	児童福祉課、幼児教育課、社会教育課
					3	相談・支援体制の充実	児童福祉課、健康課、幼児教育課
			17	ひとり親家庭等の福祉の充実	1	経済的自立支援の充実	児童福祉課
					2	生活支援の充実	国保医療年金課、児童福祉課
					3	相談・支援体制の充実	児童福祉課
			18	地域包括ケアシステムの構築	1	生活支援・介護予防サービスの充実	高年福祉課、地域包括支援課
					2	地域における介護体制の充実	高年福祉課、地域包括支援課
					3	支え合う地域づくりの推進	地域包括支援課
					4	認知症施策の推進	地域包括支援課
					5	在宅医療と介護の連携	地域包括支援課
	19	生きがいづくりと社会参加の支援			1	生きがいづくり・社会参加	地域福祉課、高年福祉課
					2	敬老事業の実施	高年福祉課
					3	高齢者の地域貢献	高年福祉課
	20	障害のある人への生活支援と社会参加の促進			1	相談・支援体制の充実	地域福祉課、地域包括支援課
					2	障害者への不当な差別をなくす支援	地域福祉課
					3	障害者の社会参加と自立した生活の促進	地域福祉課
	21	地域福祉の充実			1	地域のネットワークづくり	地域福祉課、高年福祉課、地域包括支援課
					2	福祉のまちづくりの推進	地域福祉課、高年福祉課
					3	様々な問題を抱える世帯に対する自立支援と生活保護	地域福祉課、地域包括支援課
	22	健康づくりの推進			1	健康増進計画・食育推進計画(第3次)の推進	健康課
					2	母子の健康づくりの推進	健康課
					3	成人と高齢者の健康づくりの推進	国保医療年金課、高年福祉課、地域包括支援課、健康課
					4	歯科保健の推進	健康課、地域包括支援課
					5	感染症対策の推進	健康課
					6	健康づくり組織への支援	健康課
	23	医療サービスの向上			1	地域医療体制の充実	企画課(市民病院)、健康課
					2	市民病院の運営	企画課(市民病院)
					3	国民健康保険・後期高齢者医療保険の健全運営	国保医療年金課
	24	幼児教育・保育の充実			1	幼児教育・保育の充実	教育環境整備課、幼児教育課
					2	幼小の円滑な接続の推進	幼児教育課、学校教育課
					3	認定こども園の推進	教育環境整備課
					4	保護者・地域・関係機関等の連携	幼児教育課
	25	義務教育の充実			1	たつの市小中一貫教育の推進	学校教育課
					2	主体的・対話的で深い学びの実現	学校教育課
					3	たつのGIGAスクール構想の推進	教育総務課、学校教育課
					4	特別支援教育の充実・推進	学校教育課
					5	いじめ、不登校等生徒指導体制の充実	学校教育課
					6	体験活動の推進	学校教育課
					7	道德教育の推進	学校教育課
					8	人権教育の充実	人権教育推進課
					9	英語教育・多文化共生教育の推進	学校教育課
					10	高校・大学と連携した教職員の資質・指導力の向上	学校教育課
					11	学校給食の充実	すこやか給食課
					12	学校施設整備の計画的な実施	教育環境整備課
					13	学校の適正規模・適正配置の推進	教育総務課、学校教育課
	26	青少年の健全な育成			1	青少年健全育成事業の推進	社会教育課
					2	放課後児童健全育成事業の推進	社会教育課

第3章 ひとづくり への挑戦	第2節	生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる	29	生涯学習の推進	1	生涯学習体制の充実	社会教育課				
					2	生涯学習事業の充実	社会教育課				
					3	図書館事業の充実	社会教育課				
					4	生涯学習施設の整備	社会教育課				
			30	スポーツ・レクリエーション活動の推進	1	スポーツ施設の整備	体育振興課				
					2	既存施設の維持管理	体育振興課				
					3	スポーツ・レクリエーションの普及推進	体育振興課				
					4	スポーツクラブ21の支援	体育振興課				
					5	関係団体との連携	体育振興課				
					6	スポーツツーリズム事業の推進	体育振興課				
			第3節	歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる	31	歴史文化遺産の保全と活用	1	歴史文化遺産の再発見	歴史文化財課		
							2	文化財の保存	歴史文化財課		
3	文化財を活用したまちづくり	歴史文化財課									
4	歴史資料館の活用と整備	歴史文化財課									
5	歴史的町並みの保全	まち未来創造課									
32	芸術文化活動の振興	1			地域文化の継承	社会教育課					
		2			文化・芸術公演事業の実施	社会教育課					
		3			地域文化の展開	社会教育課					
33	人権教育・啓発の推進	1			人権文化をすすめる市民運動の展開	人権教育推進課					
		2			学習活動の推進	人権教育推進課					
		3			指導者の育成	人権教育推進課					
		4			教育集会所・隣保館活動の充実	人権推進課、人権教育推進課					
34	男女共同参画社会の形成	1	男女共同参画社会の形成	人権推進課							
		2	女性参画の推進	人権推進課							
		3	ワーク・ライフ・バランスの推進	人権推進課							
		4	女性が活躍できる社会づくり	人権推進課							
第4章 にぎわいづくりへの挑戦	第1節	次世代へ伝え育む農林業を活性化する	35	農林生産基盤の整備と担い手の育成	1	農業用施設の整備	農地整備課				
					2	有害鳥獣対策の強化	農林水産課				
					3	森林環境整備と保全	農林水産課				
					4	多様な担い手の育成・確保	農林水産課				
					5	農地の集積・集約化	農林水産課				
			36	農業経営の安定化と地産地消の推進	1	新たな価値創出による需要の開拓	農林水産課				
					2	地元農産物の消費拡大	農林水産課				
					3	体験農業・市民農園の実施	農林水産課				
					4	環境に配慮した農業の推進	農林水産課				
					37	水産業基盤の整備	1	漁港整備	農林水産課		
	2	つくり育てる漁業の推進	農林水産課								
	3	ブランドの確立	農林水産課								
	4	交流・にぎわいネットワークの形成	農林水産課								
	第3節	地域資源を生かした観光を推進する	38	観光基盤の活用	1	道の駅の活用	観光振興課、御津地域振興課				
					2	観光施設の活用	まち未来創造課、観光振興課、歴史文化財課、御津地域振興課				
					3	歴史的町並みの活用	まち未来創造課				
			39	観光PRの充実	1	イベントの充実	商工振興課、観光振興課、御津地域振興課				
					2	たつのふるさとフェスタの拡充	観光振興課				
					3	マスメディア等を使ったPR	観光振興課				
	第4節	にぎわいのある商工業を推進する	40	商業の活性化と工業の振興	4	フィルムコミッション事業の展開	観光振興課				
					5	広域観光ネットワークの構築	観光振興課				
					6	姉妹都市交流	商工振興課、観光振興課				
					1	地場産業振興PR	商工振興課				
					2	中小企業対策の推進	商工振興課				
					3	商業活性化の促進	商工振興課				
			41	観光振興の推進	4	企業誘致の推進	商工振興課				
					5	新たな産業の育成	商工振興課				
					6	雇用対策の推進	商工振興課				
					第2節	生涯学習の推進	27	生涯学習の推進	1	生涯学習体制の充実	社会教育課
									2	生涯学習事業の充実	社会教育課
									3	図書館事業の充実	社会教育課
	4	生涯学習施設の整備	社会教育課								
	28	スポーツ・レクリエーション活動の推進	1	スポーツ施設の整備					スポーツ振興課		
			2	既存施設の維持管理					スポーツ振興課		
			3	スポーツ・レクリエーションの普及推進					スポーツ振興課		
	29	歴史文化遺産の保全と活用	4	スポーツクラブ21の支援			スポーツ振興課				
			5	関係団体との連携			スポーツ振興課				
			6	スポーツツーリズム事業の推進			スポーツ振興課				
第3節	歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる	29	歴史文化遺産の保全と活用	7	ライフステージに応じたスポーツの推進	スポーツ振興課					
				1	歴史文化遺産の再発見	歴史文化財課					
				2	文化財の保存	歴史文化財課					
				3	文化財を活用したまちづくり	歴史文化財課					
				4	歴史資料館の活用と整備	歴史文化財課					
		30	芸術文化活動の振興	5	歴史的町並みの保全	まちづくり推進課					
				1	地域文化の継承	社会教育課					
				2	文化・芸術公演事業の実施	社会教育課					
		31	人権教育・啓発の推進	3	地域文化の展開	社会教育課					
				1	人権文化をすすめる市民運動の展開	人権教育推進課					
2	学習活動の推進			人権教育推進課							
3	指導者の育成			人権教育推進課							
第4節	互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる	32	男女共同参画社会の形成	4	教育集会所・隣保館活動の充実	人権推進課、人権教育推進課					
				1	男女共同参画社会の形成	人権推進課					
				2	女性参画の推進	人権推進課					
				3	女性が活躍できる社会づくり	人権推進課					
		33	農林生産基盤の整備と担い手の育成	4	多様な性のあり方を支える取組の推進	人権推進課					
				1	農業用施設の整備・保全	農地整備課					
				2	有害鳥獣対策の強化	農林水産課					
				3	森林環境整備と保全	農林水産課					
				4	多様な担い手の育成・確保	農林水産課					
				5	農地の集積・集約化	農林水産課					
34	農業経営の安定化と地産地消の推進	6	新たな価値創出による需要の開拓	農林水産課							
		2	地域の農畜産物の消費拡大	農林水産課							
		3	体験農業・市民農園の実施	農林水産課							
		4	環境に配慮した農業の推進	農林水産課							
第5節	水産業基盤の整備	35	水産業基盤の整備	1	漁港整備	農林水産課					
				2	つくり育てる漁業の推進	農林水産課					
				3	ブランドの確立	農林水産課					
				4	交流・にぎわいネットワークの形成	農林水産課					
		36	観光基盤の活用	1	観光資源の活用	観光振興課					
				2	観光施設の活用	観光振興課					
第6節	観光PRの充実	36	観光基盤の活用	3	歴史的町並みの活用	まちづくり推進課					
				37	観光PRの充実	1	イベントの充実	観光振興課、御津地域振興課			
						2	たつの市民まつりの拡充	観光振興課			
		3	マスメディア等を使ったPR			観光振興課					
		38	商業の活性化と工業の振興	4	フィルムコミッション事業の展開	観光振興課					
				5	広域観光ネットワークの構築	観光振興課					
6	姉妹都市交流			商工振興課、観光振興課							
1	地場産業振興PR			商工振興課							
2	中小企業対策の推進			商工振興課							
3	商業活性化の促進			商工振興課							
第7節	観光振興の推進	38	商業の活性化と工業の振興	4	企業誘致の推進	商工振興課					
				5	新たな産業の育成	商工振興課					
				6	雇用対策の推進	商工振興課					
		39	観光振興の推進	4	企業誘致の推進	商工振興課					
				5	新たな産業の育成	商工振興課					
				6	雇用対策の推進	商工振興課					

第5章 ふるさとづくりへの挑戦	第1節	まちづくりを進めるための基盤を整える	41	「ふるさとたつの」の創生	1	「雇用創生」～新経済戦略によりしごとを創出する～	まち未来創造課
					2	「人口還流」～定住促進・観光戦略により「たつのファン」をつくる～	まち未来創造課
					3	「若者未来」～若者応援戦略により希望を叶える～	まち未来創造課
					4	「地域活力」～まち賑わい戦略により活力ある地域をつくる～	まち未来創造課
			42	地域コミュニティ活動の推進	1	自立のまちづくりの推進	まち未来創造課、総務課、行政改革推進課、農林水産課、農地整備課
					2	コミュニティ活動の環境整備	総務課、企画課
			43	市民参加のまちづくり	1	直接対話機会の充実	広報秘書課
					2	市政参加機会の創出	人権推進課
					3	市民提案型市政の推進	広報秘書課、総務課
					4	情報公開の推進	情報推進課、議会事務局
					5	広報活動の充実	広報秘書課
					6	多様な公共の担い手による協働の推進	まち未来創造課、総務課
					7	地域を越えた協働の推進	まち未来創造課、企画課、商工観光課
	第2節	多様で活発な交流を促進する	44	シティプロモーションの推進	1	赤とんぼくん、あかねちゃん認知度の向上	観光振興課
					2	観光資源の活用とPR	観光振興課
					3	移住希望者へのPR	まち未来創造課
					4	たつの市の知名度アップ	広報秘書課、観光振興課
					5	たつの市の地域資源の再発見とブランドイメージの確立	広報秘書課、商工振興課、観光振興課
			45	国際交流・国内交流・地域交流の推進	1	国際交流の推進	広報秘書課
					2	姉妹都市等との交流の推進	広報秘書課
					3	三世代の個性とキャリアを生かした交流・参画	総務課、高年福祉課、社会教育課
	第3節	健全で効率的な自治体運営を推進する	46	行財政改革の推進(行政改革大綱)	1	時代に即した効率的な自治体経営	企画課、財政課、行政改革推進課
					2	行政の責任領域の見直しによる効率的な行財政運営の推進	行政改革推進課
					3	中長期的ビジョンによる健全な財政運営の推進	財政課、契約課、関係課
			47	簡素で効率的な組織づくりと人材育成	1	市民ニーズに的確に対応した機能本位の組織づくり	総務課
					2	市民からの期待に応えることのできる人材の育成と働きやすい職場づくり	総務課
			48	公共施設の適正管理と整備	1	公共施設の適正管理	行政改革推進課、各施設所管課
					2	庁舎の整備	総務課
			49	情報化の推進	1	ICTの利活用	情報推進課
					2	電子自治体の推進	情報推進課
					3	最先端のICT活用	情報推進課
			50	広域行政・広域連携の推進	1	広域的な連携の強化	企画課、国保医療年金課
					2	広域課題への取組の強化	企画課、建設課、都市計画課

第4編 まち未来創生戦略へ				
39	地域コミュニティ活動の推進	1	自立のまちづくりの推進	総務課、農林水産課、まちづくり推進課、農地整備課
		2	コミュニティ活動の推進	総務課、企画課
40	市民参加と連携・協働のまちづくり	1	直接対話機会の充実	広報秘書課
		2	市政参加機会の創出	企画課、人権推進課
		3	市民提案型市政の推進	広報秘書課
		4	情報公開の推進	情報推進課、議会事務局
		5	広報活動の充実	広報秘書課
		6	多様な公共の担い手による協働の推進	企画課、まちづくり推進課
		7	地域を越えた協働の推進	企画課、まちづくり推進課、商工振興課
41	シティプロモーションの推進	1	赤とんぼくん、あかねちゃん認知度の向上	観光振興課
		2	観光資源の活用とPR	観光振興課
		3	移住希望者へのPR	まちづくり推進課
		4	まちのブランドイメージの確立	広報秘書課、商工振興課、観光振興課
42	国際交流・国内交流・地域交流の推進	1	国際交流の推進	広報秘書課
		2	姉妹都市等との交流の推進	広報秘書課
		3	多様な世代の個性とキャリアを生かした交流・参画	総務課、高年福祉課、社会教育課
43	行財政改革の推進(行政改革大綱)	1	時代に適合した効率的な自治体経営	企画課、財政課、契約課、関係課
		2	行政の責任領域の見直しによる効率的な行財政運営の推進	契約課
		3	中長期的ビジョンによる健全な財政運営の推進	納税課、市税課、企画課、財政課、契約課、関係課
44	簡素で効率的な組織づくりと人材育成	1	市民ニーズに的確に対応した機能本位の組織づくり	総務課
		2	市民からの期待に応えることのできる人材の育成と働きやすい職場づくり	総務課
45	公共施設の適正管理と整備	1	公共施設の適正管理	契約課、人権推進課、高年福祉課、歴史文化財課
		2	公共施設の有効活用	契約課
46	情報化の推進	1	ICTの利活用	情報推進課
		2	電子自治体の推進	情報推進課
47	広域行政・広域連携の推進	1	広域的な連携の強化	企画課
		2	広域課題への取組の強化	企画課、建設課、都市計画課

第 2 次 たつの市 総合計画

<序論・基本構想・後期基本計画>

令和3年8月5日

《第1回たつの市総合計画審議会資料》

目 次

第1編 序論.....	1
第1章 計画の概要	2
1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の役割	2
3. 計画の構成と期間	3
4. 本計画と人口ビジョン及びまち未来創生戦略との関連性	4
5. その他計画等との関連性	5
6. 計画の進行管理	6
第2章 計画の背景	7
1. 本市の地域特性	7
2. 社会の潮流	8
3. 本市の取組状況と今後の課題	11
4. 市民から見たたつの市の状況	20
第2編 基本構想.....	29
第1章 まちづくりの将来像	30
第2章 まちづくりの基本目標	31
1 安全・安心なまちづくりへの挑戦	31
2 やすらぎづくりへの挑戦	31
3 ひとづくりへの挑戦	32
4 にぎわいづくりへの挑戦	32
5 ふるさとづくりへの挑戦	33
第3章 将来人口の見通しと財政運営の基本的方向	34
1. 人口	34
2. 財政	36
第4章 土地利用の基本構想	37
1. 土地利用	37
2. 都市構造	37
第5章 施策の大綱	42
基本目標1 安全・安心なまちづくりへの挑戦	42
基本目標2 やすらぎづくりへの挑戦	44
基本目標3 ひとづくりへの挑戦	45
基本目標4 にぎわいづくりへの挑戦	46
基本目標5 ふるさとづくりへの挑戦	47
第6章 総合計画の推進に向けて	48

第3編 基本計画.....	49
序章 基本計画の概要	50
(1) 基本計画の目的	50
(2) 計画期間	50
(3) 基本計画の構成	50
(4) 施策の体系	52
(5) 施策分野別基本計画の見方	54
第1章 安全・安心なまちづくりへの挑戦	56
第1節 自然を大切にし、共に暮らす	56
施策1 自然環境の保全と整備	56
施策2 緑化の推進	58
第2節 持続可能な社会をつくる	60
施策3 廃棄物処理対策の推進	60
施策4 地球環境の保全	62
第3節 良質な住環境を整備する	64
施策5 住宅の供給	64
施策6 都市公園の整備と活用	66
施策7 地域特性を生かした土地利用の推進	68
施策8 上下水道施設の整備	71
第4節 安全便利な交通環境を整える	73
施策9 幹線道路網の整備	73
施策10 安全で快適な道路環境の整備	75
施策11 公共交通の充実	77
第5節 大切な命と地域を守る	80
施策12 防災体制の確立	80
施策13 消防・救急・救助体制の充実	84
施策14 交通安全対策の推進	88
施策15 暮らしの安全確保	90
第2章 やすらぎづくりへの挑戦	92
第1節 安心して子育てができるまちをつくる	92
施策16 結婚・出産・子育て支援の充実	92
施策17 ひとり親家庭等の福祉の充実	96
第2節 高齢者が暮らしやすい環境をつくる	98
施策18 地域包括ケアシステムの構築	98
施策19 生きがいづくりと社会参加の支援	102
第3節 障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境をつくる	104
施策20 障害のある人への生活支援と社会参加の促進	104
第4節 共に助け合い、支え合うまちをつくる	106

施策 21 地域福祉の充実.....	106
第5節 生涯を健やかに過ごせる体制を整える	108
施策 22 健康づくりの推進.....	108
施策 23 医療サービスの向上.....	113
第3章 ひとづくりへの挑戦	115
第1節 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる	115
施策 24 幼児教育・保育の充実.....	115
施策 25 義務教育の充実.....	117
施策 26 青少年の健全な育成.....	123
第2節 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる	125
施策 27 生涯学習の推進.....	125
施策 28 スポーツ・レクリエーション活動の推進.....	127
第3節 歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる	131
施策 29 歴史文化遺産の保全と活用.....	131
施策 30 芸術文化活動の振興.....	133
第4節 互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる	135
施策 31 人権教育・啓発の推進.....	135
施策 32 男女共同参画社会の形成.....	139
第4章 にぎわいづくりへの挑戦	141
第1節 次世代へ伝え育む農林業を活性化する	141
施策 33 農林生産基盤の整備と担い手の育成.....	141
施策 34 農業経営の安定化と地産地消の推進.....	145
第2節 活気ある水産業を推進する	147
施策 35 水産業基盤の整備.....	147
第3節 地域資源を生かした観光を推進する	149
施策 36 観光基盤の活用.....	149
施策 37 観光PRの充実.....	151
第4節 にぎわいのある商工業を推進する	155
施策 38 商業の活性化と工業の振興.....	155
第5章 ふるさとづくりへの挑戦	160
第1節 まちづくりを進めるための基盤を整える	160
施策 39 地域コミュニティ活動の推進.....	160
第1節 まちづくりを進めるための基盤を整える	162
施策 40 市民参加と連携・協働のまちづくり.....	162
第2節 多様で活発な交流を促進する	166
施策 41 シティプロモーションの推進.....	166
施策 42 国際交流・国内交流・地域交流の推進.....	168
第3節 健全で効率的な自治体運営を推進する	170
施策 43 行財政改革の推進（行政改革大綱）.....	170

施策 44	簡素で効率的な組織づくりと人材育成.....	174
施策 45	公共施設の適正管理と整備.....	176
施策 46	情報化の推進.....	178
施策 47	広域行政・広域連携の推進.....	180

第4編 まち未来創生戦略..... 183

基本目標 1	「雇用創生」～新経済戦略によりしごとを創出する～.....	184
基本目標 2	「人口還流」～定住促進・観光戦略により「たつのファン」をつくる～.....	186
基本目標 3	「若者未来」～若者応援戦略により希望を叶える～	188
基本目標 4	「地域活力」～まち賑わい戦略により活力ある地域をつくる～.....	190

総合計画の各施策とSDGsの関係..... 192

第1編 序論

第 1 章 計画の概要

1. 計画策定の趣旨

本市では、平成 28 年度に、第 1 次たつの市総合計画を踏まえ、「みんなで創る 快適実感都市『たつの』」を将来像に設定した「第 2 次たつの市総合計画」(以下、「本計画」という。)を策定し、市民にとって暮らしやすく、魅力のあるまちづくりに努めてきました。

この間、人口減少及び少子高齢化の進行、長引く景気低迷、公共施設及び社会インフラの老朽化といった課題に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による税収減、合併市町村に対する普通交付税の財政優遇措置の終了等、本市を取り巻く社会状況が大きく変化しています。

今後も地方行政を取り巻く状況は厳しいことが予想され、各施策分野における行政が果たすべき役割はますます複雑化・多様化すると考えられ、更に地方には自らが有する地域資源や地域特性を最大限に活用し、市民と行政の協働による「自立した地域づくり」のを進めていくことが求められています。

このような状況を踏まえ、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組むために、長期的な視点で社会情勢の変化を見据えながら、本市が実現しようとする将来像及びその実現に向けて展開する各分野の施策を示し、計画的に実行していくための指針として、令和 4 年度を初年度とする本計画（後期基本計画）を策定します。

2. 計画の役割

本計画は、本市のまちづくりの最上位計画と位置付け、各種分野別の計画の基本となるものであり、次の 3 つの役割を担っています。

- ①まちづくりの長期的かつ総合的な指針であり、市政をはじめ地域経営の根幹となるものです。
- ②市民・行政・関係団体・企業等のまちづくりのすべての主体が共有し、協働で取り組むべきまちづくりの指針となるものです。
- ③国や兵庫県が広域的な諸施策を推進するに当たって、本市の基本的立場を明らかにするものです。

3. 計画の構成と期間

本計画は、10 年計画の「基本構想」と、5 年計画の「基本計画」及び3 年計画の「実施計画」で構成します。

基本構想（平成 29 年度～令和 8 年度）

市民と行政の共通の目標として、まちの将来像を明らかにし、それを達成するためのまちづくりの目標（施策の大綱）を示すもので、計画全体の土台となります。

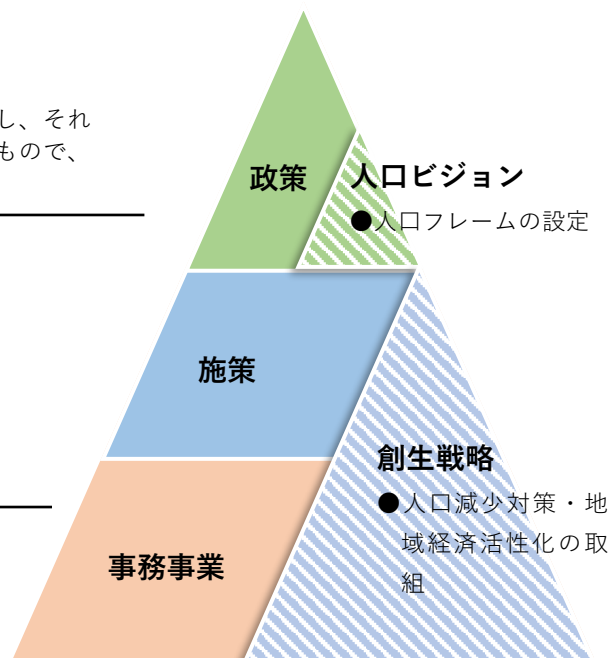
基本計画（前期：平成 29 年度～令和 3 年度、

後期：令和 4 年度～令和 8 年度）

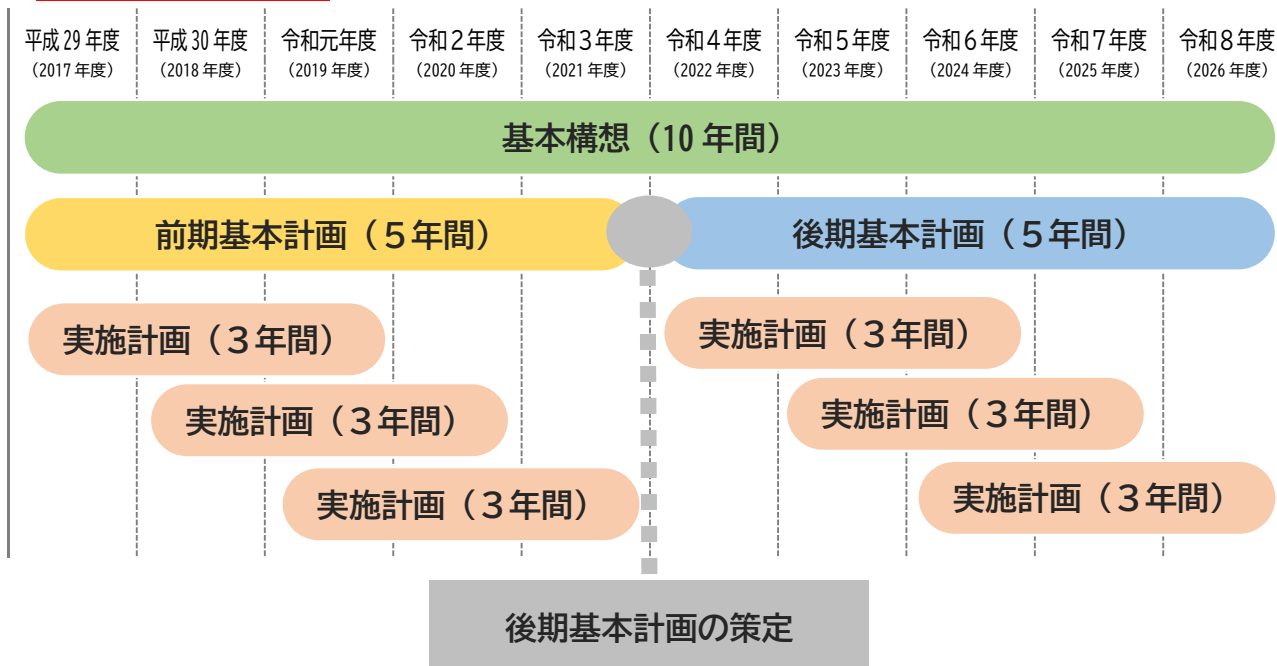
基本構想で定めた将来像とまちづくりの目標（施策の大綱）を受けて、それを実現するために必要となる基本的施策を分野別に体系化し、各施策の方向性等を示すものです。

実施計画（3 ヶ年計画・毎年度見直

基本計画に基づき、重点施策を体系付けるとともに、実施のための事業手法や時期、予算等を明示します。



▼第2次総合計画の期間



4. 本計画と人口ビジョン及びまち未来創生戦略との関連性

人口減少や少子高齢化、東京一極集中といった課題に対応するために、我が国では平成 26 年に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。この法律に基づいた取組を実現していくために、まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」及び「総合戦略」が国から示され、市町村においても「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」が策定されています。

このうち、「地方人口ビジョン」（本市では、「たつの市人口ビジョン」といいます。）とは、市町村における人口の現状を分析し、人口に関する各地方自治体の課題を地域住民と共有し、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

また、「地方版総合戦略」（本市では、「たつの市まち未来創生戦略」といいます。）とは、市民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成すること（まち）、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保を図ること（ひと）、地域における魅力ある多様な就業の機会の創出（しごと）の一体的な推進を図ることを目的として策定されたものです。

人口減少社会への適応が求められる中、人口ビジョン及び創生戦略の理念を全市的に共有し、すべての主体が一丸となって、持続可能なまちづくりを進めていくことを目的として、本市のまちづくりの最上位計画である本計画と「たつの市人口ビジョン」及び「たつの市まち未来創生戦略」を一体的に運用することします。

5. その他計画等との関連性

たつの市として統一性のある行政運営を行うため、「たつの市人口ビジョン」「たつの市まち未来創生戦略」をはじめ、現在策定されている個別行政計画と本計画との整合を図ります。

第2次たつの市総合計画

基本構想

■まちづくりの将来像

将来像： みんなで創る 快適実感都市「たつの」

■まちづくりの基本目標

1 安全・安心なまちづくりへの挑戦	4 にぎわいづくりへの挑戦
2 やすらぎづくりへの挑戦	5 ふるさとづくりへの挑戦
3 ひとづくりへの挑戦	

■将来人口の見通しと財政運営の基本的方向

将来人口の見通しと財政運営の基本的な考え方を示し、まちづくりの方向性を示す指標となるもの

■土地利用の基本構想《都市計画マスタープランと整合》

土地利用について総合的かつ基本的な方向を示したもの

■施策の大綱

まちづくりの目標を実現していくための基本的な方向を示したもの

■総合計画の推進に向けて

人口ビジョン

人口の動向、将来人口推計の分析や中長期の将来展望

基本計画

■分野別施策

基本構想で掲げた施策の大綱に基づき、まちづくりの将来像を実現するための基本的な施策を示したもの

《その他関連計画》●都市計画マスタープラン

●土地利用計画	●立地適正化計画	● <u>みどり</u> の基本計画
●地域防災計画	●子ども子育て支援事業計画	
●幼稚園・保育所再編計画	●教育大綱	
●地域福祉計画	●高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
●国民健康保険保健事業実施計画	●環境基本計画	
●職員定員適正化計画	●公共施設等総合管理計画	等

まち未来創生戦略

人口の動向や産業実態等を踏まえて「雇用創生」「人口還流」「若者未来」「地域活力」に関する施策をまとめたもの

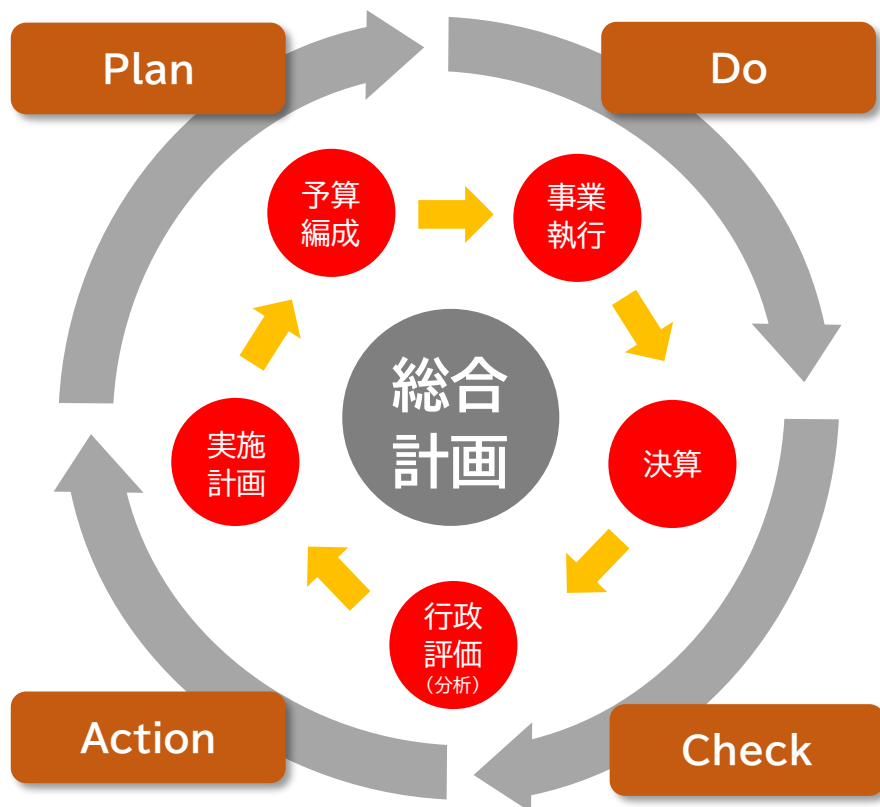
実施計画

基本計画に掲げた施策を年度別に具現化し、どのように実施していくか明らかにしたもの

6. 計画の進行管理

本計画の推進に当たっては、基本計画の 47 施策に対し、目標値として「まちづくりの指標」を掲げ、その達成状況を確認・評価することで、PDCAサイクルによる適切な進行管理を行います。

後期基本計画は、平成 29 年度に策定した本計画（前期基本計画）の策定（Plan）、本計画に基づく事業の実施（Do）、実施状況の検証（行政評価、アンケート調査・パブリックコメント等による市民意見の把握）（Check）及び事業の見直し、次期計画（後期基本計画）策定に反映（Action）の過程を経て、後期基本計画を策定（Plan）しています。



PDCAサイクルとは？

事業活動等における目標管理のための手法

①Plan（計画）→②Do（実行）→③Check（評価）→④Action（見直し・改善）の段階を繰り返すことで、業務を継続的に改善することをいいます。

総合計画においては、①Plan（総合計画の策定）→②Do（総合計画に基づく事業の実施）→③Check（実施状況の検証）→④Action（事業の見直し、次期計画策定に反映）というサイクルになります。

第2章 計画の背景

1. 本市の地域特性

後期基本計画を策定するに当たり、踏まえるべき本市の地域特性を整理します。

(1) 位置・地勢

本市は兵庫県の南西部、西播磨地域に位置し、東西 15.7km、南北 29.8 kmと南北に長い地形で 210.87 km²の面積を有しています。市域の北側には中国山脈が広がり、南は瀬戸内海に面し、南北に貫く形で清流揖保川が流れており、自然環境に恵まれた地域です。

(2) 歴史・沿革

本市は、市内に清流揖保川が流れ、瀬戸内海に面する水運に恵まれ、山陽道、美作道、筑紫大道、因幡街道がとおり、更に播磨随一といわれた室津港を擁し、陸路・海路の交通の要衝として発展し、豊かな歴史が育まれ、今にその伝統が伝えられています。

昭和 26 年に旧町村が合併して誕生した龍野市、新宮町、揖保川町、御津町は、強い結び付きを持つ同一生活圏であったことから、平成 17 年 10 月 1 日に合併し、新「たつの市」が誕生し、市域、人口、産業構造が大きく変化しました。

(3) まちの魅力

本市には、農産物、瀬戸内魚介類をはじめ、手延素麺や醤油醸造、皮革産業といった多様な地場産業があります。市北西部に位置する播磨科学公園都市では、世界最高性能の大型放射光施設 Spring-8 を核とした先端科学技術が集積しています。

また、山陽自動車道、国道 2 号、179 号、250 号が市内を貫き、中国横断自動車道姫路鳥取線の整備も進められているなど、広域的な道路アクセスが充実しています。更に、鉄道では JR 山陽本線・姫新線が運行され、阪神間も通勤圏内となっています。

龍野城下町は、18 世紀中期頃から戦前までの町家や醤油関係施設等の伝統的建造物が多く残っていることから、商家町・醸造町として国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。また市南部の室津は、港町として 1300 年の歴史があり、海と陸の接点、宿場町として栄え、北前船船主集落・寄港地として日本遺産に認定されているほか、古代から近世に至るまで、数多くの歴史的資源が残されており、歴史と文化に彩られたまちです。

2. 社会の潮流

社会経済情勢の変化や新型コロナウイルス感染症による意識・行動の変容などを踏まえ、これからのまちづくりを進める上で踏まえるべき社会の潮流を整理します。

(1) 人口減少・少子高齢社会の進行

日本の総人口は 2008 年をピークに減少に転じ、2050 年代には 1 億人を下回ると推計されています。出生数は減少し続ける一方、2025 年には団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）に達するなど、少子高齢化による人口構造の変化に伴う様々な課題の顕在化が見込まれます。

特に、介護保険事業をはじめとした各種社会保障に係る費用の増加、若い世代の流出による地域活力の低下、税収減を背景とした財政規模の縮小など、まちの活力を維持するための課題が山積しています。

一方で、「人生 100 年時代」を迎えることが予想される中、生涯にわたって一人ひとりの価値観やライフスタイルに応じた暮らし方や働き方を選択できる環境が求められています。

(2) 子育て支援・教育の充実

国は、保育ニーズの高まりや少子化に対応するため、受け皿の確保、幼児教育・保育の無償化等、子育て支援の充実に向けた取組を進めています。令和 2 年度に策定された「第 4 次少子化社会対策大綱」では、「結婚・子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境をつくる」、「多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える」等の考え方に基づいた少子化対策を進めていくこととされています。

学校教育では、学習指導要領が改訂され、新しい時代に必要となる資質・能力として、「学びに向かう力・人間性等」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」を育成するため、小学校の外国語教育の教科化等が行われ、「社会に開かれた教育課程」の実現、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善が求められています。

そして、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、1 人 1 台端末で学習に取り組む G I G A スクール構想が加速化され、ソーシャルディスタンスを確保する「3 5 人学級化」が小中学校で実現しました。

また、令和 3 年 1 月には、2020 年代を通じて目指すべき学校教育の姿として、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（答申）が取りまとめられました。

一方、本市においては、児童数が減少し、集団の中で切磋琢磨して個性や能力を伸ばしていく環境を提供することが難しくなっている中で、児童数の適正な規模や学校の適正な配置を進めていくため、教育環境や地域との連携のあり方について検討することが求められています。

(3) 地域経済及び雇用状況の変化

内閣府の「月例経済報告（令和 2 年 4 月）」では、全国的な状況として、大企業を中心に回復基調にあった景気が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年 4 月から急速に悪化し、極めて厳しい状況になったと報告しています。また、厚生労働省の「一般職業紹介状況（職

業安定業務統計)」によると、令和2年度平均の有効求人倍率は1.10倍で、リーマンショック以降上昇を続けていた倍率が大幅な減少に転じた状況となっています。一方で、感染予防を念頭に置いた行動が求められた結果としてオンライン環境が急速に普及し、リモートワークに見られるような、場所を問わない新たな働き方が広まりつつあります。

このような地域経済の転換期を迎える中、以前から中小企業においては、人手不足や労働生産性の伸び悩み、後継者難等を背景とした厳しい状況が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、状況は更に悪化し、地域経済を支える地域産業の活力向上が喫緊の課題となっています。

こうした状況の中であって、今後も一人ひとりが安心して働くことのできる、稼ぐ地域づくりを実現する取組、生産性の向上や多様な働き方を可能にする働き方改革が求められています。

(4) 安全・安心の意識の高まり

平成23年の東日本大震災や平成30年の西日本豪雨等、大規模な自然災害が頻発しています。また、南海トラフ地震の発生も懸念される中で、大きな被害をもたらす災害に対し、効果的な対策等を講じるとともに、市民一人ひとりの意識や対応力を高める取組が求められています。

また、令和2年には新型コロナウイルス感染症の流行により、社会経済情勢に大きな影響を及ぼすなど、安全・安心への関心は災害に留まらず、防犯や交通環境、施設やインフラの老朽化等、暮らしのあらゆる分野にも広がっています。

(5) 情報通信技術の進展

情報通信分野においては、国では新たにデジタル庁を新設して行政のデジタル化を推進することとしています。また、経済発展と社会的課題の解決を両立するSociety5.0として、IoTの有効活用により、市民の利便性の向上を図るとともに、付加価値産業の創出、AI(Artificial Intelligence)やRPA(Robotic Process Automation)の導入、第5世代移動通信システム(5G)を活用した地域活性化等、新たな政策を推進しています。

こうした状況の中、これらの技術によるスマート自治体の実現に努めるとともに、情報セキュリティ対策の強化を図りながら、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化等、市民の利便性向上に向けた取組を進めつつ、データ活用のための基盤整備やデジタル人材の育成など、まちづくりの新しい展開につなげていくための取組が求められています。

(6) 地球環境問題への対応

近年は、一人ひとりの生活や経済・社会システムによる地球環境への負荷はますます増大しており、気候変動に伴う異常気象と自然災害の多発、生物多様性の損失等が地球規模の課題となっています。これらの環境問題は、人々の生活に悪影響を及ぼすことが懸念され、温室効果ガスの削減に向けた脱炭素型社会の形成や資源・エネルギーの循環型社会の形成、生物多様性の保全が一層重要となっています。

このため、環境に配慮したまちづくりの推進に向けては、市民や企業等の多様な主体が協働し、脱炭素の好循環の構築が求められています。

(7) 自立のまちづくりの推進

全国的な人口減少、少子高齢化、自治会加入率の低下から、地域活動の担い手の減少による地域コミュニティの弱体化が課題となっており、地域の見守り活動や近隣の助け合い等、地域のつながりの大切さが再認識されています。

こうした状況の中、人々の価値観の多様化により、地域の課題やニーズは高度かつ複雑になり、地域の抱える課題を行政だけでなく、「自分ごと」として、市民、地域、団体、企業等、様々な主体で解決していく「公・共・私」の視点に立ったまちづくりが求められています。

行政においては、生産年齢人口の減少や地域経済の停滞に伴い、税収が減少傾向にある一方、社会保障関係経費は増加傾向にあり、厳しい財政状況が続くと見込まれます。持続可能なまちづくりの推進に当たっては、次の世代に負担を残すことのないよう、住民、地域、議会、行政が一体となって人口減少・経済規模の縮小時代を見据え、効率的に行財政運営を進めていくことが重要となります。また、資源に限られる中、必要な行政サービスを安定的かつ継続的に提供するため、フルセット主義からの脱却が求められる中で、近隣自治体と構成する圏域によって都市機能を維持していくための広域連携を推進することも重要となっています。

(8) SDGs（持続可能な開発目標）の推進

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上のだれ一人として取り残さないことを誓っており、日本においても官民を問わず、その取組が広がっています。

3. 本市の取組状況と今後の課題

後期基本計画策定に当たって本市の地域特性や社会の潮流を踏まえるとともに、本計画（前期基本計画）における取組状況を検証し、今後の本市のまちづくりにおいて解決していくべき課題を整理します。

（1）安全・安心なまちづくりへの挑戦

《自然環境》

自然環境の保全と活用、循環型社会の形成、脱炭素社会の実現を達成するため、本市の環境施策の基本となる「第2次たつの市環境基本計画」を策定（平成30年）しました。安全で快適な生活環境の創出に向け、今後も市民・事業者・行政が連携・協力した保全活動を推進する必要があります。

潤いと安らぎがあふれるまちづくりを推進するため、花と緑の協会等緑化活動団体の活動を支援しました。今後も引き続き、潤いと安らぎがあふれるまちづくりの更なる推進に向け、既存団体の活動継続に努め、緑化活動の広報を積極的に行っていく必要があります。

《循環型社会》

家庭系普通ごみ年間排出量は減少傾向にありますが、持続可能な循環型社会の実現を目指すため、資源ごみ分別の徹底やフードドライブ等、新たなごみ減量化の取組を市民・事業者・行政が一体となって推進していく必要があります。

たつのこどもエコクラブ等、未来を担う子どもたちが地球環境について学習する機会の充実に取り組みました。今後も環境保全意識の向上につなげる取組を引き続き行っていく必要があります。

《住環境》

市営住宅について、市営住宅長寿命化計画に基づき計画的に改修や建替計画を進めています。また、民間住宅については、所有者が行う耐震診断や耐震化への取組を支援しています。定住促進住宅取得奨励金制度の実施により、子育て世代の転入超過に一定の成果が見られます。

空き家対策では、総合窓口として、空き家相談センターを開設し、住宅管理の専門家と連携することで空き家の有効活用を促進しています。しかしながら、今後も空き家が増加すると予想されるため、空き家の発生抑制及び適正管理についてより一層啓発していくとともに、管理不全状態の空き家に対して、所有者への助言・指導等を行っていく必要があります。

市民の身近なレクリエーションの場として有効に活用できるよう、都市公園の日常点検を行い、安全対策を徹底しました。都市公園について、市民アンケートでは公園施設の充実の要望が多くなっており、子どもから高齢者まで、すべての人が気軽に利用できるよう整備していく必要があります。

地域特性を生かした土地利用については、各地域の市街化区域を中心としたまちづくりを推進し、市街化調整区域については、市民主体のまちづくりを進めていく必要があります。また、交通結節点としての機能強化や地域の活性化に向けて、東薺崎駅周辺については概ね整備が完了しましたが、竜野駅周辺については引き続き整備を進めていく必要があります。

上下水道の整備について、安全で良質な水を供給する高度浄水処理施設の整備や公共下水道の整備等を実施しました。下水道事業について、公営企業会計を適用し、独立採算による経営を目指しています。上下水道事業共に、人口減少等の影響による収益減少に対応し、持続可能な事業運営ができるよう取り組む必要があります。

《交通環境》

安全で便利な交通環境を整備するため、揖龍南北幹線等の幹線道路の整備による広域的な道路ネットワークの強化・充実、計画的な道路点検、修繕を実施しました。今後も継続して幹線道路の整備や橋りょう等道路構造物の点検結果に基づき、計画的かつ効率的な整備を推進する必要があります。

市民の移動を支える公共交通について、市民乗り合いタクシーの運行を開始し、公共交通空白地域を解消しました。また、地域の基幹公共交通の役割を担うＪＲ姫新線については、年間乗車人数 300 万人を目標に事業の推進に努めました。今後も継続して乗車人数を維持し、利便性と快適性の更なる向上に取り組む必要があります。

《安全・安心》

多発する自然災害から命を守り、被害を軽減するため、防災ハザードマップや防災行政無線の更新や市内事業者等と災害時における協力体制を確保する協定を締結するとともに、避難所への防災倉庫の新設や備蓄食料等を配備するなど、災害対応力を強化しました。新型コロナウイルス感染症等の感染症に対応した避難所運営では、従来の受入計画では収容不足となるおそれがあるため、在宅避難や分散避難も含めた検討を呼びかける必要があります。

防犯対策については、防犯カメラの設置を推進し、地域の見守り力の向上を図りました。

消防・救急体制について、消防用車両及び消防団車庫・車両を計画的に更新するとともに、地域における自主的な防災活動を支援し、消防力の強化を図りました。今後も計画的な車両・車庫整備に努めるとともに、市民と協働した、消防・救急体制の連携強化に取り組む必要があります。

交通安全対策について、通行上危険な箇所の交通安全施設の整備、通学路の安全確保を図るため、グリーンベルトを整備するとともに、交通安全啓発活動に取り組みました。今後も継続して交通安全施設を整備するとともに、交通安全は市民一人ひとりが取り組まなければならない重要な課題であり、関係機関等と連携した交通安全啓発活動等、地域ぐるみで交通安全意識を高める必要があります。

多様化・複雑化する消費者トラブル解決のため、消費生活センターを設置しました。消費者としての正しい知識の習得の重要性が増す中、市民向けの講座や啓発を行い、悪質商法等の被害防止に取り組む必要があります。

(2) やすらぎづくりへの挑戦

《結婚・子育て支援》

婚活イベントの情報提供を行うなどの支援の充実を図りました。未婚化・晩婚化が急速に進行する中で、引き続き出会いを支援する必要があります。

安心して子育てできるよう、妊娠期から子育て期にわたり、経済的支援や母子健康支援センター「はつらつ」、子育て応援センター「すくすく」の開設による相談体制の充実等、幅広い子育て支援施策を展開してきました。核家族化、共働き家庭、ひとり親家庭等の割合の増加等、子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、子育ての孤立感、不安感、負担感を持つ家庭が増えないよう、子育て支援施策の情報発信や切れ目ない相談・支援体制の充実、地域における養育力の強化を図る必要があります。

就学前児童について、令和3年度までに公立11園・私立8園の認定こども園化が完了しました。共働き家庭の増加、幼児教育・保育の無償化により入園希望者が増加しています。令和3年4月現在、待機児童は発生していませんが、保育士の確保と資質の向上に努め、幼児教育・保育環境の充実を図る必要があります。

《高齢者福祉・障害者福祉》

高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らしていけるよう、高齢者福祉サービス・介護予防サービス・介護保険サービス等の充実を図るとともに、高齢者の生きがいづくりや社会参加に対する活動支援を実施してきました。また、ふくし総合相談窓口を開設し、福祉相談のワンストップ化の体制を整備しました。今後も、高齢者・障害者・子ども等、すべての人々が、一人ひとりの暮らしと生きがいを共に創り、高め合う社会（地域共生社会）の実現と地域における包括的な支援体制の充実を図る必要があります。

《保健・医療》

市民が生涯を健やかに過ごせるよう、妊婦や母子の健康づくりへの支援、市民総合健診をはじめとした成人・高齢者の健康づくりへの支援、食育の推進等に取り組みました。

安定的かつ持続可能な形で医療サービスを提供するため、たつの市民病院を地方独立行政法人へ移行しました。

新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の予防対策・蔓延防止対策を実施しました。

本市の平均寿命が全国の平均寿命を下回っていることを踏まえ、保健・医療・福祉部門が連携し、健康寿命の延伸に向けた健康づくりの取組を推進していく必要があります。

(3) ひとづくりへの挑戦

《幼児教育・学校教育》

共働き家庭の増加、幼児教育・保育の無償化により入園希望者の割合が増加していますが、令和3年度までに公立11園・私立8園の幼保連携型認定こども園が整備されました。令和3年4月現在、待機児童は発生していませんが、保育士の確保と資質の向上に努め、幼児教育・保育環境の充実を図る必要があります。

小・中学校の教育については、小中連携を図る小・中学生の交流活動を積極的に進めてきましたが、今後は、小・中学校で目指す子ども像を共有し、小学1年から中学3年までの9年間を見通した教育課程を編成するなど「小中一貫教育」の取組を積極的に推進する必要があります。その中で、小中一貫校の導入を検討する必要があります。

小・中学校の教育環境については、国が提唱する「GIGAスクール構想」の推進に基づき、安全で安定したネットワーク環境を整備し、児童・生徒に1人1台端末を導入しました。

また、全普通教室等への空調機器の整備や危険ブロック塀の撤去をはじめ、老朽化した学校施設を計画的に整備しました。今後も、定期的な点検と計画的な施設整備による維持管理を行い、安全・安心で快適な教育環境を確保する必要があります。

学校給食については、安全・安心でおいしい給食を提供するとともに、食育にも取り組んでいるほか、中学校給食費を無償化し、新たな学校給食センターの整備を進めています。

児童の健全育成を目的とした放課後児童クラブの充実に取り組みました。また、青少年を取り巻く環境の変化に対応するため、引き続き情報モラルの向上と青少年を守る環境づくりに努める必要があります。

少子化により児童・生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでいます。室津小学校と御津小学校の統合により適正規模の教育環境を提供することで、教育環境の充実を図ることができました。今後も、未来を担う子どもたちの望ましい教育環境を確保するため、学校の適正規模・適正配置を検討していく必要があります。

《生涯学習・スポーツ》

市民に教養、趣味等の学習の機会を提供するため、各公民館で生涯学習講座を実施しました。また、安全かつ安心して利用することができるよう、老朽化した公民館施設を計画的に整備しました。だれもが学習活動に参加できるよう、魅力ある学習プログラムの充実に努めるとともに、安全で快適に生涯学習活動ができる環境整備に取り組む必要があります。

図書館について、蔵書を充実するとともに、インターネットを通じた電子書籍の貸出サービスの開始やマイナンバーカードに貸出券の機能を付加するなど、市民サービス向上を図りました。読書の推進に加え、各事業を通じて、利用者同士のコミュニケーションの活性化を実現できる環境づくりに取り組む必要があります。他市町との広域連携による相互利用等を考慮しつつ、有効な活用策や統廃合等を検討する必要があります。

スポーツ・レクリエーション活動を推進するため、播磨科学公園都市圏域定住自立圏構成市町と連携したスポーツ体験イベントやトップアスリートによるスポーツ体験等を実施してきました。市民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめる環境づくりに努めるとともに、体育施設の整備及び計画的な施設の再配置を検討する必要があります。

文化財等の保全、特別展示の開催等による歴史的遺産の魅力を発信するとともに、美術展や文化祭の開催等を通じ、芸術文化活動の振興に努めました。歴史的景観形成地区の龍野地区の一部が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことや、室津地区が日本遺産に認定されたことを受けて、より一層、歴史的建造物や町並み等の保存と活用を図るとともに、各種イベント等を通じて、市全体の芸術文化振興に努める必要があります。

《人権教育》

部落差別解消推進条例を制定し、部落差別のない社会の実現に向け、研修会や学習会の機会を設け、人権教育・啓発の充実を図っています。未だに人権問題が発生している現状があり、今後も人権教育・啓発活動を継続していく必要があります。男女共同参画社会の形成に向け、特に女性が活躍しやすい地域社会となるよう、市民への意識の啓発と醸成を促す必要があります。

(4) にぎわいづくりへの挑戦

《農林業》

農業生産力の向上及び農村環境の保全のため、農地や農業用施設生産基盤を整備するとともに、経営安定化を図るための農地の集積・集約化及び農作物のブランド化に取り組みました。一方で、集落営農組織や新規就農者に対し支援していますが、農業者の高齢化等による担い手不足の解決に向けて引き続き取り組む必要があります。

また、有害鳥獣による農作物被害を低減するため、防護柵の設置や捕獲活動に対して支援しました。今後も、地域農業の持続・発展に向けた取組を推進するとともに、消費拡大のための積極的なPRに取り組む必要があります。

《水産業》

水産物の安定的供給を図るため、漁港や海岸保全施設を整備するとともに、担い手の育成やイベントの開催を通じ、水産物のブランド化と販路拡大に取り組みました。今後もつくり育てる漁業・ブランドの確立・6次産業化の推進により、水産業の振興と地域の活性化を図る必要があります。

《観光業》

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区においては観光駐車場の整備やARアプリの活用等、また、日本遺産に認定された室津地区においては歴史的建造物を活用したイベントの実施により、観光誘客に取り組みました。地場産業をはじめとする本市の多様な地域資源の魅力の発信と市民と観光客との交流を促進するため、旧龍野醤油同業組合事務所と醸造工場を醤油の郷大正口マン館とアンテナショップとして整備しました。

また、播磨科学公園都市圏域定住自立圏や連携中枢都市圏域での連携を図り、圏域観光ガイドブックやARアプリ、バーチャル観光を活用し、圏域の魅力を発信しました。

今後は、ポストコロナ時代を見据え、マイクロツーリズムの推進や新たな観光資源の発掘とホームページやSNS等を活用した効率的な情報発信による観光客誘致に取り組む必要があります。

《商工業》

企業立地の優遇措置、創業に対する支援制度による産業振興及び地域の活性化の取組や市内企業ガイドの作成、就職説明会の開催により、地元就職希望者を支援しました。

今後は、地場産品のブランド化の推進や新たな販路拡大を図るためのPR活動に取り組むとともに、企業誘致できる市内の未利用地が少ないことから、規制緩和等に取り組む必要があります。

(5) ふるさとづくりへの挑戦

《まちづくりの基盤強化》

地域課題を地域で解決する自立のまちづくり活動、地域の活力を維持・向上するための地域コミュニティ活動の支援に取り組みました。

平成 27 年度に策定した「まち未来創生戦略」に基づき、移住定住促進事業、雇用創出、子育て支援事業、観光誘客の推進をはじめとする人口減少対策及び地域活性化対策に取り組みました。

さらに、大学生によるアイデアコンペの開催により、大学に集積された知識や次代を担う世代の視点を生かした新たな政策の提言や交流・関係人口の創出に取り組みました。

今後も、地域資源等を生かした各種イベントや効果的な情報発信により、地域の魅力を育み、新しいひとの流れをつくることが重要です。また、多くの人に「訪れたい」「住みたい」と思われるまちを目指し、シティプロモーションの更なる推進に努める必要があります。

《交流促進》

人口減少や少子高齢化等の社会変化に伴って、地縁的なつながりの希薄化や地域コミュニティが衰退傾向にある中、外国人を含め、一人ひとりが地域の担い手として積極的にまちづくりに参加し、すべての人が活躍できる地域づくりに取り組んでいます。また、市内在住外国人との交流イベントや将来を担う子どもたちの国際感覚を養う取組を行っています。

多文化共生サポートセンターの相談体制を強化し、生活情報の提供や様々な相談に対応していますが、今後、地域ぐるみで多文化共生社会の構築が求められている中、市民一人ひとりが異なる文化への理解を深め、外国人にも住みやすいまちづくりに取り組んでいく必要があります。

市民が直接行政や市長と対話できる「市長対話広場事業」等を通じて、市民からの提案等を市政運営に反映するとともに、SNS等を活用し、市民が市政情報を容易に入手できるよう取り組みました。今後も、市民が参画するとともに、公共私が多様な主体が連携し、持続可能なまちづくりを進め、高度化・多様化する地域課題に対応していく必要があります。

《行財政運営》

行政改革推進実施計画に基づき、下水道使用料の改定や市民病院の地方独立行政法人移行等不断の行財政改革に取り組み、持続可能な自治体経営に努めました。また、平成 29 年に「たつの市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後増加する公共施設等の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる中、公共施設等のあり方を検討していますが、今後の人口減少・少子高齢化による需給バランスの変化等に対応するため、施設の長寿命化や統廃合、複合化や機能集約等、適切な管理に取り組む必要があります。

「職員定員適正化計画」に基づき、限られた職員数で効率的な行政運営が進められていますが、再任用職員の任用延長や今後の定年延長を見据えた定員管理に取り組む必要があります。

キャッシュレス化が進む中、スマートフォンの決済アプリを利用した市税等や上下水道料金の納付及び各施設の使用料や市役所窓口での証明書の発行手数料の支払を可能にするとともに、証明書発行用端末を本庁及び各総合支所に設置し、端末で発行した場合の手料を減額し、マイナンバーカードを利用した証明書交付サービスを拡充し、行政サービスの利便性向上に取り組みました。

今後も、持続可能な形で行政サービスを提供するため、様々な ICT 技術を活用し、マイナンバーカードを利用した行政手続きのオンライン化をはじめとするスマート自治体の実現に取り組む必要があります。

市議会議員及び市幹部職員に貸与したタブレット端末を活用し、ペーパーレス会議を実施するとともに、情報の共有化、迅速化、事務の効率化に取り組んでいます。今後も庁内業務のデジタル化を検討し、業務量の削減及び業務の生産性を高め、市民サービスの向上につなげていく必要があります。

播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき、圏域の活性化を中心市として牽引しています。

播磨科学公園都市圏域定住自立圏や播磨圏域連携中枢都市圏を組織し、各行政分野で構成市町と連携を図り、効率的かつ効果的な事業実施に取り組んでいます。今後も、各市町の主体性を尊重しつつ、圏域思考に基づく相互連携を一層強化して圏域活動の維持に努め、持続可能な圏域を実現していく必要があります。

4. 市民からみたたつの市の状況

本計画の改定に当たって、市民参加の機会としてアンケート調査と市民ワークショップを実施し、これまでの取組の検証と今後の課題を整理します。

(1) 市民意識調査

調 査 概 要

▼調査目的

後期基本計画の策定に際し、EBPM（エビデンスに基づいた政策立案）の考え方に基づき、市民参加の機会と前期基本計画の実施状況に対する意見や市民ニーズなどを把握するために本調査を実施しました。

▼調査時期

令和3年5月26日～6月9日

▼調査対象者

市内在住の18歳以上の方 2,000名（無作為抽出）

▼調査方法

郵送によるアンケート調査、調査票もしくはWEBを通じての回答

▼回収結果（速報値）

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
2,000	961	48.1%	961	48.1%

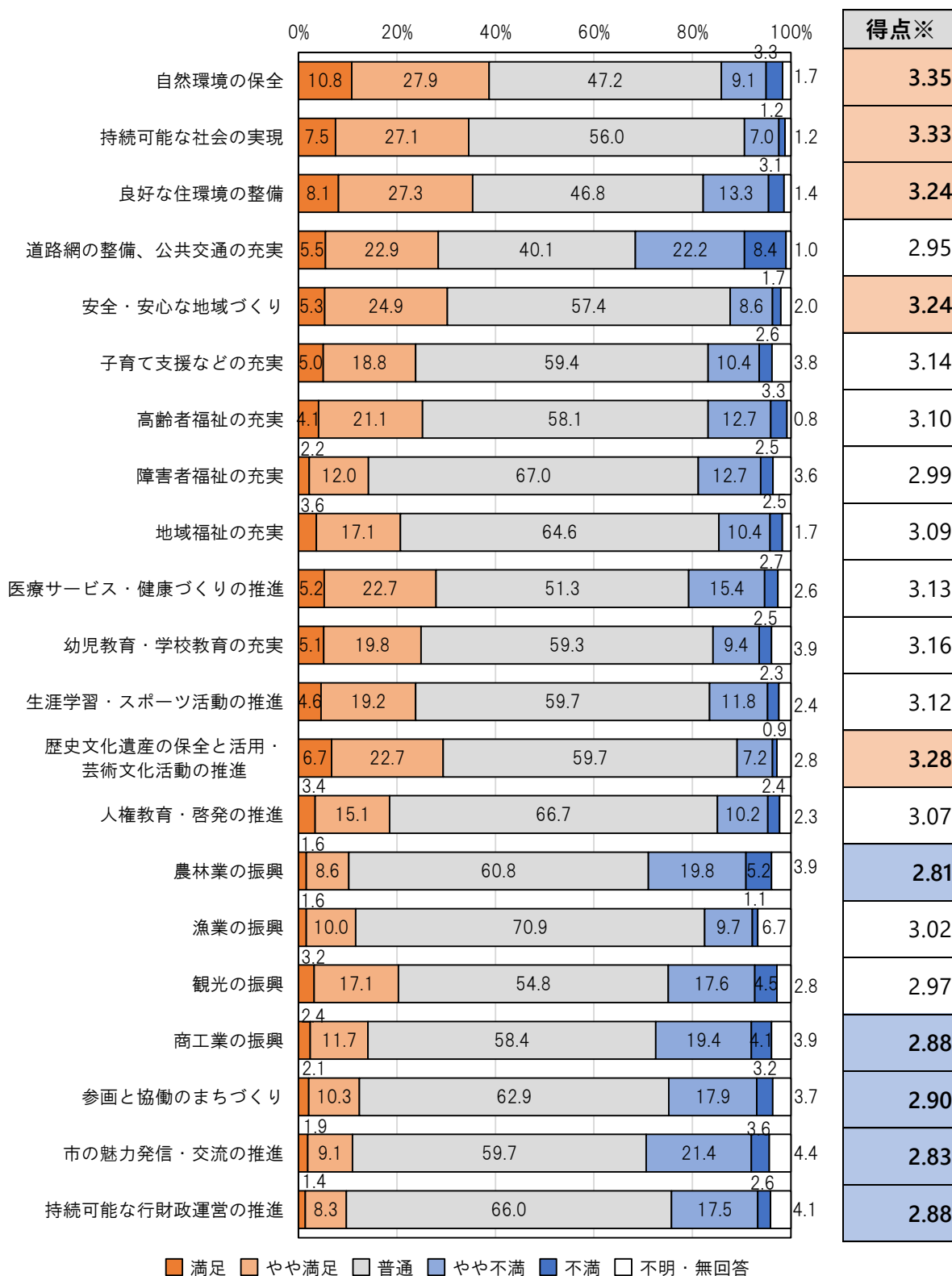
本調査の標準誤差について

「標準誤差」とは、アンケート調査の精度に関する考え方で、「得られた調査結果が、母集団全体に対して実施した場合の調査結果と、どれだけの誤差が生じる可能性があるか」を示すものです。一般的な社会調査では、標準誤差を±5%とし、この精度を実現できるだけの回収数を達成する必要があります。

たつの市の総人口は令和3年3月31日時点で75,166人であり、標準誤差を±5%とする場合、必要な調査票回収数は382件となることから、本調査は統計的にみて信頼性のあるものであるといえます。

▼市民の施策に対する満足度

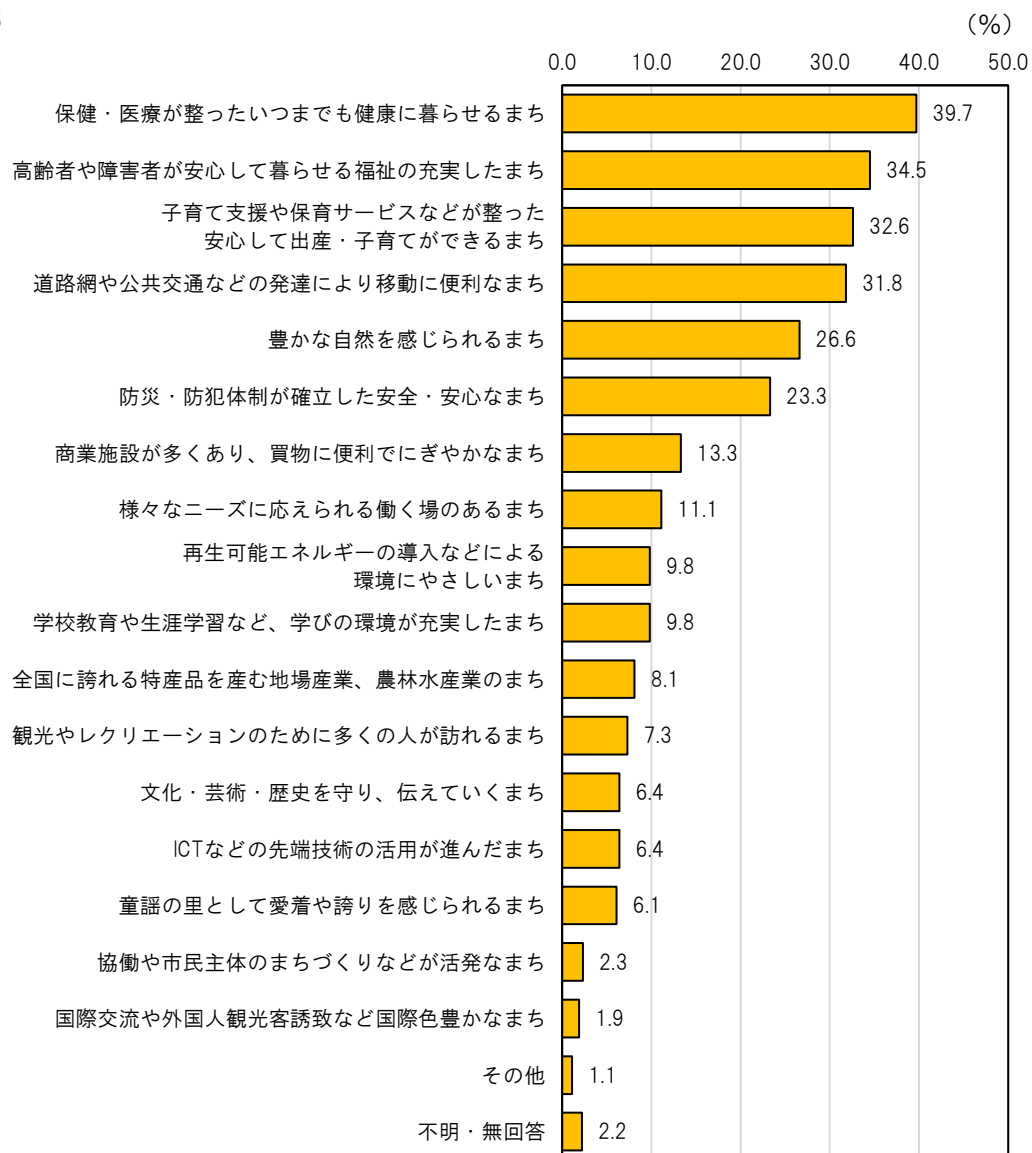
「自然環境の保全」や「良好な住環境の整備」、「安全・安心な地域づくり」など、快適に暮らすことのできる環境づくりに対しての市民満足度が高くなっており、まちの強みであることがわかります。一方で、「農林業の振興」や「商工業の振興」、「市の魅力発信・交流の推進」など、まちのにぎわい創出に対しての市民満足度が低くなっており、今後の課題であることがわかります。



※得点は5点満点の加重平均によって算出しています。また、上位5項目を赤、下位5項目を青で表示しています。

▼たつの市が将来どのようなまちになってほしいか

N=916



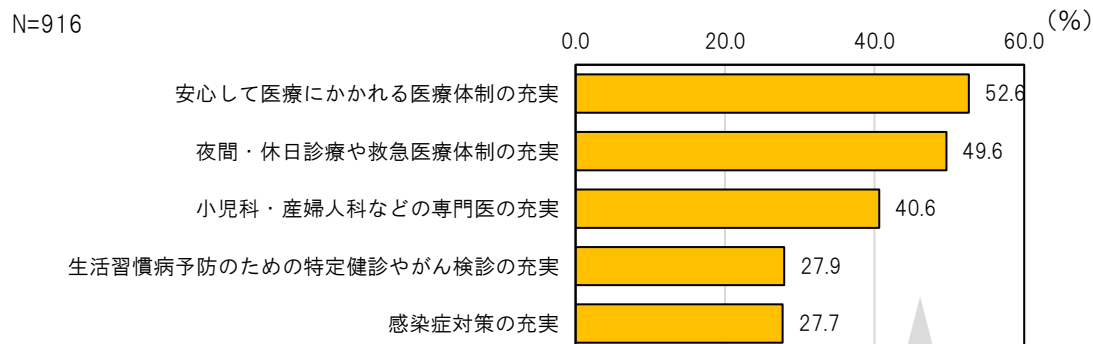
これからのまちづくりについて

まちのにぎわい創出や、いつまでも安心して暮らせる地域づくりが求められています。

- 健康・医療や福祉、子育て支援などを求める声が多くなっています。特に健康・医療に関しては、新型コロナウイルス感染症による影響がうかがわれる中で、地域医療体制の確保や感染症対策の強化が必要であるとの意見が多くみられます。また、SDGsについても、健康・福祉を重要と認識している方が多く、今後も安心して暮らせるまちであるため、医療や福祉、保育サービスを安定して提供できる体制づくりに注力していくことが求められています。
- 農林業や商工業の振興、まちの魅力発信についての満足度が低くなっています。全ての年齢層において雇用創出に注力する必要性を強く認識しているほか、若い世代では商業施設誘致など市内でのにぎわい創出を求める意見が多くみられるため、人口の流出を抑制するという視点からも、市内産業・商工業の活性化は今後の課題です。また、市民満足度の高さからもうかがえるように、歴史文化遺産を誇りに思う人が多くみられる一方、魅力ある地域資源が十分に活用できておらず、PRも十分ではないと認識している人も多くいることが伺えます。たつの市に訪れる交流人口の増加だけでなく、たつの市が好きになり、たつの市に関わりたいと思う、関係人口づくりやまちのファンづくりという観点からも、シティプロモーションの戦略的な推進が重要となります。
- 行財政運営や市民参画に対する満足度も低くなっています。行財政運営に関しては、今後の人口減少、少子高齢化による税収の減や社会保障費の増が懸念される中、現在の行政サービスを維持していくために、事業の見直し、利用者負担の適正化、民間委託等による効率化及び広域連携の推進による組織体制の強化について重点的に取り組むことを求める意見がみられます。また、デジタル化の推進による行政サービスの利便性向上を望む声もみられます。市民参画については、新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減少や、活動・交流の場の縮小が満足度低下の背景にあることが考えられることから、アフターコロナにおいて再び活発な地域活動が展開されるよう、支援体制を強化することが求められています。
- 一方で、自然環境の保全や良好な住環境の整備、安全・安心な地域づくりなどの市民満足度は特に高く、住み心地のよいまちとして認識されていることがうかがえます。たつの市のアイデンティティでもある、山林や海などの自然を守る取り組みや、地域での防災・防犯対策の強化が強く求められているなかで、引き続き地域と行政が連携しながら、誰もが地域で安らかに暮らし続けられるまちづくりを進めていくことが重要となります。

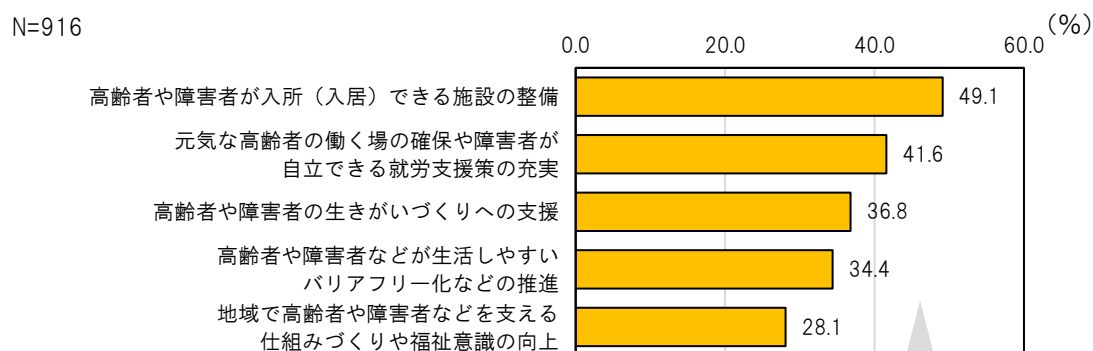
▼分野ごとの今後、力を入れるべき取組（上位5項目）

【健康・医療分野】



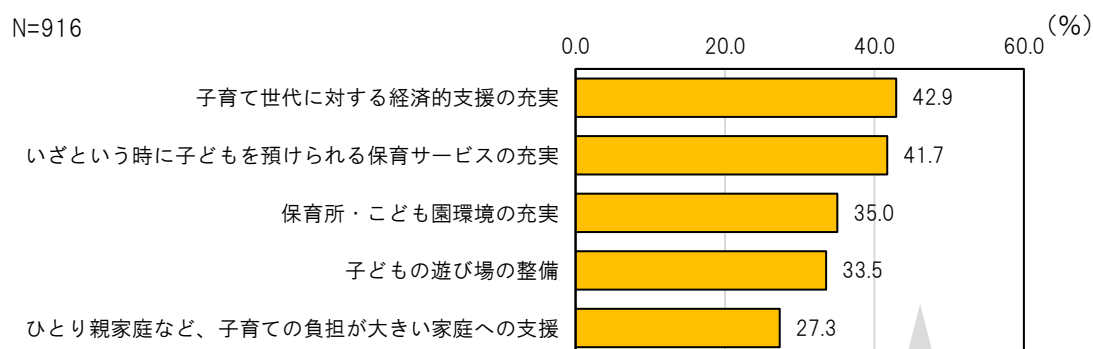
いつでも安心してサービスを受けることのできる医療体制づくりが強く求められています。コロナ禍においても市民の医療に対するニーズに適切に対応できるよう、たつの市民病院を中心とした地域医療体制の維持や医師会等と連携した医療提供体制の充実に取り組む必要があります。

【福祉分野】



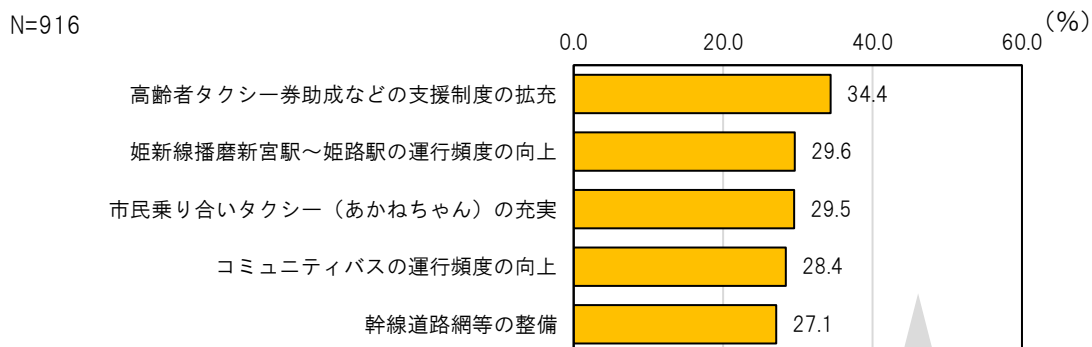
入所施設の整備に加え、就労支援や生きがいがづくりなど、自分らしく生活できる地域づくりが強く求められています。サービス提供のための基盤強化を進めるだけでなく、関係組織・団体が連携し、社会参加も含めてサポートできる体制づくりに取り組む必要があります。

【子育て分野】



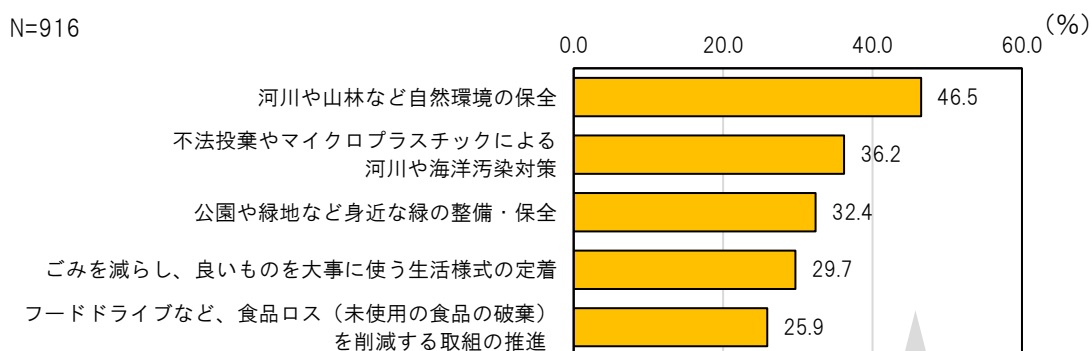
経済的な支援や、緊急時でも子どもを預けられるサービスの充実など、子育てにかかる負担の軽減が強く求められています。引き続き各種経済的支援を進めていくとともに、多様化する保育ニーズに対応できる環境づくりに取り組む必要があります。

【公共交通分野】



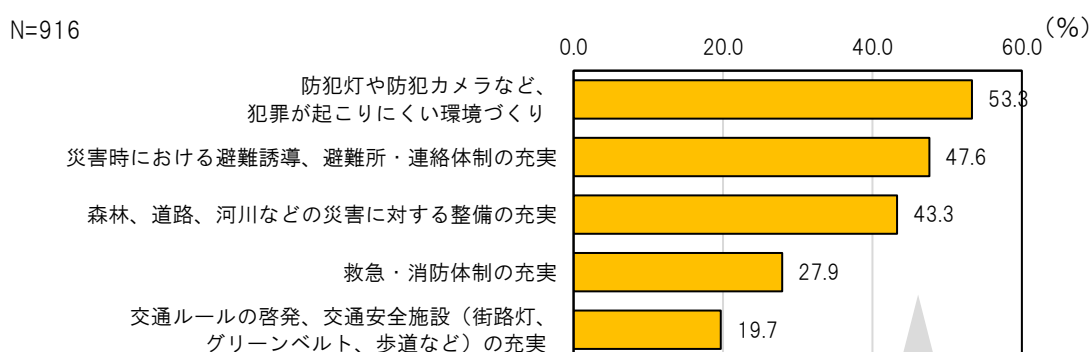
高齢者など交通弱者への支援や、近隣都市にアクセスしやすい環境づくりが求められています。デマンド交通の充実によるニーズへの対応や、ＪＲ等の利便性向上に向けた活動や市内交通のネットワーク化に取り組む必要があります。

【環境分野】



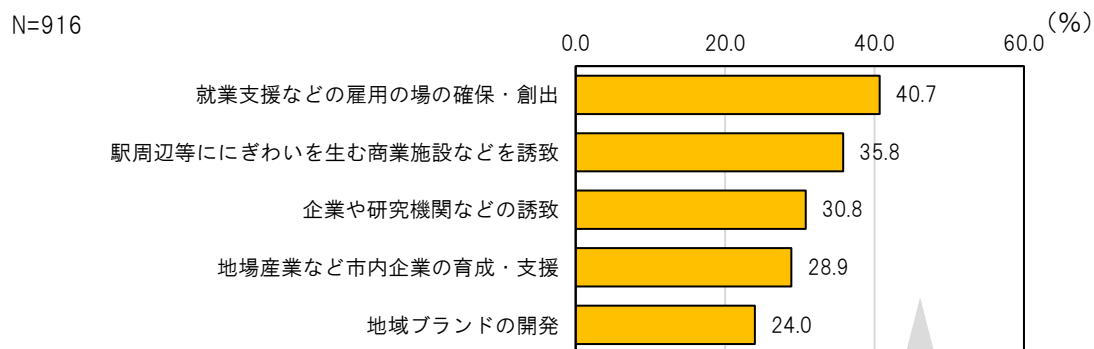
河川や山林、海といった本市の豊かな自然環境を守る取り組みが強く求められています。引き続き、河川や山林の整備を進めるとともに、不法投棄防止のための啓発や環境パトロールの強化等に取り組む必要があります。

【安全・安心分野】



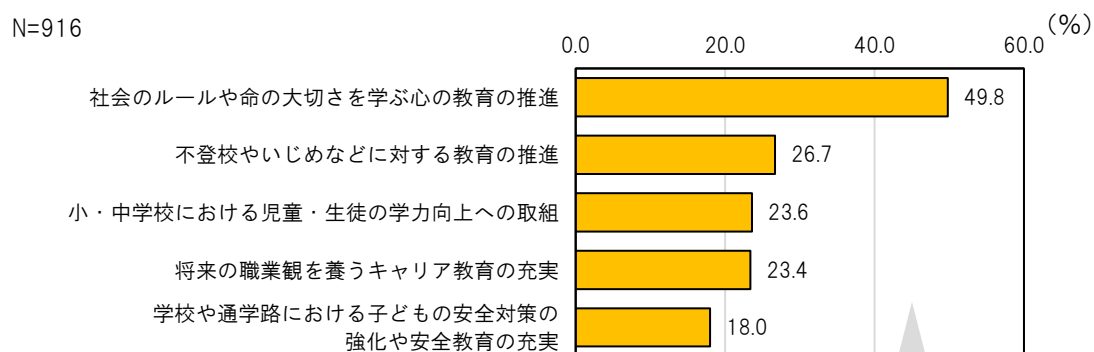
犯罪の発生防止や災害時に迅速に対応できる環境づくりが強く求められています。自助・共助・公助の考え方を踏まえつつ、地域主体での防災・防犯活動の一層の促進を図るため、連携体制の強化や支援の充実に取り組む必要があります。

【産業分野】



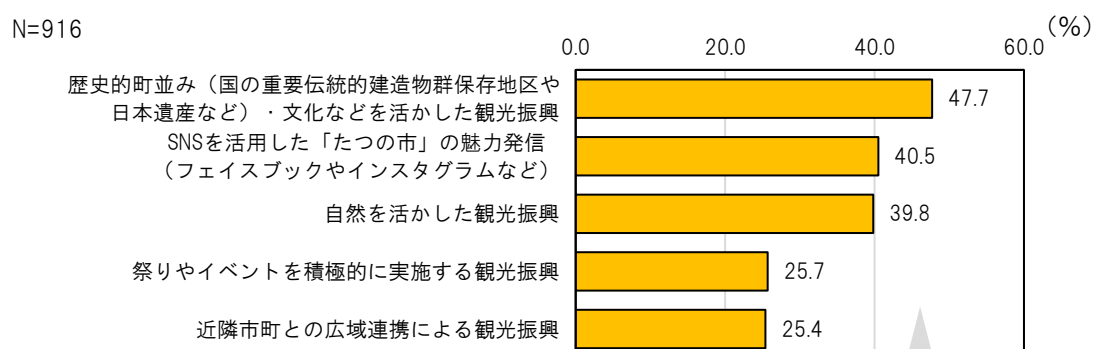
雇用機会の確保やにぎわい創出のための施設・企業誘致が強く求められています。相談支援等による就労支援に加え、各種優遇制度のPR、近隣市町との連携などによる企業誘致の促進に取り組む必要があります。

【教育・人権分野】



社会のルールや命の大切さを学ぶ、道徳教育の充実が強く求められています。多様な価値観にふれ、互いを尊重する心を育む教育を充実させるとともに、地域や家庭、関係機関とも連携した、子どもの健全な成長を支えることのできる体制づくりに取り組む必要があります。

【観光分野】



本市の歴史や自然などの地域資源を活用するとともに、SNS等を活用してPRしていくことが強く求められています。既存の資源のブラッシュアップを図りつつ、様々な機会を活用した、積極的なまちの魅力発信に取り組む必要があります。

(2) 市民ワークショップ

本計画の見直し検討のために、将来（2040 年頃）に迫り来る社会課題（急速な人口減少・高齢化）がある中で、住み続けたい“たつの市”であるためにはどのような行政サービスが必要か、市民から意見を聴く場として「市民ワークショップ」を開催しました。

開催概要

▼開催日時

令和2年12月6日（日） 10時～12時

▼参加人数

市内に在住又は通勤・通学している高校生以上 50 歳未満の方 24 名

▼プログラム

①議題の共有

総務省・自治体戦略 2040 構想研究会の報告に基づき、「社会課題」と「2040 年頃に想定される行政課題～人口減少下において満足度の高い人生と人間を尊重する社会をどう構築するか～」を共有するため、2040 年までに想定される様々な課題を紹介し、メンバー間で議題を共有しました。

②グループワークの実施

模造紙と付箋を活用し、職員数が今の半数になったとしても持続可能な形で住民サービスを提供することができる自治体であるために、「行政サービスのあり方」を検討しました。

③グループ間での意見共有

班を移動して、別の班との情報交換を行いました。その後、足りない情報や共感できる情報を模造紙に貼り付けました。

④プレゼンテーション

各グループで議論の内容（目立った意見、グループの特徴的な点等）を発表しました。



▼市民ワークショップで挙げられたご意見の紹介

見直すべき（減らしてもよい）と考える行政サービス

- 支所や施設：再編集（リモートも活用）
- 公共施設（公民館や図書館）：老朽化した公共施設は集約して維持費を減少させる。合併で多すぎると思うので、こちらには図書館、こちらにはスポーツ施設といったふうに集約を検討。不要な施設は民間に売却して資金を捻出。
- 公民館、公共施設：合併してもそのまま使っているので、不要なものはつぶして芝生のグラウンドなど管理しやすく必要とされている施設に変更する。
- 花火：あちこちでやっているのをまとめる、4年に一度にして大きくやるのもいい。
- 調整区域は活用しづらいので、見直し
- 小学校：小中一貫にする
- コンパクトシティを目指して駅周辺に施設を集約

現状維持又は拡充すべきと考える行政サービス

- 地域と学校の協働でコミュニティ・スクールをつくる
- 産婦人科も必要だが、育てる段階で検診事業の拡充、病児保育の充実
- 保育時間の延長：子育て世代の共働き世帯を支援するため
- 企業誘致、大学や学校の誘致
- 空き家を活用し、ゲストハウスやたつの市をお試ししていただく →人口減少に対応
- ブランディング：たつの市のキーワードは「ほどよい田舎」。海もあるし山もある、ほかの市町と差別化する必要がある。
- ICTの活用：福祉×ICT、学校教育×ICT（プログラミング教育）など
- 自転車などモビリティの活用検討 →まちを楽しむために
- 広報の見直し：紙で高齢者向け、ネットで若者向けなど

民間委託・市民が担っていくべきと考える行政サービス

- 自治会などと協働してパークマネジメントを進める
- 図書館などの使い方を再認識してコミュニティ活動拠点にする
- 図書館：図書館には「交流の場」「子どもの遊ぶ場」機能があることに着目、図書館という物自体をなくすというわけではなく、中のもの、人などを民間委託するなどで対応するという考え方に至った。
- 揖保乃糸、皮革などの名物産業を SNS を活用し、意図を持った投稿が必要。
- 病院と買い物が一緒にできる複合施設
- 空き家活用：空き家＋農地、テレワーク移住の推進など
- ふれあい広場など、人とのコミュニケーションを促す場
- 交流の場、子どもの遊ぶ場

第2編

基本構想

第 1 章 まちづくりの将来像

第1次たつの市総合計画においては、「自然と歴史と先端科学技術が調和し一人ひとりが輝くまち」をまちづくりの将来像とし、新市発足後 10 年間は、それぞれの旧市町が有する個性や特色ある貴重な資源を生かしつつ、新たつの市としての一体感の醸成と市町間の調和を図るまちづくりを進めてきました。

そして今、たつの市を更に一步先へ進めるため、市民主役の理念に立ちつつ、公民協働を一層深化させ、「調和の 10 年」から「挑戦の 10 年」へと新たなステージの扉を開く時なのです。

これからの「挑戦の 10 年」が山・川・海が織りなす豊かな自然を地域の宝として磨き、その輝きを生かすことに努めるとともに、先人が築き上げてきた伝統文化を守りながら、現代を生きる私たちが、新たな歴史を刻むことで更に魅力を高め、先端科学が生み出す技術革新によって地域経済を活性化し、更なる振興を図ります。

このように、たつの市の地域資源の強みを十分に活用しながら、新たな施策をプロデュースする「地域力」を想像し、市民、行政、団体、企業等、あらゆる主体が連携・協働し、夢ある未来を紡いでいくまちづくりに挑戦します。

そして、市民に自信と希望があふれ、ふるさとへの愛着と誇りが満ち、すべての人々が住み続けたい、住んでみたいと実感できる「たつの」を目指し、まちの将来像を次のように掲げます。

まちの将来像

みんなで創る 快適実感都市「たつの」

これからのまちづくりは行政だけでは進められません。市民自らが「こんなまちにしたい」という希望を持ち、自信を持って主体的に参加することが不可欠です。

また、市民、行政だけでなく、企業や団体等を含め、まちづくりに関わる多様な主体それぞれが自立しつつ、ときに連携・協働しながらまちづくりを進めていくことが重要です。

「自信と希望に満ちた“たつの市”を目指して、市民一人ひとりが輝く自立・連携・協働のまちづくり」を理念として、『みんなで創る 快適実感都市「たつの」』の実現を目指します。

第2章 まちづくりの基本目標

1 安全・安心なまちづくりへの挑戦

自然を守り、だれもが安全に安心して住み続けたいなるまち

清流揖保川、美しい瀬戸内海、緑豊かな山林、肥沃な土壌は、かけがえのない貴重な資源です。その恵まれた自然環境や地域の特性を生かしながら、身近な生活環境や生物多様性の保全を図り、自然と共生する社会の実現に努めます。循環型社会の構築においては、リフューズ、リデュース、リユース、リペア、リサイクルの促進に努めるとともに、再生可能エネルギーの導入促進、カーボンニュートラルの推進等、脱炭素社会への取組による地球温暖化の防止を推進することにより、環境への負荷が少ない持続可能な社会の実現を進めます。

また、だれもが安心して生活できる住環境の整備や雨水浸水対策に取り組み、交通の利便性を高めるための道路整備、道路ストックの計画的な点検、修繕による健全性の確保、公共交通の充実を図るとともに、地域の特性を生かし、人口減少や少子高齢化に対応できるコンパクトで持続可能なまちづくりを目指します。

更に、市民・事業者・行政が一体となった防災体制を強化し、災害に強い基盤整備に努めるとともに、犯罪から市民の生命・財産を守る安全・安心なまちづくりを目指します。

2 やすらぎづくりへの挑戦

子育てにやさしく、すべての市民が健やかに暮らせるまち

市全体で結婚を希望する男女の出会いを支援する機運を醸成し、行政をはじめ地域社会全体が協力し、子育て支援を充実するとともに、妊娠から子育てまでの切れ目のない総合的な支援を行うための体制の充実を図ります。

一方、複合的な課題を抱える高齢者、障害者、児童、生活困窮者、制度の狭間の課題を抱える人等、地域に暮らすすべての市民が必要とする支援が受けられる包括的な支援体制を構築するとともに、市民主体の福祉コミュニティの形成を推進し、だれもが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちづくりを進めます。

更に、心身の健康づくりの支援や疾病予防、感染症対策に取り組むとともに、安心できる医療体制の充実を図り、市民が健やかに暮らすことのできるまちづくりを目指します。

3 ひとづくりへの挑戦

学都たつのの輝きと歴史・文化が薫るまち

幼児教育においては、教育・保育の一体的提供や小学校への円滑な接続に取り組み、すべての子どもがいきいきと育つ環境づくりを進めます。

義務教育においては、小中一貫教育の導入、学力の確立に向けた基礎学力向上に取り組むほか、情報教育（ＩＣＴ活用）の一層の推進を図り、豊かな心を育むための心の教育の推進、生きる力を育てるキャリア教育・国際理解教育を推進するとともに、学校給食の充実を図ります。

また、だれもが生涯にわたり、学習することができる機会や場の充実に努めるとともに、スポーツ・レクリエーションに気軽に親しむための環境整備や活動を進めます。

更に、市独自の歴史・文化は、ひとづくりにおいて貴重な財産であることから、まちづくりに生かしながら保存・継承に努め、将来に引き継いでいきます。

まちづくりの主役となる人づくりにおいては、人権尊重・男女共同参画の視点も重要となることから、総合的な人権施策の推進に努めます。

4 にぎわいづくりへの挑戦

新たな地域産業の創出と観光立市を目指すにぎわいのまち

農林水産業においては、効率的・安定的な経営を目指し、担い手の育成やブランド化、6次産業化、地産地消を推進します。特に農業では、農地の基盤整備と集積・集約化をはじめ、地域の維持管理活動に対して積極的に支援します。

また、地場産業の更なる発展と企業立地を推進するとともに、起業に向けた環境整備のため、新たな支援策を展開し、商工業の振興と雇用の創出に努めます。

更に、自然環境や町並み等の観光基盤の整備に取り組むとともに、既存の観光資源に加え、市のイメージキャラクターや親善大使等を通じて魅力の発信、近隣市町をはじめとした広域での連携によるにぎわいづくりに努め、観光産業の振興を図ります。

5 ふるさとづくりへの挑戦

市民や地域と協働し、地域力あふれるまち

持続可能な社会の実現を目指し、市民が自ら地域の課題を地域で解決できるよう、地域コミュニティ活動を推進するとともに、市民が市政に参画できるよう市政情報を積極的に発信・公開し、情報を市民と共有して、行政と市民、更に事業者・団体との協働による市民参加のまちづくりを進めます。

また、世代・地域を超えた交流活動の推進や市内外に本市の魅力を伝えるシティプロモーションの展開により、交流人口の増加、地域イメージの向上を図り、地域の活性化に努めます。

更に、幅広い国際理解やグローバルな視野を持った人材を育成するため、国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を目指します。

より効率的で効果的な行政運営を確立するために、少子高齢化等の社会事情の変化に適切に対応できるよう、更に近隣市町との連携を強化し、広域課題に取り組み、播磨圏域の活性化や魅力を高めるよう広域行政を推進します。

第3章 将来人口の見通しと財政運営の基本的方向

1. 人口

▼第2次総合計画の期間

		住民基本台帳		将来推計（たつの市人口ビジョン）		
		2015（H27）年	2020（R2）年	2027（R9）年	2040（R22）年	2060（R42）年
総人口		79,072	75,995	71,481	63,683	53,133
年齢別人口	0～14歳	10,533（13.3%）	9,483（12.5%）	8,307（11.6%）	8,143（12.8%）	7,301（13.7%）
	15～64歳	46,986（59.4%）	43,296（57.0%）	40,183（56.2%）	33,629（52.8%）	28,731（54.1%）
	65歳以上	21,553（27.3%）	23,216（30.5%）	22,991（32.2%）	21,256（33.4%）	17,101（32.2%）
世帯数		29,939	30,384	29,964	28,663	26,413
1世帯あたり人員		2.64	2.50	2.43	2.33	2.10

※住民基本台帳の人口は、各年3月末時点

（1）人口の将来見通し

第2次総合計画の将来人口フレームでは、2020年（令和2年）の将来人口フレームを76,759人と想定していましたが、2020年（令和2年）の住民基本台帳の人口は75,995人で、人口フレームを下回る人口規模となっています。

全国的に人口減少、少子高齢化が継続して進行する中、本市の人口についても今後減少していくことが予想されます。

（2）人口減少の要因分析

総人口については、近年は0～14歳人口や30～40歳代人口などのファミリー層の転入が進むなど、定住促進において一定の効果がみられるものの、進学や就職を期とした市外流出、出生数の減少に伴う自然減は依然として進行していることが、人口減少の要因として考えられます。

（3）人口フレーム設定の考え方

本計画では、「たつの市人口ビジョン」で設定した人口の将来展望を参考としつつ、実際の人口減少の進行状況を踏まえ、人口フレームを想定します。

(4) 将来展望人口

本計画では、「たつの市まち未来創生戦略」に基づく、定住・転入促進、転出抑制などの社会増対策、子育て支援や結婚支援等の自然増対策を図ることで、人口の減少抑制を図ります。
なお、将来展望人口の想定条件は次のとおりです。

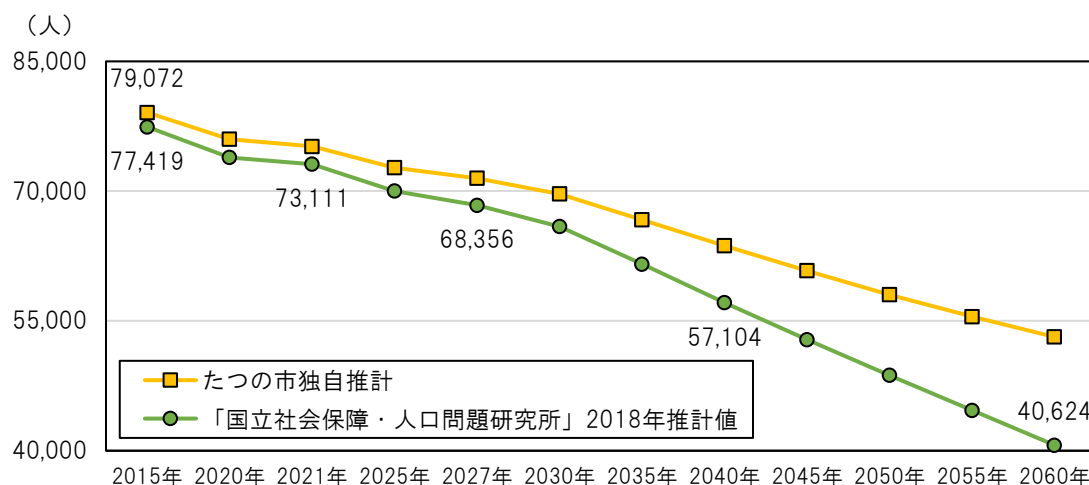
基準人口：2016年-2021年の住民基本台帳人口（人口ビジョン策定時の直近5か年）

生存率：2016年-2021年の住民基本台帳及び人口移動調査各歳別報告書から算出

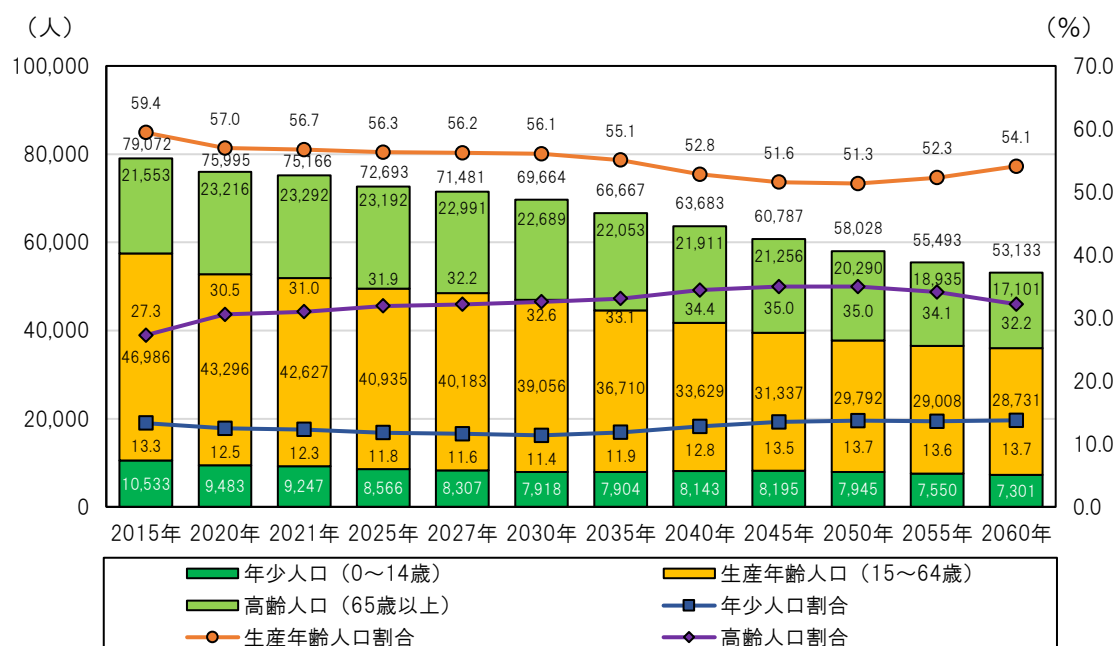
合計特殊出生率：「2040年に1.80」に向けて段階的に上昇

移動率：2016年-2021年の住民基本台帳及び人口移動調査各歳別報告書から算出した数値に基づき、2022年以降、転出超過層に対しては、5年ごとに前期間の純移動率に0.5を乗算し、2040年以降は0で推移する条件で設定。また、転入超過層については純移動率を現時点実績で固定。

▼総人口の将来推計



▼年齢3区分別人口の将来推計



第2次たつの市総合計画における人口フレーム

第2次たつの市総合計画では、企業誘致や起業家の育成、既存企業への支援強化等による雇用の創出、安心して子育てできる経済的安定の確保と子育て・教育環境の充実をはじめ、本市の魅力の効果的なPRなど、定住を促進する施策を展開し、人口減少のスピードを緩やかに導き、2027年（令和9年）の将来人口フレームを**72,000人**と設定します。

2. 財政

本市の財政状況は、合併15年を経過し、普通交付税の合併特例期間が終了したことや人口減少などの影響を受け、今後、普通交付税をはじめ歳入一般財源総額が減少していくと見込まれます。

このような状況において、高齢化・人口減少などの社会構造の変化に適応すべく大型投資的事業をはじめとし、社会保障関係経費が必要となることから、さらに財政状況は厳しいものとなっていくと見込まれます。

国における「経済財政運営と改革の基本方針2021（令和3年閣議決定「骨太方針2021」）」においては、「経済あつての財政（経済再生なくして財政健全化なし）」との基本方針のもと、ポストコロナの持続的な成長を生み出す4つの原動力「グリーン社会、デジタル化、新たな地方創生、子育て支援」への投資を重点的に促進し、経済社会構造の転換を実現するとしています。

このため、令和4年度から6年度まで、これまでと同様の歳出改革努力を継続するとともに、社会保障改革、国と地方の新たな役割分担の検討、経済・財政一体改革などに取り組むとしています。

本市としては、これら社会の変容に柔軟に適応すべく、「バックカスティング」の思考、「ワイズ・スペンディング」の徹底により、効率的な人員配置、公共施設等の再編、スマート自治体への転換、応益負担の適正化等、健全財政を堅持するための行財政改革を積極的に進めていくとともに、毎年度見直しを行う実施計画や予算編成において、事業の平準化、選択と集中及び優先順位による施策を実施し、社会の変容に適応した持続可能な行政経営に努めます。

バックカスティングとは

望ましい未来を描き、そこから現在を振り返って何をすべきかを分析し、実行する手法のことをいいます。現状への対応（フォアカスティング）と異なり、根本的な課題解決を図る際に有効です。

ワイズ・スペンディングとは

「政策効果が高く必要な歳出に重点化、重点化すべき歳出と抑制すべき歳出のメリハリをつけた思慮深い配分、大きな構造変化の中で経済と財政を大きく立て直すという積極的な発想」のことをいいます。

第4章 土地利用の基本構想

1. 土地利用

土地は「住む、働く、学ぶ、憩う」といった市民生活の最も基礎的な社会基盤であるとともに、地域の発展に深く関係する大切な資源です。

土地利用に当たっては、以下の6つの方針を定め、豊かな自然や田園環境、歴史・文化の保全・活用に努めるとともに、まちの機能の既存ストックを活用しながら都市機能や生活利便施設を集積させたコンパクトシティの実現を図り、本市の魅力を発信しながら快適な生活ができる土地利用を進めます。

▼基本方針

①地域の特性にあった土地利用の推進	④安心して暮らせる居住環境の創出
②都市施設の適正な配置	⑤豊かな田園環境の保全と活用
③土地利用の規制及び誘導体制の充実	⑥自然環境の保全と活用

2. 都市構造

本市は1市3町が合併したまちであり、それぞれの地域が1つの都市として成立する都市機能を有しています。今後もその機能を保ち、かつ充実させつつ連携を図ることが望ましいと考えます。

そのため、各地域の中心部に都市機能や生活利便施設を集積させ、その周辺に住宅地を誘導するコンパクトな市街地形成を図ります。

また、最も公共施設や商業施設の集積度が高い龍野地域の都市交流拠点を「中心核」と定め、各地域の都市交流拠点や新都市交流拠点、流通業務拠点を「地域核」とし、道路や公共交通機関、情報等のネットワークで有機的に連結する多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を目指します。

▼各地域の都市拠点

地域	核	拠点	位置
龍野地域	中心核	都市交流拠点	J R本竜野駅、市役所周辺市街地 及び山陽自動車道龍野 I C 周辺市街地
	地域核	流通業務拠点	山陽自動車道龍野西 I C 周辺市街地
新宮地域	地域核	都市交流拠点	J R 播磨新宮駅周辺市街地
	地域核	新都市交流拠点	播磨科学公園都市
揖保川地域	地域核	都市交流拠点	J R 竜野駅周辺市街地
御津地域	地域核	都市交流拠点	御津総合支所周辺市街地

▼拠点

多様な都市機能を集積した魅力と活力ある拠点づくりを目指します。

都市交流拠点	各地域の市街地を都市交流拠点と位置付け、商業・業務、医療福祉、教育文化、行政機能等の多様な施設を集積や駅周辺の整備をはじめ、道路、公園、河川等の都市基盤整備を推進し、良好な居住環境の形成を図るとともに、魅力と活力ある拠点づくりを目指します。
新都市交流拠点	播磨科学公園都市を新都市交流拠点と位置付け、優れた先端科学技術、医療・健康福祉施設や快適な居住環境を備え、余暇、文化等、産・学・住・遊の機能が一体的に整備された <u>定住自立圏構想の核となる都市づくりを目指します。</u>
流通業務拠点	山陽自動車道龍野西 <u>IC</u> 周辺を流通業務拠点と位置付け、交通の利便性を生かした流通業務施設を集積や高次生産施設の立地促進を図るとともに、環境に配慮した職住近接の個性豊かで魅力ある居住環境の形成を目指します。

▼軸

各地域の拠点を公共交通機関等のネットワークで有機的に結び、人・モノ・情報・文化の多様な交流を目指します。

揖龍南北軸	各都市交流拠点を連結する軸
播磨軸	山陽軸と連携して、播磨科学公園都市及び臨海地域を結ぶ軸
山陽軸	阪神圏と結ぶ広域連携軸
新都市姫路軸	播磨科学公園都市、新宮地域の市街地と姫路都市圏とを結ぶ軸
臨海軸	御津地域の市街地と阪神圏を連携する軸

▼ゾーン

拠点における魅力的な市街地の形成や自然環境等の地域の特色を生かした適正かつ効率的な土地利用を目指します。

商業・住宅地ゾーン	市街地における商業地、流通業務地、住宅地等を商業・住宅地ゾーンと位置付け、適正な土地利用の誘導により、良好な都市環境の形成を目指します。
工業地ゾーン	工業地、学術研究地等を工業地ゾーンと位置付け、産業活性化及び工業地の集積、雇用促進を図るとともに、周辺環境との調和を図りつつ、活力ある工業地の形成を目指します。
公園・レクリエーションゾーン	観光資源として活用を図るべき公園、河川敷公園等特色ある公園を公園・レクリエーションゾーンと位置付け、市民が憩い親しみ、活用できる場の形成を目指します。
田園ゾーン	平野部に広がる農地や農村集落を田園ゾーンと位置付け、農業生産の基盤づくり等の農業振興を進めるとともに、良好な田園環境の形成を目指します。
森林ゾーン	市域の多くを占める緑豊かな山地部を森林ゾーンと位置付け、水源かん養や災害防止、大気の浄化等、緑の保全を図るとともに、市民の健康づくりとレクリエーションの場の創出を図ります。
水辺ゾーン	本市の中心部を南北に流れる揖保川、林田川とその周辺を水辺ゾーンと位置付け、水源かん養と水質の保全に努めるとともに、広大な河川敷に潤いと安らぎのある水辺空間の創出を図ります。
瀬戸内ゾーン	瀬戸内海岸の自然豊かな観光資源が集まる地域を瀬戸内ゾーンと位置付け、自然環境や歴史、文化を保全するとともに、観光資源としての適正な活用やサイクルツーリズムの推進により、観光客の増加、水産業振興による地域の活性化を目指します。

▼水と緑の軸

自然環境を保全し整備するとともに、地域資源としての活用を図り、河川及び緑地のネットワークの形成を目指します。

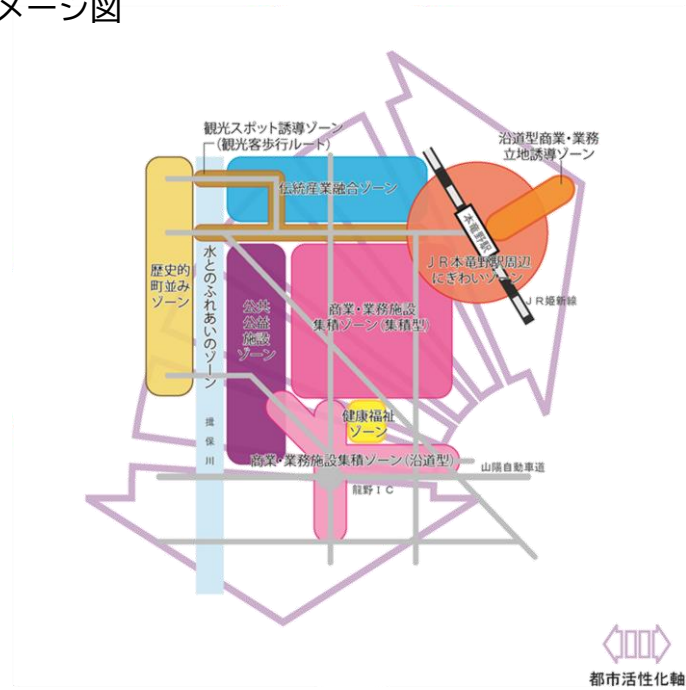
水と緑のネットワーク軸	河川軸：揖保川、林田川、栗栖川 海辺軸：瀬戸内海

▼都市活性化軸

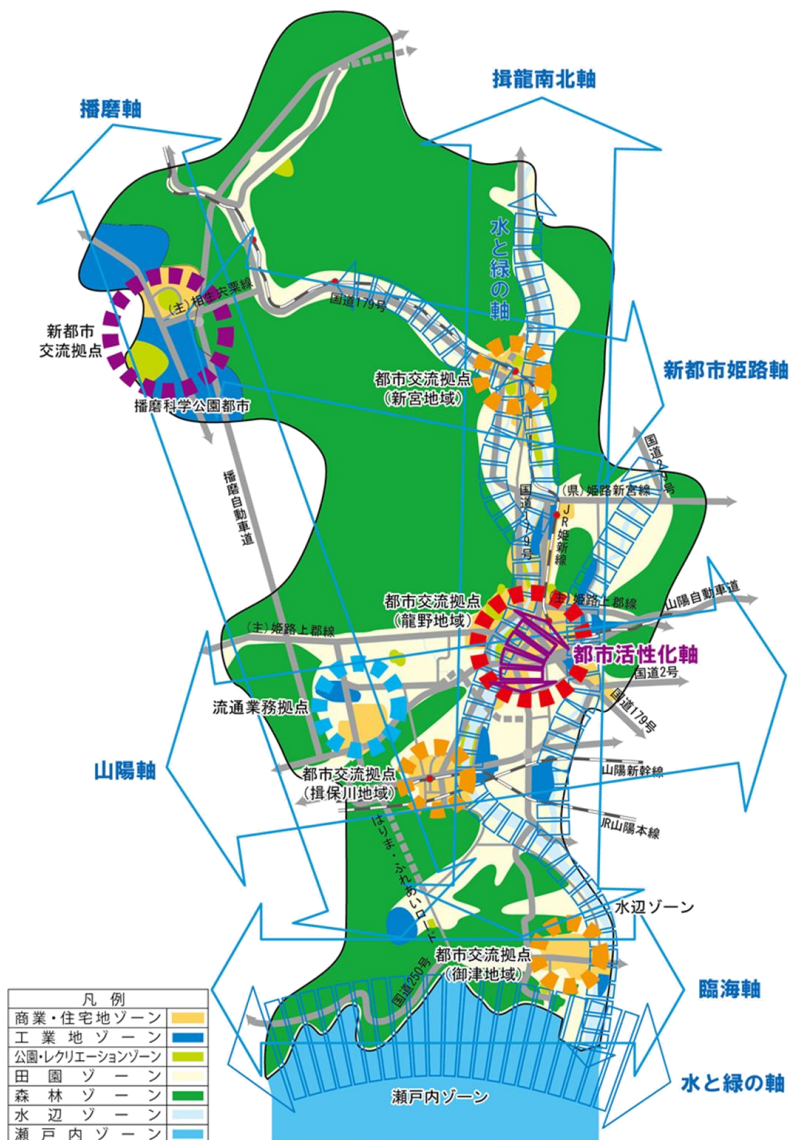
J R本竜野駅周辺から市役所周辺、山陽自動車道龍野 **IC** 周辺に至る幹線沿道や市街地、商業・業務施設が集積する地域を本市の中心核として都市機能の集積と活性化を目指し、『都市活性化軸』と位置付けます。道路整備や都市景観の形成等都市機能の強化を図るとともに、にぎわいのある中心市街地づくりを目指します。

ゾーン名	都市活性化軸の形成内容
J R本竜野駅周辺にぎわいゾーン	市の玄関口にふさわしいにぎわいのある駅周辺の整備及び交通結節点の形成を図ります。
観光スポット誘導ゾーン（観光客歩行ルート）	J R本竜野駅から城下町（観光スポット）へと観光客（歩行者等）を誘導する歩行ルートの形成を図ります。
伝統産業融合ゾーン	伝統的地場産業（醤油工場）の 建築物 と歴史的町並みが融合した特色ある景観を創出します。
商業・業務施設集積ゾーン	①集積型：商業・業務施設の中心地として複合型又は沿道型商業施設、商店街、 集合型業務施設 等の立地、誘導を図ります。 ②沿道型：商業・業務施設の沿道集積を図ります。
沿道型商業・業務立地誘導ゾーン	生活利便施設等の小規模な商業・業務施設の立地を許容する複合住宅地利用を図ります。
公共公益施設ゾーン	市庁舎や警察署、消防署等行政機能の集積、充実を図ります。（防災拠点）
健康福祉ゾーン	はつらつセンターを市の健康・福祉サービスの総合拠点として機能の充実を図ります。
水とのふれあいゾーン	揖保川及び河川敷を利用した広大な公園緑地を安らぎと憩いの空間としての形成を図ります。
歴史的町並みゾーン	風格ある城下町としての歴史的な美しい町並みの保存と活用を図ります。

▼都市活性化軸のイメージ図



▼都市構造図



第5章 施策の大綱

基本目標1 安全・安心なまちづくりへの挑戦

自然を守り、だれもが安全に安心して住み続けたいとなるまち

(1) 自然を大切にし、共に暮らす

山・川・海等の豊富な自然と共生し、将来にわたり引き継いでいくため、魅力ある自然環境の保全と整備を進めるとともに、市民一人ひとりが自然を守り、よりよい環境を創造する取組を推進します。

また、身近に緑を感じ、潤いと安らぎのあるまちづくりを推奨するため、緑化を推進します。

(2) 持続可能な社会をつくる

ごみの減量化や環境美化活動により、環境保全への対応や快適で清潔な生活環境づくりを促進し、環境への負荷を低減する循環型社会の形成に努めます。

また、地球環境という大きな視点で身近な環境問題を捉え、環境に対する正しい理解と意識の高揚に努めるとともに、公害を未然に防止するために体制の整備を進めます。

(3) 良質な住環境を整備する

住宅の整備については、老朽化した市営住宅の改修や建替を計画的に取り組み、効率的な維持管理を推進するとともに、住宅取得や民間住宅の耐震化への支援に努めます。

都市公園については、市民のだれもが憩える空間、また災害時の避難場所として整備するとともに、市民と行政との協働により適正な管理運営を図ります。

土地利用の推進については、地域の歴史や文化を生かした土地利用を図るとともに、都市計画に関する制度等を活用し、土地の利用状況や利便性を踏まえつつ魅力あるまちづくりに取り組みます。また、土地取引の円滑化や行政事務の効率化を図るため、地籍調査を進めます。

更に、地域特性や拠点性を生かした市街地の整備や市内のＪＲ駅周辺の整備を図るとともに、人口減少問題、少子高齢化社会に対応するため、コンパクトで持続可能なまちづくりを目指します。

水道事業については、安全・安心な水道水を安定的に供給できるよう、老朽化対策や耐震化をはじめとする施設整備を進めます。

下水道事業については、汚水処理や雨水浸水対策に取り組み、快適な生活環境の向上を目指すとともに、下水道施設の効率的な整備と適切な維持管理に努めます。

(4) 安全便利な交通環境を整える

道路整備に当たっては、都市交流拠点、新都市交流拠点、流通業務拠点を連絡する道路ネットワークの構築を推進し、人・モノ・情報・文化の多様な交流と防災機能向上に努めます。

幹線軸としては、揖龍南北軸及び播磨軸を南北軸に、山陽軸、臨海軸及び新都市姫路軸を東西軸に位置付け、全国的な広域幹線道路網へのアクセス強化を図るとともに、周辺市町との広域的な連携を強化します。

老朽化が進む道路施設については、計画的な予防保全の実施により長寿命化や健全性の確保に取り組めます。

また、鉄道・路線バス・コミュニティバス・デマンド交通が相互に連携した市民が移動しやすい総合的な交通ネットワークを構築し、持続可能な公共交通の確保と利用促進に努めるとともに、福祉や観光と結び付き、環境にも配慮した安全で便利な公共交通環境の整備を進めます。

(5) 大切な命と地域を守る

市民の生命・身体・財産を災害等から守るため、情報伝達体制や避難対策の確立に努め、災害に強い基盤整備を推進し、市民・事業者・行政が一体となって防災体制の強化を図るとともに、迅速かつ的確な消防・救急・救助体制の確立を目指します。

交通安全や暮らしの安全対策については、市民や警察、関係機関と連携し、安全意識、モラル、マナーの向上と子ども・高齢者・障害者の安全確保に重点を置いた交通安全施設整備を実施するとともに、地域住民の自己防衛意識の高揚を図り、自主的な防犯活動を推進することにより、各種犯罪の抑止に努めます。

基本目標２ やすらぎづくりへの挑戦

子育てにやさしく、すべての市民が健やかに暮らせるまち

（１）安心して子育てができるまちをつくる

市全体で結婚を希望する男女の出会いを支援する機運を醸成するとともに、妊娠から子育てまでの切れ目のない相談・支援体制を充実し、子育てを地域で支え合い、子どもがいきいきと育つ、子育てのしやすいまちづくりを目指します。

（２）高齢者が暮らしやすい環境をつくる

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、サービスの充実と質の向上、認知症施策の推進、在宅医療と介護の連携強化を図るとともに、地域で支え合う体制づくりを推進し「地域包括ケアシステム」を構築します。

更に、高齢者が充実した人生を送るための社会参加・仲間づくり等の取組や活動を支援し、生きがいの持てる高齢者福祉の実現を図ります。

（３）障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境をつくる

障害者それぞれが個々の状況に応じて、必要とする福祉サービスを的確に選ぶことができる相談・支援体制の充実を図ります。

また、障害者差別解消法に基づき、障害者が障害を理由に差別されないことがないよう、障害者に対する社会的障壁の除去について必要かつ合理的な配慮に努めるよう呼びかけ、社会参加と自立した生活ができる環境づくりを目指します。

（４）共に助け合い、支え合うまちをつくる

すべての高齢者や障害者が、住み慣れた地域を離れることがなく、年齢や障害に関係なく、毎日安心して快適な日常生活を営むことができるよう、地域のネットワークづくりの推進や日常生活を送る上での支援、生活困窮者に対する相談・支援を行うなど、市民と行政が共に助け合い、支え合う、自助・互助・共助・公助のバランスのとれた、ユニバーサルデザインの福祉のまちづくりを推進します。

（５）生涯を健やかに過ごせる体制を整える

市民が健康でいきいきとして暮らせるよう、一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち主体的に取り組む健康づくりを推進します。また、各ライフステージに応じた健康診査・保健指導・健康教育・健康相談の充実を図るとともに、市民の健康ニーズの多様化に対応するため、地域を主体とした保健・医療・福祉との連携強化を図ります。

たつの市民病院機構については、医療・介護の分野において地域包括ケアシステムの一翼を担うとともに、中長期的展望を持って安定的な経営を目指します。

基本目標3 ひとつづくりへの挑戦

学都たつのの輝きと歴史・文化が薫るまち

(1) 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる

就学前の子どもの教育・保育内容や子育て支援の充実を図るとともに、児童・生徒の実態に即したきめ細かな指導により、幅広い知識と柔軟な思考に基づく創造力を培い、学力の向上と豊かな心を育みます。

また、地域・学校・家庭が相互に連携しながら、次代を担う青少年の健全育成に取り組みます。

(2) 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる

市民一人ひとりが生涯にわたって学習する機会に接することができるよう、関係団体等と協力しながら学習の計画・実施に努めるとともに、施設の有効活用や指導者・ボランティアの養成に取り組みます。

また、市民が日常生活の中でスポーツやレクリエーションに親しみ、体力の向上と健康づくりができる環境整備を進めます。

(3) 歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる

本市の悠久の歴史と永年培われた伝統・文化に対する理解と認識を深め、未来への継承を図るため、歴史文化遺産の保存や文化財を生かしたまちづくりを進めます。

また、童謡の普及・振興に努めるとともに市民の芸術文化活動を推進するため、優れた芸術文化に触れる機会や情報提供の充実を図るとともに、文化振興事業の更なる展開を目指します。

(4) 互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる

部落差別をはじめ、あらゆる人権に関する課題の**解決**を目指し、すべての人の人権が尊重されるまちづくりに努めます。

更に、男女が互いに認め合い、尊重しながら共に活躍できる社会の実現を目指します。

基本目標４ にぎわいづくりへの挑戦

新たな地域産業の創出と観光立市を目指すにぎわいのまち

（１）次世代へ伝え育む農林業を活性化する

農業の生産性の向上を図るため、農業基盤整備を進めるとともに、農業を支える担い手の育成や地域の特色を生かした営農体制の確立を促進します。

また、農産物の地産地消を進め、地域の活性化を支援するとともに、農産物のブランド化を展開します。

林業においては、森林資源の保全と育成を進め、森林機能の充実を図ります。

（２）活気ある水産業を推進する

魅力的な水産業の振興を図るため、漁港施設を順次計画的に整備するとともに、漁場の環境保全活動及び水産種苗の放流、漁礁の整備を推進します。

また、自然や漁港の持つ歴史的財産、文化とふれあう観光漁業・体験漁業の導入による都市住民との新たな交流・にぎわいネットワークを形成し、漁業・漁村の活性化を推進します。

（３）地域資源を生かした観光を推進する

瀬戸内海や揖保川流域に広がる豊かな自然と歴史文化の薫りを同時に体験できる本市の特徴を最大限に生かすとともに、既存の観光施設を有効活用し、観光客の誘客に努めます。

また、各地域の特色を生かした観光資源の情報共有化やネットワーク化を図り、「ふるさとたつの」の魅力を市内外に発信することにより観光ＰＲの充実に努めます。

（４）にぎわいのある商工業を推進する

醤油・素麺・皮革等の地場産業の振興を図るため、多様な消費者ニーズに対応できる体制づくりへの支援に努め、特産品においては、「たつのブランド」となる製品づくりへの支援を行い、国内、海外での新たな販路拡大を図るためのＰＲ活動を推進します。

また、社会経済環境の変化に的確に対応することができるよう、多様な産業立地の促進や新たな産業の育成、中小企業の経営改善や経営基盤の強化のための支援に取り組むとともに、雇用の拡大と創出に努めます。

基本目標5 ふるさとづくりへの挑戦

市民や地域と協働し、地域力あふれるまち

(1) まちづくりを進めるための基盤を整える

すべての市民が「ふるさと たつの」に愛着を持ち、未来に誇ることができるまちを築くため、本市特有の課題に応じた、独自性のある地域創生に関する施策を展開します。

また、市民が主体となって地域課題を自ら解決できるよう、地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の活性化を図るため、世代や地域を超えた交流活動を推進します。

更に、市政の情報を積極的に発信し、広く市民が参画できる機会の創出に努めるとともに、市民の声を市政に反映し、市民と行政が協働した市民参画のまちづくりを推進します。

(2) 多様で活発な交流を促進する

幅広い国際理解やグローバルな視野を持った人材を育成するため、国際交流を推進するとともに、幅広い分野における国内交流や地域交流を促進します。

また、たつの市の魅力を市内外に発信し、まちのイメージや認知度の向上を図り、多くの人から選ばれるまちを目指すとともに、地域資源を再発見し、資源の活用強化を図り、たつのブランドの見える化を推進します。

(3) 健全で効率的な自治体運営を推進する

人口減少や少子高齢化の進行、市民ニーズの多様化等の社会事情の変化に適切に対応するため、行政事務の効率化や公共施設の適正管理に努め、行政課題に適切に対応できる組織づくり、職員の人材育成、自主性・自立性の高い行財政運営、ICT（情報通信技術）の活用による質の高い行政サービスを推進します。

また、市民が安心して暮らせる魅力あふれる地域を形成していくため、近隣市町との広域行政・広域連携を推進します。

第6章 総合計画の推進に向けて

総合計画は市の最上位計画であり、5つの基本目標に基づく各分野別の施策については、それぞれ個別計画等を策定し、具体的な事業を推進しながら、適宜見直し、改善を図っていきます。

また、まちづくりや行政運営全般にわたる計画や指針については、総合計画との整合を図る観点から、基本計画に位置付け、適切な進行管理を図っていくものとします。

▼まちづくりの将来像・政策・施策目標関連表

将来像	基本目標	まちのイメージ	施策目標
みんなで創る 快適実感都市「たつの」	安全・安心なまちづくりへの挑戦	自然を守り、だれもが安全に安心して住み続け たくなるまち	自然を大切にし、共に暮らす
			持続可能な社会をつくる
			良質な住環境を整備する
			安全便利な交通環境を整える
			大切な命と地域を守る
	やすらぎづくりへの挑戦	子育てにやさしく、 すべての市民が健やかに暮らせるまち	安心して子育てができるまちをつくる
			高齢者が暮らしやすい環境をつくる
			障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境をつくる
			共に助け合い、支え合うまちをつくる
			生涯を健やかに過ごせる体制を整える
	ひとづくりへの挑戦	学都たつのの輝きと 歴史・文化が薫るまち	豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる
			生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる
			歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる
			互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる
	にぎわいづくりへの挑戦	新たな地域産業の創出と観光立市を目指すにぎわいのまち	次世代へ伝え育む農林業を活性化する
			活気ある水産業を推進する
			地域資源を生かした観光を推進する
	ふるさとづくりへの挑戦	市民や地域と協働し、地域力あふれるまち	にぎわいのある商工業を推進する
			まちづくりを進めるための基盤を整える
			多様で活発な交流を促進する
			健全で効率的な自治体運営を推進する

第3編

基本計画

序章 基本計画の概要

（１）基本計画の目的

基本計画は、基本構想に掲げられた「まちの将来像」の実現に向けて、施策の大綱を推進するため、必要な個々の施策を分野別に体系化し、具体的な内容を示すものです。

（２）計画期間

計画期間は、平成 29 年度からの 5 年間を前期計画、令和 4 年度からの 5 年間を後期計画とします。

後期計画については、令和 3 年度の段階での社会情勢、前期計画の進捗状況を踏まえて、必要な見直しを行い策定するものです。

（３）基本計画の構成

●施策の体系

基本構想に基づき、施策分野別の体系を示したものです。

●施策分野別の基本計画

基本構想で示す基本目標に対応した施策を分野別に体系化し、施策ごとに基本方針、これまでの取組、これからの課題、施策の内容、各主体が取り組むこと（期待する役割）、まちづくりの指標、関連する計画を定めたものです。

レイアウト調整中（今後、関連図表・写真等を挿入予定）

(4) 施策の体系

まちの
将来像

まちづくりの基本目標
《まちのイメージ》

施策目標

みんなで創る
快適実感都市「たつの」

《基本目標1》
安全・安心な
まちづくりへの挑戦

自然を守り、だれもが安全に
安心して住み続けたいまち

- 1 自然を大切にし、共に暮らす
- 2 持続可能な社会をつくる
- 3 良質な住環境を整備する
- 4 安全便利な交通環境を整える
- 5 大切な命と地域を守る

《基本目標2》
やすらぎづくり
への挑戦

子育てにやさしく、すべての市民が
健やかに暮らせるまち

- 1 安心して子育てができるまちをつくる
- 2 高齢者が暮らしやすい環境をつくる
- 3 障害のある人が地域で自立して生活を送ることができる環境をつくる
- 4 共に助け合い、支え合うまちをつくる
- 5 生涯を健やかに過ごせる体制を整える

《基本目標3》
ひとづくり
への挑戦

学都たつのの輝きと
歴史・文化が薫るまち

- 1 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる
- 2 生涯を通して学び、スポーツに親しめるまちをつくる
- 3 歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる
- 4 互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる

《基本目標4》
にぎわいづくり
への挑戦

新たな地域産業の創出と
観光立市を目指すにぎわいのまち

- 1 次世代へ伝え育む農林業を活性化する
- 2 活気ある水産業を推進する
- 3 地域資源を生かした観光を推進する
- 4 にぎわいのある商工業を推進する

《基本目標5》
ふるさとづくり
への挑戦

市民や地域と協働し、
地域力あふれるまち

- 1 まちづくりを進めるための基盤を整える
- 2 多様で活発な交流を促進する
- 3 健全で効率的な自治体運営を推進する

施策

まち未来創生戦略

①自然環境の保全と整備 ②緑化の推進

③廃棄物処理対策の推進 ④地球環境の保全

⑤住宅の供給 ⑥都市公園の整備と活用 ⑦地域特性を生かした土地利用の推進
⑧上下水道施設の整備

⑨幹線道路網の整備 ⑩安全で快適な道路環境の整備 ⑪公共交通の充実

⑫防災体制の確立 ⑬消防・救急・救助体制の充実 ⑭交通安全対策の推進
⑮暮らしの安全確保

⑯結婚・出産・子育て支援の充実 ⑰ひとり親家庭等の福祉の充実

⑱地域包括ケアシステムの構築 ⑲生きがいづくりと社会参加の支援

⑳障害のある人への生活支援と社会参加の促進

㉑地域福祉の充実

㉒健康づくりの推進 ㉓医療サービスの向上

㉔幼児教育・保育の充実 ㉕義務教育の充実 ㉖青少年の健全な育成

㉗生涯学習の推進 ㉘スポーツ・レクリエーション活動の推進

㉙歴史文化遺産の保全と活用 ㉚芸術文化活動の振興

㉛人権教育・啓発の推進 ㉜男女共同参画社会の形成

㉝農林生産基盤の整備と担い手の育成 ㉞農業経営の安定化と地産地消の推進

㉟水産業基盤の整備

㊱観光基盤の活用 ㊲観光PRの充実

㊳商業の活性化と工業の振興

㊴地域コミュニティ活動の推進 ㊵市民参加と連携・協働のまちづくり

㊶シティプロモーションの推進 ㊷国際交流・国内交流・地域交流の推進

㊸行財政改革の推進(行政改革大綱) ㊹簡素で効率的な組織づくりと人材育成
㊺公共施設の適正管理と整備 ㊻情報化の推進 ㊼広域行政・広域連携の推進

《基本理念》

『ふるさと たつの』に
新たな息吹を吹き込み
“光り輝く未来”を創る

基本目標1

「雇用創生」
～新経済戦略によりしごとを創出する～

基本目標2

「人口還流」
～定住促進・観光戦略により「たつのファン」をつくる～

基本目標3

「若者未来」
～若者応援戦略により希望を叶える～

基本目標4

「地域活力」
～まち賑わい戦略により活力ある地域をつくる～

(5) 施策分野別基本計画の見方

作成中

作成中

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策1 自然環境の保全と整備

基本方針

山・川・海の豊かな自然環境の中で、生態系を維持しつつ、潤いのある生活が送れるよう、地域の特性を生かした魅力ある自然環境の保全と整備を図るとともに、自然と共生する社会の実現に努めます。

これまでの取組

- 針広混交林整備事業の推進や、里山維持管理事業等の推進により、山林の公益機能を向上するために適正な管理を行っています。
- 河川については、洪水被害の軽減を図るため、浚渫・除草・立木伐採等を実施するとともに、河川敷公園のグラウンドの芝生化等を行っています。
- 海岸環境では、砂浜の浸食が回復した新舞子浜について、関係機関や団体と連携し、良好な景観や生態系の維持、水質の改善を図っています。
- 身近な生態系や希少な野生動植物の保全のため、市民や専門機関と協働した調査事業を実施しています。また、有害な外来種の被害予防のための情報提供を行っています。

これからの課題

- 利用されずに放置されている里山を機能回復のため整備するとともに、伐採や植栽がなされずに放置されている人工林についても整備を行い、環境林として保全する必要があります。
- 土砂流出・地すべり・山腹崩壊・がけ崩れ等の土砂災害が発生するおそれのある区域については、市民の生命・財産を守る対策を講ずる必要があります。
- 水害被害の軽減を図るため、治水事業の推進や河川環境の整備を継続していく必要があります。
- 生態系の変化が見られる海岸環境を維持するための対策を講ずる必要があります。
- 市民・NPO・事業者・行政等が連携し、生物多様性保全の取組を促進することにより、豊かな自然を将来へ継承していく必要があります。

施策の内容

(1) 山林の整備

【担当課：農林水産課、建設課】

- 多様な生物が生息し、市民が自然とふれあう自然環境学習の場として、里山及び自然公園の整備を進めます。
- 水土保持機能を確保していくため、環境林としての山林整備を進めます。
- 県と協力し、土砂災害危険箇所の把握、周知、防災施設等の整備に努めます。

(2) 河川環境の保全と活用

【担当課:建設課、都市計画課】

- 市民との協働により、河川敷公園の利活用方法の検討を進めます。
- 河川の浚渫・除草・立木伐採等を行い、災害の未然防止や環境の保全を行うとともに、災害に強い河川敷公園の整備に努めます。
- 河川の流れを保つために、河川内の立木及び堆積土砂を除去し、河川環境の保全を行います。

(3) 海岸環境の保全と整備

【担当課:農林水産課】

- 海洋汚染等の原因となる漂流・漂着物、堆積物の処理等、新舞子浜の干潟保全に努めます。

(4) 生物多様性の保全と啓発

【担当課:環境課、農林水産課】

- 身近な生態系や希少な野生動植物の保全のため、調査事業を実施するとともに、有害な外来種の被害予防のための啓発に努めます。
- 子どもたちによる水辺の生きもの観察などにより、生物多様性の大切さについての啓発事業を実施します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 自然環境の保全に関わる活動に参加しましょう。
- 外来生物の野外放棄を止めましょう。
- 河川、海岸等の水辺空間の利活用や美化活動に参加しましょう。
- 河川護岸の損傷、水の流れの阻害に気付いたときは、河川管理者に連絡しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 森林保全のための下刈りや間伐並びに植栽に取り組みましょう。
- 地域と連携して、自然環境の保全活動に取り組みましょう。
- 水辺空間の利活用に努めましょう。
- 河川愛護活動に参加しましょう。
- アドプト制度による河川清掃美化活動に取り組みましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
里山整備の面積(里山防災林整備、野生動物育成林整備)	ha	356	476

令和8年度目標値設定理由 年間20haの整備を目標に設定

関連する計画

- 第2次たつの市環境基本計画(平成30年度～令和9年度)
- たつの市森林整備計画(令和元年度～令和10年度)

施策2 緑化の推進

基本方針

市民・団体・事業者や行政の連携と協働により緑豊かな自然を守り、身近に緑を感じられるよう、潤いと安らぎのある花と緑があふれるまちづくりを推進します。

これまでの取組

- 花と緑の協会を中心に緑化活動が行われているほか、自治会等により県民まちなみ緑化事業を活用した事業が行われていますが、活動の参加者は、減少傾向にあります。

これからの課題

- 市民や事業者等に緑の保全と緑化の意義について啓発するとともに、市民参加による活動を展開し、緑化の推進に努める必要があります。
- 公共施設等の緑化に取り組んでおり、今後も市内全域における緑化に努める必要があります。

施策の内容

(1) 生活環境の緑化

【担当課：都市計画課】

- 花と緑の協会など市民で組織する緑化団体の活動を支援します。
- 自治会等の市民団体の協力のもと、花いっぱい運動を展開し、駅前や道路等のオープンスペースの緑化を図り、美しいまちづくりに努めます。
- 市民に花の種子や苗木を配布することなどにより、住宅等日常空間の花と緑のまちづくりを推進します。
- 花壇コンクールや講習会等を通して地域コミュニティの活性化と身近な緑の育成と緑を大切にする意識の醸成など市民の緑化意識の啓発に努めます。

(2) 公共施設等の緑化

【担当課：商工振興課、都市計画課】

- 道路や公園等の公共施設や学校等の日常的に利活用する空間における緑地の確保に努めます。
- 大規模工場の立地における適正な工場緑化を推進します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



- 家庭や地域で緑化を実践してみましょう。
- 緑を維持するボランティアに参加しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



- 花と緑豊かな空間づくりに取り組みましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
緑化活動団体	団体	355	355
令和8年度目標値設定理由 現状値を維持			
県民まちなみ緑化事業の年間実施件数 及び緑化面積	件 ㎡	9 2,736	8 2,500
令和8年度目標値設定理由 これまでの年間平均値を維持			

関連する計画

〇たつの市みどりの基本計画(令和3年度～令和13年度)

施策3 廃棄物処理対策の推進

基本方針

市民・事業者・行政が協働で、ごみの発生を抑制し、不法投棄防止等の環境美化活動を推進するとともに、有用な資源の再使用、再生利用など、適正な処理に取り組み、持続可能な循環型社会の構築を目指します。

これまでの取組

- 一般廃棄物の中間処理は、揖龍クリーンセンター及びにしはりまクリーンセンターで各々近隣市町と共同で焼却等の処理を行っています。
- 不法投棄対策として、不法投棄監視カメラの設置、自治会への啓発看板の貸与、不法投棄監視協力員や警察等によるパトロール等を実施しています。

これからの課題

- 市民・事業者・行政が一体となってこれまで以上に資源ごみの分別と、ごみの減量化に取り組む必要があります。
- 揖龍クリーンセンターは老朽化が進んでおり、新ごみ処理施設の整備が求められます。また、これに併せ、災害廃棄物を処理するための対策を講ずる必要があります。
- 一般廃棄物最終処分場の残余容量が減少しつつあるため、不燃ごみの再利用に取り組んでいますが、長期的に埋立処分するための対策を講ずる必要があります。
- 本市の美しい生活環境を守るため、引き続き、不法投棄の未然防止に取り組む必要があります。

施策の内容

(1) ごみの減量化・再資源化の推進

【担当課：環境課】

- 広報誌、市イベント、出前講座等あらゆる機会を通じて市民、事業所にごみの減量化、資源ごみの分別徹底等の啓発やフードドライブ等を実施するとともに、生ごみの水切り等生ごみの減量につながる取組を推進します。
- リフューズ（不要品辞退）、リデュース（発生抑制）、リペア（修理）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の取組を促進します。

(2) ごみ処理施設における長期的処理

【担当課：環境課】

- 揖龍クリーンセンターについて、新宮地域を含めた市全域のごみ処理が可能となる施設へと更新します。
- 一般廃棄物最終処分場は、搬入物の分別徹底に努めるとともに、他施設での受け入れが可能なものは一時仮置きし、搬出します。

(3) 市民意識の高揚

【担当課：環境課】

- 本市の美しい生活環境を守るため、不法投棄監視カメラの設置及び不法投棄監視協力員を増員し、協力員、警察等による日常のパトロールを行うとともに、事業者、各種団体、行政によるクリーン作戦や兵庫県動物愛護センターと協力したペット飼育のマナー向上により、環境美化の推進に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 各家庭でごみの減量や資源ごみの分別に努めましょう。
- ごみ出しのルールを守り、マナー向上に努めましょう。
- 家庭で不用となった物は互いに譲り合いましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 自ら排出するごみの減量を図った上で、やむなく排出されたごみを資源化ルートに乗せるなど、適正処理に努めましょう。
- 長く使用できる商品やリサイクルしやすい商品を顧客に提供しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
家庭系普通ごみ年間排出量	トン	<u>13,653</u>	<u>13,037</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>揖龍地域循環型社会形成推進地域計画の目標値により設定</u>			
家庭不用品年間交換件数	件	<u>91</u>	<u>106</u>
令和8年度目標値設定理由 現状値を基に増加を見込んで設定			

関連する計画

- 第2次たつの市環境基本計画(平成30年度～令和9年度)
- たつの市ごみ処理基本計画(平成25年度～令和4年度)
- 揖龍地域循環型社会形成推進地域計画(令和4年度～令和10年度)

施策4 地球環境の保全

基本方針

身近な地域の環境を守ることが、地球全体の環境を守ることにつながるという考えに立ち、市民・事業者・行政が一体となり、水や空気がきれいな安全で快適な生活環境や、温室効果ガスの排出が少ない脱炭素社会の実現に努めます。

これまでの取組

- 将来を担う子どもたちに地球環境の保全の大切さや再生可能エネルギーの必要性を理解してもらうため、環境学習等を行っています。
- 公害の発生を未然に防止するため、大気、水質、自動車騒音等の調査及び測定を行っています。

これからの課題

- 今後も省エネルギー化の推進、脱炭素社会実現への取組、化石燃料から再生可能エネルギーへのエネルギー源の転換を進め、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す施策展開を図る必要があります。
- 引き続き、環境学習等を行うとともに、市民一人ひとりの環境保全意識をより一層高揚させる必要があります。
- 公害発生を未然防止のため、引き続き、監視活動や啓発活動に取り組む必要があります。

施策の内容

(1) 地球温暖化防止活動の推進

【担当課：環境課】

- 市民・事業者・行政が一体となってエネルギー使用の合理化に取り組むことにより、省エネ型設備機器の普及促進や省資源、5R（リサイクル、リデュース、リソース、リペア、リヒューズ）を推進し、温室効果ガスの排出抑制に努めます。
- たつの市地球温暖化防止活動推進員連絡協議会と連携し、より市民に身近な立場から、地球温暖化防止につながるライフスタイルづくりについての啓発活動を推進します。

(2) 再生可能エネルギーの導入促進

【担当課：環境課、社会教育課】

- 市民や事業者への啓発活動等を通じ、再生可能エネルギーについて理解を促進します。
- 「こどもサイエンスひろば」において、風力・太陽光発電等の展示・実験を行い、将来を担う子どもたちに再生可能エネルギーへの理解を促します。

(3) 環境保全意識の高揚

【担当課：環境課】

- 市内の小学生で構成するたつのこどもエコクラブにおいて、里山探索・水生生物調査などの活動により、自然を大切に思う心や、地球温暖化などの環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地球の環境保全活動の環を広げることを目指します。
- 環境保全活動に取り組む市民運動の活性化を図るため、広報誌等により環境保全意識の高揚に努めます。

(4) 公害防止体制の推進

【担当課：環境課】

- 公害の発生を未然に防止するため、環境汚染等の調査及び測定を行い、兵庫県、警察等の関係機関と連携し、監視や指導、啓発活動を行います。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 必要以上にエネルギーを使用する生活を改めるほか、環境にやさしい製品の購入等、省エネルギー型のライフスタイルを心掛けましょう。
- 不法焼却、不法投棄等環境破壊に繋がる迷惑行為を止めましょう。
- 川や海に汚れた水を流さないようにしましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 省エネ機器や再生可能エネルギー利用設備の導入を推進するなど、環境に配慮した脱炭素型社会実現に向けた事業活動に努めましょう。
- 事業活動から生じる排出ガス、排水、廃棄物は、適正に処理しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
電気自動車用急速充電器利用実績 (たつの市設置分)	件	3,426	5,142
令和8年度目標値設定理由 毎年度7%増を目標に設定			
温室効果ガス削減率	%	29.8	40.0
令和8年度目標値設定理由 たつの市地球温暖化対策実行計画の長期目標値(令和12年度)			

関連する計画

- 第2次たつの市環境基本計画(平成30年度～令和9年度)
- 第3次たつの市地球温暖化対策実行計画(令和元年度～令和5年度)

施策5 住宅の供給

基本方針

市営住宅は、需要に応じた適切な戸数の供給を行うとともに、老朽化した住宅の計画的な改修や建替を行うことでだれもが安心して生活することができる住宅の供給に努めます。また、住宅取得支援制度の活用などにより、個人住宅の取得を促進するとともに、空き家の適正管理や民間住宅の耐震性向上など安全性の確保を支援します。

これまでの取組

- 市営住宅の老朽化に対応するため、住宅マスタープラン及び市営住宅長寿命化計画に基づき改修や建替を進めています。
- 転入者定住促進住宅取得奨励金及び若者定住促進住宅取得奨励金制度を実施しており、子育て世代の転入超過に一定の成果が表れています。
- 優良な宅地の供給を推進するとともに、空き家については、空き家相談センターを開設し、利活用を推進しています。

これからの課題

- 市営住宅の改修については、今後も計画的に事業を進めていく必要があります。
- 住宅の耐震化率向上のため、耐震化に関する意識啓発や情報提供等の更なる充実を図り、簡易耐震診断、耐震改修工事費等の助成制度を継続する必要があります。
- 適切な管理が行われていない空き家が増加し、周辺的生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、その解消に努める必要があります。

施策の内容

(1) 公営住宅の整備

【担当課：都市計画課】

- 既存の市営住宅の長寿命化と老朽化した住宅の改修・建替を計画的に行い、需給バランスのとれた効率的な維持管理運営を推進します。

(2) 住宅取得の支援

【担当課：都市計画課、まちづくり推進課】

- 定住促進住宅取得奨励金制度を実施し、転入者や若年層の住宅取得を支援し、定住を促進します。
- 民間開発事業を適正に指導することにより、良好な移住環境の整備を推進します。

(3) 空き家対策の推進

【担当課:まちづくり推進課】

- 空き家相談センターでの相談や空き家バンクへの登録を促し、空き家の利活用を推進します。
- 特定空き家及び管理不全状態の空き家に対する措置等を実施し、空き家の適正管理を促進します。

(4) 耐震化の支援

【担当課:建築課】

- 民間住宅の所有者に対して耐震化の必要性を啓発し、防災意識の高揚に努めます。
- 災害に強く安心して生活できる民間住宅とするため、所有者が行う耐震診断や耐震化への取組を支援します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 住宅の所有者は、適切な維持管理及び地震防災対策に努めましょう。
- 空き家の所有者は、適正管理に努めるとともに、管理不全状態の空き家については、その解消を図りましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 建築物の耐震化について普及啓発活動を行うとともに、相談会の実施や耐震診断・改修等、安全性の向上に関する取組に努めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
定住促進住宅取得奨励金を活用した住宅取得総数	戸	1,596	2,979
令和8年度目標値設定理由 毎年度230戸の取得を目標に設定			
住宅の耐震化率	%	76.1	81.6
令和8年度目標値設定理由 たつの市耐震改修促進計画から設定			

関連する計画

- たつの市住宅マスタープラン(平成25年度～令和4年度)
- 市営住宅長寿命化計画(平成25年度～令和4年度)
- たつの市空き家等対策計画(令和4年度～令和8年度)
- たつの市耐震改修促進計画(平成28年度～令和7年度)

施策6 都市公園の整備と活用

基本方針

多様化した市民のニーズに応えるため、スポーツや健康増進の場、歴史文化を学べる場として、また災害時の一時避難所となるよう、都市公園の計画的な整備に努めます。また、自然緑地や歴史文化施設などと連結する緑のネットワークの形成を図ります。

これまでの取組

- 市民の憩いと安らぎの場として、市内 60 か所の都市公園を整備しており、そのうち、住宅地に配置している街区公園は 46 か所あります。

これからの課題

- 子どもから高齢者まですべての人が気軽に利用できるよう、「みどりの基本計画」の基本方針に基づき都市公園の整備や維持管理、公園施設の更新を適切に行い、充実を図っていく必要があります。
- 災害時の一時避難所として活用できるよう、防災機能を備えた公園の整備を進める必要があります。

施策の内容

(1) 住区基幹公園の整備と活用

【担当課：都市計画課】

- 街区公園、近隣公園、地区公園を計画的に整備し、市民が自然にふれあえるコミュニティの場として活用します。
- バリアフリー化やインクルーシブ公園化等施設の充実を図り、すべての人が利用しやすい都市公園となるよう整備するとともに、市民との協働による適切な管理運営を図ります。

(2) 都市基幹公園等の整備と活用

【担当課：都市計画課】

- 地域が有する自然や歴史、暮らしなどの特性を十分に生かした質の高い公園整備を図ります。
- 龍野公園など年間を通して市内外から多くの人が訪れる公園の適切な維持管理及び特色ある公園づくりに努めます。
- バリアフリー化やインクルーシブ公園化等施設の充実を図り、すべての人が利用しやすい都市公園となるよう整備するとともに、市民との協働による適切な管理運営を図ります。

(3) 防災に配慮した公園の整備と活用

【担当課：都市計画課】

- 災害時の一時避難所として活用できるよう、市街地における公園配置のバランスを取りながら、整備を行います。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→公園の維持管理活動への参加等、地域の公園としての意識を持ちましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→公園の維持管理活動を行いましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
公園・緑地の利用満足度	%	22.1	28.1

令和8年度目標値設定理由 現状値の6%増を目標に設定

関連する計画

〇たつの市みどりの基本計画(令和3年度～令和13年度)

施策7 地域特性を生かした土地利用の推進

基本方針

市民が誇りと愛着を持って住み続けられるよう、優れた自然環境を保全しつつ、地域の特性を生かした魅力あるまちづくりを目指します。また、コンパクトで持続可能なまちづくりに向け、中心市街地及び各都市交流拠点に居住地や都市機能を誘導し、駅やインターチェンジ周辺、幹線道路沿道等の交通利便性を生かした計画的な土地利用の推進を図ります。

これまでの取組

- 市街化調整区域では特別指定区域制度や地区計画制度を活用し、市民主体のまちづくりを推進しています。
- 市街化区域内では、宅地開発業者による優良な宅地供給が継続して行われており、住宅地の形成がなされています。
- J R 姫新線本竜野駅、播磨新宮駅では、自由通路、橋上駅舎、駅へのアクセス道路、駅前広場等が整備され、東鯉崎駅においても駅へのアクセス道路、駅前広場が整備されました。また、J R 山陽本線竜野駅においては、駅構内のバリアフリー化が完了しています。
- 第7次国土調査事業十箇年計画に基づき、市街化区域内の地籍調査を実施しています。

これからの課題

- 都市計画マスタープランに基づき、それぞれの地域特性を生かしつつ、各地域の市街化区域を中心としたまちづくりを推進するため、今後も計画的な土地利用の誘導を進める必要があります。
- 人口減少問題、少子高齢化社会に対応するためには、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める必要があります。

施策の内容

(1) 地域の特性にあった土地利用の推進

【担当課：都市計画課】

- 地域の歴史や文化を生かした土地利用を図るとともに、都市計画に関する制度等の情報提供により、市民が主体的にまちづくりに取り組むことができるよう支援します。
- 立地適正化計画に基づき、住宅や生活利便施設等の立地誘導を図り、公共交通ネットワークと連携した多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を目指します。
- 市街化調整区域においては、特別指定区域制度や地区計画制度等を活用し、定住の促進と地域

産業の活性化を図ります。

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

(2) 計画的な既成市街地の整備

【担当課：都市計画課】

- 市街地の整備による優良な宅地の供給を実施します。
- 既成市街地においては、道路等の改善や防災機能の向上を図り、快適な居住空間の形成に努めます。

(3) 駅周辺の整備

【担当課：都市計画課】

- J R山陽本線竜野駅を中心とした拠点形成に向けて地域住民と協働で検討を進め、アクセス道路等の整備や自由通路のバリアフリー化等、利便性が高く魅力のある拠点づくりを目指します。

(4) 地籍調査の推進

【担当課：用地課】

- 土地取引の円滑化及び公共事業推進や災害復旧の迅速化等を図るため、地域住民の協力を得て地籍調査を進めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→市民主体のまちづくりに積極的に参画しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→地域環境や地域住民に配慮した土地利用を行いましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
駅周辺環境に対する満足度	%	<u>52</u>	<u>60</u>
令和8年度目標値設定理由 アンケート調査による目標設定			
地籍調査事業の進捗率 (市街化区域対象)	%	<u>39.8</u>	<u>51.1</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>第7次国土調査事業十箇年計画から目標設定</u>			

関連する計画

- たつの市都市計画マスタープラン(平成27年度～令和13年度)
- たつの市土地利用計画(令和3年度～令和13年度)
- たつの市立地適正化計画(平成29年度～令和22年度)
- 竜野駅周辺地区都市再生整備計画(令和4年度～令和7年度)

施策8 上下水道施設の整備

基本方針

上下水道事業ともに、既存施設の統廃合等適切な規模への転換を図り、設備更新の着実な実施と効率的な維持管理により、良質なサービス提供の維持に努めます。

これまでの取組

- 水道事業について、標準型アセットマネジメントを策定し、管路の更新を行っています。
- 下水道事業について、公営企業会計の適用に伴い、独立採算による安定的な経営を目指し、下水道使用料を改定しました。
- 劣化が著しい下水道施設の改築や更新等を行っています。

これからの課題

- 今後も施設の改築や更新等で多額の費用を要する一方で、人口減少等の影響により収益減少が見込まれますが、これらの状況に対応した持続可能な事業運営を行っていく必要があります。
- 水道事業について、将来における水需要に対応した送配水系統を検討し、施設の更新及び耐震化を効率的に進めるために、より詳細型のアセットマネジメントを実施していく必要があります。
- 下水道使用料の改定後も経費回収率が低い状況は変わらず、使用料を改定する必要があります。
- 下水道施設の適切な維持管理に努めるとともに、統廃合等も見据えながら耐用年数を経過した施設の順次更新を進める必要があります。
- 過去に浸水被害が生じた地区において、雨水幹線や雨水路整備等の浸水対策を行っていく必要があります。

施策の内容

(1) 上水の安定供給と水質の改善

【担当課: **上水道課**】

- 災害に備え、老朽化対策や耐震化を進めるとともに、施設の改良及び統廃合を検討し、より一層の安定供給に向けた体制づくりを目指します。
- 市内管路の漏水調査を進め、有収率の向上を図っていきます。
- 西播磨水道企業団及び播磨高原広域事務組合との協力体制の強化など、近隣事業体との広域的な連携を進めます。

(2) 下水道事業の推進

【担当課：下水道管理課、下水道施設課】

- 水洗化の啓発等により未接続家屋を解消し、生活環境の向上に努めます。
- 持続可能な事業経営を行うため、農業集落排水施設の統廃合等を検討するとともに、効率的な施設整備や段階的な使用料の見直しを行います。
- 台風や記録的豪雨等による浸水被害の軽減を図り、安全・安心な市民生活を確保するため浸水対策事業を計画的に実施します。

(3) 前処理場の維持管理

【担当課：下水道管理課、下水道施設課】

- ストックマネジメント計画に基づき、計画的な老朽化施設の改築を行うとともに、脱臭設備の整備を進め、環境の改善を図ります。
- 安定した前処理場経営を目指し、原因者負担の原則に基づく使用料の確保及び維持管理費の縮減に努めるとともに、国・県からの恒久的な財源支援に向け要望を続けます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 日常生活において節水に取り組みましょう。
- 漏水に注意し、早期発見・早期修理に努めましょう。
- 配管や器具の適切な維持管理に努めましょう。
- 下水道に異物・油脂分等を流さないようにしましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 事業所内にある水道施設を適切に管理しましょう。
- グリーストラップ等の除害施設の適切な維持管理を行い、排水基準を遵守しましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
(上水道)有収率	%	89.7※	91.0
令和8年度目標値設定理由 全国平均値より高い水準を目指して設定			
水洗化率	%	94.9	96.0
令和8年度目標値設定理由 現状値の約1%増を目標として設定			

※令和元年度実績

関連する計画

- たつの市水道ビジョン(令和元年度～令和10年度)
- たつの市生活排水処理計画(令和3年度～令和9年度)
- たつの市流域関連公共下水道事業計画(令和3年度～令和9年度)
- たつの市公共下水道事業計画(令和3年度～令和9年度)

施策9 幹線道路網の整備

基本方針

国、県及び関係市町と協力して、広域的な道路ネットワークの強化・主要幹線道路の交通処理機能の強化を図り、だれもが安心・安全・快適に利用することのできる道路の整備を推進します。

これまでの取組

- 揖龍南北幹線道路のうち、国道2号から国道 250 号に至る(主)網干たつの線、龍野揖保川御津線の開通により、たつの市の中心市街地と播磨臨海部がより近くなりました。
- 龍野地域の慢性的な渋滞の緩和を目的として、補助幹線道路整備（市道上沖大道線、市道広山高駄線）により、国道 179 号や市道小宅揖西線に集中する車両の分散化を図っています。

これからの課題

- J R 姫新線大鳥踏切以北については、広域的な道路ネットワークの強化・充実を図るため、関係機関と連携し事業を推進する必要があります。
- 通勤・通学の時間帯においては、依然として渋滞が発生しており、市民生活の利便性や安全面・防災面の向上を図るため、道路整備を推進する必要があります。

施策の内容

(1) 揖龍南北幹線道路の整備

【担当課：建設課】

- J R 姫新線大鳥踏切以北の事業推進に努めるとともに、早期の全面開通を目指します。

(2) 東西幹線道路の渋滞緩和

【担当課：建設課】

- 龍野地域の慢性的な渋滞緩和のため、交差点改良事業 （（主）姫路上郡線、指導小宅揖西線） の推進及び東西幹線道路の検討を行います。

(3) 広域幹線道路の整備

【担当課：建設課】

- 西播磨の広域防災拠点となる播磨科学公園都市 への幹線道路の整備 を関係市町と協力して促進し、広域道路ネットワークの形成を行います。（揖龍南北幹線道路、（主）宍粟新宮線、はりま・ふれあいロード、（一）岩見揖保川線、（主）相生宍粟線）

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→ 道路整備に関する話し合いに積極的に参加し、整備に協力しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→ 事業所周辺の道路や歩道の整備に協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
幹線道路の整備率	%	47.5	86.1

令和8年度目標値設定理由 道路整備の目標により設定

関連する計画

○なし

施策10 安全で快適な道路環境の整備

基本方針

生活圏を視野に入れた重点的かつ効率的な地域内道路の整備を進めるとともに、道路ストックの適切な維持管理による健全性の確保・長寿命化を図り、施設更新経費の縮減に取り組めます。また、すべての人にやさしい道路環境の整備を図り、交通の安全を確保します。

これまでの取組

- 狭い道路の拡幅や、道路排水の整備により安全で快適な道路環境を創出しています。

これからの課題

- 地域の実情を踏まえ、引き続き道路整備の推進を図る必要があります。
- 橋りょう等の道路施設の老朽化が進んでいることから、交通の安全性を確保し、継続的に使用するため、計画的かつ効率的な点検、修繕による健全性を確保する必要があります。

施策の内容

(1) 地域内道路の整備

【担当課:建設課】

- 市民生活の利便性を向上させ、安全で快適な生活を確保するため、地域内道路の整備を計画的かつ効率的に進めます。
- 市民との協働により、生活に密接に関わる道路・排水路の美化活動や整備に取り組めます。

(2) 地域間連絡道路の整備

【担当課:建設課】

- 幹線道路を補完する役割を持った地域間連絡道路を整備することにより、災害に強い道路ネットワークを構築します。

(3) 道路・橋りょうインフラの長寿命化

【担当課:建設課】

- 橋りょうなど老朽化が進む道路施設について、計画的な点検や補修など適切な維持管理を行うことで、長寿命化に取り組めます。
- 道路構造物等の点検及び修繕について、新技術の活用を検討し、効率化や費用削減に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 道路や側溝の清掃等身近な道路の愛護に努めましょう。
- 道路の穴や陥没等危険を及ぼすような箇所を見かけたら速やかに道路管理者に連絡しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- アドプトや道路協力団体制度による道路清掃美化活動に取り組めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
道路ストック長寿命化達成率	%	26.0	51.9

令和8年度目標値設定理由 道路橋長寿命化修繕計画の目標値より設定

関連する計画

○道路橋長寿命化修繕計画(平成27年度～)

○トンネル長寿命化修繕計画(平成30年度～)

施策11 公共交通の充実

基本方針

鉄道・路線バス・コミュニティバス・デマンド交通が相互に連携した市民が移動しやすい総合的な交通ネットワークを構築し、マイカーへの依存から脱却した持続可能な地域旅客運送サービスの確保・維持・改善と利用促進を図り、まちづくり・福祉・観光と一体となった公共交通環境を整備します。

これまでの取組

- 路線バスの運行本数の維持確保を図るため、国・県と協調して運行助成を行っています。
- コミュニティバスの利便性の向上を図るため、利用状況やアンケート調査の結果を基に、運行内容の見直しを行っています。
- 市民乗り合いタクシーの運行により公共交通空白地域を解消しています。
- 総合時刻表の発行により市内の公共交通及びダイヤを周知するなど、利用者の利便性向上に努めています。

これからの課題

- J R 姫新線の年間乗車人数 300 万人を目標として、乗車人数の増加とマイレール意識の醸成に主眼を置いた事業を展開する必要があります。
- J R 姫新線の通勤・通学時間帯の混雑解消や播磨新宮駅より西の駅への I C カード対応改札機の設置による利便性と快適性の向上を図る必要があります。
- J R 山陽本線の運行本数の増加による利便性の向上を図る必要があります。
- 市民のニーズを見極め、新たなモビリティ技術の導入に取り組む必要があります。

施策の内容

(1) J R 姫新線利用促進活動の展開

【担当課 **まちづくり推進課**】

- J R 姫新線の利便性・速達性の優位性を沿線内外に広報し、地域の基幹公共交通として維持できるよう利用促進及び沿線地域の活性化に取り組みます。
- 姫新線利用促進・活性化同盟会等を通じ、運行車両の増結や I C カード対応改札機設置について要望活動を実施するとともに、年間 300 万人の乗車を維持していくため、沿線住民に J R 姫新線の重要性への理解促進とマイレール意識のかん養を図ります。

(2) JR山陽本線の利便性の向上

【担当課: まちづくり推進課】

- 駅周辺整備の実施に伴い、運行本数を増加させる等利便性の向上について、沿線市町で構成する山陽本線沿線市町連絡会や西播磨市町長会を通じ、要望活動を実施します。

(3) 路線バスの確保

【担当課: まちづくり推進課】

- 路線の維持・確保に努めるとともに、公共性の高い路線は、国・県と協調して運行助成を行います。
- 定住自立圏域内外の円滑な移動を確保するため、交通結節点（光都バスセンター）を中心とした交通環境を整備し、乗り継ぎ情報の発信を行います。

(4) 地域公共交通の再編

【担当課: まちづくり推進課】

- たつの市地域公共交通計画を策定し、持続可能で誰もが移動しやすい地域公共交通ネットワークの実現に取り組みます。
- コミュニティバスは、沿線環境の変化に応じて運行内容の見直しを行い、更なる利便性の向上を目指します。
- 市民乗り合いタクシー（デマンド交通）を運行し、市民からの交通需要にきめ細かく対応します。
- 鉄道・路線バス・コミュニティバス・デマンド交通が連携した総合的な交通体系を維持しつつ、利便性の向上と効率的な運行を図るとともに、MaaS 等の新たな交通体系の構築に取り組みます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に期待すること



- 公共交通機関を積極的に利用し、渋滞解消やCO2削減による環境への配慮に取り組みましょう。
- 公共交通をより身近な存在として認識し、地域の足は地域で守るという意識を持ちましょう。

団体・事業者等に期待すること



- 公共交通に対する理解と関心を深め、公共交通機関の更なる利用に努めましょう。
- 交通事業者や各団体が相互に連携し、公共交通を円滑に利用できる制度や環境を整備しましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
公共交通利用者数(1日平均)	人	6,027	7,000

令和8年度目標値設定理由 たつの市地域公共交通会議において設定(予定)

関連する計画

○たつの市地域公共交通計画(令和 4 年度～令和8年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策12 防災体制の確立

基本方針

安全・安心なまちづくりを目指し、市民・事業者・行政が一体となって防災体制を強化していくとともに、災害に強い基盤整備に努め、総合的な防災対策を推進します。

これまでの取組

- 自主防災組織の活動を助成し、地域の防災力の向上に努めており、災害時における避難行動要支援者個別支援計画の作成や計画に基づいた避難訓練の実施を支援しています。
- 新型コロナウイルス感染症等の感染症に対応した避難所運営を行うため、屋内用テント、間仕切りや消毒用アルコール等の防災備品を備蓄しています。
- 現実に即した実効性のある計画となるよう、地域防災計画の改訂を行っています。

これからの課題

- 防災行政無線やたつの防災防犯ネット等の多様な情報発信システムを活用し、早い段階から市民に災害情報を伝達していますが、災害時に避難行動をとることができる市民は少数であり、平時から訓練を実施していく必要があります。
- 大規模災害に対応できるよう、防災関係機関等と災害時相互応援協定を締結するなど、連携強化が重要です。

施策の内容

(1) 情報伝達体制の充実

【担当課：危機管理課】

- 防災行政無線設備及び全国瞬時警報システム（Jアラート）の適切な管理運用を行い、災害発生時または発生のおそれがあるとき、市民に迅速かつ正確に情報の伝達ができる体制の確立に努めます。
- 外出中や放送が聞こえにくい市民に対し、防災行政無線の放送内容が確認できる電話応答サービスや気象情報や避難情報などをスマートフォンのアプリで受信できる「ひょうご防災ネット」を普及させるとともに、多様なメディアによる情報伝達に努めます。

(2) 避難対策の充実

【担当課：危機管理課】

- 地域住民に対し、南海トラフ地震や山崎断層帯地震、ゲリラ豪雨による水害や土砂災害などの災害時における避難所・避難経路・危険箇所等を周知徹底するため、様々な災害に対応した防災訓練や防災マップを活用した出前講座の実施を更に促進します。
- 避難所案内標識等の充実や早めの避難情報発表により、市民や観光客等の自主的な避難行動を促進します。
- 避難所となる公共施設の耐震化など安全性の確保を図ります。災害が長期化するおそれがある場合、福祉避難所を開設し、高齢者・障害者その他の特に配慮を要する人等が安全に避難生活を送れる場所の確保に努めます。
- 揖保川水系の最大規模の降雨による浸水を想定し、国・県、市内事業所等と連携し避難所及び避難経路等の確保に努めます。

(3) 自主防災組織の育成

【担当課：危機管理課】

- 地域に根差し、重要な防災機能を担う自主防災組織の育成を支援するとともに、地域防災の要となるべき人材育成に取り組み、組織の活性化を図ります。
- 自主防災組織が作成する地区防災計画の作成を支援するとともに、福祉部局と連携し、災害時における避難行動要支援者の避難行動が円滑に行えるよう個別支援計画の作成を支援します。
- 地域の実情に即した防災訓練を実施し、自主防災組織に対する活動助成、消防器具助成、AED（自動体外式除細動器）設置助成を引き続き行い、地域防災力の向上に努めます。

(4) 広域連携体制の充実

【担当課：危機管理課】

- 播磨科学公園都市圏域定住自立圏 及び播磨圏域連携中枢都市圏 の圏域市町をはじめ、市域・県域を越えた市町との広域的な相互応援体制を充実させ、大規模災害に対応した防災体制を推進するとともに、危険物・放射性物質等の災害に備え、専門機関との連携を強化し、即応体制の充実を図ります。
- 大規模災害が発生した際、近隣市町をはじめ県及び県外関係機関からの災害支援を円滑に受入れるための受援計画を作成し、あわせて社会福祉協議会等と協力し受入体制の確立に努めます。

(5) 危機管理体制の整備

【担当課：危機管理課】

- 「たつの市地域防災計画」について、国、県の動向を注視して随時見直しを行うとともに、民間事業者等との応援協定締結を推進し、防災対策の充実を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 日頃から防災マップにより災害時の避難場所や避難経路を確認するとともに、家庭での食料や飲料水等の備蓄に努め、非常持出品をすぐ取り出せる場所に保管するなど、防災意識を高めましょう。
- 地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。
- 避難情報が発せられた時に、速やかに避難行動がとれるよう常に心掛きましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 防災活動に参加し、災害発生時には、救助・救援活動等、地域で助け合いましょう。
- 防災対策として、業務継続計画の策定について検討しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
災害協定締結民間事業者数	件	35	47
令和8年度目標値設定理由 毎年2件の増加を目標に設定			
家屋被害認定土数	人	31	43
令和8年度目標値設定理由 毎年2名の増員を目標に設定			
ひょうご防災リーダーフォローアップ講座年間受講者数	人	41※	45
令和8年度目標値設定理由 市内在住のひょうご防災リーダー数を基に設定			

※令和元年度実績

関連する計画

○たつの市地域防災計画(平成26年度～) ○たつの市水防計画(平成26年度～)

○たつの市災害時受援計画(令和2年度～) ○たつの市国土強靱化計画(令和4年度～令和8年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 13 消防・救急・救助体制の充実

基本方針

安全で安心なまちづくりを目指し、災害の初動体制及び広域応援体制の確立を図るとともに、消防署と消防団との連携強化、消防施設の充実強化に努めます。また、地域における自主的な防火・防災・救命技術を向上させ、市民と協働した消防・救急・救助体制の確立に努めます。

これまでの取組

- 複雑大規模化する災害に対応するため、平成 25 年に西播磨地域 3 市 2 町による西はりま消防組合を発足し、平成 28 年から高機能消防指令センターを運用開始しました。指揮命令系統の一元化と効率的な部隊運用を実現し、消防力の強化と充実に努めています。
- 平成 30 年度からたつの消防署光都分署を開所し、播磨科学公園都市の区域も西はりま消防組合の管轄となり、広域消防体制の効果が発揮されています。

これからの課題

- 効率的・効果的な消防業務を推進するため、更なる広域的な消防体制の確立を目指す必要があります。
- 高齢化により救急需要は年々増加傾向にあり、医療機関・ドクターヘリとの更なる連携強化を図る必要があります。
- 火災予防思想の普及のため、地域における実践的な訓練や研修を行うとともに、防火対象物や危険物施設への予防指導を充実し、事業所等の防火管理体制の強化を図る必要があります。
- 消防団は、地域防災の要であることから、団員の確保や知識・技術の向上に努めつつ、団施設の計画的整備を行い、消防署と連携した消防体制の確立を図る必要があります。

施策の内容

(1) 消防署の消防力の強化

【担当課：西はりま消防組合】

- 自然災害や危険物事故等の大規模災害に対応するため、消防・救急・救助隊員の専任化による機動力の強化に努めるとともに、消防職員の高度な知識の習得と技術の向上など人材育成を推進し、消防体制の充実を図ります。
- 災害の複雑化、大規模化に対応するため、消防車両、緊急車両及び資機材等の計画的な整備を行い、更なる消防力強化に努めます。

(2) 救急・救助業務の充実

【担当課：西はりま消防組合】

- 救急救命士の養成や救急隊員の教育訓練を充実させるとともに、メディカルコントロール体制の推進と医療機関・ドクターヘリ・県防災ヘリとの連携強化を図り、救命率の向上に努めます。
- 播磨姫路救急搬送システムに参画し、共同運用することで医療機関と救急隊の連携を図り、円滑な救急搬送体制を確立します。
- 最新の救助資機材の整備や救助隊員の教育訓練により、救助体制を強化します。

(3) 消防団の消防力の強化

【担当課：危機管理課】

- 消防団への加入を促進し、団員の確保と組織力の強化に努めます。
- 消防団車庫、消防車両及び活動に必要な装備品の計画的整備により、活動の充実に努めます。
- 消防団員の教育訓練を充実するとともに、消防署と連携した消防体制の確立に努めます。

(4) 火災予防の推進

【担当課：西はりま消防組合】

- 救急講習や消防訓練等を通じて救命技術の普及啓発や防火意識の高揚を図るとともに、防火対象物や危険物施設の査察・指導を強化し、火災予防や事故の未然防止に努めます。

(5) 消防水利の充実

【担当課：危機管理課】

- 消防水利の基準に基づき、消火栓や防火水槽などを計画的に整備し、消防力の強化に努めます。

(6) 広域消防の充実

【担当課：危機管理課】

- 消防の広域化によって、消防力を維持・強化し、住民の生命・身体及び財産を守る役割を果たすとともに、住民サービスの向上と効率的な運営体制の確立を目指します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 地域ぐるみで消防意識を育みましょう。
- 普通救命講習会へ積極的に参加しましょう。
- 消防団に入団しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 事故防止・火災予防に努め、安全安心な職場環境をつくりましょう。
- 従業員等が地域の消防団員である場合、その人の団員活動に配慮しましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
消防団車両更新数	台	3	10
令和8年度目標値設定理由 車両の更新計画から設定(所有台数 48 台のうち 10 台を更新)			
住宅用火災警報器設置率	%	47	70
令和8年度目標値設定理由 実績から約 50%増を目標に設定			
応急手当普及員講習受講者数	人	378	498
令和8年度目標値設定理由 過去の実績値から毎年 20 名の受講者を設定			
消防用設備等点検結果年間報告件数	件	869	1,250
令和8年度目標値設定理由 過去5年間の報告実績から設定			
消防団員総数	人	1,296	1,500
令和8年度目標値設定理由 条例定数を満たすことを目標に設定			

関連する計画

○なし

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 14 交通安全対策の推進

基本方針

交通安全啓発活動の充実と子ども・高齢者・障害のある人の安全確保に重点を置いた交通安全施設整備に努め、交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指します。

これまでの取組

- 学校園、警察等と連携し、通学路等の子どもの移動経路における交通安全対策推進のため、危険箇所の確認を行っています。
- 安全で快適な道路交通環境整備のため、防護柵や道路照明等交通安全施設の整備を行っています。
- 交通安全協会、警察等関係機関と連携し、各種交通安全啓発活動を行い、交通安全意識の高揚に努めています。

これからの課題

- 通学路等の子どもの移動経路における安全確保の取組を継続的、効果的に実施する必要があります。
- 交通事故の防止に向け、効果的な交通安全施設の設置や交通安全啓発等、関係機関と連携したハード、ソフトの両面からの交通安全対策を推進する必要があります。
- 高齢運転者対策の充実・強化を図る必要があります。

施策の内容

(1) 安全・安心な道路交通環境の整備

【担当課：建設課】

- だれもが安全で安心して通行ができる環境を整備するため、道路交通環境の点検を実施し、カーブミラー、防護柵、道路照明灯の設置等交通安全施設の充実に努めます。
- 歩行者が安心して道路を利用できるよう、歩道やグリーンベルトの整備を推進します。
- 自転車ネットワーク計画に基づき、安全で快適な自転車利用環境を創出します。

(2) 交通安全意識の高揚

【担当課：危機管理課】

- 市民・関係団体・行政が連携・協力の下、交通要所における立番や啓発グッズの配布等による啓発活動を実施し、積極的・継続的に交通ルールの遵守と交通マナーの向上を推進します。
- 警察署、交通安全協会等と協力し、子どもや高齢者など年齢層に応じた交通安全啓発活動に取り組み、交通安全意識の高揚に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 自動車・自転車・歩行者それぞれが交通マナーや安全に対する意識を高めましょう。
- 交通ルールを遵守し、交通事故の防止に努めましょう。
- 自転車保険に加入しましょう。
- 地域の住民や児童と行政が協働により実施する道路施設の点検活動に積極的に参加しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 従業員等に交通ルールの遵守を徹底させましょう。
- 地域が実施する交通安全啓発活動に積極的に協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
年間交通事故死傷者数	人	489※	400

令和8年度目標値設定理由 過去5年間の最低死傷者数を下回ることを目標に設定

※令和元年度実績

関連する計画

○自転車ネットワーク計画(令和元年度～令和10年度)

施策15 暮らしの安全確保

基本方針

市民の安全・安心な暮らしを確保し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自己防衛意識の高揚を図るとともに、地域、警察、関係団体と連携し、各種犯罪の抑止に努めます。

これまでの取組

- 地域の見守り力向上を目的として、自治会や防犯グループ等の地域団体が積極的に設置している防犯カメラの費用を助成するなどの支援を行い、犯罪抑止の向上を図っています。
- 最近の不安定な国際情勢に鑑み、不測の事態に備えた全国瞬時警報システム（Jアラート）や安否情報システム等の情報システムの訓練を定期的に行っています。
- 多様化している消費者被害に対して、出前講座や街頭啓発、広報による啓発等を行い、消費者被害の未然防止に努めています。
- 消費者の利益の擁護及び増進を図るため、消費生活センターを設置し、消費生活相談員による相談業務を実施しています。

これからの課題

- 今後も引き続き、注意喚起を通じて一人ひとりの防犯意識の高揚に努め、住民・行政・関係団体の連携・協力体制を保ち、安全なまちを維持していくことが必要となります。
- 幅広い世代に対する、消費者トラブルに関する情報の共有や対応策等の発信が必要となります。
- インターネットを使った売買や決済が普及する中、便利な機能を安心して使用できるよう、デジタル社会の中での消費者保護への対応が必要となります。

施策の内容

（１）防犯体制の充実

【担当課：危機管理課、建設課】

- レッドパトロール、青色防犯パトロール、地域ふれあいの会、まちづくり防犯グループなどによる市内巡回・犯罪抑止活動・防犯啓発活動を推進します。
- 自治会などの地域団体が設置する防犯カメラに係る費用を継続して助成し、地域犯罪抑止を図るとともに、情報提供については、たつの防災防犯ネットを利用した防犯情報の迅速な配信に努めます。
- 安全で安心な市民生活を確保するため、防災、防犯、交通安全、警察、学校等の関係機関から選出された委員によるたつの市安全安心まちづくり推進協議会を設置し、安全安心に関する施策を協議します。
- 自治会等からの要望をもとに夜間における犯罪抑止のため、LED街灯の設置に努めます。

(2) 国民保護体制の確立

【担当課：危機管理課】

- 武力攻撃から市民の生命、身体及び財産を保護するため、たつの市国民保護計画に基づき、関係機関との連携強化に努め、緊急時には正確な情報を把握し、全国瞬時警報システム（Ｊアラート）による市民への迅速な情報提供や避難誘導、避難住民等の救援及び武力攻撃への対処などの確な保護措置の実施により、被害の軽減に努めます。

(3) 消費生活の安全確保

【担当課：商工振興課】

- インターネット・携帯電話によるトラブルや高齢者等を狙った悪質商法が巧妙化し、被害が深刻化する中、関係機関と連携し、消費生活に関わる情報提供や啓発活動を行い、被害の未然防止に努めます。
- 専門知識を持った相談員を配置し、被害にあった方への相談体制の確保に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 一人ひとりが防犯意識を高め、自分のできる防犯を考えましょう。
- 地域ふれあいの会等の防犯グループの活動に積極的に参加しましょう。
- 自主的、自発的に警報をはじめメディア等による情報収集を行い、避難行動をとしましょう。
- 自助・共助の精神に基づき、近隣住民とのコミュニケーションづくりに努めるとともに、各家庭においては、食料・飲料水等を備蓄しましょう。
- 消費者として正しい知識の習得と定着を図りましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 通学路や過去の犯罪発生場所へのパトロール等、各種防犯活動に努めましょう。
- 防犯点検の実施や防犯設備の導入等、事業所における防犯対策の強化に努めましょう。
- 有事の際は、従業員は顧客等の避難誘導を、事業者は従業員等の安否確認を行い、避難はできる限り事業所単位で行動しましょう。
- 事業所等において、食料・飲料水等を備蓄しましょう。
- 消費者に対して必要な情報の提供と啓発に努めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
年間犯罪発生件数	件	394	330
令和8年度目標値設定理由 県の目標値を参考に前年比3%減少を目標に設定			
防犯カメラ設置件数	件	93	170
令和8年度目標値設定理由 防犯カメラ設置補助件数の過去5年間の平均増加数を基に算出			

関連する計画

○たつの市国民保護計画(平成19年度～)

第1節 安心して子育てができるまちをつくる

施策16 **結婚・出産・子育て支援の充実**

基本方針

出会いの場に関する情報提供、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談・支援体制や子育て世代に対する経済的支援を更に充実させることにより、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整え、子育てを地域で支え合い、子どもがいきいきと育つことのできる、子育てのしやすいまちを目指します。

これまでの取組

- 妊娠期から子育て期にわたる総合的、継続的かつ専門的な支援を行うため、母子健康支援センター「はつらつ」や子育て応援センター「すくすく」を運営しています。
- 子育て家庭の経済的負担の軽減のため、チャイルドシート購入費用の助成、学校給食費の補助、医療費の助成等を実施し、子育て家庭を幅広く支援しています。
- 子育てつどいの広場、児童館、ファミリーサポートセンターの運営、延長保育、放課後児童クラブの実施等、多岐にわたる子育て支援を実施しています。

これからの課題

- 出会いに関する情報提供を行うなどの支援の充実を図る必要があります。
- 発達に支援が必要な子どもに対しては、早期発見・早期療育につなげることが重要であるため、療育体制を充実させる必要があります。
- 核家族化、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化等、子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化する中で、子育てに対しての孤立感、不安感、負担感を持つ家庭が増加しています。母子健康支援センターや子育て応援センターを中心に、関係機関との更なる連携強化の必要があります。

施策の内容

(1) 経済的支援の充実

【担当課：国保医療年金課、児童福祉課、健康課、学校教育課、幼児教育課】

- 子育て家庭に対する幅広いサポートや助成を行い、経済的負担を軽減します。
- 不妊治療費の助成を実施し、不妊・不育症に悩む方の経済的な負担を軽減します。
- 妊婦健康診査料等の助成や育児用品を支給し、妊産婦の不安や負担感軽減、経済的支援を図ります。
- 中学3年生まで完全無料という市独自の医療費助成制度を堅持するとともに、高校生等の入院医療費を無料化し、医療費の負担軽減を図ります。

(2) 子育て支援サービスの充実

【担当課：児童福祉課、幼児教育課、社会教育課】

- ファミリーサポートセンターを運営し、子どもの送迎や預かりを行い、地域で子育て家庭を支援し、子育て家庭の負担軽減に努めます。
- 子育てつどいの広場、児童館を運営し、親子の交流の場づくりの推進及び子育て支援の充実と子育て不安の軽減に努めます。
- 地域で子どもを見守るための交流拠点として、こども食堂の立ち上げと運営を支援します。
- 放課後児童クラブを開設し、子どもの健全育成と子育て家庭の負担軽減に努めます。
- 多様化する保育ニーズに対応するため、延長保育や一時預かり等の充実を図ります。
- 幼稚園・保育所・認定こども園の生活や遊びの体験を通じて、就学前の教育・保育への関心を高めてもらうため、オープン保育を実施します。
- 子育て家庭にSNS等を通じて直接情報配信し、効果的なサービス利用につなげる体制を構築します。

(3) 相談・支援体制の充実

【担当課：児童福祉課、健康課、幼児教育課】

- 出会いを希望する人に婚活イベント情報等を発信し、結婚のきっかけづくりを支援します。
- 妊娠期・子育て期の切れ目のない相談・支援を行うため、母子健康支援センターや子育て応援センターの支援強化、交流、相談、訪問等による育児不安の解消や孤立化の防止を図ります。
- 虐待の予防や早期発見・早期対応に向けて、相談体制の充実や関係機関との連携を強化します。
- 発達に支援が必要な子どもに状況に応じた療育支援が行うことができるよう、相談・支援体制の充実を図ります。
- 病児・病後児保育事業を推進するとともに、保育所・認定こども園を地域の子育てに関する相談の場や地域交流の場としての機能を強化します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 出会いを希望する人を応援しましょう。
- 愛情と責任を持って子どもを育てましょう。
- 地域全体で子どもを見守り育てていく意識を持ち、子育て家庭や子どもたちの成長に理解を深めましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 出会いを希望する人のための取組を積極的に行いましょう。
- 子どもと子育て家庭を応援するための取組を進めていきましょう。
- 子育て家庭が安心して働けるよう、子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを進めましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
<u>出会いの場に関する情報提供件数</u>	件	<u>5</u>	<u>10</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>近年の動向を踏まえて設定</u>			
<u>母子健康支援センター年間相談件数</u>	件	<u>1,640</u>	<u>1,700</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>近年の動向を踏まえて設定</u>			
<u>子育て応援センター年間相談件数</u>	件	<u>1,616</u>	<u>1,700</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>現状値を維持</u>			

関連する計画

○第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)

レイアウト調整中（今後、関連図表・写真等を挿入予定）

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 17 ひとり親家庭等の福祉の充実

基本方針

ひとり親家庭等の自立に向け、相談・支援体制の充実を図るほか、生活支援、就労支援、経済的支援等、総合的な支援策を展開します。

これまでの取組

- ひとり親家庭等の割合は増加傾向にあり、現在、母子父子自立支援員を配置し、関係機関との連携を図りながら対応しています。

これからの課題

- 生活支援、就労支援、経済的支援等の相談件数も増加しており、相談内容も多様化・複雑化しています。新型コロナウイルス感染症の影響等も見極めながら、関係機関と連携した相談支援体制の充実や社会的自立に必要な情報の提供等を進めていく必要があります。

施策の内容

(1) 経済的自立支援の充実

【担当課：児童福祉課】

- 児童扶養手当等の支給を行うとともに、高等職業訓練促進給付金等の支給や就職先の情報を提供するなど、更なる就労支援の拡充を図り、ひとり親家庭等の経済的自立を支援します。

(2) 生活支援の充実

【担当課：国保医療年金課、児童福祉課】

- 保護者のニーズや生活状況に応じて、母子父子寡婦福祉資金貸付金の案内やファミリーサポートセンター等の利用促進を行うとともに、ひとり親家庭等の医療費の助成等により、ひとり親家庭等の生活の安定を図ります。

(3) 相談・支援体制の充実

【担当課：児童福祉課】

- 母子父子自立支援員や家庭相談員などによる相談体制を整えるとともに、相談員の研修によって一層の資質向上を図り、更に他機関との連携を強化することにより、ひとり親家庭等の精神的負担の軽減に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→ 地域でひとり親家庭等を支えましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→ 援助を必要とする家庭や子どもを支援しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
ひとり親家庭等年間相談件数	件	497	500
令和8年度目標値設定理由 近年の動向を踏まえて設定			
母子父子家庭自立支援給付金年間申請件数	件	1	2
令和8年度目標値設定理由 近年の動向を踏まえて設定			

関連する計画

○ 第2期 たつの市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)

施策 18 地域包括ケアシステムの構築

基本方針

高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、福祉・医療・保健の連携のもとフォーマルサービス・インフォーマルサービスが切れ目なく提供されるよう、「地域包括ケアシステム」の更なる深化を図ります。

これまでの取組

- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、高齢者福祉サービス・介護予防サービス・介護保険サービス等の充実を図るとともに、サービスが適切に提供できるよう庁内連携に取り組んでいます。
- 認知症高齢者等の増加に対して、認知症の早期発見・早期対応を行うことができるよう認知症初期集中支援チームの配置や認知症に備えるための連携ツールの作成・普及、認知症高齢者等を支える地域づくり等、認知症施策の充実を図っています。
- 高齢者世帯の増加に伴い、生活支援を必要とする高齢者が増加しているため、サービスの充実だけではなく、市民主体の地域支え合い体制づくりに取り組んでいます。

これからの課題

- 国は地域包括ケアシステムの構築について令和7年を目途にしており、「介護」「医療」「予防」「生活支援」「住まい」「健康づくり」「生きがいづくり」などの様々なサービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の更なる深化を図る必要があります。

施策の内容

(1) 生活支援・介護予防サービスの充実

【担当課：高年福祉課、地域包括支援課】

- 高齢者のニーズに対応し、質の高いサービスを提供するため、人材の確保や資質の向上、業務の効率化を図り、地域包括ケアシステムの更なる深化に取り組めます。
- 介護予防・日常生活支援総合事業を推進し、地域の実情に応じて、市民等の多様な主体が参画し、多様なサービスの充実により、一人ひとりの状態に応じたきめ細やかなサービスの提供に努めます。

(2) 地域における支援体制の充実

【担当課：高年福祉課、地域包括支援課】

- 介護が必要な高齢者に可能な限り住み慣れた自宅や地域で自立した生活を営むことができるよう、たつの市介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス事業所等介護サービスの基盤整備を計画的に推進します。

(3) 支え合う地域づくりの推進

【担当課：地域包括支援課】

- 生活支援コーディネーター及び協議体との協働による地域住民の主体的・自発的な地域づくりを推進するとともに、支援が必要な高齢者等を多様な仕組みで重層的に支え合う体制の構築及び社会参加の場の創出を図ります。

(4) 認知症施策の推進

【担当課：地域包括支援課】

- 認知症高齢者等に対する適時適切な医療・介護サービスを提供するため、認知症初期集中支援チーム員等の更なる質の向上を図るとともに、早期発見・早期対応に向けて関係機関との連携を強化します。
- 「共生」と「予防」の視点から、認知症への理解を深めるための普及啓発を行い、見守り意識の向上を図るとともに、認知症の本人発信支援を推進し、認知症高齢者等やその家族を見守り支援する地域づくりを推進します。
- 認知症等による介護負担の増大から生じる高齢者虐待の防止に努めるとともに、西播磨成年後見支援センターとの連携により成年後見制度の更なる普及啓発と後見開始後の本人やその親族・後見人を支援する体制整備を図ります。
- 高齢者等の認知症に起因する事故により第三者に損害を与えた場合の経済的負担リスクに備え、「はいかい高齢者等おでかけリスクゼロ事業」を実施し、在宅限界点の向上を図ります。

(5) 在宅医療と介護の連携

【担当課：地域包括支援課】

- 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域での生活を継続できるよう、退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り等様々な局面で医療と介護の連携を図ることのできる体制を構築します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→「支える側」「支えられる側」という従来の関係を越えて、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる地域づくりを推進しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→各種団体及び事業者等の連携のもと高齢者が生活しやすい地域づくりを積極的に推進しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
認知症サポーター養成数(累計)	人	9,299	13,298
令和8年度目標値設定理由 <u>過去5年間の推移により設定</u>			
在宅高齢者の割合	%	97.5	98.0
令和8年度目標値設定理由 <u>過去5年間の推移により設定</u>			

関連する計画

○第8期たつの市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策19 生きがいづくりと社会参加の支援

基本方針

高齢者に対する敬愛精神の普及に努めるとともに充実した人生を送るための生きがいづくり・社会参加・仲間づくりなど、高齢者の取組や活動の普及を支援し、生きがいの持てる高齢者福祉の実現を図ります。

これまでの取組

- 老人クラブ等の支援や閉じこもりがちな高齢者への外出支援、ボランティア活動への支援を通じた高齢者の生きがいづくりや社会参加に対する活動支援を実施しています。

これからの課題

- 「人生 100 年時代」の到来を見据え、豊富な経験や意欲のある高齢者が積極的にボランティア活動、社会活動等に参加できる仕組みを作るとともに、新しい時代にふさわしい高齢者の学びの場の創出や学び方の工夫、多世代交流の推進等に努めていく必要があります。
- 働き続ける高齢者の増加や地域との付き合いの薄い世帯の増加により、人と人とのつながりが弱体化しつつある中で、長年住み慣れた地域で暮らしたいと願う人も多く、市民の福祉に対するニーズは多様化しています。一人ひとりのニーズに沿った最適なサービスが提供できる体制を整備する必要があります。

施策の内容

(1) 生きがいづくり・社会参加

【担当課: 地域福祉課、高年福祉課】

- 高齢者の生きがいづくりを促進し、ふれあいを深める老人クラブ活動の活性化をはじめ、高齢者向けスポーツ・レクリエーション等の普及 や学習支援の充実等により、 高齢者の社会参加活動を支援します。
- 地域社会での交流活動やボランティア活動等の自主的な生きがいづくり活動を支援します。

(2) 敬老事業の実施

【担当課: 高年福祉課】

- 地域社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝福するため、地域社会との協働による敬老事業の実施に努めます。

(3) 高齢者の地域貢献

【担当課：高年福祉課】

- 高齢者が長年培ってきた豊富な知識・経験・技能など、能力を地域社会に還元していく環境づくりや、高齢者自らの取組を支援します。
- 関係機関と連携した就業機会の拡大と啓発を行い、高齢者の就労意欲の促進に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→ 高齢者の生きがいづくりや地域での居場所づくりを進めましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→ 事業活動において、高齢者の生きがいづくりに積極的に協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
シルバー人材センター年間受託業務件数	件	4,069	4,150
令和8年度目標値設定理由 過去5年間の推移により設定			
生きがいセンター利用件数	件	10,302※	11,000
令和8年度目標値の設定理由 令和元年度実績から毎年約1%増を目標に設定			

※令和元年度実績

関連する計画

○ 第8期 たつの市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画 (令和3年度～令和5年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 20 障害のある人への生活支援と社会参加の促進

基本方針

障害者が必要とする福祉サービスを的確に選ぶことができる相談・支援体制を充実させます。また、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）に基づき、全ての人が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら地域で共生していくことができるまちづくりを目指します。

これまでの取組

- 第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画において、障害者の生活と就労に対する支援や障害児支援の多様なニーズにきめ細かく対応するために必要な障害福祉サービス等の見込量と見込量確保の方策を定めました。
- 市内の障害福祉サービス事業所の作品を障害者週間に合わせて展示したり、市役所において授産品を販売するなど障害者の社会活動を支援することで、広く市民に障害者の活動を発信しました。

これからの課題

- 福祉サービス利用者のニーズは多様化している上、種類も多岐にわたるため、障害者が自己決定できるよう必要な情報を迅速・的確に提供する必要があります。
- 障害者が社会参加活動や自立に向けて、地域行事等へ積極的に参加できるよう支援するなど、障害者が住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう支援体制の充実・強化を図る必要があります。

施策の内容

（１）相談・支援体制の充実

【担当課：地域福祉課、**地域包括支援課**】

- 福祉の総合窓口の充実を図り、多職種及び関係機関が連携・協働し、障害者が地域で自立して暮らしていくことができるよう、社会資源の活用を図りながら一貫した相談と支援を行います。障害者の意思・利益や権利を尊重し、必要な支援につなげていくことができるよう権利擁護にも努めます。

(2) 障害者への不当な差別をなくす支援

【担当課：地域福祉課】

- たつの市障害者等地域自立支援協議会では、障害者差別の解消・解決に向けて相談・支援体制を整え、啓発活動を推進します。
- 様々な社会的障壁の除去について広く呼びかけ、必要かつ合理的な配慮がなされるよう努めていきます。心のバリアをなくすこと、街中の施設・建築物を安全・安心に利用できるまちのユニバーサルデザイン化に努めることなど、障害者に平等な社会参加の機会を確保するための働きかけを行います。

(3) 障害者の社会参加と自立した生活の促進

【担当課：地域福祉課】

- 障害者が地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、障害者スポーツ指導員の養成や、障害者スポーツ用具の充実など、文化・スポーツ・レクリエーション活動等へ参加しやすい体制づくりを促進します。
- 障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や社会資源、利用者の状況に応じ、柔軟に支援します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 様々な障害者が地域で生活していることを理解しましょう。
- 障害者が障害を理由に差別を受けることがないよう、障害者の特性への理解を深め、地域の行事等に参加しやすい環境づくりに取り組みましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 施設のバリアフリー化や、職員・社員に対する研修を実施し、障害者に対する社会的障壁を除去しましょう。
- 就労等を希望する障害者を積極的に受け入れ、障害者の社会参加に協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
障害サービス利用年間相談件数	件	1,527	2,000
令和8年度目標値設定理由 サービスの更なる普及を見込んで設定			
就労継続支援年間利用人数	人	198	260
令和8年度目標値設定理由 サービス利用者の増加を見込んで設定			

関連する計画

- たつの市 第3次障害者計画(平成30年度～令和5年度)
- たつの市 第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画(令和3年度～令和5年度)
- 第8期たつの市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)

施策 21 地域福祉の充実

基本方針

だれもが住み慣れた地域で、年齢や障害に関係なく、安心して快適な日常生活を営むことができるよう、市民と行政が協働し、支え合う、自助・互助・共助・公助のバランスの取れた、ユニバーサルデザインの福祉のまちづくりを推進します。

これまでの取組

- 本市の地域福祉は、行政による「たつの市地域福祉計画」と社会福祉協議会による「たつの市地域福祉推進計画」の両輪で推進しています。

これからの課題

- 地域のつながりが希薄化し、地域において様々な問題を抱える人の発見が難しくなっているため、市民と行政が協働し、困難を抱える人を把握し、支援につなげていく体制づくりを構築する必要があります。
- 地域において様々な問題を抱える世帯の困窮の理由は複雑化し、多岐にわたるため、多職種及び関係機関が連携・協働して個々の世帯に継続的に向き合い、個々の事情に応じた適切な支援を行う相談・支援体制を充実させる必要があります。

施策の内容

(1) 地域のネットワークづくり

【担当課：地域福祉課、高年福祉課、地域包括支援課】

- 民生委員児童委員が行う地域見守り活動や相談・支援活動、自治会が行う小地域福祉活動のほか、市民の様々なボランティア活動を推進します。
- 様々な地域活動を支援するとともに、社会福祉協議会との連携を一層強化し、地域福祉の充実に努め、各支援機関が連携・協働して包括的に支援する地域共生社会の実現に向けて取り組みます。
- 高齢者、障害者等で災害時に援護を必要とする市民を把握し、自主防災組織等の関係機関と情報を共有することで、災害時の情報伝達・避難誘導を迅速・的確に行います。

(2) 福祉のまちづくりの推進

【担当課：地域福祉課、高齢福祉課】

- コミュニティバスやデマンド交通、高齢者・障害者タクシー利用券の提供等により、交通弱者の日常生活の質の向上を支援します。
- 高齢者や障害者が、住み慣れた家に住み続けることができるよう、住宅改造・改修費の助成を行い、住宅のバリアフリー化を支援します。

(3) 様々な問題を抱える世帯に対する自立支援と生活保護

【担当課：地域福祉課、地域包括支援課】

- 様々な問題を抱える世帯に対し、個々の事情に応じ多職種及び関係機関が連携・協働し、自立に向けた相談・支援を行います。自立が困難な世帯については、生活保護制度の適用により最低限の生活を保障し、世帯状況及びその能力に応じた自立に向け支援を行います。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→地域に様々な人たちが共生していることを受け入れ、福祉に対する意識を高め、地域のコミュニティづくりに協力しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→地域が実施する活動に積極的に参加・協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
小地域福祉活動実施地区数	地区	152	169
令和8年度目標値設定理由 各地区への普及を見込んで設定			
高齢者福祉タクシー年間利用料助成件数	件	1,523	1,650
令和8年度目標値設定理由 デマンド交通へのタクシー券利用を見込んで設定			
障害者福祉タクシー年間利用料助成件数	件	193	210
令和8年度目標値設定理由 デマンド交通へのタクシー券利用を見込んで設定			

関連する計画

- 第2期たつの市地域福祉計画(平成30年度～令和4年度)
- 第8期たつの市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)

施策 22 健康づくりの推進

基本方針

健康寿命の延伸に向け、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、主体的に取り組む健康づくりを推進するとともに、保健・医療・福祉と連携を図り、各ライフステージに応じた健康診査・保健指導・健康教育・健康相談の充実やそのための体制づくりを図ります。

これまでの取組

- 「たつの市健康増進計画・食育推進計画 (第3次)」に基づき、健康な暮らしを実現するための取組を進めています。
- 妊娠期から乳幼児・成人・高齢者までの生涯にわたる健康づくりの支援を行っています。
- 食育については、関係機関との連携のもと、幅広い年代への「食」に対する意識の向上を図っています。

これからの課題

- 特定健診については、特定健康診査等実施計画において国における受診率の目標を設定しているものの、目標値に達していない状況であるため、受診率向上への取組を図る必要があります。
- 循環器疾患、糖尿病などの生活習慣病を予防するため、メタボリックシンドローム該当者、予備群への適切な保健指導に関し、引き続きの取組を図る必要があります。
- がん検診受診率を向上させ、がんの早期発見・治療につなげる必要があります。
- 感染症対策については、予防接種率の向上を図るとともに、感染症予防の普及啓発に努めており、計画に基づいた具体的な体制づくり構築の必要があります。
- 健康づくり組織の活動支援を通じて、会員の資質向上と連携を図る必要があります。
- あらゆる世代に食育の重要性を普及啓発し、健康づくりと地産地消・食文化の継承に引き続き取り組んでいく必要があります。

施策の内容

(1) 健康増進計画・食育推進計画 (第3次) の推進

【担当課：健康課】

- 健康増進計画・食育推進計画 (第3次) に基づき、市民の主体的な健康づくりと 食育の推進 に取り組みます。
- 「食」に対する意識向上を図るため、家庭・保育所・幼稚園・認定こども園・学校・地区組織

等が連携し、食文化の継承・環境に配慮した食生活に関する知識等の食育普及啓発に取り組みます。

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

(2) 母子の健康づくりの推進

【担当課：健康課】

- 妊産婦・乳幼児・家族の健康づくり推進のため、切れ目のない支援の強化を図り、育児の悩みや不安等の早期把握や支援に努め、必要な対象者への専門的相談を行います。

(3) 成人と高齢者の健康づくりの推進

【担当課：国保医療年金課、高年福祉課、地域包括支援課、健康課】

- 生活習慣病対策として、市民総合健診（特定健診、がん検診）の受診率向上を図り、健診後における特定保健指導の強化と重症化予防に重点を置いた健康づくりを推進します。
- 主要死因の第1位を占めるがん対策として、がん検診の未受診者及び継続受診の啓発強化を図り、早期発見・早期治療に努めます。
- 高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民自らが主体となり身近な場所において心身機能の低下を予防し、要介護状態等の軽減を図るための介護予防を推進します。

(4) 歯科保健の推進

【担当課：健康課、地域包括支援課】

- 歯及び口腔の健康づくりに関する知識の普及や理解の向上に努め、生涯にわたって自分の歯を保持できるよう、効果的な歯周病予防・口腔機能の低下予防対策を推進します。

(5) 感染症対策の推進

【担当課：健康課】

- 感染症予防の普及啓発に努め、予防接種率の向上を図るとともに、県、医師会、学校園、関係施設等と連携し、迅速かつ的確な体制づくりに努めます。
- 新型インフルエンザ等のパンデミックに備えた体制づくりに努めます。

(6) 健康づくり組織への支援

【担当課：健康課】

- 育児支援や市民の健康づくりに取り組む母子・健康推進委員会や食生活改善及び食育活動を主体的に推進するいずみ会など、地域ぐるみで取り組む健康づくり活動や団体を支援します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



- 自分の健康は自分で守る意識を持って、健康づくりに取り組みましょう。
- 日々の健康管理のため、健診を受診しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



- 関係機関と連携し、従業員の健康づくりを進めましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
がん検診受診率	%	<u>18.8</u>	27.0
令和8年度目標値設定理由 近年の動向により設定			
乳幼児健診受診率	%	<u>98.0</u>	99.0
令和8年度目標値設定理由 近年の動向により設定			
国民健康保険被保険者の特定健診受診率	%	<u>30.0</u>	<u>60.0</u>
令和8年度目標値設定理由 厚生労働省が定めた目標値を参考に設定			
<u>メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少</u>	%	<u>31.2</u>	<u>23.0</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>近年の動向により設定</u>			

関連する計画

- たつの市健康増進計画・食育推進計画(第3次)(令和元年度～令和5年度)
- 第3期たつの市国民健康保険特定健康診査等実施計画(平成30年度～令和5年度)
- 第2期たつの市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(平成30年度～令和5年度)
- 第8期たつの市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)
- たつの市新型インフルエンザ等対策行動計画(平成26年度～)

施策23 医療サービスの向上

基本方針

地域医療の充実を図るため、地方独立行政法人たつの市民病院機構が地域医療構想を踏まえた公的病院として担うべき役割を果たすとともに、中長期的展望を持って安定的な経営を目指します。また、国民健康保険事業については、健康で安定した生活ができるよう、医療費の適正化と保険税収納率の向上を図り、健全運営に努めます。

これまでの取組

- 令和2年4月から地方独立行政法人に移行したたつの市民病院は、安定的な救急医療の提供、在宅医療を中心とした切れ目のない医療サービスの提供等、地域医療構想を踏まえ、たつの市民病院機構が担うべき役割を確実に果たすことを主要な目標として定め、取り組んでいます。
- 医療費適正化のため、医療費通知やレセプト点検調査の充実強化、国保保健師による重複・頻回受診に対する訪問指導の強化、ジェネリック医薬品の普及に取り組んでいます。

これからの課題

- たつの市国民健康保険事業の運営については、平成30年度から兵庫県と県内市町が共同保険者となっています。兵庫県と県内市町が共通認識のもと、一体となって広域化による事務の標準化や効率化に取り組み、財政運営の安定化を図る必要があります。
- 地域の医療については、救急医療や小児医療等の充実を図る必要があります。

施策の内容

(1) 地域医療体制の充実

【担当課：企画課(市民病院)、健康課】

- たつの市民病院機構においては、救急医療や予防医療等の地域医療構想を踏まえた地域のニーズに応じた医療を提供するとともに、地域包括ケアシステムの実現に向けて、公的な医療機関として中心的かつ先導的な役割を担います。
- 周産期医療及び小児医療については、西播磨・中播磨医療圏域の広域での取組において、県や医師会及び関係医療機関等と連携し、ネットワークの強化に努めます。
- 医師会の協力体制のもと、はつらつセンター内にある休日夜間急病センターの医療体制の充実に努めます。

(2) 市民病院の運営

【担当課:企画課(市民病院)】

- たつの市民病院機構において、中期目標に基づき、市民や患者が安心できる医療体制を確保するとともに、組織一体となって経営改革に取り組み、長期的かつ安定的な病院運営を目指します。

(3) 国民健康保険・後期高齢者医療保険の健全運営

【担当課:国保医療年金課】

- 国民健康保険については、県とともに財政運営や事業運営を行い、引き続き健全運営に努めます。
- 国保財政の安定を図るため、医療費の動向を的確に把握し、適正な医療給付に努めるとともに、適正な課税と収納率の向上に努めます。
- レセプトによる疾病分析、特定健康診査の推進と健診後の特定保健指導の徹底、糖尿病性腎症重症化予防の取組、レセプト点検の充実強化、重複・頻回受診に対する訪問指導の強化、ジェネリック医薬品の普及促進、第三者行為の把握強化等により、医療費の抑制に努めます。
- 後期高齢者医療広域連合及び関係機関と連携を図りながら、後期高齢者医療給付の適正化等に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→日頃から安心して通える、かかりつけ医や薬局を持ちましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→健康に関する従業員への知識の普及や、意識の向上に努めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
<u>重複・頻回受診者数</u>	人	<u>78※</u>	<u>66</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から毎年度2%減を目標に設定</u>			
<u>たつの市民病院機構の経常収支比率</u>	%	<u>109.3</u>	<u>101.0</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>中期計画の令和5年度目標値を維持</u>			

※令和元年度実績

関連する計画

○地方独立行政法人たつの市民病院機構中期目標(令和2年度～令和5年度)

施策24 幼児教育・保育の充実

基本方針

就学前の子どもを取り巻く環境の変化に的確に対応できるよう、幼児教育・保育の質の向上に努めるとともに教育・保育内容の充実を図ります。

これまでの取組

- たつの市幼稚園・保育所再編計画に基づき、令和3年度までに公立11園・私立8園の幼保連携型認定こども園化が完了しました。
- 幼稚園・保育所・認定こども園における職員研修を実施するとともに、小学校とのより円滑な接続を目的に平成30年3月たつの市幼児・小学校教育接続期カリキュラムを作成しました。
- 各園所において、地域との交流活動や自然体験活動を通じて、身近な人や自然、伝統文化との関わりを持ち、豊かな心を育んでいます。

これからの課題

- たつの市では待機児童は発生していませんが、3歳未満児の保育ニーズが増加しており、保育士の確保が課題となっています。
- 幼稚園・保育所・認定こども園の職員研修等を実施し、職員の資質・専門性の向上を図るとともに、保育士の確保に努め、幼児教育・保育を更に充実させる必要があります。
- 保護者や地域と連携し、様々な体験や交流活動を通じて、心身の発達を促す必要があります。
- 幼児施設については、安全・安心で快適に利用できる幼児教育・保育環境の充実と計画的に整備する必要があります。
- 保護者の抱える不安や負担を支援するために、関係機関との連携を強化し、子どものよりよい成長を促していく必要があります。

施策の内容

(1) 幼児教育・保育の充実

【担当課：教育環境整備課、幼児教育課】

- 幼児教育・保育の充実のため、望ましい規模の集団形成を図る中で、様々な年齢の子ども同士の関わりにより、人と関わる力を育み、生きる力の基礎を培います。
- 各園所での遊びをより充実させるために外部講師や地域交流を通じて、様々な文化や自然環境等への興味・関心を高め、豊かな心を育みます。
- 職員の資質・専門性の向上を図り、幼児教育・保育の質を更に充実させるために、職員研修を実施するとともに、引き続き保育士の処遇改善を図り、官民協働による保育の魅力発信等を通じて保育士の確保に努め、待機児童の発生を防ぎます。

●安全・安心で快適な園生活を送ることができるよう設備の改修や遊具の点検修繕等、幼児教育・保育環境の整備を図ります。

(2) 幼小の円滑な接続の推進

【担当課：幼児教育課、学校教育課】

●たつの市幼児・小学校教育接続期カリキュラムを活用した研修を小学校と合同で行い、小学校教育への学びの接続を円滑に進めます。

●特別な支援を必要とする幼児を中心に子どもの特性に応じたきめ細かな関わり等の情報共有を図り、小1プロブレムの解消に努めます。

(3) 認定こども園の推進

【担当課：教育環境整備課】

●民間保育所の認定こども園化を推進し、公私立認定こども園の改修等施設整備を計画的に行い、幼児教育・保育環境の充実を図ります。

(4) 保護者・地域・関係機関等の連携

【担当課：幼児教育課】

●保護者や地域、関係機関との連携を図り、保護者が安心して子育てを行うことができるように教育・保育の専門的な知識を生かした相談事業や保護者支援を行うことで、子どもの健やかな成長・発達を促します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



- 乳幼児期の子どもの心身の成長を支え、健やかな心と体を育てていきましょう。
- 地域の力を生かした子育て支援を進めましょう。

団体・事業者等に
期待すること



- 保護者や地域との連携を図り、子どもたちの体験活動を充実させ、豊かな心を育てていきましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
保育所及び認定こども園の待機児童数	人	0	0

令和8年度目標値設定理由 現状値を維持

関連する計画

○第2期たつの市子ども・子育て支援事業計画(令和2年度～令和6年度)

○たつの市幼稚園・保育所再編計画(改定版)(平成27年度～令和5年度)

施策 25 義務教育の充実

基本方針

自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる子どもたちを育みます。

これまでの取組

- 児童生徒の実態に応じ、少人数授業推進教員や支援員の配置等、指導体制の充実に図り、きめ細かな教育を行うとともに、地域と連携した体験活動を展開しています。
- たつの市幼児・小学校教育接続期カリキュラムを活用し、円滑な幼小連携を進めています。また、小中の接続期においても、継続性のある指導を行うことができるよう、小・中学生の交流活動を積極的に進めています。
- 英語教育やICT教育など新たな課題に対応し、指導力を高める教員研修を行っています。また、教職員の知的理解や人権感覚、指導力の向上を目指して、学校訪問や教職員研修等を実施しています。
- 「GIGAスクール構想」の推進に基づき、安全で安定したネットワーク環境を整備し、児童生徒に1人1台端末を導入しました。
- 学校給食衛生基準に基づく衛生管理の向上、たつの市健康増進計画・食育推進計画に基づく食育に取り組んでいます。
- 児童生徒が安全で快適な学校生活を送るため、全普通教室及び特別教室等への空調設備の整備や危険ブロック塀の撤去等、学校施設を計画的に整備しています。
- 学校及び関係機関と連携し、通学路の安全対策を行うとともに、遠距離通学となる児童生徒への通学支援を行っています。
- たつの市立小・中学校の適正規模・適正配置基本方針に基づき、要検討基準に該当する小学校の校区ごとに協議会を設置し、保護者、地域住民と共に、今後の学校のあり方について協議を進めています。

これからの課題

- 小・中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す小中一貫教育を進める必要があります。
- グローバル化や情報化が急速に進む社会において、児童生徒が未来を切り拓くための資質・能力を育成する必要があります。
- 安全で安定した学習環境を継続的に提供し、児童生徒1人1台端末等のICT機器を日常的に活用した学習を進めていく必要があります。

- 不登校やいじめ等諸問題が複雑化していることから、体験活動や道德教育、キャリア教育を通じて「豊かな心」を育むとともに、小・中学校間及び関係機関との連携や人的な配置を強化する必要があります。
- 長年教育に携わってきた教員が退職し、若い教員が増加していくなかで、学級経営や教科指導、部活動指導、人権教育に係る教材や指導方法等を継承していく必要があります。
- 子どもたちにきめ細かな指導をしていくためにも、すべての教職員が心身共に健康で、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることが重要です。
- 正しい食生活や地域の食文化の継承、自然の恵みや勤労の大切さ等を理解する必要があります。
- 学校施設については、引き続き改修や修繕を行い、老朽化が進む校舎等においては、計画的な施設整備を行う必要があります。
- 児童生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全対策に努める必要があります。
- 少子化により児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでいるため、引き続き、未来を担う子どもたちの望ましい教育環境を確保する必要があります。

施策の内容

(1) たつの市小中一貫教育の推進

【担当課：学校教育課】

- 情報教育、英語教育、キャリア教育等小学1年から中学3年までの学びや育ちの連続性を確保した、小中一貫教育の体制を整備し、小中ギャップの解消等小中の円滑な接続を図ります。
- 中学校区単位で「めざす子ども像」を共有し、特色ある教育を推進します。

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現

【担当課：学校教育課】

- 児童生徒の基礎学力の定着状況や生活実態の把握に努め、1人1台端末を活用するなど、学校における指導体制や指導方法を工夫改善し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を進めます。
- 児童生徒の「知識及び技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成や「学びに向かう力・人間性等」を伸長するため、教員の授業力向上を目指した研修を計画的に実施します。

(3) たつのGIGAスクール構想の推進

【担当課：教育総務課、学校教育課】

- ICTを効果的に活用した教科指導や情報モラル指導等教員の指導力の向上を目指すとともにICT支援員等の人的配置を行い、計画的で実践的な研修を推進します。
- 児童生徒が学習活動においてICTを適切に用いて、基本的な操作技能やプログラミング教育を含む情報活用能力を高めます。また、1人1台端末を活用して教科の学びを深める「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現します。
- ICT環境を適切に維持管理するとともに、情報セキュリティ対策を徹底し、安全で安定した学習環境を提供します。

(4) 特別支援教育の充実・推進

【担当課:学校教育課】

- たつの市教育支援委員会を中核とし、特別支援学校や福祉・医療機関等と連携しながら幼児期から義務教育終了までの進路を見据えた切れ目のない支援の充実に努めます。
- 特別支援教育ネットワーク会議を中心に支援体制を強化し、縦横連携を重視したインクルーシブ教育を推進します。
- チームとしての校内支援体制を充実させるため、研修会等の実施により、すべての教職員の資質や指導力を高めます。

(5) いじめ、不登校等生徒指導体制の充実

【担当課:学校教育課】

- 児童生徒の内面理解に努め、児童生徒が自ら課題解決に臨もうとする態度を培うための取組を推進します。
- 日常的な児童生徒観察や定期的なアンケートの実施によりいじめの早期発見に努め、学校全体で早期解決に取り組めます。
- 児童生徒や保護者に対する教育相談体制を充実させるとともに、保護者やスクールカウンセラ一等の専門家、関係機関等と連携しながら不登校児童生徒の心をサポートし、居場所づくりに努めます。

(6) 体験活動の推進

【担当課:学校教育課】

- 保護者や地域のボランティア等の積極的な参画を促進しながら、自然体験・社会体験活動を推進し、児童生徒の自立心を培うとともに、「命を大切にすること」「ふるさとを愛すること」を育みます。

(7) 道徳教育の推進

【担当課:学校教育課】

- 体験的・実践的な活動を通じた学習の推進により「豊かな心」を育み、主体的に人生や社会を切り拓く人づくりの基盤を育成します。
- 他者や自己との対話のある道徳科の授業を目指して、教職員の指導力向上を図ります。

(8) 人権教育の充実

【担当課:人権教育推進課】

- 人権が尊重される社会づくりに向けた実践力の育成を目指し、人権教育を推進します。
- 人権教育研修や資料の活用により教職員の知的理解や人権感覚を高め、指導力の向上を図ります。
- 地域教材や地域人材の充実を図り、地域に根ざした人権尊重の学校文化構築を目指します。

(9) 英語教育・多文化共生教育の推進

【担当課:学校教育課】

- 英語の学習を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を育成するとともに、国際的視野に立った異文化への理解や、共生意識の醸成を図ります。
- 小中学校が連携し、指導内容・指導方法等学びの継続を実現するとともに、中学生の英語検定受験者の増加など、児童生徒の英語によるコミュニケーションへの興味関心を高めます。
- グローバル化に対応した多文化共生教育や、歴史や伝統文化に触れるふるさとに関する教育を推進するとともに、今後増加する外国人児童生徒への支援体制の充実を図ります。

(10) 高校・大学と連携した教職員の資質・指導力の向上

【担当課:学校教育課】

- 大学教員等の専門家による授業や地元高校との連携授業の実施、大学生の参画による中学生サミットの開催など、外部の専門家等の積極的な活用により、児童生徒の興味関心を高めるとともに教員の資質指導力の向上を図ります。
- 揖龍教育研修所と連携し、教職員のキャリアステージに応じた研修を計画的に実施します。
- 効率的なOJT研修の実施や校務支援ソフトの活用等により、教員の働き方改革に取り組みます。

(11) 学校給食の充実

【担当課:すこやか給食課】

- 北学校給食センターを整備し、中央学校給食センターとの2センター方式で、安全・安心でおいしい給食の提供に努めます。
- 地域の食文化や食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、食育に取り組めます。

(12) 学校施設整備の計画的な実施

【担当課:教育環境整備課】

- 定期的な点検と計画的な施設整備による維持管理を行い、ポストコロナの「新しい生活様式」を踏まえた学習環境の整備等安全・安心で快適な教育環境を確保します。
- 「たつの市学校施設長寿命化計画」に基づき、施設の長期間使用を図る整備を行います。
- 道路関係部局や警察、地元自治会等と連携し、通学路の安全確保を図ります。

(13) 学校の適正規模・適正配置の推進

【担当課:教育総務課、学校教育課】

- 保護者、地域住民等と共に、引き続き、今後の学校のあり方について検討を進めていきます。
- 小規模校において、少人数を生かしたきめ細かな指導の充実を図るなど、小規模校のメリットを最大化し、デメリットを最小化する方策を検討します。
- 学校統合に伴い、通学支援及び児童の心理的ケアを図るための体制の整備を行います。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 学校教育に関する認識や理解を深め、学習活動に協力しましょう。
- 地域の力を生かした教育活動を進めましょう。
- 積極的に子どもと対話をしましょう。
- 地域と学校が連携し、安全・安心な環境づくりに向け、子どもたちを見守りましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 子どもの職場体験学習の機会の提供等、教育活動に積極的に参加しましょう。
- 安全パトロールに取り組むなど、子どもたちの安全確保に協力しましょう。
- 安全で安心な食材を提供しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
<u>たつの市小中学校における不登校出現率</u>	%	<u>1.6</u>	<u>1.2</u>
令和8年度目標値設定理由 近年の動向を踏まえて国の指標から設定			
<u>中学校3年時における英検受検率</u>	%	<u>17</u>	<u>50</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>現状値の倍増を目標に設定</u>			
<u>授業の内容がよく分かると思う児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙より)</u>	%	<u>78</u>	<u>90</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>現状値から目標を設定</u>			

関連する計画

○教育大綱(平成29年度～)

○たつの市教育振興基本計画(平成29年度～)

○たつの市学校施設長寿命化計画(令和元年度～令和12年度)

レイアウト調整中（今後、関連図表・写真等を挿入予定）

施策 26 青少年の健全な育成

基本方針

地域・学校・家庭などが連携を深め、青少年の健全な環境整備に努めるとともに、青少年が参加できる事業を推進し、健全育成に努めます。

これまでの取組

- インターネットやスマートフォンの普及に伴い、青少年を取り巻く環境の変化に対応するため、青少年健全育成協議会やPTA協議会と連携して保護者を対象とした教育講演会を実施し、情報モラルの向上と青少年を守る環境づくりに努めています。
- 放課後児童クラブにおいては、児童一人ひとりに合わせた細やかな支援を行うため支援員確保に努めています。

これからの課題

- 風あげ祭りやかるとり大会等の青少年参加型事業においては、参加者が固定化傾向にあるため、それらを解消する事業展開とする必要があります。
- 女性の社会進出に伴う放課後児童クラブ利用者の増加や感染症対策の観点から、利用者数に応じたクラブ数を確保する必要があります。

施策の内容

(1) 青少年健全育成事業の推進

【担当課：社会教育課】

- 青少年健全育成協議会、PTAや関係機関と連携を深め、青少年の成長に望ましい環境を確保するため、講習会・研修会を行い、街頭での補導やパトロール活動を推進します。
- 子ども会などの青少年団体への支援を行い、自然体験や社会体験を通じて青少年の自主的な活動を促します。
- 科学実験・科学講習会などを通じて、次世代を担う子どもたちの創造的な発想や理解力を養います。

(2) 放課後児童健全育成事業の推進

【担当課：社会教育課】

- 放課後児童クラブにおいて、待機児童ゼロを維持しつつ国の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準に基づいた適正な運営を行います。
- 職員を放課後児童支援員認定資格研修に派遣し、有資格者による保育を実施し、保育の質の向上に努めます。
- こども未来応援塾を開設し、児童の健全育成及び学力定着に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→ 家庭や地域において、子どもたちと話し合う機会を増やしましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→ 青少年の学校外活動や地域での活動の充実に協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
放課後児童クラブの待機児童数	人	0	0

令和8年度目標値設定理由 現状値を維持

関連する計画

○ 第2期 たつの市子ども・子育て支援事業計画 (令和2年度～令和6年度)

施策 27 生涯学習の推進

基本方針

多様化する市民のニーズや学習意欲の高まりに対応するため、市民が自己に適した手段・方法を選択し、「いつでも」「どこでも」学習活動ができるような環境づくりを推進します。

これまでの取組

- 揖西・揖保・萱田・神岡公民館については、コミュニティセンターへ移行し、地域活動やまちづくり活動を推進するための拠点施設となっています。
- 市内4図書館が連携し、市民ニーズに即した蔵書構成や事業を実施しています。

これからの課題

- 公民館では、生涯学べる環境づくりとして各種講座や行事を開催していますが、多様化するニーズに応じた学習内容を提供するため、ICT機器の活用等更なる工夫や充実を図る必要があります。
- 市民ワークショップにおいて、図書館については、知識や情報を提供する役割に加え、市民同士のコミュニケーションの場としての役割を担っていくことが提案されています。

施策の内容

(1) 生涯学習体制の充実

【担当課：社会教育課】

- あらゆる市民に向けて、それぞれの習熟度に応じた多様な学びの場をつくり、学びにより高められた市民力を多面的に生かしていくことができる環境づくりに努めます。

(2) 生涯学習事業の充実

【担当課：社会教育課】

- だれもが学習活動に参加できるよう、公民館の講座などにおいて魅力あるプログラムの充実に努めます。

(3) 図書館事業の充実

【担当課：社会教育課】

- 蔵書の充実を図り、市民と本（資料）を結びつける活動を活発に展開することで、読書を推進するとともに、各事業を通じて、利用者同士のコミュニケーションの活性化を実現できる環境づくりに努めます。
- 読書への関心を高めるため、乳幼児を対象とした「子ども読書ふれあい事業」を行うとともに、「たつの市子どもの読書活動推進計画」に基づき、家庭や地域、学校・園、図書館などが連携した読書活動の更なる推進に取り組みます。
- 電子図書館や移動図書館等サービスの拡充に努め、情報拠点としての機能を発揮し、生涯学習の一端を担います。
- 播磨科学公園都市圏域定住自立圏や連携中枢都市圏域の構成市町との広域利用による利便性の向上に努めます。

(4) 生涯学習施設の整備

【担当課：社会教育課】

- 地域のニーズや社会情勢に即した安全で快適な生涯学習活動ができる環境整備に取り組みます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること

→学習活動を通じて様々な知恵や知識、教養を身につけ、心豊かな生活を実現しましょう。

団体・事業者等に
期待すること

→だれもが学び、経験を積む機会を提供するとともに、学習に対する意欲や関心の喚起に努めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
図書館の年間貸出冊数	冊	<u>507,254</u> ※	550,000
令和8年度目標値設定理由 過去5年間の推移により設定			
<u>たつの市民大学講座受講生数</u>	人	<u>1,430</u> ※	<u>1,450</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>令和元年度実績の維持を目標に設定</u>			

※令和元年度実績

関連する計画

- 第2次たつの市子どもの読書活動推進計画(令和4年度～令和8年度)

施策 28 スポーツ・レクリエーション活動の推進

基本方針

「誰もが、いつでもどこでも楽しめる、生涯スポーツ社会の実現」を目的に、様々なスポーツに対応した運動施設の整備等を進めつつ、市民の健康づくり、気軽にスポーツやレクリエーションを楽しめるために各種スポーツ教室・大会等を開催し、家族・世代間の交流を図るとともに、スポーツ関係団体との連携を強化し、スポーツの競技力向上にも努めます。

これまでの取組

- 体育協会・スポーツ少年団・スポーツクラブ 21 等スポーツ団体との連携を保ち、スポーツを通じて青少年の健全育成や地域づくりに努めています。
- たつの市の観光資源を生かした、観光及びスポーツ振興の相乗効果を目的とした「スポーツツーリズム事業」を開催しています。
- 小学生を対象に、トップアスリートによるスポーツ教室を開催し、夢を持ち努力することの大切さを学ぶ「トップアスリート夢事業」を実施しています。
- 播磨科学公園都市圏域定住自立圏構成市町と連携し、スポーツ体験イベントを開催しています。

これからの課題

- 年間を通して活動場所の確保が課題となっている一方、既存施設は老朽化による修繕料が増加し、改修工事等の必要性も出てきています。また、競技種目ごとの正式なスポーツ施設を1か所に集中した運動公園の建設が望まれています。
- 障害者スポーツやニュースポーツをはじめ年々多様化するスポーツの普及促進のために、市の広報誌やホームページ等を活用したスポーツ・レクリエーション情報の提供に努め、指導者の発掘・育成やスポーツ関係団体との連携を強化し、支援していく必要があります。
- スポーツクラブ 21 は各小学校区を対象に設立していますが、人口等の地域差が大きく、活動自体にも大きな差があります。

施策の内容

(1) スポーツ施設の整備

【担当課: **スポーツ振興課**】

- 市内の4つの体育館については、利用状況分析等を行い、計画的な施設の再配置を検討します。

(2) 既存施設の維持管理

【担当課:スポーツ振興課】

- 既存施設を適正に管理していくため、調査・点検を行い、安全・安心な施設を維持するとともに、指定管理者制度の導入を視野に入れ、経費節減と市民サービスの向上を目指します。

(3) スポーツ・レクリエーションの普及推進

【担当課:スポーツ振興課】

- 市民ニーズに適合した各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、生涯スポーツの振興と競技力の向上に努めるとともに、地域スポーツ推進事業としてノルディックウォーク等の普及を推進します。
- 障害者も健常者も共に楽しめる障害者スポーツの促進に努めます。
- 播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業として、スポーツイベントを開催し広域で共有するとともに、ホームページ等を活用したスポーツ・レクリエーション情報の提供に努めます。

(4) スポーツクラブ 21 の支援

【担当課:スポーツ振興課】

- 地域スポーツの中核となるスポーツクラブ 21 において、子どもから高齢者まで幅広く参加する地域コミュニティの核となるスポーツ活動を支援します。

(5) 関係団体との連携

【担当課:スポーツ振興課】

- 体育協会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団、障害者スポーツ団体等との連携を強化するとともに各団体の活動を支援し、スポーツを通じた交流や競技力の向上、生涯スポーツの振興を目指します。併せて、生涯スポーツを支える人材の育成と活用を図ります。

(6) スポーツツーリズム事業の推進

【担当課:スポーツ振興課】

- たつの市の観光資源を生かした「梅と潮の香マラソン大会」「たつの新舞子ビーチカップ大会」「マウンテンバイク大会」「トレイルランニング」などを開催し、たつの市の魅力を全国に発信し、観光及びスポーツ振興、地域経済の活性化を図ります。

(7) ライフステージに応じたスポーツの推進

【担当課:スポーツ振興課】

- 幼児期から高齢者まで、すべての世代のライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、特に、幼児期の「リズムジャンプ運動」やトップアスリートから夢を持ち努力することの大切さを学ぶ「トップアスリート夢事業」を通じて、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を培います。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



→スポーツ活動に率先して参加し、生きがいづくり、健康づくりに努めましょう。

団体・事業者等に 期待すること



→スポーツに親しみ、スポーツを通じた仲間づくりや健康づくりをしましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
スポーツ施設の年間利用者数	人	<u>315,704</u>	<u>550,000</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>令和11年度の目標指数が600,000人のため</u>			
市民体育大会の年間参加人数	人	<u>3,109</u>	<u>6,500</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>令和11年度の目標指数が7,000人のため</u>			

関連する計画

〇たつの市スポーツ推進計画(令和2年度～令和11年度)

施策29 歴史文化遺産の保全と活用

基本方針

歴史と文化に対する市民の理解と認識を深め、郷土への愛着と誇りを促すため、市内の歴史文化遺産について、より一層の保存と活用を図ります。また、市民との協働及び参加型事業の展開、資料館等の文化財保存施設の整備と展示の拡充、文化財を生かしたまちづくりに努めます。

これまでの取組

- 市内の歴史文化遺産の調査を進め、指定制度等を活用し、文化財保護施策を展開しています。
- 龍野及び室津の歴史的景観形成地区等において町並み整備助成事業等により、歴史的建造物の保全を図った結果、良好な町並み景観の形成が推進されるとともに、同建造物の活用事例が増加しています。
- 令和元年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区や、日本遺産に認定された室津藩の歴史遺産を活用した事業を展開しています。

これからの課題

- 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区においては、歴史的建造物や町並み等の保存と活用を図る必要があります。
- 日本遺産に認定された室津地区においては、構成文化財の保存と活用を図る必要があります。
- 文化財の保存・活用については、所有者等の文化財愛護意識を高め、その理解を得る必要があります。
- 歴史資料館等については、学習の場としての設備・体制の充実が求められます。
- 空き家・空き地が増加し、歴史的町並みが損なわれつつあります。

施策の内容

(1) 歴史文化遺産の再発見

【担当課：歴史文化財課】

- 市域の豊かな自然と歴史を物語る多様な歴史文化遺産を調査し、市民とともに再発見に努め、文化財としての保存・活用を行います。

(2) 文化財の保存

【担当課：歴史文化財課】

- 重要な歴史文化遺産の未来への継承のため、文化財保存活用地域計画を作成し、適切な保存・整備と幅広い活用を目指すとともに、文化財情報の発信と顕彰に努めます。

(3) 文化財を活用したまちづくり

【担当課：歴史文化財課】

- 文化財を地域資源と位置付け、これらを活用した多様な事業やイベントを展開するとともに、地域と行政が連携しながら、市民とともに歴史文化遺産を生かしたまちづくりを推進し、住民の郷土意識の向上と県内外との交流人口の創出を目指します。
- 新宮宮内遺跡等の遺跡や山城跡等の文化財を地域住民と協働で整備し、活用を目指します。

(4) 歴史資料館の活用と整備

【担当課：歴史文化財課】

- 市内に点在する資料館を効率的に管理運営するとともに、魅力ある展示等の事業実施や設備・体制の充実等により、施設の特色化を図り、創意工夫によって市民に親しまれる資料館を目指します。

(5) 歴史的町並みの保全

【担当課：まちづくり推進課】

- 重要伝統的建造物群保存地区において、住民組織との協働により、歴史的建造物の保存と活用を推進します。
- 龍野及び室津の歴史的景観形成地区において、その貴重な歴史的町並みの保存・整備及び活用を進めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること

- 文化財を地域の宝と位置付け、保存と活用を推進しましょう。
- 歴史的建造物の保全に努め、歴史的町並みを大切にしましょう。

団体・事業者等に
期待すること

- 文化財の保存や継承に対し、積極的に支援しましょう。
- 歴史的建造物を活用しましょう。
- 歴史的建造物を保全するため、建築技術の継承に努めましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
指定文化財総数(国・県・市指定、国選定、国登録)	件	99	103
令和8年度目標値設定理由 近年の動向を踏まえて設定			
資料館・埋蔵文化財センター等の年間来館者数	人	12,429	23,000
令和8年度目標値設定理由 近年の動向を踏まえて設定			

関連する計画

〇たつの市龍野伝統的建造物群保存地区保存活用計画（令和元年度～）

施策 30 芸術文化活動の振興

基本方針

これまで培ってきた文化、風土を活用したイベントを市民と共に実施し、「たつの」の良さへの意識のかん養を図ります。また、文化団体の支援や市民の文化活動を支援し、市民全体の芸術文化振興事業を幅広く醸成します。

これまでの取組

- 「童謡の里宣言」の精神に則り、「三木露風賞～新しい童謡コンクール～」、「童謡の祭典」、「たつので生まれた童謡歌唱コンクール」を開催し、童謡の普及、創造に努めるとともに、市民の創作作品を公募する「たつの市美術展」、文化協会が中心となり企画運営を行う「たつの文化祭」、市内で活動する音楽団体が出演する「たつの市音楽祭」等、芸術文化の振興に努めています。

これからの課題

- 年齢や障害の有無に関わらず、各分野の文化活動を行う市民団体の発表、情報発信を支援し、芸術文化に親しむ機会づくりに努める必要があります。
- 赤とんぼ文化ホールとアクアホールは、開館から年数が経過しており、赤とんぼ文化ホールでは、大規模な設備の更新を行い、文化拠点としての更なる事業展開とする必要があります。

施策の内容

(1) 地域文化の継承

【担当課：社会教育課】

- 童謡をはじめとする文化を継承していくため、**霞城館等での文化人の顕彰や広報活動、市民の文化活動の支援を行い、「童謡の里たつの」の普及と文化振興事業の充実に努めます。**

(2) 文化・芸術公演事業の実施

【担当課：社会教育課】

- 赤とんぼ文化ホールとアクアホールでは、市民参加型の事業や本市出身アーティストを支援する事業等、文化振興と文化交流の拠点施設として幅広い事業を展開します。

(3) 地域文化の展開

【担当課：社会教育課】

- 既存の文化活動を継承しつつ活動の連携と調和を図り、加えて新たな市民の参加を促し、次への文化の展開につなげていくことで、**活力ある文化振興事業を実施します。**

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→心豊かな生活を実現するため、文化・芸術活動への参加及び鑑賞の機会を持ちましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→文化イベントへの参加啓発をしましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
総合文化会館主催事業の年間来場者及び施設利用者数	人	135,364※	136,000
令和8年度目標値設定理由 令和元年度実績の維持を目標に設定			
たつの市美術展におけるたつの市の年間出品点数	点	143※	160
令和8年度目標値設定理由 令和元年度実績の約10%増を目標に設定			

※令和元年度実績

関連する計画

○なし

施策 31 人権教育・啓発の推進

基本方針

「人権尊重都市宣言」や「たつの市部落差別解消推進条例」に基づき、「命と人権を大切にし、共生の心を育む」ことを重点課題とし、「自己実現」と「共に生きる社会」への展望のもと、様々な人権施策を展開し、同和問題をはじめ、あらゆる人権に関する課題の解決を目指します。また、すべての人の人権が尊重される明るく住みよいたつの市を築き、人権文化をすすめるため、「人づくり」「まちづくり」に努めます。

これまでの取組

- 「人権文化をすすめる県民運動」と呼応し、8月を推進強調月間として中央大会を開催するなど、年間を通して人権が尊重される心豊かな社会の実現を目指した啓発活動を展開しています。
- 人権教育の推進や人権意識の高揚を図るため、「人権教育実践発表会」や「人権を考える市民の集い」等を開催し、公開保育・授業や講演会等の実施を通じて、広く市民に学習の機会を提供しています。
- 人権関係団体と連携し、一人ひとりの人権が尊重される明るく住みよいたつの市を築くため、各地域や各地区、自治会等で人権交流や人権研修・学習会を実施しています。

これからの課題

- 「部落差別解消推進条例」により策定された「部落差別解消推進基本計画」に基づき、部落差別のない社会の実現に向けて人権教育・啓発の充実を図る必要があります。
- 人権意識の高揚を図るため、研修会や学習会等を継続して実施しているものの、いまだにインターネットの書込みに見られるような人権問題が発生している現状があり、啓発活動の継続と工夫を図る必要があります。
- 研修会や学習会の参加者の高齢化・固定化が見られ、幅広い年代層での人権意識の高揚は、十分に図られているとは言えません。
- 隣保館は住民の福祉を含めた身近な相談窓口の役割も担っており、相談体制を充実させ、親しみやすい隣保館運営に努める必要があります。

施策の内容

(1) 人権文化をすすめる市民運動の展開

【担当課：人権教育推進課】

- 8月を推進強調月間と位置付け、人権文化をすすめる市民運動「中央大会」や講演会等を開催し、市民に広く学習・啓発の機会を提供することで、市民の人権意識の高揚を図ります。

- 「人権教育実践発表会」や「人権を考える市民の集い」を開催し、公開保育・授業や講演会等を通して、市民に広く学習の機会を提供します。

(2) 学習活動の推進

【担当課：人権教育推進課】

- 学校・家庭・地域・職場における学習活動の効果を高めるため、学習内容の充実と指導方法の工夫・改善を図るとともに、それぞれのライフステージに合わせた研修の機会を提供し、人権意識を高め、日常生活の中に潜む様々な人権課題を見抜くことのできる市民の育成に努めます。
- 関係機関との連携を深めながら、多くの市民が関心を持てるような講座や研修会・学習会を開催するとともに、市民の相互理解の促進と地域社会への参加・参画を図るため、各種交流活動を実施します。

(3) 指導者の育成

【担当課：人権教育推進課】

- 同和問題をはじめとする様々な人権課題や、いじめや虐待、風評被害、インターネット上の掲示板やSNS等 による悪質な書き込み、性的マイノリティ やヘイトスピーチ などの新たな人権課題の解決に向け、人権教育アシスタント・人権教育推進委員等、人権リーダーの指導的力を高め、地域全体への人権教育・啓発の充実や推進体制の確立を図ります。

(4) 教育集会所・隣保館活動の充実

【担当課：人権推進課、人権教育推進課】

- 人権教育施設として教育環境の改善を図り、子どもたちを含め住民の交流活動を推進し、人権尊重の精神のかん養を目指します。
- 生活上の相談をはじめとする福祉の向上、人権教育、人権啓発といった隣保館本来の役割を果たせるよう、活動の充実を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 家庭や地域で人権について考えるきっかけづくりをしましょう。
- 人権についての研修会や学習会等に積極的に参加し、関心を持って取り組みましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 自治会・NPO・ボランティア団体・企業等が自ら研修会や学習会を実施し、人権意識を高めましょう。
- 各種団体が実施する研修会や学習会の充実を図るため、様々な研修の機会に参加し、その手法等を積極的に学びましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
人権に関する研修会・学習会の参加者数	人	25,450※	26,000
令和8年度目標値設定理由	近年の動向を踏まえて設定		
教育集会所・隣保館の利用者数	人	56,602※	57,000
令和8年度目標値設定理由	近年の動向を踏まえて設定		
人権相談と隣保館における相談者数	人	249	300
令和8年度目標値設定理由	近年の動向を踏まえて設定		

※令和元年度実績

関連する計画

○たつの市人権施策推進指針(平成19年度～)

○たつの市部落差別解消推進基本計画(令和3年度～令和7年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 32 男女共同参画社会の形成

基本方針

男女共同参画社会の形成に向け、市民への意識の啓発と醸成を促すとともに、男女が社会の対等な構成員として活躍できる社会をめざします。特に、女性にとって、活躍しやすい地域社会の形成に向けても取り組んでいきます。

これまでの取組

- 平成 28 年 3 月に特定事業主行動計画を策定し、市職員に占める女性管理職の比率を引き上げるなど、政策決定過程への女性の参画を進めています。
- 市民に対して、家庭・職場・地域における男女平等と共同参画の形成を広く周知し、男女平等の意識啓発に努めています。
- ジェンダー（社会的性別）にとらわれた制度や慣習等に気づいてもらうため、男女共同参画週間等で重点的に啓発活動を行うとともに、女性のチャレンジを応援するセミナーや相談会等を開催しています。

これからの課題

- 男女が共に仕事と家庭や地域活動での調和のとれた生活を送るためには、男女が家庭や地域における役割を平等に果たし、共に働きやすい環境をつくる必要があります。
- 各種審議会及び委員会における女性委員の割合を高めるとともに、コミュニティ活動等へ女性が参画しやすい環境を整え、市政や地域社会に女性の意見を十分反映させる必要があります。
- 企業、在宅ワーク、家事及び子育てといった各個人の希望に沿った様々なテーマでの女性の自己実現や活躍に向けた支援を行う必要があります。
- 女性に対するあらゆる暴力の根絶、女性が安心して暮らせるための環境整備をより一層進めていく必要があります。
- 多様な性のあり方について向き合う必要があり、男性、女性や性的マイノリティ（LGBTQ+）の方々の人権が侵されることも懸念されるため、相談窓口を設置することが求められます。

施策の内容

（1）男女共同参画社会の形成

【担当課：人権推進課】

- 「たつの市男女共同参画プラン」に基づき、男女共同参画社会の形成に向けて、ワーク・ライフ・バランスの重要性を含めて、市民と協働しながら、セミナーの開催等で市民の啓発や機運の醸成に取り組みます。

(2) 女性参画の推進

【担当課：人権推進課】

- 市政検討の場になる審議会等において、女性の割合を高め、男女双方の意見がしっかり反映された市政を推進します。
- 地域で活躍する女性のネットワークを構築します。

(3) 女性が活躍できる社会づくり

【担当課：人権推進課】

- 女性が活躍を希望するテーマに沿って、女性の自己実現や活躍に向けたセミナーを開催します。

(4) 多様な性のあり方を支える取組の推進

【担当課：人権推進課】

- 男性、女性及び性的マイノリティ（LGBTQ+）の方が差別的取扱いを受けることがあった場合の相談支援を実施します。
- 多様な性のあり方を認められるパートナーシップ制度などの環境づくりや啓発を進めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 男女が社会の対等な構成員として、自らの意思で活動に参画する社会づくりを進めましょう。
- 女性が活躍する気運を醸成していきましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 男女共同参画の効果に気づき、意識無意識にかかわらず、性別による差別的取扱いをなくしましょう。
- 男女共に働きやすい職場づくりに努めましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
市審議会の女性委員の構成比率	%	19.8	30.0
令和8年度目標値設定理由 国の目標値から設定			
補助金交付団体での女性役員の比率	%	34.7	40.0
令和8年度目標値設定理由 現状値より約5ポイント増を目標に設定			

関連する計画

○第2次たつの市男女共同参画プラン(平成29年度～令和8年度)

施策33 農林生産基盤の整備と担い手の育成

基本方針

生産性向上を図るため、基盤整備を実施し、優良農地の確保に努めるとともに、周辺環境を考慮しつつ、防災機能や親水機能、景観にも配慮した整備を行い、農業、農村の持つ多面的機能の発揮を促進します。山林については、水源のかん養や災害防止等の公益機能を高めるため、森林の適切な整備を行い、市民生活に欠くことのできない自然環境ゾーンとして保全します。また、農業を支える担い手の育成や生産基盤の経営発展を図り、効率の良い安全で安心な農産物の生産に取り組み、地域の特色を生かした営農体制を推進します。

これまでの取組

- 農業用施設は、多様な機能を有しており、農業生産力の向上と農村環境の保全のため計画的に整備を実施しています。
- 安全・安心な災害に強い森づくりのため、斜面の防災機能の強化を図り、間伐木を利用した土留工を設置しています。
- 風水害に強い多様な混交林をつくるため、広葉樹の植栽を行っています。
- 地域農業の担い手となる認定農業者、集落営農組織等の確保・育成に努めています。

これからの課題

- 農地や水路等の維持管理や、有害鳥獣対策を行う後継者の確保等、農業や農村の担い手を育成するとともに、コロナ禍で広がりつつある「田園回帰」の動きを追い風にする必要があります。
- 災害や気候変動といった農業の持続性を脅かすリスクへの対応強化を図り、農地や農業用施設が持つ防災機能を向上させる必要があります。

施策の内容

(1) 農業用施設の整備・保全

【担当課：農地整備課】

- 農地の区画整理や排水改良を実施することにより、農業生産性の向上を図るとともに、水田の汎用化を促進し、有効かつ効率的な農業生産体制の構築を目指します。
- ため池の老朽化による災害の未然防止と農業用水確保のため、農業水利施設の計画的な更新整備と長寿命化を推進します。
- ため池等の多面的機能の発揮を促進し、農地・水路等の地域資源の保全管理活動を支援します。
- 老朽化により機能低下した農道の修繕、更新などの整備を行い、農業・農村地域の振興と生活環境の改善を図ります。

- 農業用水の安定確保を図るため、用排水施設の計画的かつ効率的な更新整備を行うとともに、農業水利施設の持つ多面的機能の発揮を促進し、また、適時の診断や予防保全対策により施設の長寿命化を推進します。

(2) 有害鳥獣対策の強化

【担当課：農林水産課】

- 鹿、猪等の有害鳥獣による農業被害を低減するため、自治会、猟友団体等との協力体制を確立し、有害鳥獣捕獲活動及び集落単位での獣害痕跡調査を実施するとともに、市内で有害鳥獣捕獲活動に従事する狩猟者確保のための狩猟免許取得等費用の一部補助、防護柵の設置等を支援します。

(3) 森林環境整備と保全

【担当課：農林水産課】

- 森林経営管理制度等の活用により、木材の生産林として適切な森林管理を図るとともに、災害に強い森づくりへの取組について、自然環境に配慮した森林保全や林道等の施設整備を推進します。

(4) 多様な担い手の育成・確保

【担当課：農林水産課】

- 認定農業者や集落営農組織に対して法人化に向けた推進を行うとともに、広域化を図ります。
- 担い手農家の少ない地域では、地域合意による集落営農の組織化、女性及び定年帰農者が農村で活躍する場を広げ、多様な担い手による活力ある農村づくりを目指します。
- 新規就農者の雇用形態は多様であり、状況に応じた就農支援が必要であるため、新規就農者が定着できるワンストップ支援を推進します。
- ロボット、AI、IoT等先端技術を活用するスマート農業を推進します。

(5) 農地の集積・集約化

【担当課：農林水産課】

- 中心となる経営体とそれ以外の農業者の役割分担を踏まえた地域農業のあり方を明確にするため、農業振興地域のすべての農業集落で「人・農地プラン」の作成を進め、農地中間管理事業の活用により、中心経営体への農地の集積・集約化を推進し、大規模化による経営力の強化を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 地域農業の担い手の育成に努めましょう。
- 農道、水路等の地域の維持管理活動に参加しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 農業後継者、新規就農者との協力体制を築きましょう。
- 農道、水路等の整備事業に取り組みましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
認定農業者数	人	88	100
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から毎年度2人増を目標に設定</u>			
新規就農者数	人	5	11
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から毎年度1人増を目標に設定</u>			
人・農地プランの策定地区数	地区	22	34
令和8年度目標値の設定理由 <u>実績から毎年度2地区増を目標に設定</u>			
<u>有害鳥獣捕獲数（鹿・猪）</u>	頭	940	1,250
令和8年度目標値の設定理由 <u>実績から毎年度約50頭増を目標に設定</u>			

関連する計画

○たつの市田園環境整備マスタープラン(平成29年度～)

○たつの市農業振興地域整備計画(平成17年度～)

○たつの市鳥獣被害防止計画(平成20年度～)

○たつの市森林整備計画(平成26年度～令和6年度)

施策 34 農業経営の安定化と地産地消の推進

基本方針

消費者の需要に応じた「安全で安心な」農畜産物を安定的に供給し、「地域でとれた物を地域で消費する」という地産地消を推進するとともに、市場競争力の高い農業・畜産業の振興を図り、たつの市産農畜産物のブランド化を展開します。

これまでの取組

- 麦・大豆の作付けと**バジル**等の特産農産物の栽培面積の拡大を進め、生産性の高い農業を確立しています。
- 景観作物による水田の有効活用を促進し、水田の生産調整面積の達成に努めています。
- 遊休農地を活用し、市民が利用できる農地を市民ふれあい農園として提供することで、農業の活性化と農地保全を行っています。

これからの課題

- 地域の農畜産物の消費拡大のため、産地のブランド化、6次産業化及び**ホームページやSNSを活用した**市外への積極的なPRが求められます。
- **ライフスタイルの変化や海外マーケットの拡大等国内外の新たな需要の取り込みや、事業者との連携・協働によるバリューチェーンの構築に取り組んでいく必要があります。**

施策の内容

(1) 新たな価値創出による需要の開拓

【担当課：農林水産課】

- 農商工が連携して伝統産業である醤油醸造業の原材料に適した小麦や大豆の安定した生産と供給に努め、高品質化を目指します。
- **バジル、山椒及び九条ねぎ**をはじめとした消費者ニーズに対応した付加価値の高い農産物の栽培面積の拡大を継続的に推進し、たつの市産の知名度を向上させるとともに、ブランド化を図ります。
- 国指定産地の大根や人参、兵庫県指定産地のレンコンやトマト等の市場競争力を高める取組を積極的に展開し、国内外への販路拡大に努めます。

(2) 地域の農畜産物の消費拡大

【担当課：農林水産課】

- 6次産業化による農村集落の所得向上や新たな雇用を創出します。
- **地域農畜産物**を学校給食で活用し、次代を担う子どもたちへの理解を深めます。
- 各地域にある農畜産物の直売所を通じ、特色ある農畜産物の直売活動を支援します。

(3) 体験農業・市民農園の実施

【担当課：農林水産課】

- 遊休農地の活用の一環として市民農園を開設し、農地を所有していない人にも野菜作りの楽しさ、収穫の喜び等、様々な農業体験ができる場を提供します。

(4) 環境に配慮した農業の推進

【担当課：農林水産課】

- 化学肥料・化学合成農薬の低減に加え、地球温暖化防止や生物多様性保全といった自然環境の保全に効果の高い営農活動を推進して、環境にやさしい農業に取り組みます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→日々の食生活に地域の農畜産物をできるだけ多く取り入れましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→付加価値の高い農畜産物によるブランド力の向上に努めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
ひょうご推奨ブランド認証食品数 (農畜産物)	品目	51	57
令和8年度目標値設定理由 実績から毎年度1品目増を目標に設定			
ひょうご安心ブランド認証食品数 (農畜産物)	品目	154	160
令和8年度目標値設定理由 実績から毎年度約1品目増を目標に設定			

関連する計画

〇なし

施策 35 水産業基盤の整備

基本方針

漁港施設を計画的に整備するとともに、既存施設の維持補修に努め、水産物の安定的供給を図るため、漁場の環境保全活動及び水産種苗の放流や漁礁の整備を推進します。また、海を中心とした交流を喚起し、都市住民との交流・にぎわいネットワークの形成により、地域の活性化を図ります。

これまでの取組

- 漁港施設の整備を推進し、漁業活動の安全性や機能性等が向上しています。
- 水産資源の増大を図る稚魚放流や漁礁の設置を進めるとともに、漁場の環境保全活動の推進を図っています。
- 地元関係団体と連携したイベントを開催し、水産物のブランド化と販路拡大の推進を図っています。

これからの課題

- 漁港施設については、今後も計画的な維持管理に取り組み、施設の長寿命化を図る必要があります。
- 水産業の振興を図るため、マーケットインの発想で新たな特産品の開発や販路拡大や、イベント内容等の見直しを進めるとともに、新規漁業就業者の育成・確保に取り組む必要があります。

施策の内容

(1) 漁港整備

【担当課：農林水産課】

- 漁港機能を維持し、地域水産物の供給基地として各施設の整備事業を展開します。

(2) つくり育てる漁業の推進

【担当課：農林水産課】

- 漁業資源の安定を確保するため、漁礁の設置やカキ養殖業の振興を図るとともに、栽培漁業 によるガザミ・クルマエビ等の水産種苗の放流を充実し、「つくり育てる漁業」を推進します。
- 漁場の環境・生態系保全活動を推進し、水質の保全と豊かな海の再生に取り組めます。

(3) ブランドの確立

【担当課：農林水産課】

- 多様化・高級化する水産需要に対応するため、ブランドの確立、6次産業化を推進し、地元水産物の消費拡大を図ります。
- 直売所等による地産地消を促進し、PRを図るため、海に関するイベント事業を展開します。

(4) 交流・にぎわいネットワークの形成

【担当課：農林水産課】

- 水産業の振興と観光事業との連携を強化する観光漁業・体験漁業を導入し、都市住民との新たな交流・にぎわいネットワークの形成を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- たつの市で生産された水産物を積極的に購入しましょう。
- イベント等に積極的に参加しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 安定した漁獲・生産量の確保に努めましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
新規漁業就業者の育成人数	人	<u>20</u>	<u>23</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から2年度で1人増を目標に設定</u>			
ひょうご推奨ブランド認証食品数 (水産物)	品目	<u>4</u>	<u>5</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から1品目増を目標に設定</u>			

関連する計画

○なし

施策 36 観光基盤の活用

基本方針

各地域の観光資源や既存の観光施設を有効に活用・整備し、サービス充実の観点から観光客のニーズに応える観光を展開し、誘客に努めます。

これまでの取組

- 道の駅しんぐう及び道の駅みつは、指定管理者により運営しており、特産品販売等各種企画の実施により、観光資源のアピールと地域の活性化を図っています。
- 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区及び日本遺産に認定された室津地区においては、町並みや歴史的建造物、文化財の保存を行うとともに、ARアプリの活用等により観光誘客を図っています。

これからの課題

- たつの観光案内所及び龍野観光売店さくら路は、観光拠点施設としての機能を果たしてきましたが、観光ニーズの変化等により利用者が増減傾向となっています。
- 新型コロナウイルス感染症により失われた観光需要の回復や地域経済の活性化に向けて、様々な関係者が連携して観光資源を磨き上げる必要があります。

施策の内容

(1) 観光資源の活用

【担当課：観光振興課】

- 本市の恵まれた自然環境や観光施設、多くの文化財や町並みといった地域資源に磨きをかけるとともに、パンフレット等の多言語化及びVR技術等の活用により四季を通じての誘客に努めます。
- 近畿随一の遠浅海岸である新舞子浜や清流揖保川、山城や重要伝統建造物保存地区等の多様な観光資源を生かした情報発信を行うとともに、龍野地区まちづくりビジョンに基づく施設の整備と観光ルートの構築を推進し、着地型観光の振興を図ります。
- 観光需要の回復のため、関係団体等と連携しながら観光資源の磨き上げとインバウンド誘客への対応に努めます。

(2) 観光施設の活用

【担当課：観光振興課】

- 道の駅しんぐう及び道の駅みつにおいて、「ふるさとたつの」の情報発信に加え、特色ある事業を充実し、観光客の誘致を行います。また、道の駅みつでは、体験学習事業等の施設の活用を図ります。
- たつの観光案内所及び龍野観光売店さくら路においては、観光拠点として、多くの方に利用してもらえるよう、観光客のニーズ把握に努めます。

(3) 歴史的町並みの活用

【担当課：まちづくり推進課】

- 「龍野地区」の重要伝統的建造物群保存地区や「龍野地区」及び「室津地区」の歴史的景観形成地区において、貴重な観光資源である歴史的町並み及び歴史的建造物、日本遺産に認定された北前船関連文化財の保存に努めるとともに、歴史的建造物を活用した出店やイベントの開催を推進することにより、新たなにぎわいを創出します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 観光施設でのマナーを守るとともに、おもてなしの心を持ち観光ボランティアに積極的に参加しましょう。
- 地域の歴史や文化、観光資源を学び愛着を持つことで、一人ひとりがたつのファンとして、たつの市を広くPRしましょう。
- 歴史的建造物の保全に努め、歴史的町並みを大切にしましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 観光関連事業者、団体は、観光誘客に関わる事業に携わる人材の確保、育成を行いましょ
- 新たな観光資源の発掘と育成に努めましょ
- 歴史的建造物を活用しましょ

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
年間観光客数	万人	209.0※	221.9
令和8年度目標値設定理由 <u>平成29年度～令和元年度の平均値から毎年度1%増を目標に設定</u>			
道の駅年間利用者数(しんぐう・みつ)	万人	32.6	36.4
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から毎年度2%増を目標に設定</u>			

※現状値は平成29年度～令和元年度の平均値

関連する計画

○龍野地区まちづくりビジョン(令和4年度～)

施策 37 観光PRの充実

基本方針

地域の特色を生かした観光PRイベントを実施し、社会環境の変化を踏まえた観光客の誘致と交流人口の拡大に努めるとともに、観光施設や観光イベントなど、観光資源の情報共有を図り、マスメディアやインターネット等を積極的に活用し、たつの市の魅力を市内外にPRします。

これまでの取組

- 市民相互の連帯感の醸成及び「ふるさとたつの」の観光PRを目的とした、たつの市民まつりを実施しています。
- 観光協会等各種団体と連携を図り、さくら祭、みつまつり、納涼花火大会、観月の夕、梅まつり等四季を通じて、たつの市のPRを行っています。
- 「ひょうごロケ支援Net」推進会議へ参加することにより、たつの市の名所や美しい風景を全国にPRしています。

これからの課題

- 類似イベントの集約や観光に特化したPRに取り組む必要があります。
- たつの市のホームページや広報誌による周知とともに、情報誌や旅行ガイドブックへの情報提供は行っていますが、有料記事への積極的な掲載について、今後検討する必要があります。

施策の内容

(1) イベントの充実

【担当課：観光振興課、御津地域振興課】

- 類似イベントについては、観光協会や各種団体と協調し、集成に努め、更なるイベント内容の充実を図ります。
- 外国人を含めた観光客のニーズに対応した、甲冑の着付け体験などの体験型観光事業を実施します。
- 同時期に開催するイベントや各地域で行われるイベントを統一的にPRし、関連性を持たせることによる相乗効果を発揮させ、より一層魅力を高めます。

(2) たつの市民まつりの拡充

【担当課：観光振興課】

- 市民の連帯感及び観光客との交流を深め、市全体の活気と連帯感を醸成するとともに、「ふるさとたつの」の観光誘客につながるイベントとなるよう進めます。

(3) マスメディア等を使ったPR

【担当課：観光振興課】

- 名所旧跡・イベント・新規事業などを新聞・テレビ・ラジオ・観光ガイドブック等に積極的に情報提供することにより、たつの市を全国にPRします。また、ホームページやSNS等を活用した効率的な情報発信による観光誘客に努めます。
- イメージキャラクター「赤とんぼくん」「あかねちゃん」の活用やプリンセスたつのによる、市のイベントを広く市内外にPRします。

(4) フィルムコミッション事業の展開

【担当課：観光振興課】

- 「ひょうごロケ支援Net」との連携を図るとともに、テレビや映画等の撮影隊の誘致活動を行うフィルムコミッション組織の立ち上げを検討します。

(5) 広域観光ネットワークの構築

【担当課：観光振興課】

- ひょうご観光本部、西播磨ツーリズム振興協議会、西播磨観光協議会、はりま城下町カルテット等広域での連携によるPR活動を推進するとともに、播磨科学公園都市圏域定住自立圏や連携中枢都市圏域の連携による観光ネットワークを構築します。
- ポストコロナ時代を見据えたイベント展開について検討するとともに、マイクロツーリズムを推進し、新たな観光誘客を図ります。

(6) 姉妹都市交流

【担当課：商工振興課、観光振興課】

- 姉妹都市等、市外で開催されるイベントにも積極的に参加し、たつの市の地場産品や特産品、観光情報を広くPRすることにより、産業振興、観光誘客を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



→地域の歴史や観光資源の魅力を学び、愛着を持つことで、一人ひとりがたつのファンとして、たつの市を広くPRしていきましょう。

団体・事業者等に 期待すること



→地域や関係機関・団体は、誘客に関わる事業に取り組みましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和 2 年度	目標値 令和 8 年度
<u>たつの市観光協会の年間ホームページ閲覧数</u>	千人	4	120
令和 8 年度目標値設定理由	<u>地域再生計画目標値(R3:70 千人)から毎年度 1 万人増を目標に設定</u>		
年間イベント来客数(主な 18 事業)	千人	496※	546
令和 8 年度目標値設定理由	<u>平成 29 年度～令和元年度の平均値から約10%増を目標に設定</u>		
※現状値は平成 29 年度～令和元年度の平均値			

関連する計画

○なし

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 38 商業の活性化と工業の振興

基本方針

地場産品の「たつのブランド」化を推進するとともに、企業や関係団体と共に国内外での新たな販路拡大を図るため、PR活動に努めます。また、商店街のにぎわいづくりに資するイベント開催や広告宣伝活動、施設設備などを支援し、地域やまちづくりと一体となった商業の活性化に取り組みます。更に、企業誘致を継続的・積極的に進めるとともに、地域産業の基盤である中小企業に対する支援の強化や新たな起業・創業を支援することにより、雇用の場の確保、創出を図ります。

これまでの取組

- 地場産業のPRを行うイベントとして、皮革まつりを開催し、また、全国そうめんサミットへの参加や全国醤油サミットへの参画を通じ、「たつのブランド」の確立と周知に取り組んでいます。
- 商工会議所、商工会及び市内金融機関を通じて中小企業者等を支援することにより、経営基盤の強化と商工業の振興を図っています。
- 商業団体が実施する地域住民との交流・にぎわいを創出するイベント事業や商業団体の情報・魅力を発信する魅力発信事業、また、共同施設改修事業について支援しています。
- 企業立地の優遇制度を実施することで、市内への企業進出の強化や新たな産業の立地を推進しています。
- 市内での創業予定者に対して支援を行い、産業及び地域の活性化、雇用創出、定住促進、起業家の育成を図っています。
- 地域事業所の合同説明会等の開催や雇用の確保に努める企業に対する補助金の交付、市内企業の就職情報を掲載した冊子の作成・配布を通じて、若者の就労支援と地域での人材確保を支援しています。

これからの課題

- 低金利での融資を行い支援することで、中小企業者の経営基盤や資本投資の強化を図っていますが、兵庫県の融資制度等、他の融資制度の利用等により、融資件数が減少傾向にあります。

施策の内容

(1) 地場産業振興PR

【担当課：商工振興課】

- 産官学金の連携を軸とした高付加価値化や「たつのブランド」づくりへの支援を行うとともに、市内外での展示販売や様々なメディアを通じた販路開拓への支援等、PRの強化を図ります。

(2) 中小企業対策の推進

【担当課: 商工振興課】

- 資金・設備・技術・人材・情報等に関わる支援を通じ中小企業者の経営基盤強化を図るとともに、今後の社会情勢を見据え、新たな働き方に取り組む企業への支援を検討します。

(3) 商業活性化の促進

【担当課: 商工振興課】

- 商店街等が取り組む事業の支援や、空き店舗の有効活用等、商業団体等との連携強化による商店街の再生支援に取り組みます。

(4) 企業誘致の推進

【担当課: 商工振興課】

- 企業立地奨励金交付や固定資産税減免などの優遇制度、規制緩和及び交通アクセスの利便性を含めたPRの実施などにより、企業の誘致や留置を推進します。

(5) 新たな産業の育成

【担当課: 商工振興課】

- 新たな産業の育成を図るため、起業・創業への取り組みや新ビジネスへのチャレンジを支援し、地域経済の活性化に努めます。

(6) 雇用対策の推進

【担当課: 商工振興課】

- 公共職業安定所等の労働関係機関や地域経済団体、播磨科学公園都市圏域定住自立圏の他市町とネットワークを強化し、雇用機会の創出・拡大に努めます。
- 市内で就職を希望している若者や高齢者等の様々な年齢層に対する地元企業の情報提供・魅力発信及び就労相談支援を行うとともに、協力企業に補助金を交付するなど、様々な雇用支援に努め、地元雇用を促進します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→ 地場産品に対する誇りを持ち、できるだけ地場産品を購入し、周りにも推奨しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→ 事業者は商品開発や販路開拓、経営改善等に取り組ましましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
事業所数	事業所	<u>3,636</u>	<u>3,834</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>H26 経済センサス値と R 元経済センサス値の比較により設定</u>			
<u>新規事業所数</u>	<u>事業所</u>	<u>389</u>	<u>443</u>
令和8年度目標値設定理由 <u>H26 経済センサス値と R 元経済センサス値の比較により設定</u>			
<u>有効求人倍率(年度平均)</u>	<u>倍</u>	<u>0.85</u>	<u>1.18</u>
令和8年度目標値の設定理由 <u>近年の動向を踏まえて設定</u>			

関連する計画

- 生産性向上特別措置法に基づく導入促進計画(平成30年度～令和3年度)(延長予定)
- 地域未来投資促進法に基づく基本計画(平成29年度～令和4年度)
- 創業支援等事業計画(令和2年度～令和6年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 39 地域コミュニティ活動の推進

基本方針

厳しい行財政運営の中であっても、地域の活力を維持・向上するため、地域コミュニティ活動を推進し、地域の課題を地域で解決できる自立のまちづくりを目指します。

これまでの取組

- 市民自らが、まちに関心を持ち、互いに支え合えるよう、コミュニティ意識を醸成し、活動を支援しています。
- 自立したまちづくりを推進するため、市民の主体的な公益活動に対する支援を実施しています。
- 市民が自主的に行う里山整備活動及び山地環境保全活動や自治会が行う公民館の新築等の事業に対し、補助金の交付を実施しています。
- 老朽化した空き家に関しては、危険回避のための応急処置を自治会が実施しており、地域の課題解決につながっています。

これからの課題

- 行政による支援終了後、市民団体が自立・自走できる体制づくりを構築する必要があります。
- 人口減少や少子高齢化等、社会情勢の変化に伴い、地域における課題解決のための担い手不足やつながりの希薄化から、地域コミュニティの弱体化が予測されることから、全ての人が活躍できるまちづくりを進める必要があります。

施策の内容

(1) 自立のまちづくりの推進

【担当課：総務課、農林水産課、**まちづくり推進課**、農地整備課】

- 新たな公・共・私（公助・共助・自助）の協力関係により、地域課題の解決を促進します。
- 地域の課題解決に取り組む活動や地域の文化・産業・社会教育の振興等に取り組む活動を支援し、福祉の増進や良好な地域社会の形成、市民主体の真に自立したまちづくりを推進します。

(2) コミュニティ活動の推進

【担当課：総務課、企画課】

- コミュニティセンターや各自治会の集会所・県民交流広場等の拠点施設を活用した地域コミュニティづくりを推進します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→ 地域づくりを「自分ごと」として捉え、地域住民の創意と工夫に基づき、次の世代にこそ発展的に継続させていくものであるという意識を持ちましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→ コミュニティセンターや各自治会の集会所、県民交流広場等を活用し、地域の課題解決に向けて取り組みましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
自立のまちづくり事業年間実施団体数	団体	114	125

令和8年度目標値設定理由 実施団体数の10%増を目標に設定

関連する計画

○なし

施策40 市民参加と連携・協働のまちづくり

基本方針

市政に関する情報を積極的に提供し、その情報を共有することにより、市民の声をまちづくりに取り入れ、広く市民が市政に参画し、市民の知恵や創意工夫を反映させ、市民団体や企業など多様な主体と協働・連携できる体制づくりを推進します。

これまでの取組

- 市民と行政、市民と市民、行政と多様な主体の意見交換や情報提供の場を多く設け、市民や多様な主体からの提案や要望を市政運営に反映させるとともに「ふるさとたつの」のまちづくりへの積極的な参加を推進しています。
- 広報「たつの」、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム等をはじめ、世代に応じた発信方法で市政情報を広く発信することで、多くの市民が市政情報を容易に入手できるよう取り組んでいます。
- ホームページで議会の傍聴案内、本会議のインターネット録画配信、会議録検索システムによる会議録の公開を実施するほか、議会だよりのリニューアル、市議会公式フェイスブックの開設等、開かれた議会運営に取り組んでいます。

これからの課題

- 意見交換、情報交換の場に多くの市民参加はありますが、若年層・女性の参加が少なく、今後は市内在住外国人を含めた、幅広い年齢層が参加できる体制づくりを検討する必要があります。

施策の内容

(1) 直接対話機会の充実

【担当課：広報秘書課】

- 市民が直接行政や市長と対話できる「市長対話広場事業」、「新春座談会」、「来て！見て！実る！がんばる地域発見プロジェクト」等を充実させ、市民だれもが気軽にまちづくりに参加できる取組を推進します。
- 市民が希望するテーマについて、職員が地域に出向き説明する「出前講座」を充実させ、市民ニーズの把握と市政情報の提供に努めます。

(2) 市政参加機会の創出

【担当課：企画課、人権推進課】

- 各種委員会や審議会への女性及び一般公募委員の割合を高くするなど、市民が施策立案から事業の実施・評価段階に至るまで参画できる機会の充実に努めます。

(3) 市民提案型市政の推進

【担当課:広報秘書課】

- 市民との直接対話の場やパブリックコメントを活用し、市民の市政への参画推進を図るとともに、市民ポストやホームページによる意見・提案等の広聴活動の充実を図ります。

(4) 情報公開の推進

【担当課:情報推進課、議会事務局】

- 公正で開かれた市政を展開するため、行政情報を適切に管理し、個人の権利や利益の保護に配慮しつつ、市政情報を公開するなど、情報公開制度の充実と適切な運用に努めます。
- 「開かれた議会」を目指して、議会の傍聴を呼びかけるとともに、議会のインターネット中継システムの検討、ホームページを活用した会議録の公開、公式フェイスブックの活用等、情報提供の更なる推進を図ります。

(5) 広報活動の充実

【担当課:広報秘書課】

- 広報「たつの」やホームページを充実し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用に努めるとともに、点字化広報や英語版広報など、障害者や外国人にも配慮した広報活動を行い、市民に分かりやすい情報の発信に努めます。

(6) 多様な公共の担い手による協働の推進

【担当課:企画課、まちづくり推進課】

- 自治会等の地縁団体やNPO・ボランティア団体等の市民活動団体、企業など、多様な主体との協働・連携を推進するとともに、産業界・各種行政機関・学校・金融機関・労働団体・マスコミなどとの連携を強化し、地域一体となった市政運営に努めます。

(7) 地域を越えた協働の推進

【担当課:企画課、まちづくり推進課、商工振興課】

- 市民と行政、市民と市民、また行政と市内企業とのパートナーシップによる参画と協働に取り組み、地域間のイベント交流、更には定住自立圏域等の広域的な交流を推進し、交流人口や関係人口の増加を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→市政に関する情報を収集し、意見の発信やイベントへの参加などを通じて、積極的にまちづくりに参画しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→市民や地域と協働した活動に取り組み、積極的にまちづくりに協力しましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
市役所出前講座年間参加人数	人	3,053	5,400
令和8年度目標値設定理由 毎年10%増を目標に設定			
ホームページ年間アクセス数	件	1,680,380	2,250,000
令和8年度目標値設定理由 毎年5%増を目標に設定			

関連する計画

○なし

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策41 シティプロモーションの推進

基本方針

たつの市の魅力を市内外に発信し、多くの人に「訪れたい」「住みたい」と思われるようにまちの魅力をアピールし、活性化につなげていきます。同時に、市民と行政が協力し合いながら、情報や魅力を伝えることで、誇りや愛着を醸成します。

これまでの取組

- 本市の地場産業である「淡口醤油」、「素麺」、「皮革」等をテレビ、新聞、ホームページや各種イベントにおいて市内外にアピールしています。
- ふるさと応援寄附金の寄附者に、ふるさと感謝便を送付し、たつの市の特産品をアピールするとともに、新たなふるさと納税サイトを活用することで、全国のより多くの人へたつの市をPRしています。
- 「訪れたい」と思われるまちを目指し、地域資源を市内外にアピールするため、地域の魅力を生かした各種イベントを実施しています。
- 「住みたい」と思われるまちを目指し、子育てにかかる負担、不安を軽減する子育て支援施策を展開するとともに、住宅取得支援事業や移住応援事業など定住促進を図る事業を実施しています。
- 本市の魅力ある資源を再発見し、市民と行政が協働して市内外に魅力を発信することで更なる地域への愛着醸成に取り組んでいます。
- 時間や曜日を問わず移住相談に対応できるAIチャットボットを導入するとともに、たつの市での暮らしをWEBで体験できる動画を制作し、移住希望者に向けた情報発信に努めています。

これからの課題

- 多種多様な魅力あふれる事業を展開していますが、市内外への更なるアピールとたつの市のブランドイメージの確立に努める必要があります。
- 本市のイメージキャラクター「赤とんぼくん」、「あかねちゃん」を市内外にアピールしていますが、更なる認知度の向上を図る必要があります。

施策の内容

(1) 赤とんぼくん、あかねちゃん認知度の向上

【担当課：観光振興課】

- 各種イベントにおいて「赤とんぼくん」、「あかねちゃん」が出演する機会を増やすとともに、ふるさと感謝便や祝入学支援事業にイラストを掲載しPRを促進します。

(2) 観光資源の活用とPR

【担当課:観光振興課】

- 本市の魅力を市内外に発信するため、体験型観光を充実し、滞在時間とリピーターを増加させるとともに、旅行社と連携したツアーを実施します。

(3) 移住希望者へのPR

【担当課:まちづくり推進課】

- PRコンテンツを積極的に活用し、移住相談会や移住体験ツアーを行い、主に都市部からのUIターンを促進します。

(4) まちのブランドイメージの確立

【担当課:広報秘書課、商工振興課、観光振興課】

- 本市の地域資源を再発見し、本市への愛着を深めるとともに、全国に向けた魅力あふれるたつの市を発信するため、SNS等を利活用した広報活動の充実とたつの市のブランドイメージの確立に努めます。
- フィルムコミッションを視野に入れるとともに、本市ゆかりの著名人を親善大使に任命し、様々な方面から本市の魅力を全国に発信します。
- ふるさと応援寄附金を通じて、本市の知名度アップと魅力を発信するとともに、市内事業者等と協力し、関係人口創出につながる特産品開発を推進します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- たつの市の魅力を発見・再確認し、積極的に触れることを意識しましょう。
- たつの市の魅力をSNS等も活用し身近な人や市外へ発信しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 情報発信のための素材を積極的に発掘・発見しましょう。
- たつの市の魅力をSNS等も活用し身近な人や市外へ発信しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
ふるさと応援寄附金年間寄附件数	件	14,369	20,000
令和8年度目標値設定理由 <u>令和2年度件数から毎年度約1,000件増を目標に設定</u>			
<u>インスタグラムフォロワー数</u>	人	705	1,250
令和8年度目標値設定理由 <u>実績から毎年度10%増を目標に設定</u>			

関連する計画

- たつの市まち未来創生戦略(令和4年度～令和8年度)

施策42 国際交流・国内交流・地域交流の推進

基本方針

市民・団体・NPOなど様々な主体が、地域の活性化を図るため、活発に交流できるよう国際・国内・地域交流活動を支援していきます。また、外国人に対する行政サービスの充実を図り、外国人も住みやすいまちを目指します。

これまでの取組

- たつの市国際交流協会を主体とした、語学講座や講演会、研修会、学習会等を実施するなど、様々な国際交流事業を展開し、市民レベルでの国際理解の推進を図っています。
- 多文化共生サポートセンターの窓口相談件数の増加に伴い、相談員を増員し体制を強化しています。また、子ども向けワークショップ等を開催することで、将来を担う子どもたちの国際感覚を養う一助となっています。
- 姉妹都市であるコビントン市へ市内中学生を派遣し、ホームステイを通じて豊かな国際感覚を養うとともに、語学力の向上に努めています。
- 姉妹都市である国内3市と、教育、スポーツ、文化等の幅広い分野において、市民レベルでの交流を行っており友好を深めています。
- 地域内では、様々なイベントや伝統行事を通じて、地域の特色の保存や文化の伝承が図られています。

これからの課題

- 人口減少、少子高齢化により人口構造がアンバランスになっており、地域コミュニティの維持が困難になることが想定されます。
- 市内在住外国人と市民が交流する機会を増やすとともに、市内在住外国人が日本語教育の推進等を通じて、日常生活及び社会生活を市民と共に円滑に営むことができる環境の整備に努める必要があります。
- 地域ぐるみで多文化共生社会の構築が求められている中、市民一人ひとりが異なる文化への理解を深め、国際的な感覚を身に付ける必要があります。

施策の内容

(1) 国際交流の推進

【担当課：広報秘書課】

- たつの市国際交流協会を核として、全市的な国際交流体制の確立を図り、市内在住外国人との交流イベントや講演会、英会話教室等の国際交流事業を支援します。

- 国際社会に対応できる人材育成につながるような生涯学習講座の開設や多文化共生に関わる情報提供等の充実を図ります。
- 多文化共生サポートセンター（外国人相談窓口）を中心に、生活情報の提供や様々な相談に対応し、外国人が住みやすいまちを目指します。
- 国際性豊かな人材の育成、語学力の向上など海外の文化や習慣に慣れ親しむ機会を提供するため、子ども国際交流事業を推進します。

（２）姉妹都市等との交流の推進

【担当課：広報秘書課】

- スポーツ、文化、産業、防災等の幅広い分野において、姉妹都市等との交流を更に推進するとともに、地域を越えた交流活動を積極的に展開します。

（３）多様な世代の個性とキャリアを生かした交流・参画

【担当課：総務課、高年福祉課、社会教育課】

- 地域住民が協力して行う様々なイベントや伝統行事等を通して、世代間の垣根を越えた交わりを持ち、地域コミュニティの結束力強化を図りつつ、地域の伝統の伝承を図り、地域の特色の保存及び現役を退いた高齢者世代の知識や経験を地域活性化に生かしていく仕組みを構築します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→国際交流・国内交流・地域交流に積極的に参加しましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→市民や国際交流団体等の活動に対する支援や海外からの研修生の受け入れ等、国際交流の促進に努めましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
国内姉妹都市年間交流人数	人	144※	200
令和8年度目標値設定理由 過去の実績から設定			
多文化共生サポートセンター年間相談件数	件	276	370
令和8年度目標値設定理由 毎年度5%増を目標に設定			

※平成30年度実績

関連する計画

○なし

施策 43 行財政改革の推進（行政改革大綱）

基本方針

簡素で効率的・効果的な行政運営の確立に向け、不断の行財政改革に取り組むとともに、施策推進と行財政改革の双方の整合性を図りながら、持続可能な自治体経営を着実に推進します。

これまでの取組

- 行政評価（施策評価及び事務事業評価）を実施し、次年度以降の予算編成への反映に努めているほか、行政改革推進実施計画に基づき、PDCAサイクルにより施策を検証し、行財政改革の着実な実行に取り組んでいます。
- 施設管理について、民間委託や指定管理者制度の導入により、業務の効率化や行政サービスの質の向上に努めています。
- 今後の行政サービスについて、市民が意見・提言できる場を設け、施策・事務事業に反映させる取組を行っています。
- 持続可能な行政サービスを維持するため、下水道使用料の改定や市民病院を地方独立行政法人へ移行しました。

これからの課題

- 人口減少及び少子高齢化の進行等により、これまで以上に厳しい財政状況が見込まれることから、歳入に見合った歳出構造を大原則に優先順位に基づいた選択と集中により、健全財政を堅持した上で、質の高い行政サービスの提供に取り組んでいく必要があります。
- 国民宿舎「赤とんぼ荘」について、今後のあり方を検討する必要があります。
- 公共施設の管理運営について民間委託や指定管理者制度等を導入し業務の効率化や行政サービスの質の向上を図る必要があります。また、未利用公有財産について民間等への売却・貸付による有効活用に取り組む必要があります。
- 合併の特例期間終了等による財源の減少、義務的経費等の経常経費の増加による財政の硬直化に留意し、持続可能な財政運営を図るべく、自主財源の確保や経常経費削減の行財政改革に取り組む必要があります。

施策の内容

(1) 時代に適合した効率的な自治体経営

【担当課：企画課、財政課、契約課、関係課】

- 各種施策や事務事業について、P D C Aサイクルに基づき、事務事業の必要性、効率性、有効性を行政評価（施策評価及び事務事業評価）により判断し、時代に的確に対応できる質の高い行政経営を推進します。
- 多様な行政ニーズに対し、限られた経営資源の最適な配分や質の高い行政サービスの提供に取り組むとともに、市民理解のもと、受益者負担の適正化による持続可能な行政経営のあり方を検討します。
- 地域資源や民間活力を活用し、適切な担い手による行政サービスの提供を推進するとともに、民間活力を導入している行政サービスについては、より効果的な手法を検討します。

(2) 行政の責任領域の見直しによる効率的な行財政運営の推進

【担当課：契約課】

- 地域資源や民間活力を活用し、地域や民間に任すべきことは任すことを基本に、より適切な担い手による行政サービスの実施を推進します。
- 既に民間活力を導入している行政サービスについて、P F SやS I Bなどより効果的な手法を検討します。

(3) 中長期的ビジョンによる健全な財政運営の推進

【担当課：納税課、市税課、企画課、財政課、契約課、関係課】

- 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率を分かりやすく公表し、市民の理解と信頼性を確保します。
- 今後の人口、財政状況を踏まえ、施設の適正配置や長寿命化、有効活用を検討した上で、公共施設マネジメントを推進し、未利用財産は、個別の利活用方針を定め、貸付けや売却処分等による有効活用を進めます。
- 市税、保険料等の公平・公正な課税とともに、収納率向上及び使用料、負担金等受益者への適正負担等の歳入確保に努めます。
- 地方公会計制度を活用し、資産・債務の適切な管理に努めます。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- 行政サービスに係る市民の適正な負担について考えましょう。
- 財政状況や行政経営を評価し、積極的に意見・提言しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 民間活動の推進に協力しましょう。
- 様々な機会を通じて行政経営に参画・協働しましょう。

まちづくりの指標

指 標 名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
経常収支比率	%	87.7	90.0
令和8年度目標値設定理由 収支見通し及び財政計画における試算値から設定			
実質公債費比率	%	10.2	決算後設定
令和8年度目標値設定理由 収支見通し及び財政計画における試算値から設定			
市税収納率(現年分)	%	98.0	99.3
令和8年度目標値の設定理由 県内29市の上位10市が達成している収納率(過去5年平均)から設定			

関連する計画

○たつの市行財政改革推進実施計画(令和4年度～令和8年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 44 簡素で効率的な組織づくりと人材育成

基本方針

限られた財源と人員の中で、市民の期待に最大限応えるため、計画的な定員管理を行い、職員の適正配置を図ることにより、効率的・効果的な組織づくりに努めます。また、職員の積極的な能力開発を図ることにより、時代の変化を的確に捉え、新たな行政課題に迅速に対応することのできる職員の育成を図ります。

これまでの取組

- 職員定員適正化計画に基づき、計画的に職員を採用し、適正な職員数を確保するとともに、各部署の業務量を勘案し、適材適所の職員配置に努めています。
- 女性職員の更なる活躍を推進するため、女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定し、意欲と能力のある職員を積極的に管理・監督職に登用しています。
- 人材育成基本方針に基づき、庁内研修や外部研修への職員派遣、また全職員への人事評価を実施することで、職員の積極的な能力開発と人材育成に取り組んでいます。
- 新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から、全国的に研修の運営方法の見直しが図られている中、本市においてもより安全かつ効果的な研修の運営方法を検討し、職員の人材育成に積極的に取り組んでいます。

これからの課題

- 今後は、導入が予定されている定年延長制度を踏まえ、再任用職員及び会計年度任用職員を含めた適正な職員配置を行うとともに、時代に即したデジタル人材の育成等に注力し、組織体制の維持及び行政サービスの質的向上を図る必要があります。

施策の内容

(1) 市民ニーズに的確に対応した機能本位の組織づくり

【担当課：総務課】

- 刻々と移り変わる行政課題及び市民ニーズへの対応や市の重要施策の実現に当たり、適切な対応と迅速な意思決定、行政サービスの質的向上の観点から情報化の推進等による業務改善を踏まえた簡素で効率的・効果的な組織機構になるよう見直していきます。
- 職員定員適正化計画に基づき、業務量に見合う必要人数を確保するとともに、少数精鋭の組織体制を確立し、行政サービスの質的向上に努めていきます。また、再任用職員等を含め、業務量に応じた職員配置、組織の新陳代謝、将来の組織を支える人材の計画的採用及び適材適所の人員配置の観点から計画的かつ適正な定員管理を行います。

(2) 市民からの期待に応えることのできる人材の育成と働きやすい職場づくり

【担当課：総務課】

- 人材育成基本方針に基づき、職員の資質向上や職務意欲の高揚を図るため、対面型研修、リモート研修等多様な研修機会を提供し、職員としての使命と責任を自覚し情熱を持って業務に取り組むことのできる職員の育成に努めます。
- 職員の職務遂行に当たり発揮した能力及び実績を公正に把握するため、全職員に対し人事評価を実施し、職員の意欲と職務遂行能力の向上を促すとともに、職員自己申告書も活用しつつ、効果的な人事管理と人材育成に活用します。
- すべての職員が生き生きと働くことができる職場づくりを実現するため、「働き方改革」を推進するとともに、管理職の職場マネジメント、職員のメンタルヘルス、ワーク・ライフ・バランス、ハラスメントのない環境づくりの観点から、研修等を積極的に活用し、職員全体の意識改革に努めます。
- 女性職員が十分に能力を発揮できる職場づくりに努め、管理・監督職への女性職員の積極的な登用を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→まちづくりのパートナーとして、市職員と連携を図りましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→まちづくりのパートナーとして、市職員と連携を図りましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
職員数	人	544	549
令和8年度目標値設定理由 職員定員適正化計画から設定			
管理・監督職に占める女性職員の割合 (技能労務職、保育教諭等を除く)	%	27.6	30.0
令和8年度目標値設定理由 男女共同参画基本計画における目標値から設定			

関連する計画

- たつの市人材育成基本方針(平成28年度～)
- たつの市職員定員適正化計画(令和2年度～令和7年度)
- たつの市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画(令和3年度～令和7年度)

序論

基本構想

基本計画

序

1

2

3

4

5

まち未来
創生戦略

施策 45 公共施設の適正管理と整備

基本方針

公共施設を効率よく適正に管理するため、計画的に施設の有効利用を促進します。また、将来を見据えた施設の長寿命化や統廃合等を進めます。

これまでの取組

- 公共施設の老朽化が進んでいるため、公共建築物については、平成 27 年にたつの市公共建築物再編基本方針を策定し、施設の再編による統廃合や有効活用を推進しており、平成 28 年に策定したたつの市公共建築物再編実施計画が5年を経過したことから、現状を踏まえ令和3年に見直しを行います。
- 公共建築物とインフラを含めた公共施設全体については、老朽化に対応した計画的な維持補修を行うため、たつの市公共施設等総合管理計画を平成 29 年に策定しており、令和3年に現状を踏まえた見直しを行います。
- 公共建築物再編実施計画に基づく施設の再編と併せて、指定管理者制度の導入、見直し等を図り、導入済みの施設については、モニタリングにより業務実績の評価を実施しています。

これからの課題

- 合併特例債の発行期限延長に伴い、平成 30 年度に新市建設計画の期間延長を行っており、令和7年度までに北学校給食センターなどの都市基盤整備を行う必要があります。
- 公共建築物については、施設保有量の縮減に取り組んでいますが、将来の人口規模や財政負担を見据え、施設の適正配置を図る必要があります。
- 「たつの市幼稚園・保育所再編計画」・「たつの市立小・中学校の適正規模・適正配置基本方針」に基づき、閉園、閉校となった学校園施設の有効活用を進める必要があります。

施策の内容

(1) 公共施設の適正管理

【担当課：契約課、人権推進課、高年福祉課、歴史文化財課】

- 公共建築物については、施設の統廃合や複合化を推進し、人口規模にあった施設保有量の維持と市民ニーズにあった施設の有効的な活用を図ります。
- 公共インフラについては、施設の維持と安全性の確保のため、施設の長寿命化等を図ります。
- 公共施設の整備や維持管理を計画的に効率よく行い、健全で持続可能な施設運営を推進します。

(2) 公共施設の有効活用

【担当課：契約課】

- 地域資源となる公共施設については、地域の状況を考慮しながら、民間事業者による活用手法の導入を視野に入れた活用を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→公共施設の適切な利用や活用に努めましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→地域資源となる公共施設の整備や管理に関心を持ちましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
公共建築物の保有量(総延床面積)の縮減	%	6.28	22

令和8年度目標値設定理由 たつの市公共建築物再編実施計画から設定

関連する計画

- たつの市公共施設等総合管理計画(平成27年度～令和12年度)
- たつの市公共建築物再編実施計画(平成28年度～令和12年度)

施策 46

情報化の推進

基本方針

高度情報化社会の環境の変化に対応し、ICT（情報通信技術）の積極的な導入とデータの活用を通じて行政サービスの向上、市政事務の効率化及び事務事業の透明性の向上を図ります。また、情報システムの安定稼働を確保するとともに、情報セキュリティ対策の強化に努めます。

これまでの取組

- ブロードバンドインフラ未整備地域に高速情報通信網を整備し、地域間の情報格差を解消しました。
- 行政手続きの利便性向上を目的として、スマートフォン決済アプリによる納税や証明書等の支払いを可能にしました。また、全国のコンビニエンスストア等に設置されている証明書発行用端末を本庁及び各総合支所に設置しました。
- 部署間の連携強化や業務効率化等を目的として、本庁、総合支所、市立学校、図書館その他公共施設を高速情報通信網で接続したネットワークを構築しているほか、全国に先駆けて住民情報システムクラウドを導入しました。
- 行政が保有するデータを広く公開し、行政の透明化や信頼性の向上、経済の活性化等に利活用しようとする「オープンデータの推進」に関する取組を進めています。また、市が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持するため情報セキュリティ対策も実施しています。
- 市議会議員及び市幹部職員に貸与したタブレット端末を活用し、ペーパーレス会議を実施するとともに、情報の共有化、迅速化、事務の効率化等を推進しています。

これからの課題

- 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）は、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤として、行政の効率化と市民生活の利便性の向上に資することが期待されています。マイナンバーカード交付円滑化計画に基づき、マイナンバーカードの普及を促進し、「行政手続きに関する押印の見直しに係る方針」と併せて、マイナンバーカードを利用したオンライン申請の更なる充実を検討していく必要があります。
- 政府が「デジタル・ガバメント実行計画」において策定した、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容をとりまとめた「自治体DX推進計画」に基づき、デジタル社会の構築に向けた取組を着実に進めていく必要があります。

施策の内容

(1) ICTの利活用

【担当課:情報推進課】

- 民間とも協力したまちづくりを進めていくために、行政情報のオープンデータ化を進めるとともに、「たつの市Webガイド」の公開内容を拡張するなど、地域活動に関わる様々なデータの活用促進を図ります。
- データとICTの活用により地域の諸課題を解決する、スマートシティの推進に向けた検討を行います。
- 情報通信技術を利用できる人とできない人の間に生じるデジタルデバイドの解消など、市民の誰もがICTの恩恵を享受できる環境の整備に努めます。

(2) 電子自治体の推進

【担当課:情報推進課】

- 「自治体DX推進計画」に基づき、情報システムの標準化・共通化、行政手続のオンライン化、AI・RPAの利用促進を行うことで、市民の利便性向上と業務の効率化を図り、スマート自治体の実現を目指します。
- 業務端末におけるインターネット接続の見直しや無線LANの構築など、情報ネットワークやシステムの改善を行い、業務環境の整備を図ります。
- 急速に複雑化・巧妙化するサイバー攻撃に備え、情報セキュリティ対策の徹底を図ります。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に 期待すること



- サービスを活用し、市政への関心を高め、協働のまちづくりを推進しましょう。
- インターネットやパソコン等の情報通信技術の利用を推進しましょう。

団体・事業者等に 期待すること



- 地域情報の発信に協力しましょう。
- オープンデータ等の本市が公開する情報を活用しましょう。
- オンラインによる手続きを推進しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
オンライン申請件数 (自動交付機での申請数件数を含む)	件	7,840	12,000
令和8年度目標値設定理由 実績値の約50%増を目標に設定			
業務デジタル化導入件数	件	2	10(累計)
令和8年度目標値設定理由 毎年度2件を目標に設定			

関連する計画

○なし

施策 47 広域行政・広域連携の推進

基本方針

地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出するため、関係市町と相互に連携・協力・補完し、市民が郷土への誇りと愛着を持ち、安心して暮らせる魅力あふれる広域行政を推進します。

これまでの取組

- 広域行政を推進するため、本市が中心市となり、宍粟市、上郡町及び佐用町と「播磨科学公園都市圏域定住自立圏」を形成し、広域連携の強化を図っています。
- 「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン」に基づく連携事業の推進については、本市が中心市として牽引しています。
- 姫路市と本市を含む 8市8町が、播磨圏域連携中枢都市圏を形成しています。
- 「播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン」に基づく連携事業を実施しています。

これからの課題

- 持続可能な広域連携の推進に当たっては、連携市町の主体性を尊重しつつ、圏域思考に基づき弱点を補完し、強みの相乗効果を発揮させる必要があります。
- 基礎自治体の区域を越えて広域的に取り組むことが効率的、効果的である事務については、共同処理を積極的に推進する一方で、重複する仕組みについては精査する必要があります。

施策の内容

(1) 広域的な連携の強化

【担当課：企画課】

- 定住自立圏形成市町の自主性を尊重しつつ、相互に役割を分担し、連携を深め、互いに補完しながら「播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン」に掲げる連携事業に取り組みます。
- 姫路市と本市を含む 8市8町 が連携し、播磨圏域の経済の活性化や魅力を高めるため、連携中枢都市圏を形成し、連携事業に取り組みます。
- 基礎自治体の区域を越えた取組により効率的・効果的に行うことができる事務については、近隣市町との連携を図り、スケールメリットを生かした質の高い行政サービスの提供に努めます。

(2) 広域課題への取組の強化

【担当課：企画課、建設課、都市計画課】

- 広域幹線道路の整備、J R 山陽本線・姫新線の利用促進、揖保川の改修等、広域的な課題への取組を強化するとともに、中国横断自動車道姫路鳥取線・播磨自動車道の 全線開通を契機に、関係市町と連携して賑わいの創出に向けた取組を推進します。

各主体が取り組むこと（期待する役割）

市民に
期待すること



→広域的につながりのある地域について関心を持ち、理解を深めましょう。

団体・事業者等に
期待すること



→広域連携事業において、地域で求められる役割について関心を深め、積極的に協力しましょう。

まちづくりの指標

指標名	単位	現状値 令和2年度	目標値 令和8年度
播磨科学公園都市圏域定住自立圏域人口	人	142,159	136,000(差替有)

令和8年度目標値設定理由 播磨科学公園都市圏域定住自立圏域各市町人口ビジョンから設定

関連する計画

○播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン(令和3年度～令和7年度)

○播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン(令和2年度～令和6年度)

第4編

まち未来創生戦略

現在作成中（今後、たつの市まち未来創生戦略推進本部において協議）

基本目標1 「雇用創生」 ～新経済戦略によりしごとを創出する～

目標の方向性

若年層の都市部等市外への人口流出を抑制し、定着を図るとともに、一旦市外に出た人が再び本市に戻ってくることができるよう、働く場所を確保するための雇用を創出します。

第1次産業の地域ブランド化や市内の産業の強みを生かした連携体制の構築、市内企業の包括的な支援を行うことにより、地域産業の基盤強化を図ります。

また、市外からの企業誘致、本社等の移転誘致の促進や、市内での創業や起業等、次の世代のチャレンジを後押しすることにより、新たな雇用を確保します。

更に、就労環境の向上や就業支援等、働きやすい環境づくりと人材育成を行います。

基本目標の達成指標

指標名	基準値	目標値
市内従業者数	18,363 人(平成 26 年度)	20,800 人(令和3年度)

関連する数値目標

指標名	基準値	目標値
市内総生産額	3,013 億円(平成 26 年度)	3,200 億円(令和3年度)
新規市内立地企業数	0社(平成 26 年度)	累計6社(令和3年度)
本社機能移転企業数	0社(平成 26 年度)	累計1社(令和3年度)
創業・起業件数	0件(平成 26 年度)	累計 31 件(令和3年度)
20 歳～34 歳の転入転出の差	▲249 人(平成 30 年度)	▲100 人(令和3年度)

主な取組

1 地域産業の基盤強化（企業支援）

- （１） 地域ブランド力の強化
- （２） 地域産業クラスターの形成
- （３） 包括的な企業支援

2 企業誘致の推進（企業誘致）

- （１） 企業誘致に向けた優遇制度の拡充と規制緩和
- （２） 本社等移転誘致の促進

3 創業支援の充実と若者起業の支援（創業支援）

- （１） 起業支援
- （２） 創業支援ネットワークの構築
- （３） 地場産業の振興支援
- （４） 市内創業に向けた環境整備

4 働きやすい環境づくりと人材育成（就業・人材支援）

- （１） 多様な就業環境の創出
- （２） 新技術等の開発支援による人材育成
- （３） 地域人材の雇用支援

基本目標2 「人口還流」 ～定住促進・観光戦略により「たつのファン」をつくる～

目標の方向性

本市ならではの地域資源の活用や、生活しやすさの PR 等により、移住・定住を促進するとともに、交流人口も含めて本市を訪れる人の流れを創出し、「たつのファン」づくりを行います。

子育て世代や若者に移住・定住先として選ばれる魅力づくりや情報発信、移住体験の提供、空き家、空き店舗の利活用やニュータウンの再生を含めた住環境の整備等を行います。

また、観光誘客の増加に向けたプロモーションや体験型ツーリズム、イベントの実施等の観光振興や、観光資源のブランド化、来訪者の受け入れ体制の充実による交流人口の増加を図ります。

更に、最先端科学技術基盤の活用や産学連携によるものづくり技術の高度化支援を行います。

基本目標の達成指標

指標名	基準値	目標値
転入転出の差	▲193 人(平成 26 年度)	▲100 人(令和3年度)

関連する数値目標

指標名	基準値	目標値
転入転出の差(ファミリー層:30 代)	10 人(平成 26 年度)	50 人(令和3年度)
転入転出の差(壮年層:50 代)	7 人(平成 26 年度)	20 人(令和3年度)
観光入込客総数	203.4 万人(平成 26 年度)	218.9 万人(令和3年度)
外国人観光客数	—	2,532 人(令和3年度)
県外観光入込客数	71.3 万人(平成 26 年度)	73.9 万人(令和3年度)
産学連携事業数	0 件(平成 26 年度)	累計 25 件(令和3年度)

主な取組

1 移住・定住希望者に対する支援体制の充実（定住・移住）

- (1) 子育て世代や若者世代の転入促進
- (2) 空き家、空き店舗の利活用
- (3) 住環境の整備
- (4) 移住体験の実施
- (5) U I J ターンの促進
- (6) ニュータウンの再生

2 着地型観光の振興と魅力の発信（観光誘客）

- (1) 観光誘客の強化
- (2) 体験型ツーリズムの振興
- (3) たつのの魅力発信
- (4) 集客イベントの実施

3 観光資源のブランド化と環境整備（観光地整備）

- (1) 観光資源の再発見
- (2) 市民主体の観光活性化事業
- (3) 外国人の誘致に向けた環境整備

4 産学連携によるものづくり技術の高度化支援（産学連携）

- (1) 最先端科学技術基盤の活用支援
- (2) 産学連携による技術革新への支援

基本目標3 「若者未来」 ～若者応援戦略により希望を叶える～

目標の方向性

若い世代が家庭を築き、子どもを育てることをポジティブに捉えることができ、結婚・出産・子育ての希望を叶えることができるよう、切れ目のない支援を行います。

結婚に向けた出会いのきっかけづくりを行うとともに、出産や子育てへの経済的支援や相談支援等、地域全体で子育てを支える社会づくりにより、子どもを生み・育てやすいまちとし、合計特殊出生率の向上を図ります。

また、小・中一貫教育の推進や地域との連携による学校支援体制の構築等、質の高い、特色ある教育を推進します。

基本目標の達成指標

指標名	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.43(平成26年度)	1.57(令和3年度)

関連する数値目標

指標名	基準値	目標値
婚姻届受理件数	324組(平成26年度)	324組(令和3年度)
年間出生数	583人(平成26年度)	583人以上を維持(令和3年度)
多子世帯率	61.4%(平成26年度)	60.0%(令和3年度)
課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた割合	81.2%(平成30年度)	90.0%(令和3年度)
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の章立てを工夫して発表していた割合	60.9%(平成30年度)	75.0%(令和3年度)

主な取組

1 出会いからの家庭づくりに向けた支援（結婚支援）

- (1) 婚活イベントの実施
- (2) 婚活サポート団体の支援

2 安心して子どもを産み育てるための環境整備（出産支援）

- (1) 妊婦の経済的負担の軽減
- (2) 出産への経済的支援
- (3) 不妊治療に対する支援
- (4) 女性の就労支援

3 子育て世帯に対する支援の充実（子育て支援）

- (1) 子育て世帯・多子世帯への経済的な支援
- (2) 子育て家庭を支える環境づくり

4 質の高い教育環境と特色ある教育の推進（教育支援）

- (1) 小中一貫教育の推進
- (2) 学習支援体制の整備
- (3) 国際理解の推進

～まち賑わい戦略により活力ある地域をつくる～

目標の方向性

少子・高齢、人口減少社会の中でも、市民一人ひとりが安心して心豊かに暮らすことができ、地域の特性を生かしながら持続的に発展する賑わいのある「ふるさと たつの」づくりを進めます。

市民生活の利便性向上のために、公共交通ネットワークの構築を進めるとともに、兵庫県・近隣市町との連携により、広域連携による新たな行政システムを構築します。

更に、地域資源の活用や地域課題の解決に向けた市民の主体的な取組を支援し、市民が愛着と誇りを持てるまちづくりを推進します。

基本目標の達成指標

指標名	基準値	目標値
生産年齢人口割合	59.4%(平成26年度)	57.2%(令和3年度)

関連する数値目標

指標名	基準値	目標値
姫新線年間乗車人数	287万人(平成26年度)	300万人以上(令和3年度)
年間公共交通利用者(年間一日平均数)	6,949人(平成26年度)	7,400人(令和3年度)
転出者数	2,141人(平成26年度)	2,060人(令和3年度)
播磨科学公園都市圏域定住自立圏域人口	154,756人(平成26年度)	141,500人(令和3年度)
市ホームページ訪問者数	810,398人(平成30年度)	1,567,000人(令和3年度)
ふるさと応援寄付金寄付件数	924件(平成30年度)	5,100件(令和3年度)

主な取組

1 公共交通の確保と利用促進（公共交通整備）

- (1) 公共交通ネットワークの構築
- (2) 公共交通の利便性の向上
- (3) 姫新線の利用促進
- (4) 幹線道路網の整備

2 住み続けたい住環境の整備（地域活力）

- (1) 通学路の整備
- (2) 高齢者・障害者支援
- (3) 地域の犯罪抑止に対する支援
- (4) 再生可能エネルギーの利用促進
- (5) 小さな拠点の整備

3 広域連携を生かした経済・生活圏の形成（広域連携）

- (1) 定住自立圏構想
- (2) 連携中枢都市圏構想の促進
- (3) 播磨科学公園都市の活性化

4 賑わいあふれる未来に向けた「ふるさと たつの」づくり（ふるさと創生）

- (1) 自立と共生のふるさとづくり
- (2) 新しい産業によるコミュニティビジネスの創出
- (3) 国際化と国際交流の促進

総合計画の各施策とSDGsの関係

SDGs（持続可能な開発目標）は、すべての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17のゴール及び細分化された169のターゲットから構成されています。

すべての市民が快適を実現できるまちを目指す本市において、SDGsの理念「誰一人として取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」は、市政推進においても大変意義深いものであることから、17のゴールに照らして総合計画の各施策を推進することとします。

▼SDGsにおける17の分野別目標

 1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	 10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する
 2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	 11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
 3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	 12 つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する
 4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	 13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
 5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	 14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
 6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	 15 陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	 16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
 8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	 17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

基本目標	施策目標	対応する主なSDGs
安全・安心なまちづくりへの挑戦	1 自然を大切にし、共に暮らす	11 持続可能な都市とコミュニティ、13 気候変動、14 海洋資源、15 陸域生態系
	2 持続可能な社会をつくる	7 再生可能エネルギー、12 持続可能な消費と生産、13 気候変動、15 陸域生態系
	3 良質な住環境を整備する	6 安全な水とトイレ、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
	4 安全便利な交通環境を整える	9 産業、基盤、新技術、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
	5 大切な命と地域を守る	3 健康と長寿、11 持続可能な都市とコミュニティ、13 気候変動、15 陸域生態系、17 パートナリーシップ
やさしいまちづくりへの挑戦	1 安心して子育てができるまちをつくる	1 平和と公正、2 質の高い教育、3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、5 女性への平等、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等の解消、16 平和と公正、17 パートナリーシップ
	2 高齢者が暮らしやすい環境をつくる	3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等の解消、16 平和と公正、17 パートナリーシップ
	3 障害のある人が地域で自立して生活を送ることができる環境をつくる	3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等の解消、11 持続可能な都市とコミュニティ、16 平和と公正、17 パートナリーシップ
	4 共に助け合い、支え合うまちをつくる	1 平和と公正、2 質の高い教育、3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、5 女性への平等、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等の解消、16 平和と公正、17 パートナリーシップ
	5 生涯を健やかに過ごせる体制を整える	2 質の高い教育、3 健康と長寿、17 パートナリーシップ
わくわくまちづくりへの挑戦	1 豊かな人間性を育み、創造力あふれる子どもを育てる	1 平和と公正、2 質の高い教育、3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、5 女性への平等、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等の解消、16 平和と公正、17 パートナリーシップ
	2 生涯を通して学び、スポーツを親しめるまちをつくる	3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、17 パートナリーシップ
	3 歴史と文化を生かした個性的で魅力あるまちをつくる	4 働きがいと経済成長、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
	4 互いの人権を尊重し、心豊かな社会をつくる	1 平和と公正、4 働きがいと経済成長、5 女性への平等、8 働きがいと経済成長、10 人や国の不平等の解消、16 平和と公正、17 パートナリーシップ
にぎやかなまちづくりへの挑戦	1 次世代へ伝え育む農林業を活性化する	2 質の高い教育、8 働きがいと経済成長、9 産業、基盤、新技術、15 陸域生態系、17 パートナリーシップ
	2 活気ある水産業を推進する	8 働きがいと経済成長、9 産業、基盤、新技術、14 海洋資源、17 パートナリーシップ
	3 地域資源を生かした観光を推進する	8 働きがいと経済成長、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
	4 にぎわいのある商工業を推進する	8 働きがいと経済成長、9 産業、基盤、新技術、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
にぎわいまちづくりへの挑戦	1 まちづくりを進めるための基盤を整える	3 健康と長寿、4 働きがいと経済成長、8 働きがいと経済成長、9 産業、基盤、新技術、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
	2 多様で活発な交流を促進する	4 働きがいと経済成長、5 女性への平等、8 働きがいと経済成長、9 産業、基盤、新技術、10 人や国の不平等の解消、11 持続可能な都市とコミュニティ、17 パートナリーシップ
	3 健全で効率的な自治体運営を推進する	11 持続可能な都市とコミュニティ、16 平和と公正、17 パートナリーシップ

第2次たつの市総合計画等改定のための
市民アンケート調査
結果報告書(速報値)

令和3年7月

たつの市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	2
II. 調査結果	3
第2次総合計画等改定のための市民アンケート調査	4
あなた自身のことについて	4
あなたの家族について	6
定住・移住について	9
たつの市のまちづくりについて	21
これからのまちづくりについて	23

I. 調査の概要

1 調査の目的

現在、たつの市では、平成 29 年（2017 年）に策定したまちづくりの最上位計画である「第 2 次たつの市総合計画」と平成 27 年（2015 年）に策定した人口減少対策に取り組むための「たつの市まち未来創生戦略」について、社会情勢の変化を踏まえ、令和 4 年度から 5 年間の新たな計画づくりに取り組んでいます。

この市民アンケート調査は、改定過程における市民参加の 1 つとして実施するものであり、18 歳以上の市民 2,000 人を無作為で選ばせていただき、市民ニーズをより詳細かつ具体的に把握し、計画づくりに反映するために実施しました。

2 調査概要

調査地域：たつの市全域

調査対象者：たつの市に在住する 18 歳以上の市民 2,000 人

抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出

調査期間：令和 3 年 5 月 26 日～6 月 9 日

調査方法：調査票を郵送にて配布、郵送による回収またはWEBでの回答

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
2,000	916	45.8%	916	45.8%

3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

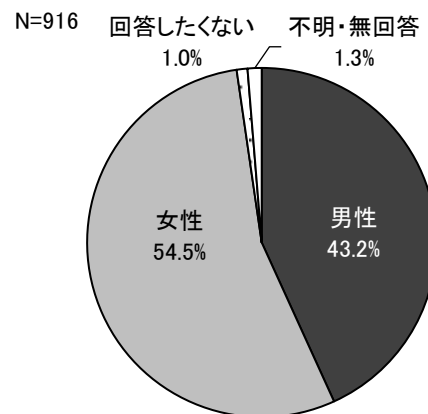
II. 調查結果

第2次総合計画等改定のための市民アンケート調査

あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

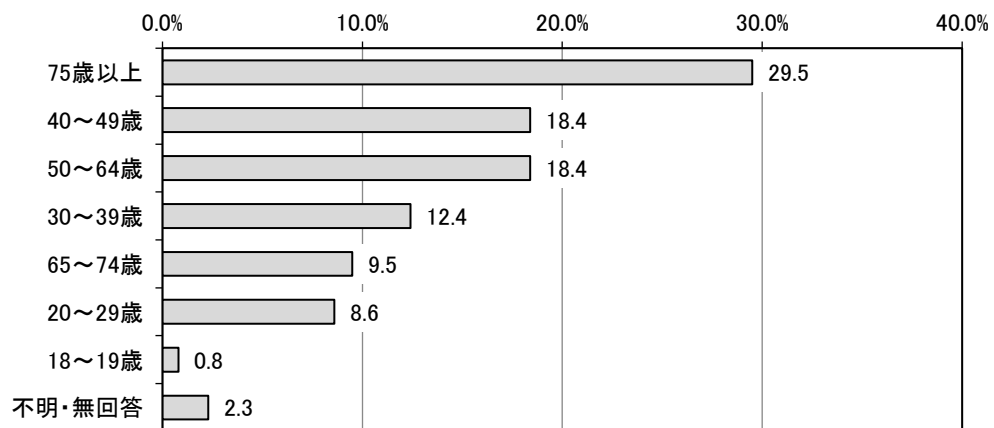
性別については、「女性」が 54.5%と最も高く、次いで「男性」が 43.2%、「回答したくない」が 1.0%となっています。



問2 あなたの年齢を教えてください。(令和3年5月1日現在)(数字を記入してください。)

年齢については、「75歳以上」が 29.5%と最も高く、次いで「40～49歳」「50～64歳」がともに 18.4%となっています。

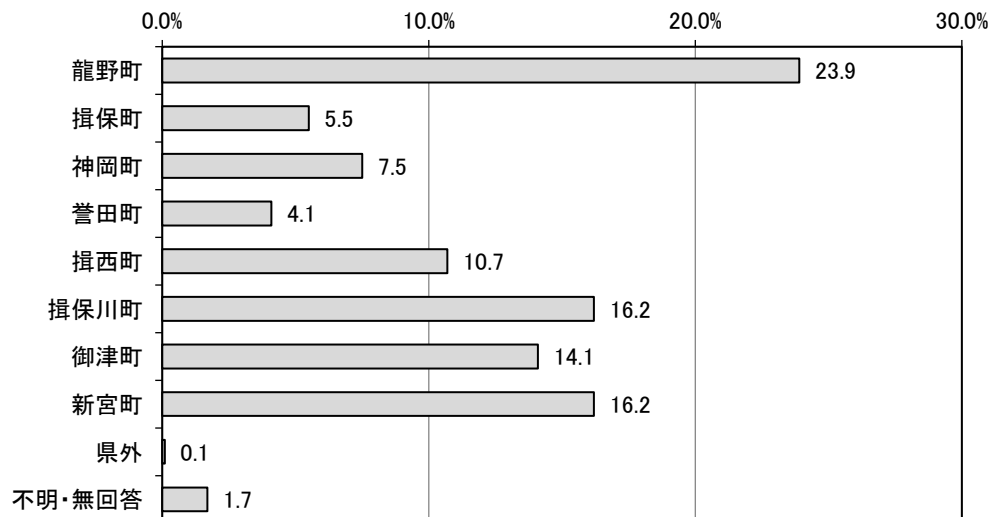
N=916



問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。（記入してください。）

居住地区については、「龍野町」が23.9%と最も高く、次いで「揖保川町」「新宮町」がともに16.2%となっています。

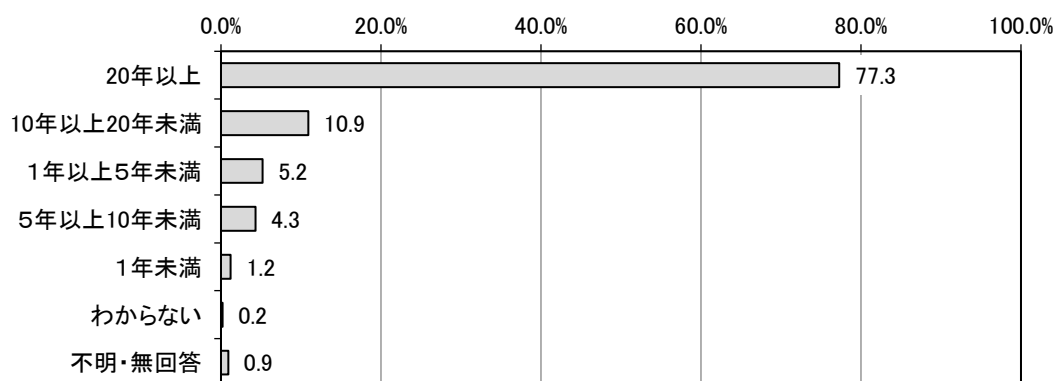
N=916



問4 あなたはたつの市(旧龍野市、旧新宮町、旧揖保川町、旧御津町)に住んで何年になりますか。 (1つに○)

居住年数については、「20年以上」が77.3%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が10.9%、「1年以上5年未満」が5.2%となっています。

N=916

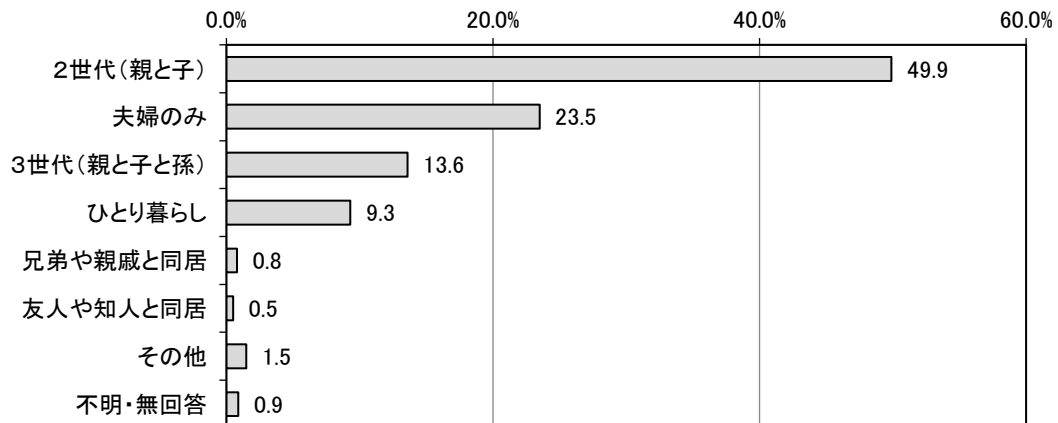


あなたの家族について

問5 現在一緒に住んでいる家族は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

現在一緒に住んでいる家族については、「2世代（親と子）」が49.9%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が23.5%、「3世代（親と子と孫）」が13.6%となっています。

N=916



■その他の回答内容(一緒に住んでいる家族)

回答	件数	回答	件数
4世代	5	3世代とおば達	1
夫婦と姪	1	親兄弟と甥	1
母と伯父	1	子と孫	1
施設入所中	1		

「ひとり暮らし」「夫婦のみ」以外を選ばれた方におうかがいします。

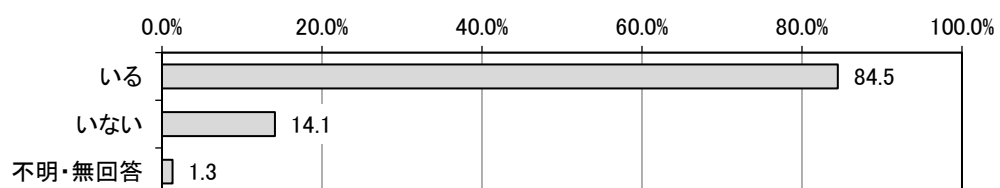
問6(1) 現在一緒に住んでいる家族に未婚の方はいますか。(1つに○。人数を記入してください。)

同居家族における未婚の家族については、「いる」が84.5%、「いない」が14.1%となっています。

未婚の家族の人数については、「1人」が41.1%と最も高く、次いで「2人」が36.2%、「3人」が13.2%となっています。

■未婚の家族がいるか

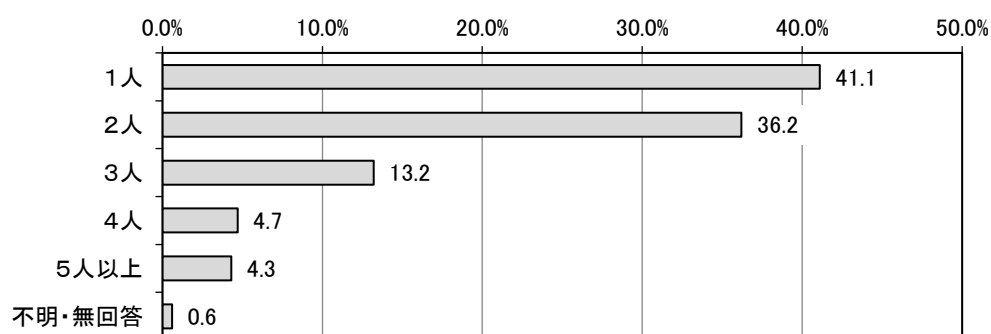
N=608



「いる」を選ばれた方

■未婚の家族の人数

N=514



「いる」を選ばれた方におうかがいします。

問6(2) 未婚の家族の就学・就労状況とそれぞれの人数を教えてください。(あてはまるものに○と人数を記入してください。また、「中学生」「高校生」「専門学校・大学生(大学院生含む)」「社会人」は、市内・市外ごとの人数(たつの市外の場合は市町村名)を記入してください。)

未婚の家族の人数については、「社会人」の「1人」が最も多くなっています。

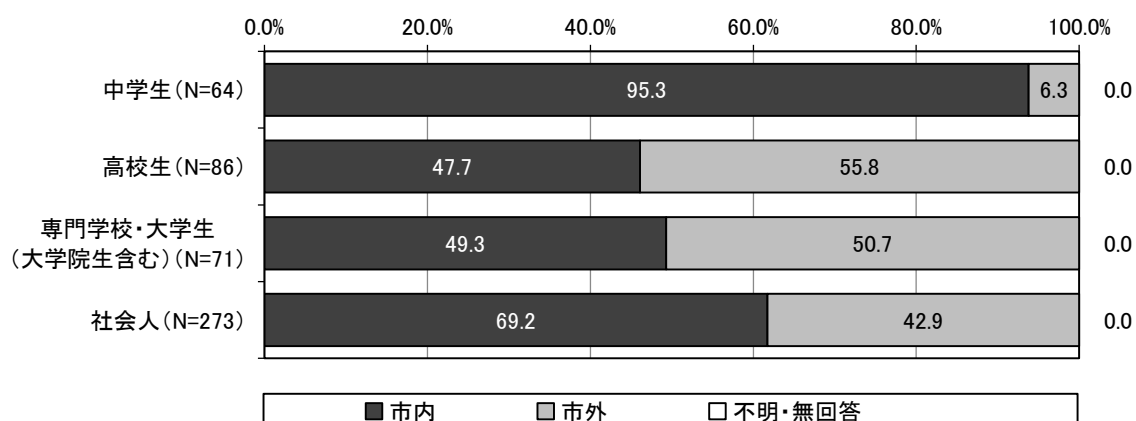
未婚の家族の通勤・通学先については、「市内」は中学生で9割台、高校生と専門学校・大学生(大学院生含む)で4割台、社会人で6割台となっています。

■未婚の家族の人数

単位: 件数

	1人	2人	3人	4人	5人以上	不明・無回答
小学生未満	57	40	4	0	0	0
小学生	82	31	5	0	0	0
中学生	56	7	1	0	0	0
高校生	77	9	0	0	0	0
専門学校・大学生(大学院生含む)	61	10	0	0	0	0
社会人	181	78	12	2	0	0
その他(無職含む)	44	8	1	1	0	1

■未婚の家族通勤・通学先



■たつの市外の市町村名の回答内容

●中学生

回答	件数	回答	件数
姫路市	2	太子町	1

●高校生

回答	件数	回答	件数
姫路市	20	相生市	6
赤穂市	4	上郡町	3
明石市	2	宍粟市	2
太子町	2	神戸市	1
佐用町	1	岡山県	1

●専門学校・大学生(大学院生含む)

回答	件数	回答	件数
姫路市	12	神戸市	11
岡山市	3	西宮市	2
北九州市	2	明石市	1
加西市	1	福崎町	1
京都市	1	倉敷市	1
総社市	1	鳥取市	1
小金井市	1	大阪府	1
岡山県	1	東京都	1

●社会人

回答	件数	回答	件数
姫路市	60	相生市	10
赤穂市	6	神戸市	6
太子町	4	高砂市	3
新宮市	2	上郡町	2
明石市	1	西宮市	1
尼崎市	1	宍粟市	1
加古川市	1	佐用町	1
堺市	1	国分寺市	1
一宮市	1	大阪府	1

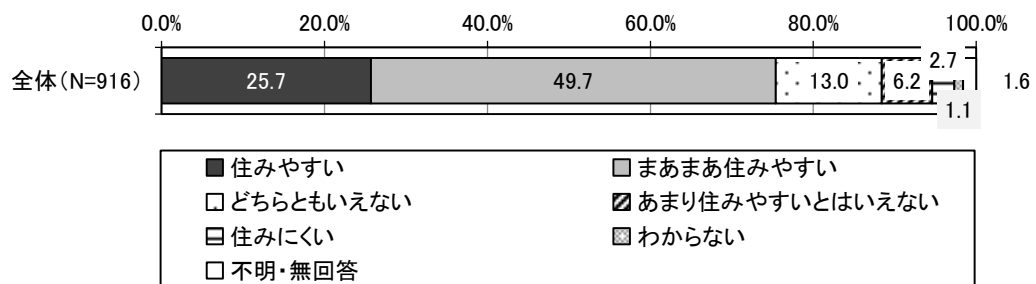
定住・移住について

問7 あなたにとって、たつの市は住みやすいですか。(1つに○)

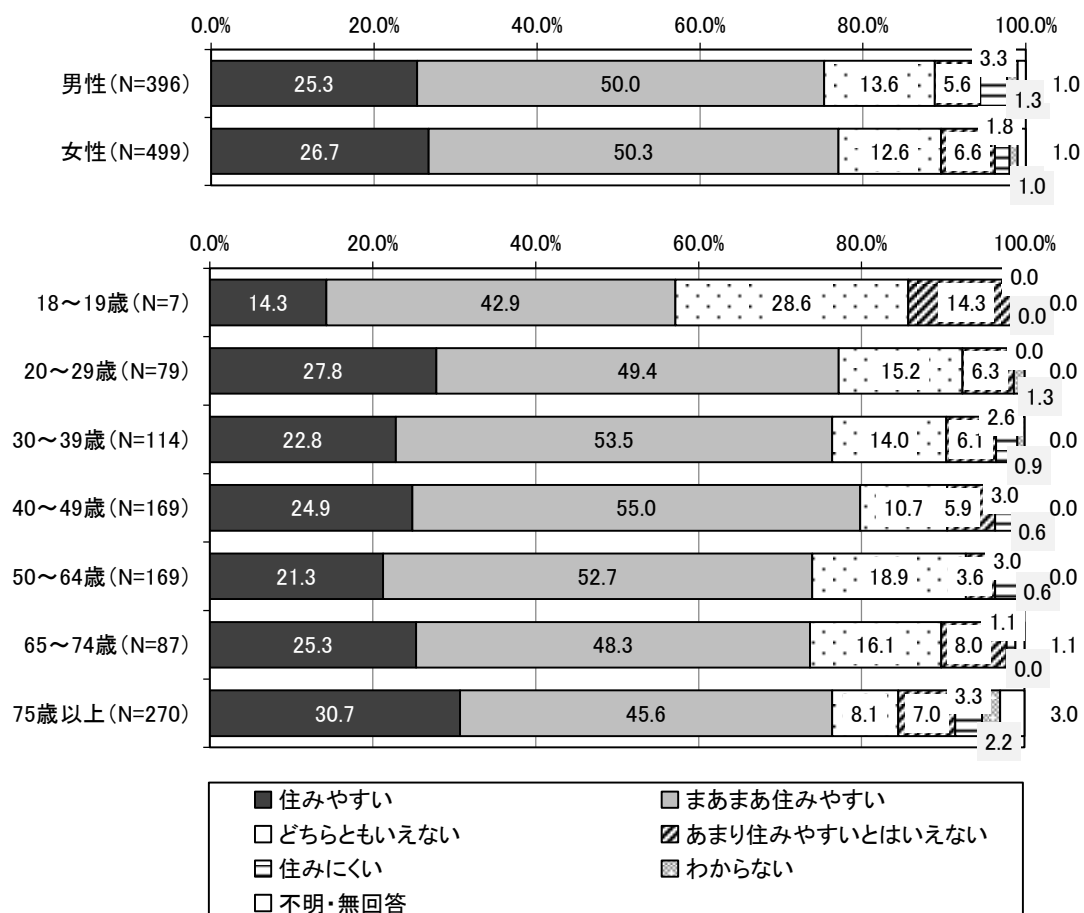
たつの市の住みやすさについては、『住みやすい（「住みやすい」＋「まあまあ住みやすい」）』が75.4%となっています。

年齢別でみると、18～19歳で『住みやすい』が低くなっています。

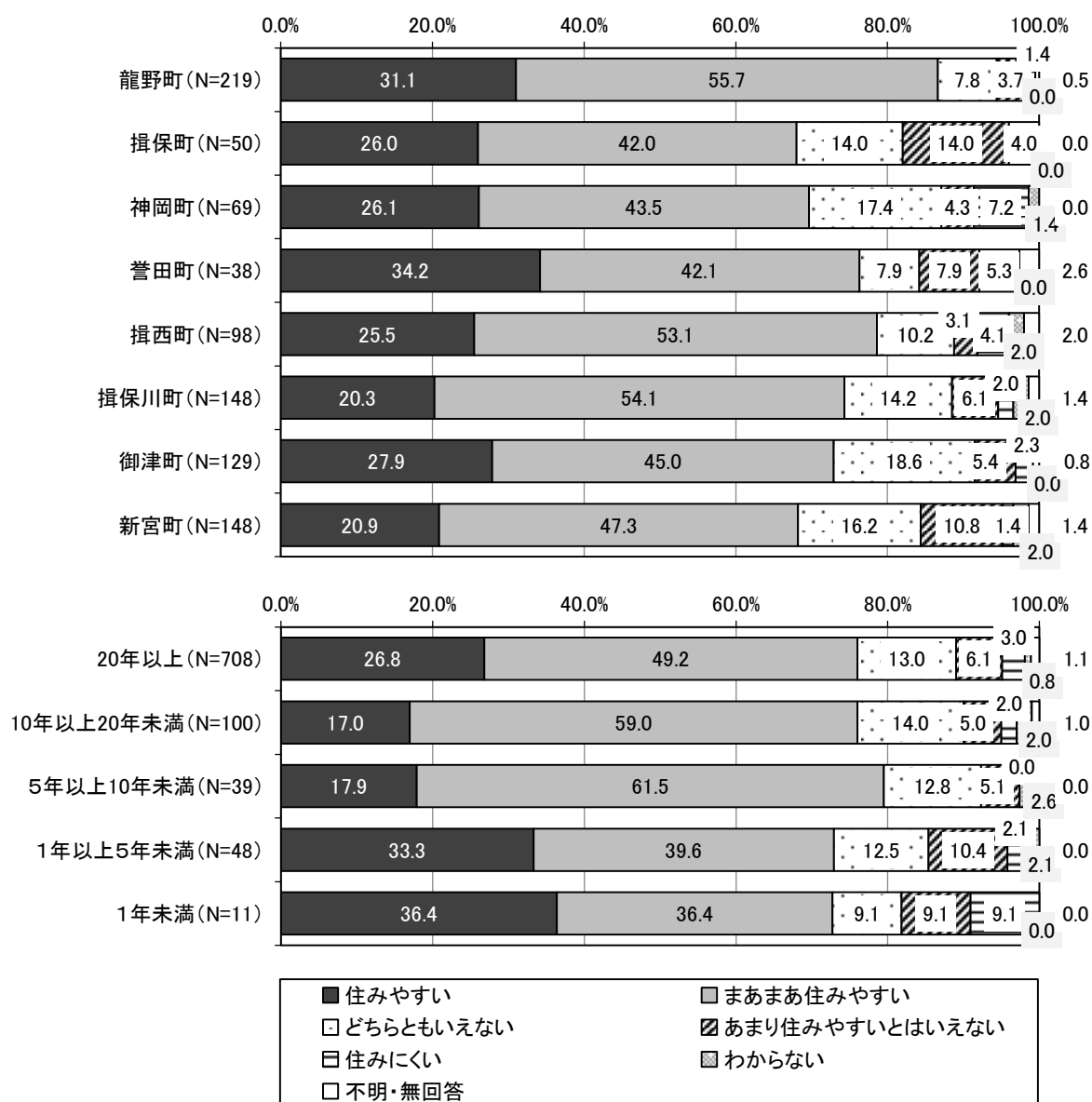
地区別でみると、龍野町で『住みやすい』が高くなっています。



【性別、年齢別】



【地区別、居住年数別】

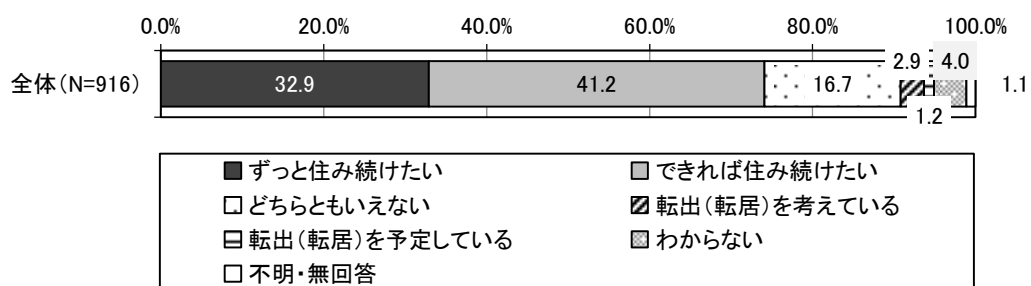


問8(1) あなたは今後もたつの市に住み続けたいですか。(1つに○)

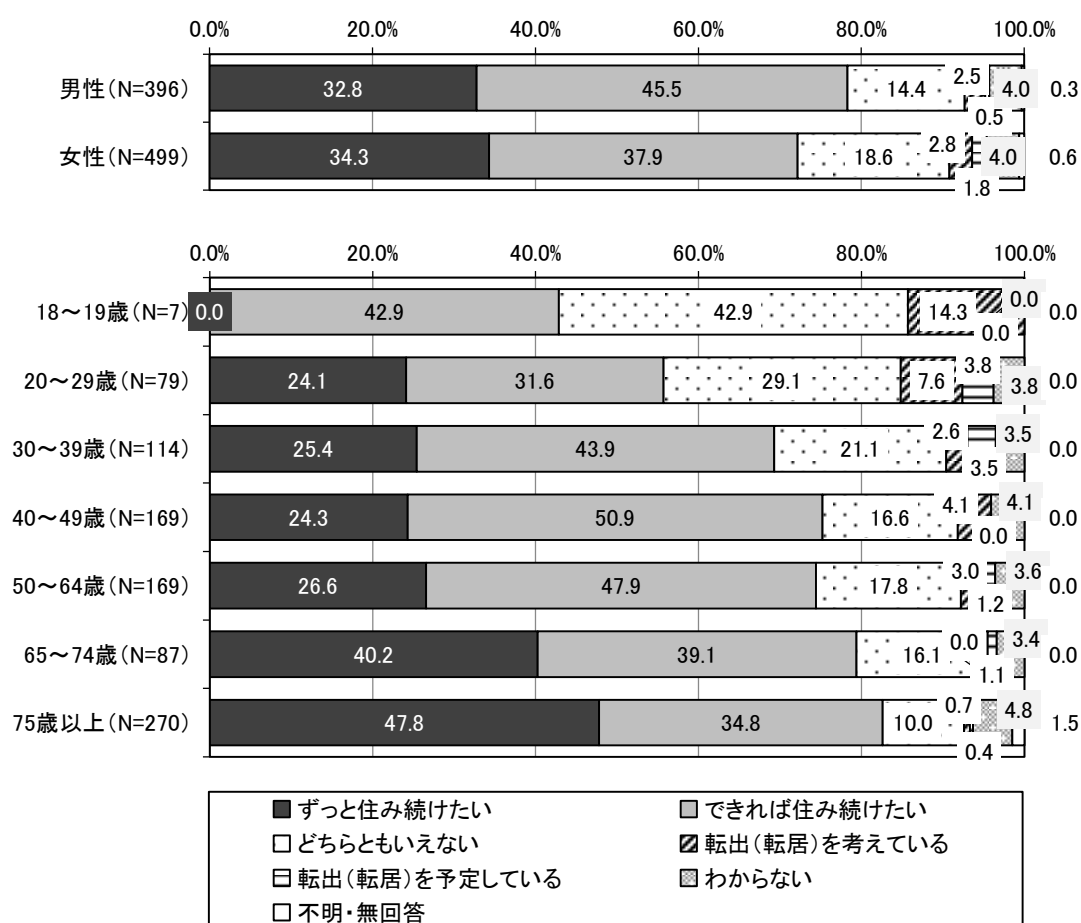
たつの市への定住意向については、『住み続けたい（「ずっと住み続けたい」＋「できれば住み続けたい」）』が74.1%となっています。

年齢別でみると、概ね年齢が上がるほど『住み続けたい』が高くなっています。

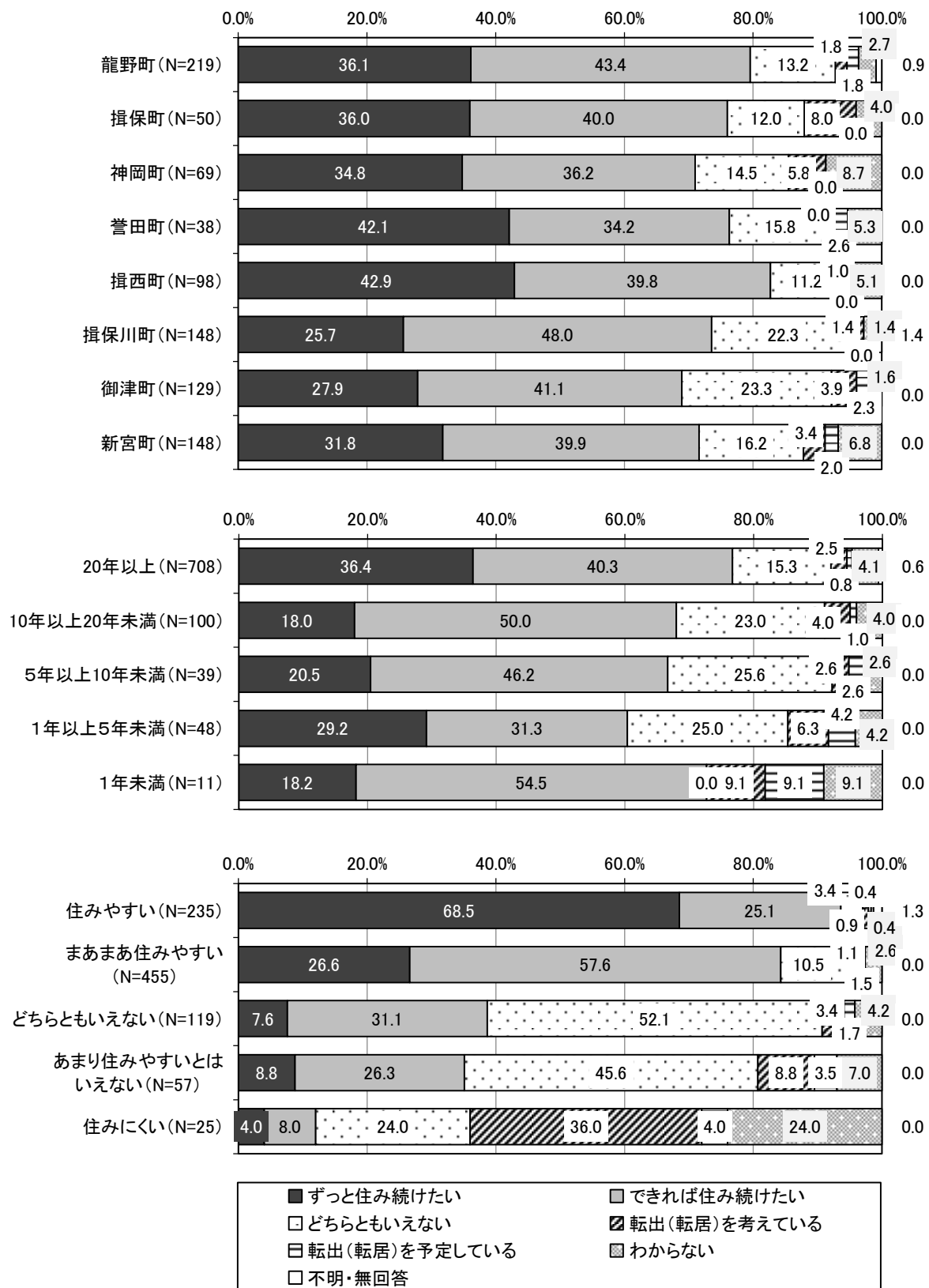
住みやすさ別でみると、住みやすいで「ずっと住み続けたい」、住みにくいで「転出（転居）を考えている」が高くなっています。



【性別、年齢別】



【地区別、居住年数別、住みやすさ別】



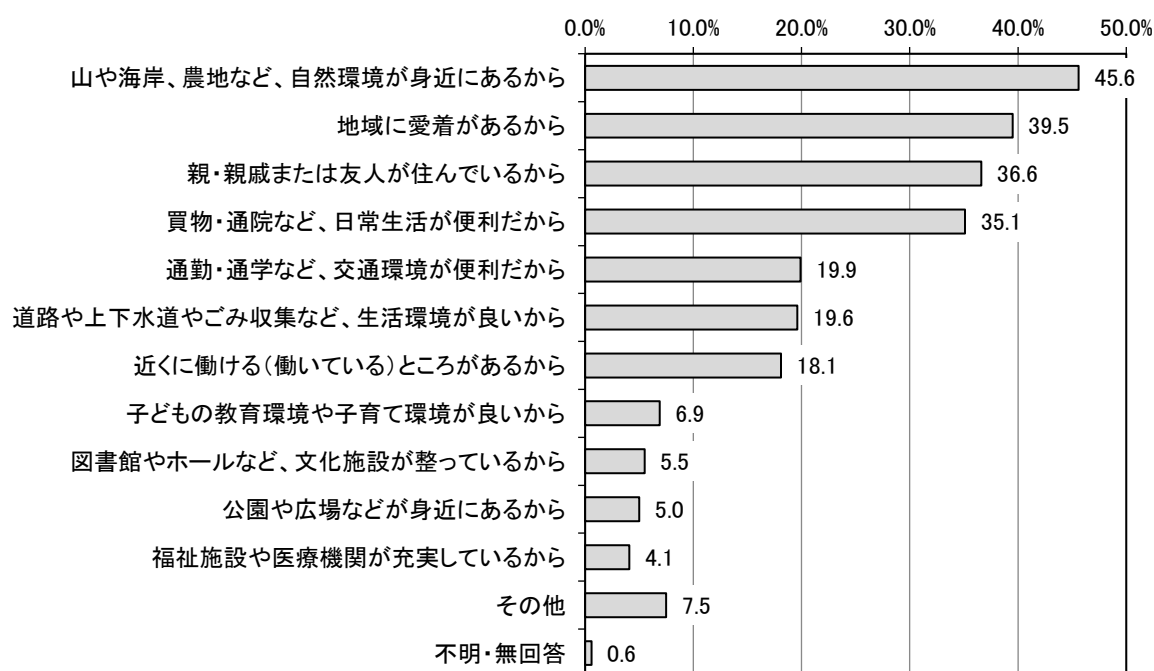
「ずっと住みたい」「できれば住みたい」を選ばれた方におうかがいします。

問8(2) たつの市に住みたい理由を教えてください。(あてはまるもの3つまでに○)

たつの市への定住理由については、「山や海岸、農地など、自然環境が身近にあるから」が 45.6%と最も高く、次いで「地域に愛着があるから」が 39.5%、「親・親戚または友人が住んでいるから」が 36.6%となっています。

居住年数別・住みやすさ別でみると、10年未満・住みやすいでそれぞれ「買物・通院など、日常生活が便利だから」が高くなっています。

N=678



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		山や海岸、農地など、自然環境が身近にあるから	通勤・通学など、交通環境が便利だから	買物・通院など、日常生活が便利だから	道路や上下水道やごみ収集など、生活環境が良いから	公園や広場などが身近にあるから	福祉施設や医療機関が充実しているから	子どもの教育環境や子育て環境が良いから	図書館やホールなど、文化施設が整っているから	地域に愛着があるから	親・親戚または友人が住んでいるから	近くに働ける(働いている)ところがあるから	その他	不明・無回答
性別	男性(N=310)	141 45.5	66 21.3	102 32.9	55 17.7	23 7.4	13 4.2	22 7.1	23 7.4	139 44.8	106 34.2	54 17.4	26 8.4	1 0.3
	女性(N=360)	165 45.8	68 18.9	136 37.8	77 21.4	11 3.1	15 4.2	25 6.9	13 3.6	128 35.6	138 38.3	66 18.3	24 6.7	3 0.8
年齢別	18～19歳(N=3)	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=44)	13 29.5	11 25.0	15 34.1	2 4.5	2 4.5	0 0.0	5 11.4	1 2.3	21 47.7	21 47.7	11 25.0	4 9.1	0 0.0
	30～39歳(N=79)	22 27.8	28 35.4	24 30.4	5 6.3	9 11.4	2 2.5	15 19.0	3 3.8	21 26.6	41 51.9	22 27.8	5 6.3	0 0.0
	40～49歳(N=127)	55 43.3	35 27.6	38 29.9	9 7.1	5 3.9	1 0.8	16 12.6	4 3.1	47 37.0	56 44.1	43 33.9	4 3.1	0 0.0
	50～64歳(N=126)	62 49.2	28 22.2	36 28.6	20 15.9	3 2.4	3 2.4	6 4.8	6 4.8	52 41.3	50 39.7	33 26.2	11 8.7	0 0.0
	65～74歳(N=69)	36 52.2	11 15.9	24 34.8	15 21.7	2 2.9	2 2.9	0 0.0	4 5.8	28 40.6	20 29.0	7 10.1	7 10.1	1 1.4
	75歳以上(N=223)	120 53.8	18 8.1	98 43.9	81 36.3	12 5.4	19 8.5	5 2.2	17 7.6	96 43.0	57 25.6	4 1.8	20 9.0	3 1.3
		62 35.6	48 27.6	93 53.4	30 17.2	10 5.7	8 4.6	13 7.5	13 7.5	53 30.5	49 28.2	36 20.7	15 8.6	0 0.0
地区別	龍野町(N=174)	14 36.8	7 18.4	5 13.2	11 28.9	1 2.6	0 0.0	4 10.5	0 0.0	19 50.0	19 50.0	4 10.5	2 5.3	1 2.6
	揖保町(N=38)	18 36.7	6 12.2	12 24.5	10 20.4	3 6.1	4 8.2	1 2.0	1 2.0	28 57.1	20 40.8	11 22.4	2 4.1	0 0.0
	神岡町(N=49)	9 31.0	8 27.6	12 41.4	6 20.7	0 0.0	2 6.9	1 3.4	0 0.0	14 48.3	11 37.9	7 24.1	2 6.9	1 3.4
	誉田町(N=29)	47 58.0	7 8.6	16 19.8	15 18.5	6 7.4	1 1.2	6 7.4	5 6.2	35 43.2	33 40.7	18 22.2	5 6.2	0 0.0
	揖保川町(N=109)	50 45.9	40 36.7	39 35.8	14 12.8	4 3.7	4 3.7	8 7.3	7 6.4	38 34.9	35 32.1	18 16.5	9 8.3	0 0.0
	御津町(N=89)	59 66.3	5 5.6	32 36.0	27 30.3	4 4.5	5 5.6	9 10.1	3 3.4	30 33.7	35 39.3	15 16.9	4 4.5	1 1.1
	新宮町(N=106)	48 45.3	11 10.4	28 26.4	20 18.9	6 5.7	4 3.8	5 4.7	7 6.6	51 48.1	44 41.5	14 13.2	12 11.3	1 0.9
		257 47.3	88 16.2	182 33.5	115 21.2	21 3.9	25 4.6	26 4.8	30 5.5	243 44.8	206 37.9	85 15.7	40 7.4	4 0.7
居住年数別	20年以上(N=543)	28 41.2	22 32.4	26 38.2	9 13.2	4 5.9	0 0.0	8 11.8	4 5.9	18 26.5	25 36.8	19 27.9	4 5.9	0 0.0
	10年以上20年未満(N=68)	13 50.0	11 42.3	13 50.0	4 15.4	4 15.4	2 7.7	6 23.1	1 3.8	1 3.8	5 19.2	5 19.2	3 11.5	0 0.0
	5年以上10年未満(N=26)	7 24.1	10 34.5	13 44.8	2 6.9	4 13.8	1 3.4	6 20.7	1 3.4	5 17.2	6 20.7	11 37.9	2 6.9	0 0.0
	1年以上5年未満(N=29)	2 25.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0
	1年未満(N=8)	104 47.3	56 25.5	112 50.9	53 24.1	14 6.4	14 6.4	25 11.4	17 7.7	87 39.5	64 29.1	34 15.5	12 5.5	2 0.9
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=383)	178 46.5	73 19.1	115 30.0	68 17.8	20 5.2	13 3.4	21 5.5	17 4.4	153 39.9	157 41.0	76 19.8	26 6.8	2 0.5
	どちらともいえない(N=46)	13 28.3	4 8.7	8 17.4	6 13.0	0 0.0	1 2.2	1 2.2	2 4.3	18 39.1	16 34.8	11 23.9	6 13.0	0 0.0
	あまり住みやすいとはいえない(N=20)	10 50.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	7 35.0	8 40.0	1 5.0	6 30.0	0 0.0
	住みにくい(N=3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0
		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(たつの市に住み続けたい理由)

回答	件数	回答	件数
自宅があるから	16	生まれ育った場所だから	6
高齢のため転居できないから	5	先祖からの土地だから	4
災害が少ないから	4	親の代から住んでいるから	2
彼氏が住んでいるから	1	子どもの世話になっているから	1
環境を生かしたまちづくりに市が力を入れてきたから	1	散歩ができるから	1
高齢なので自由な生活を希望しているから	1	全体的に「まあまあ」揃っているから	1
跡継ぎ	1	食べ物がおいしいから	1
市役所や郵便局が集合しているから	1	農地があるから	1
都心に行くのに、駅やバイパスが近くにあるから	1	墓守り	1
家に愛着があるから	1	近所とも仲良く、静かな自然環境で満足しているから	1
寒過ぎず暑過ぎないから	1		

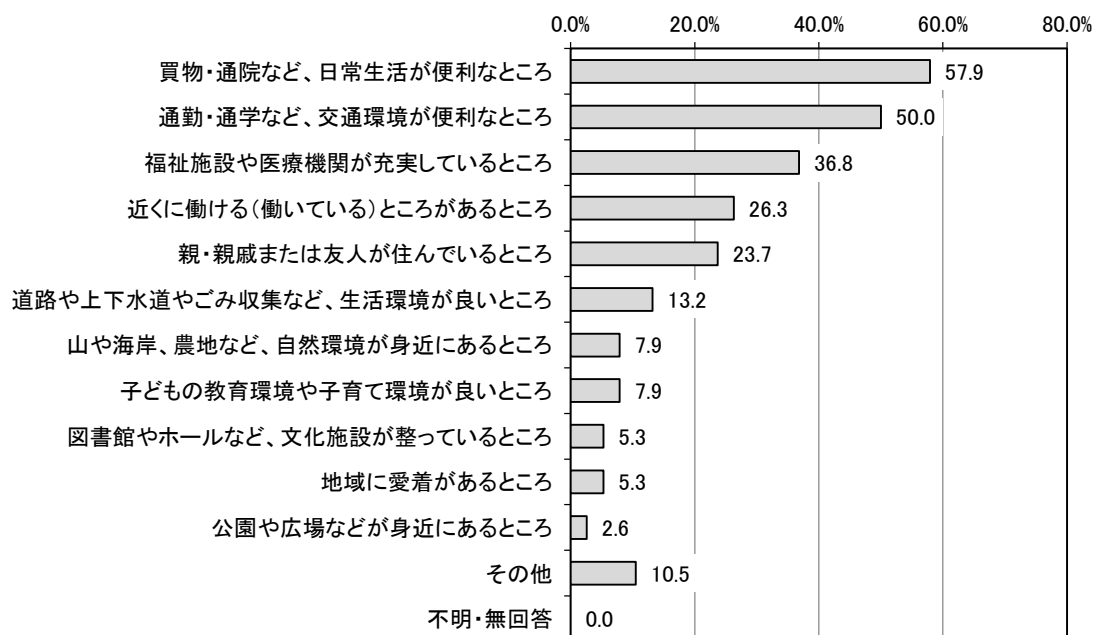
「転出(転居)を考えている」「転出(転居)を予定している」を選ばれた方におうかがいします。

問8(3) 転出(転居)先を選ぶ基準を教えてください。(あてはまるもの3つまでに○)

転出(転居)先を選ぶ基準については、「買物・通院など、日常生活が便利なところ」が57.9%と最も高く、次いで「通勤・通学など、交通環境が便利なところ」が50.0%、「福祉施設や医療機関が充実しているところ」が36.8%となっています。

性別でみると、男性で「福祉施設や医療機関が充実しているところ」、女性で「買物・通院など、日常生活が便利なところ」が高くなっています。

N=38



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		山や海岸、農地など、自然環境が身近にあるところ	通勤・通学など、交通環境が便利なおところ	買物・通院など、日常生活が便利なおところ	道路や上下水道やごみ収集など、生活環境が良いところ	公園や広場などが身近にあるところ	福祉施設や医療機関が充実しているところ	子どもの教育環境や子育て環境が良いところ	図書館やホールなど、文化施設が整っているところ	地域に愛着があるところ	親・親戚または友人が住んでいるところ	近くに働ける(働いている)ところがあるところ	その他	不明・無回答
性別	男性(N=12)	1	4	4	2	1	5	1	0	1	2	3	2	0
	女性(N=23)	8.3	33.3	33.3	16.7	8.3	41.7	8.3	0.0	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0
年齢別	18～19歳(N=1)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	20～29歳(N=9)	1	7	6	1	0	3	1	0	1	2	6	1	0
	30～39歳(N=7)	11.1	77.8	66.7	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	22.2	66.7	11.1	0.0
	40～49歳(N=7)	1	4	2	1	0	2	2	1	1	1	2	0	0
	50～59歳(N=7)	14.3	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0
	60～69歳(N=7)	0	4	5	0	0	4	0	0	0	2	0	1	0
	70～79歳(N=7)	0.0	57.1	71.4	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0
	80～89歳(N=7)	1	1	3	0	0	1	0	1	0	4	2	0	0
	90歳以上(N=1)	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0
地区別	龍野町(N=8)	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	揖保町(N=4)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	神岡町(N=4)	1	4	7	2	1	5	2	1	0	2	1	0	0
	龍野町(N=8)	12.5	50.0	87.5	25.0	12.5	62.5	25.0	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	揖保町(N=4)	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	神岡町(N=4)	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	龍野町(N=8)	0	3	3	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
	揖保町(N=4)	0.0	75.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	神岡町(N=4)	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	龍野町(N=8)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	揖保町(N=4)	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	神岡町(N=4)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住年数別	20年以上(N=24)	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	10年以上20年未満(N=5)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	5年以上10年未満(N=2)	0	1	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	1年以上5年未満(N=5)	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	1年未満(N=2)	0	0	1	0	0	1	0	0	1	2	1	0	0
	20年以上(N=24)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	10年以上20年未満(N=5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5年以上10年未満(N=2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住みやすさ別	住みやすい(N=3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
	まあまあ住みやすい(N=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	どちらともいえない(N=6)	2	7	7	1	0	3	2	1	1	3	5	2	0
	あまり住みやすいとはいえない(N=7)	16.7	58.3	58.3	8.3	0.0	25.0	16.7	8.3	8.3	25.0	41.7	16.7	0.0
	住みにくい(N=10)	0	4	2	1	1	0	0	0	0	3	3	0	0

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容(転出(転居)先を選ぶ基準)

回答	件数
より子育て支援してくれるところ	1
年金が少なく、一人暮らしはできない	1
家を建てた	1
道路や水路の環境整備が悪い	1
猪や鹿が増加し危険	1
神姫バス路線が以前の終点まで来ないうえ、本数が少なく最終が早い	1

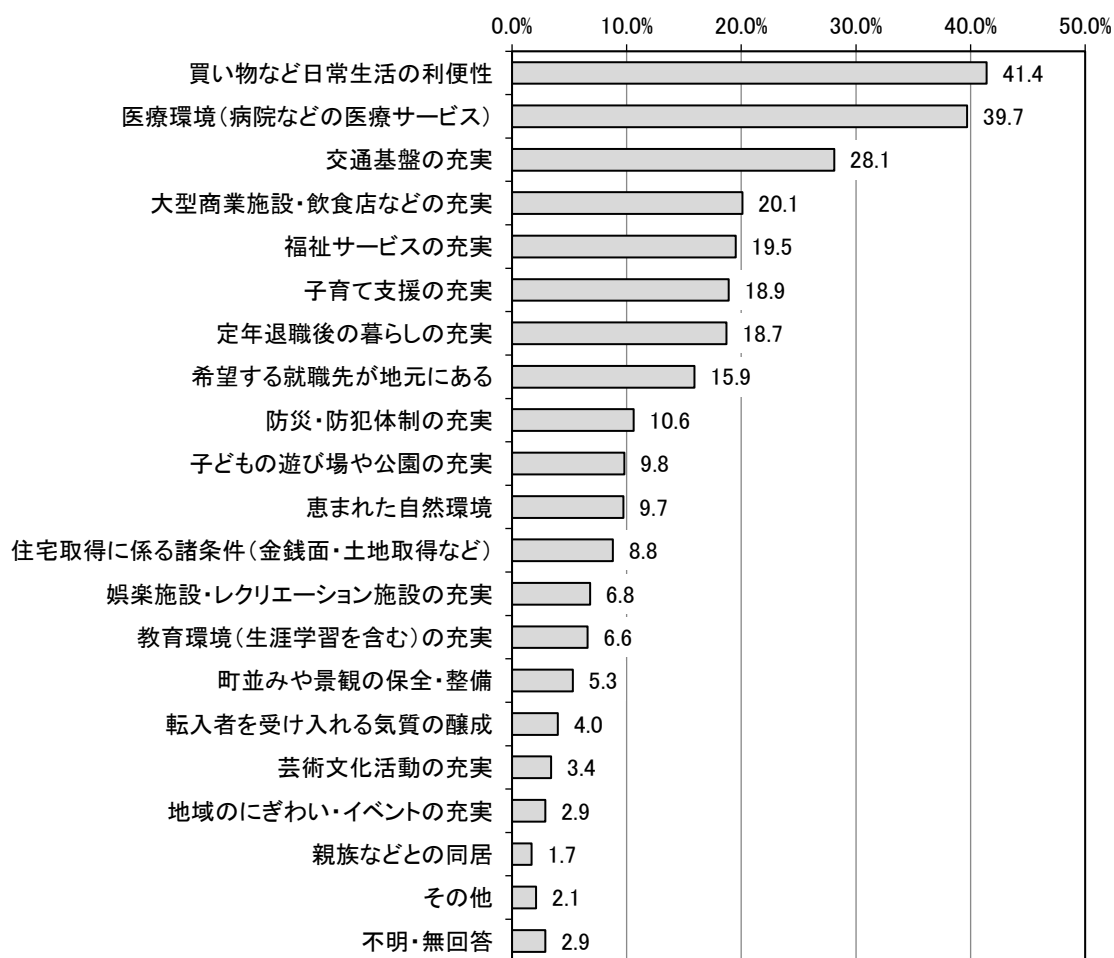
問9 もし、あなた(またはご家族)がたつの市外に居住しているとして、どのような条件が整えば(さらに充実すれば)、たつの市に住みたいと思われますか。(あてはまるもの3つまでに○)

たつの市への定住条件については、「買い物など日常生活の利便性」が41.4%と最も高く、次いで「医療環境(病院などの医療サービス)」が39.7%、「交通基盤の充実」が28.1%となっています。

年齢別でみると、20～39歳で「子育て支援の充実」「子どもの遊び場や公園の充実」が高くなっています。

住みやすさ別でみると、住みにくいで「福祉サービスの充実」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別】

		希望する 就職先が 地元にあ る	住宅取得 に係る諸 条件(金 銭面・土 地取得な ど)	防災・防 犯体制の 充実	子育て支 援の充実	子どもの 遊び場や 公園の充 実	教育環境 (生涯学 習を含む) の充実	医療環境 (病院な どの医療 サービ ス)	福祉サー ビスの充 実	交通基盤 の充実	買い物な ど日常生 活の便利 性	大型商業 施設・飲 食店など の充実
性別	男性(N=396)	71 17.9	39 9.8	43 10.9	78 19.7	32 8.1	20 5.1	138 34.8	77 19.4	102 25.8	143 36.1	92 23.2
	女性(N=499)	74 14.8	39 7.8	53 10.6	91 18.2	54 10.8	40 8.0	218 43.7	99 19.8	152 30.5	227 45.5	89 17.8
年齢別	18～19歳(N=7)	3 42.9	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3
	20～29歳(N=79)	10 12.7	13 16.5	4 5.1	33 41.8	20 25.3	5 6.3	23 29.1	4 5.1	20 25.3	37 46.8	27 34.2
	30～39歳(N=114)	16 14.0	10 8.8	4 3.5	50 43.9	30 26.3	8 7.0	41 36.0	12 10.5	18 15.8	52 45.6	28 24.6
	40～49歳(N=169)	26 15.4	15 8.9	25 14.8	35 20.7	12 7.1	15 8.9	62 36.7	33 19.5	52 30.8	70 41.4	38 22.5
	50～64歳(N=169)	36 21.3	20 11.8	14 8.3	19 11.2	9 5.3	9 5.3	70 41.4	38 22.5	54 32.0	62 36.7	40 23.7
	65～74歳(N=87)	10 11.5	5 5.7	12 13.8	13 14.9	6 6.9	3 3.4	35 40.2	19 21.8	24 27.6	34 39.1	17 19.5
	75歳以上(N=270)	44 16.3	17 6.3	37 13.7	19 7.0	11 4.1	19 7.0	121 44.8	67 24.8	80 29.6	115 42.6	31 11.5
地区別	龍野町(N=219)	37 16.9	13 5.9	31 14.2	41 18.7	31 14.2	16 7.3	90 41.1	41 18.7	50 22.8	73 33.3	49 22.4
	揖保町(N=50)	8 16.0	4 8.0	6 12.0	9 18.0	5 10.0	2 4.0	15 30.0	13 26.0	20 40.0	25 50.0	8 16.0
	神岡町(N=69)	15 21.7	11 15.9	4 5.8	12 17.4	7 10.1	2 2.9	33 47.8	13 18.8	17 24.6	34 49.3	14 20.3
	誉田町(N=38)	9 23.7	3 7.9	6 15.8	3 7.9	4 10.5	2 5.3	13 34.2	6 15.8	6 15.8	16 42.1	8 21.1
	揖西町(N=98)	15 15.3	9 9.2	10 10.2	23 23.5	7 7.1	8 8.2	38 38.8	14 14.3	23 23.5	43 43.9	23 23.5
	揖保川町(N=148)	15 10.1	20 13.5	14 9.5	24 16.2	10 6.8	10 6.8	52 35.1	23 15.5	47 31.8	63 42.6	32 21.6
	御津町(N=129)	11 8.5	7 5.4	14 10.9	24 18.6	10 7.8	9 7.0	56 43.4	31 24.0	54 41.9	59 45.7	17 13.2
	新宮町(N=148)	35 23.6	13 8.8	12 8.1	33 22.3	14 9.5	11 7.4	58 39.2	35 23.6	35 23.6	61 41.2	31 20.9

		娯楽施 設・レク リエーシ ョン施 設の充 実	地域のに ぎわい・ イベント の充実	芸術文化 活動の充 実	恵まれた 自然環境	町並みや 景観の保 全・整備	定年退職 後の暮ら しの充実	親族など との同居	転入者を 受け入れ る気質の 醸成	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=396)	37 9.3	17 4.3	15 3.8	45 11.4	29 7.3	64 16.2	6 1.5	11 2.8	9 2.3	11 2.8
	女性(N=499)	24 4.8	9 1.8	16 3.2	42 8.4	18 3.6	103 20.6	10 2.0	25 5.0	9 1.8	13 2.6
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	16 20.3	4 5.1	1 1.3	2 2.5	3 3.8	5 6.3	0 0.0	3 3.8	2 2.5	0 0.0
	30～39歳(N=114)	18 15.8	7 6.1	3 2.6	6 5.3	8 7.0	14 12.3	2 1.8	5 4.4	3 2.6	1 0.9
	40～49歳(N=169)	7 4.1	5 3.0	5 3.0	12 7.1	9 5.3	30 17.8	5 3.0	6 3.6	6 3.6	1 0.6
	50～64歳(N=169)	7 4.1	3 1.8	9 5.3	16 9.5	7 4.1	44 26.0	3 1.8	9 5.3	1 0.6	4 2.4
	65～74歳(N=87)	2 2.3	3 3.4	3 3.4	14 16.1	5 5.7	17 19.5	0 0.0	4 4.6	4 4.6	1 1.1
	75歳以上(N=270)	10 3.7	4 1.5	10 3.7	38 14.1	14 5.2	53 19.6	4 1.5	9 3.3	3 1.1	17 6.3
地区別	龍野町(N=219)	19 8.7	4 1.8	8 3.7	23 10.5	14 6.4	37 16.9	6 2.7	10 4.6	4 1.8	7 3.2
	揖保町(N=50)	0 0.0	0 0.0	2 4.0	2 4.0	4 8.0	9 18.0	0 0.0	2 4.0	0 0.0	2 4.0
	神岡町(N=69)	2 2.9	1 1.4	3 4.3	2 2.9	0 0.0	11 15.9	0 0.0	5 7.2	2 2.9	2 2.9
	誉田町(N=38)	1 2.6	3 7.9	2 5.3	2 5.3	2 5.3	9 23.7	1 2.6	4 10.5	2 5.3	2 5.3
	揖西町(N=98)	6 6.1	0 0.0	2 2.0	13 13.3	6 6.1	18 18.4	1 1.0	3 3.1	2 2.0	1 1.0
	揖保川町(N=148)	9 6.1	7 4.7	7 4.7	13 8.8	9 6.1	28 18.9	7 4.7	3 2.0	2 1.4	5 3.4
	御津町(N=129)	10 7.8	7 5.4	3 2.3	19 14.7	6 4.7	19 14.7	0 0.0	4 3.1	2 1.6	2 1.6
	新宮町(N=148)	14 9.5	4 2.7	4 2.7	13 8.8	7 4.7	32 21.6	1 0.7	5 3.4	5 3.4	4 2.7

上段:件数、下段:%

【居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		希望する就職先が地元にある	住宅取得に係る諸条件(金銭面・土地取得など)	防災・防犯体制の充実	子育て支援の充実	子どもの遊び場や公園の充実	教育環境(生涯学習を含む)の充実	医療環境(病院などの医療サービス)	福祉サービスの充実	交通基盤の充実	買い物など日常生活の利便性	大型商業施設・飲食店などの充実
居住年数別	20年以上(N=708)	111 15.7	69 9.7	86 12.1	115 16.2	56 7.9	43 6.1	283 40.0	149 21.0	192 27.1	285 40.3	143 20.2
	10年以上20年未満(N=100)	22 22.0	4 4.0	7 7.0	19 19.0	10 10.0	8 8.0	40 40.0	17 17.0	37 37.0	43 43.0	16 16.0
	5年以上10年未満(N=39)	4 10.3	3 7.7	0 0.0	15 38.5	9 23.1	3 7.7	15 38.5	6 15.4	7 17.9	20 51.3	8 20.5
	1年以上5年未満(N=48)	9 18.8	3 6.3	3 6.3	17 35.4	13 27.1	4 8.3	18 37.5	3 6.3	18 37.5	23 47.9	12 25.0
	1年未満(N=11)	0 0.0	1 9.1	1 9.1	4 36.4	1 9.1	1 9.1	4 36.4	2 18.2	2 18.2	6 54.5	3 27.3
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	45 19.1	27 11.5	34 14.5	46 19.6	31 13.2	13 5.5	91 38.7	54 23.0	45 19.1	76 32.3	36 15.3
	まあまあ住みやすい(N=455)	78 17.1	33 7.3	37 8.1	94 20.7	43 9.5	40 8.8	183 40.2	77 16.9	125 27.5	207 45.5	99 21.8
	どちらともいえない(N=119)	13 10.9	11 9.2	14 11.8	21 17.6	9 7.6	4 3.4	45 37.8	24 20.2	49 41.2	50 42.0	30 25.2
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	6 10.5	6 10.5	7 12.3	6 10.5	5 8.8	3 5.3	25 43.9	10 17.5	23 40.4	24 42.1	13 22.8
	住みにくい(N=25)	2 8.0	1 4.0	3 12.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	10 40.0	9 36.0	9 36.0	12 48.0	2 8.0
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	59 19.6	19 6.3	36 12.0	53 17.6	35 11.6	32 10.6	134 44.5	66 21.9	65 21.6	113 37.5	55 18.3
	できれば住み続けたい(N=377)	61 16.2	41 10.9	38 10.1	78 20.7	33 8.8	24 6.4	140 37.1	67 17.8	102 27.1	165 43.8	71 18.8
	どちらともいえない(N=153)	15 9.8	14 9.2	15 9.8	29 19.0	17 11.1	3 2.0	64 41.8	31 20.3	62 40.5	66 43.1	35 22.9
	転出(転居)を考えている(N=27)	5 18.5	3 11.1	1 3.7	3 11.1	1 3.7	0 0.0	7 25.9	4 14.8	13 48.1	14 51.9	10 37.0
	転出(転居)を予定している(N=11)	2 18.2	1 9.1	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	4 36.4	5 45.5	4 36.4
	わからない(N=37)	4 10.8	2 5.4	6 16.2	7 18.9	3 8.1	1 2.7	14 37.8	10 27.0	11 29.7	14 37.8	6 16.2

		娯楽施設・レクリエーション施設の充実	地域のにぎわい・イベントの充実	芸術文化活動の充実	恵まれた自然環境	町並みや景観の保全・整備	定年退職後の暮らしの充実	親族などとの同居	転入者を受け入れる気質の醸成	その他	不明・無回答
居住年数別	20年以上(N=708)	40 5.6	19 2.7	24 3.4	79 11.2	35 4.9	141 19.9	10 1.4	31 4.4	11 1.6	24 3.4
	10年以上20年未満(N=100)	7 7.0	3 3.0	3 3.0	4 4.0	5 5.0	17 17.0	4 4.0	4 4.0	2 2.0	0 0.0
	5年以上10年未満(N=39)	4 10.3	4 10.3	1 2.6	3 7.7	1 2.6	6 15.4	1 2.6	1 2.6	2 5.1	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	10 20.8	1 2.1	3 6.3	0 0.0	5 10.4	2 4.2	1 2.1	1 2.1	4 8.3	1 2.1
	1年未満(N=11)	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	16 6.8	11 4.7	5 2.1	33 14.0	16 6.8	52 22.1	2 0.9	5 2.1	2 0.9	7 3.0
	まあまあ住みやすい(N=455)	30 6.6	9 2.0	14 3.1	45 9.9	23 5.1	82 18.0	11 2.4	20 4.4	11 2.4	10 2.2
	どちらともいえない(N=119)	11 9.2	2 1.7	5 4.2	5 4.2	4 3.4	22 18.5	2 1.7	7 5.9	3 2.5	2 1.7
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	4 7.0	5 8.8	4 7.0	4 7.0	4 7.0	10 17.5	0 0.0	3 5.3	0 0.0	2 3.5
	住みにくい(N=25)	0 0.0	0 0.0	3 12.0	1 4.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	17 5.6	10 3.3	14 4.7	42 14.0	15 5.0	58 19.3	5 1.7	8 2.7	5 1.7	6 2.0
	できれば住み続けたい(N=377)	22 5.8	7 1.9	8 2.1	39 10.3	26 6.9	72 19.1	10 2.7	16 4.2	8 2.1	9 2.4
	どちらともいえない(N=153)	16 10.5	9 5.9	6 3.9	6 3.9	6 3.9	30 19.6	1 0.7	7 4.6	3 2.0	3 2.0
	転出(転居)を考えている(N=27)	1 3.7	0 0.0	2 7.4	1 3.7	1 3.7	2 7.4	0 0.0	4 14.8	2 7.4	0 0.0
	転出(転居)を予定している(N=11)	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	3 8.1	0 0.0	1 2.7	1 2.7	1 2.7	5 13.5	0 0.0	2 5.4	1 2.7	5 13.5

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(たつの市に住みたいと思う条件)

施設・設備に関して	件数
図書館の充実	1
歩ける範囲にスーパーや病院があること	1
街灯の追加	1
ラジオや電波状況が悪く、改善される	1
田畑があり、自然には恵まれているが、建物などが建てられないので、若者が都会に出ていってしまう	1
地下や1階がスーパーで、上部が住宅という巨大な建物	1
国民宿舎を活用した宿泊プランやターミナル化による集客の増加	1
移動・交通に関して	件数
新幹線の駅	1
自転車道路の整備	1
とにかく御津地区は公共交通機関が少ないから不便である	1
姫新線に自転車持ち込み可にする	1
生活費・税に関して	件数
各種税に関する減税措置や公共料金の減額	1
いろいろと減税	1
水道代や住民税が安い	1
交流・コミュニティに関して	件数
P T A活動の縮小、婦人部の解散	1
程よいコミュニティ。祭りなど伝統を守ると同時に、働く世代への負担を減らす工夫	1
その他	件数
高齢でも仕事がしたい	1
社会保障の充実した会社	1

■その他の回答内容(たつの市に住みたいと思う条件(希望業種))

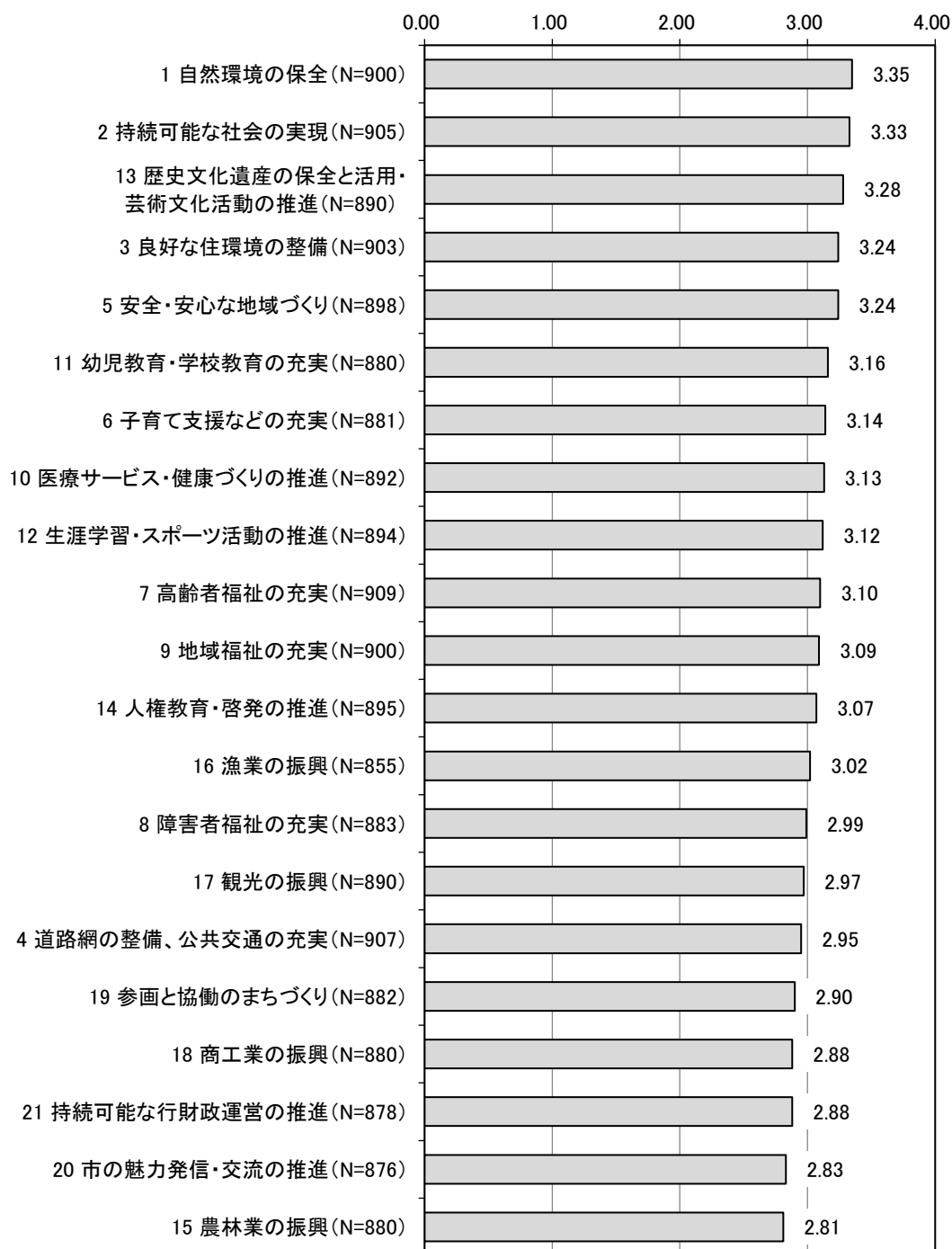
回答	件数	回答	件数
製造業	6	IT 関連	4
大手企業・メーカー	4	事務系・事務職	3
公務員	3	介護士・介護職	2
看護師・看護職	2	医療関係	2
運送業	1	ひきこもりの人を雇い入れる職場	1
化学	1	洋菓子製造	1
研究機関	1	レストラン・厨房	1
公共施設	1	食品メーカー	1
総合病院	1	地場産業	1
業種問わず選択肢が乏しい	1		

たつの市のまちづくりについて

問 10 たつの市では、「第2次総合計画」に沿って様々な施策に取り組んでいます。あなたは、これらについて、現在の生活の中でどの程度満足していますか。1～21 のそれぞれについて、お考えに近い番号に○をつけてください。

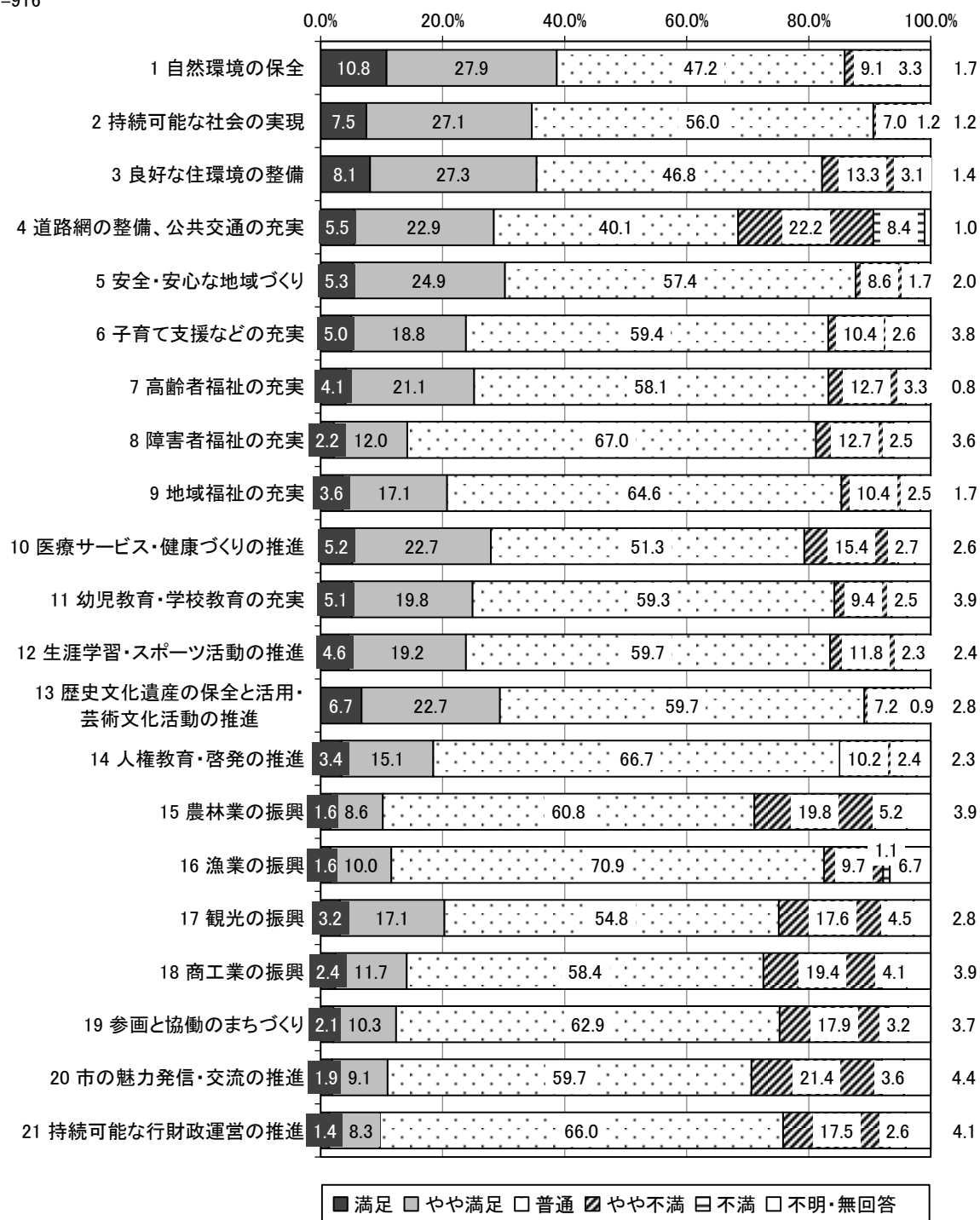
各施策の満足度について点数化すると、「1 自然環境の保全」が最も高く、次いで「2 持続可能な社会の実現」、「13 歴史文化遺産の保全と活用・芸術文化活動の推進」となっています。

■各項目の満足度平均



■ 1～21 までの満足度(割合)

N=916



これからのまちづくりについて

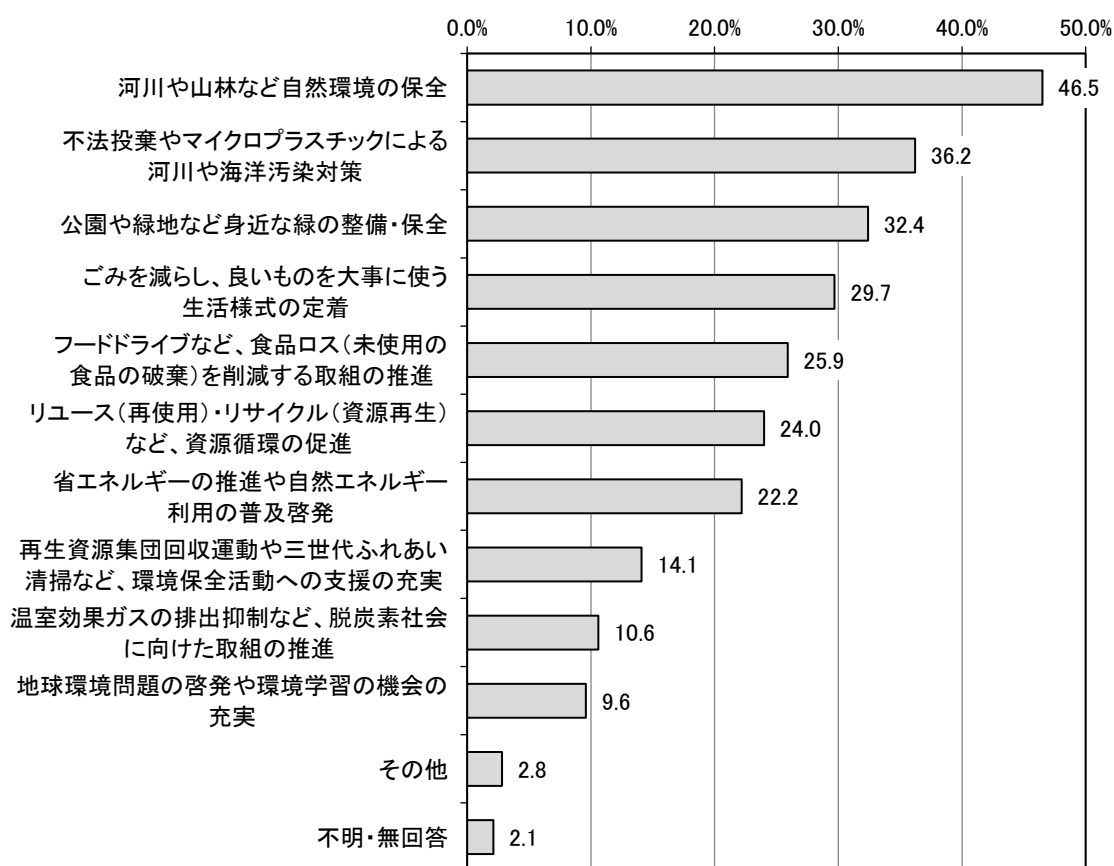
【環境について】

問 11 あなたは、たつの市の環境を良くするために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

環境を良くするために力を入れるべきことについては、「河川や山林など自然環境の保全」が46.5%と最も高く、次いで「不法投棄やマイクロプラスチックによる河川や海洋汚染対策」が36.2%、「公園や緑地など身近な緑の整備・保全」が32.4%となっています。

年齢別・居留意向別でみると、20～39歳・転出（転居）を予定しているでそれぞれ「公園や緑地など身近な緑の整備・保全」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発	地球環境問題の啓発や環境学習の機会の充実	河川や山林など自然環境の保全	公園や緑地など身近な緑の整備・保全	不法投棄やマイクロプラスチックによる河川や海洋汚染対策	温室効果ガスの排出抑制など、脱炭素社会に向けた取組の推進	リユース（再利用）・リサイクル（資源再生）など、資源循環の促進	フードドライブなど、食品ロス（未使用の食品の破棄）を削減する取組の推進	ごみを減らし、良いものを大事に使う生活様式の定着	再生資源集団回収運動や三世代ふれあい清掃など、環境保全活動への支援の充実	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	96 24.2	38 9.6	195 49.2	114 28.8	154 38.9	49 12.4	98 24.7	90 22.7	107 27.0	62 15.7	8 2.0	8 2.0
	女性(N=499)	101 20.2	49 9.8	222 44.5	175 35.1	174 34.9	46 9.2	117 23.4	143 28.7	157 31.5	66 13.2	16 3.2	10 2.0
年齢別	18～19歳(N=7)	2 28.6	0 0.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1	3 42.9	2 28.6	2 28.6	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	14 17.7	4 5.1	24 30.4	36 45.6	22 27.8	9 11.4	22 27.8	22 27.8	19 24.1	12 15.2	4 5.1	1 1.3
	30～39歳(N=114)	21 18.4	12 10.5	43 37.7	63 55.3	28 24.6	6 5.3	27 23.7	40 35.1	30 26.3	8 7.0	3 2.6	2 1.8
	40～49歳(N=169)	42 24.9	18 10.7	80 47.3	50 29.6	48 28.4	19 11.2	46 27.2	52 30.8	40 23.7	12 7.1	5 3.0	2 1.2
	50～64歳(N=169)	48 28.4	13 7.7	88 52.1	53 31.4	58 34.3	16 9.5	38 22.5	47 27.8	37 21.9	24 14.2	5 3.0	3 1.8
	65～74歳(N=87)	19 21.8	15 17.2	41 47.1	26 29.9	33 37.9	10 11.5	22 25.3	19 21.8	28 32.2	12 13.8	1 1.1	1 1.1
	75歳以上(N=270)	51 18.9	23 8.5	140 51.9	60 22.2	130 48.1	31 11.5	59 21.9	51 18.9	110 40.7	59 21.9	6 2.2	9 3.3
地区別	龍野町(N=219)	44 20.1	23 10.5	104 47.5	83 37.9	71 32.4	23 10.5	52 23.7	62 28.3	75 34.2	26 11.9	9 4.1	3 1.4
	揖保町(N=50)	16 32.0	4 8.0	24 48.0	15 30.0	25 50.0	6 12.0	12 24.0	8 16.0	7 14.0	5 10.0	3 6.0	0 0.0
	神岡町(N=69)	17 24.6	3 4.3	35 50.7	21 30.4	23 33.3	7 10.1	13 18.8	20 29.0	22 31.9	12 17.4	3 4.3	1 1.4
	誉田町(N=38)	8 21.1	5 13.2	11 28.9	8 21.1	17 44.7	3 7.9	10 26.3	13 34.2	11 28.9	7 18.4	1 2.6	1 2.6
	揖西町(N=98)	21 21.4	9 9.2	45 45.9	30 30.6	36 36.7	9 9.2	26 26.5	28 28.6	19 19.4	17 17.3	2 2.0	3 3.1
	揖保川町(N=148)	34 23.0	17 11.5	67 45.3	45 30.4	57 38.5	17 11.5	31 20.9	31 20.9	40 27.0	21 14.2	2 1.4	5 3.4
	御津町(N=129)	24 18.6	8 6.2	66 51.2	39 30.2	55 42.6	10 7.8	30 23.3	31 24.0	46 35.7	16 12.4	1 0.8	1 0.8
	新宮町(N=148)	35 23.6	18 12.2	68 45.9	48 32.4	43 29.1	20 13.5	42 28.4	39 26.4	46 31.1	24 16.2	3 2.0	4 2.7
居住年数別	20年以上(N=708)	161 22.7	68 9.6	349 49.3	211 29.8	274 38.7	73 10.3	163 23.0	172 24.3	219 30.9	106 15.0	17 2.4	14 2.0
	10年以上20年未満(N=100)	24 24.0	11 11.0	45 45.0	37 37.0	34 34.0	16 16.0	22 22.0	26 26.0	22 22.0	10 10.0	2 2.0	3 3.0
	5年以上10年未満(N=39)	8 20.5	4 10.3	13 33.3	15 38.5	8 20.5	2 5.1	14 35.9	12 30.8	13 33.3	0 0.0	4 10.3	1 2.6
	1年以上5年未満(N=48)	7 14.6	2 4.2	12 25.0	26 54.2	9 18.8	2 4.2	14 29.2	20 41.7	11 22.9	10 20.8	1 2.1	1 2.1
	1年未満(N=11)	1 9.1	1 9.1	3 27.3	3 27.3	5 45.5	3 27.3	4 36.4	5 45.5	1 9.1	2 18.2	1 9.1	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	53 22.6	24 10.2	105 44.7	79 33.6	86 36.6	19 8.1	56 23.8	61 26.0	73 31.1	49 20.9	6 2.6	5 2.1
	まあまあ住みやすい(N=455)	109 24.0	48 10.5	212 46.6	140 30.8	166 36.5	55 12.1	113 24.8	126 27.7	135 29.7	56 12.3	10 2.2	5 1.1
	どちらともいえない(N=119)	23 19.3	6 5.0	56 47.1	47 39.5	42 35.3	11 9.2	28 23.5	25 21.0	31 26.1	11 9.2	3 2.5	3 2.5
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	9 15.8	5 8.8	30 52.6	21 36.8	19 33.3	8 14.0	14 24.6	14 24.6	16 28.1	7 12.3	4 7.0	0 0.0
	住みにくい(N=25)	5 20.0	2 8.0	14 56.0	5 20.0	11 44.0	2 8.0	3 12.0	4 16.0	7 28.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0

上段：件数、下段：%

【居住意向別、居住基準別】

		省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発	地球環境問題の啓発や環境学習の機会の充実	河川や山林など自然環境の保全	公園や緑地など身近な緑の整備・保全	不法投棄やマイクロプラスチックによる河川や海洋汚染対策	温室効果ガスの排出抑制など、脱炭素社会に向けた取組の推進	リユース（再使用）・リサイクル（資源再生）など、資源循環の促進	フードドライブなど、食品ロス（未使用の食品の破棄）を削減する取組の推進	ごみを減らし、良いものを大事に使う生活様式の定着	再生資源集団回収運動や三世代ふれあい清掃など、環境保全活動への支援の充実	その他	不明・無回答
居住意向別	ずっと住みたい(N=301)	78 25.9	33 11.0	142 47.2	107 35.5	107 35.5	28 9.3	63 20.9	66 21.9	102 33.9	57 18.9	7 2.3	2 0.7
	できれば住みたい(N=377)	81 21.5	43 11.4	177 46.9	102 27.1	154 40.8	45 11.9	101 26.8	109 28.9	100 26.5	48 12.7	9 2.4	7 1.9
	どちらともいえない(N=153)	31 20.3	6 3.9	71 46.4	62 40.5	43 28.1	14 9.2	34 22.2	38 24.8	47 30.7	16 10.5	3 2.0	4 2.6
	転出(転居)を考えている(N=27)	6 22.2	1 3.7	12 44.4	7 25.9	9 33.3	5 18.5	7 25.9	6 22.2	5 18.5	3 11.1	5 18.5	1 3.7
	転出(転居)を予定している(N=11)	1 9.1	0 0.0	4 36.4	8 72.7	5 45.5	0 0.0	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	5 13.5	4 10.8	17 45.9	8 21.6	13 35.1	4 10.8	8 21.6	11 29.7	11 29.7	3 8.1	1 2.7	3 8.1
居住基準別	住みたい(N=309)	80 25.9	39 12.6	172 55.7	89 28.8	124 40.1	32 10.4	67 21.7	81 26.2	86 27.8	51 16.5	5 1.6	6 1.9
	転居(転出)したい(N=3)	0 0.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

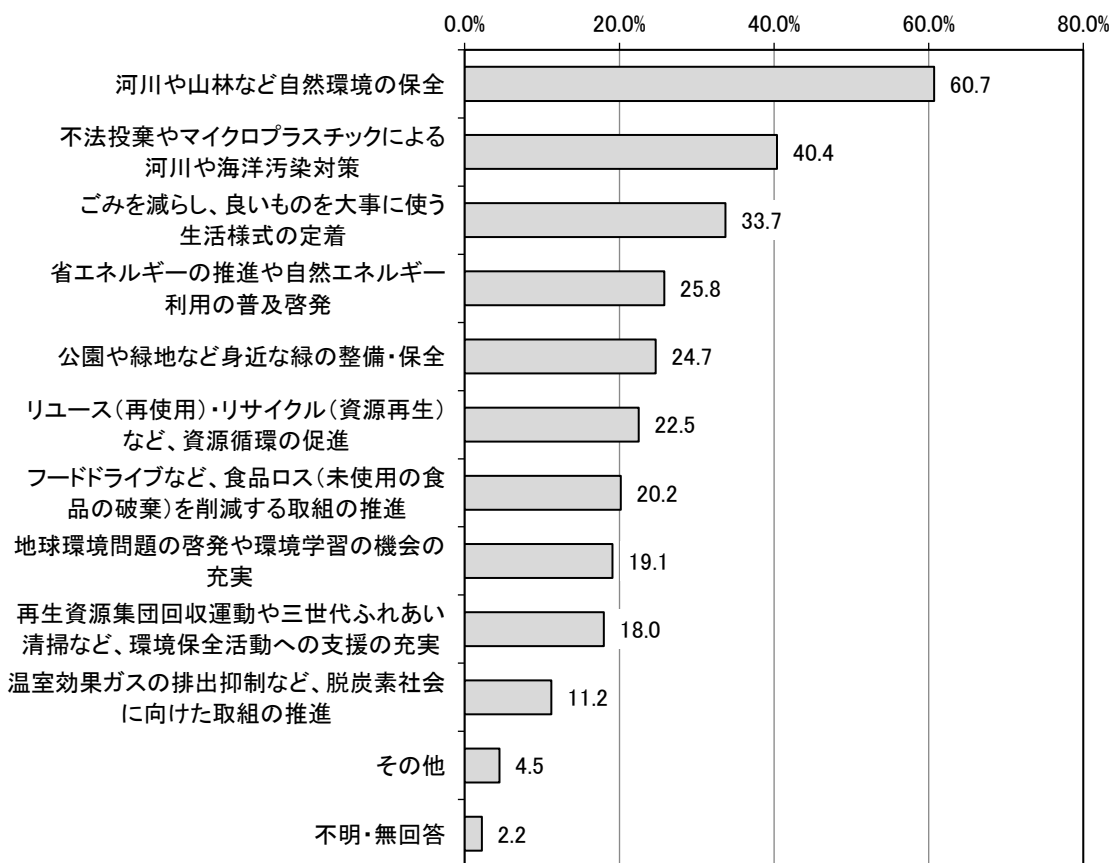
上段：件数、下段：%

※以下の回答者を抽出している

住みたい…問 8(2)たつの市に住みたい理由で「山や海岸、農地など、自然環境が身近にあるから」を回答
 転居(転出)したい…問 8(3)転出(転居)先を選ぶ基準で「山や海岸、農地など、自然環境が身近にあるところ」を回答

【問 9 市外からの転入に必要な条件で「恵まれた自然環境」を回答した方】

N=89



【「自然環境の保全」「持続可能な社会の実現」の満足度別】

		省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発	地球環境問題の啓発や環境学習の機会の充実	河川や山林など自然環境の保全	公園や緑地など身近な緑の整備・保全	不法投棄やマイクロプラスチックによる河川や海洋汚染対策	温室効果ガスの排出抑制など、脱炭素社会に向けた取組の推進	リユース（再利用）・リサイクル（資源再生）など、資源循環の促進	フードドライブなど、食品ロス（未使用の食品の破棄）を削減する取組の推進	ごみを減らし、良いものを使う生活様式の定着	再生資源回収運動や三世代ふれあい清掃など、環境保全活動への支援の充実	その他	不明・無回答
自然環境の保全	満足(N=99)	22 22.2	8 8.1	44 44.4	36 36.4	33 33.3	6 6.1	27 27.3	32 32.3	33 33.3	16 16.2	3 3.0	1 1.0
	やや満足(N=256)	60 23.4	31 12.1	117 45.7	84 32.8	93 36.3	30 11.7	67 26.2	75 29.3	62 24.2	32 12.5	8 3.1	4 1.6
	普通(N=432)	98 22.7	41 9.5	185 42.8	139 32.2	154 35.6	45 10.4	104 24.1	107 24.8	134 31.0	57 13.2	9 2.1	9 2.1
	やや不満(N=83)	18 21.7	7 8.4	57 68.7	25 30.1	35 42.2	14 16.9	14 16.9	14 16.9	25 30.1	14 16.9	1 1.2	1 1.2
	不満(N=30)	3 10.0	1 3.3	16 53.3	9 30.0	13 43.3	2 6.7	6 20.0	6 20.0	12 40.0	6 20.0	5 16.7	0 0.0
「持続可能な社会の実現」の満足度別	満足(N=69)	17 24.6	6 8.7	32 46.4	28 40.6	18 26.1	5 7.2	19 27.5	26 37.7	19 27.5	15 21.7	3 4.3	1 1.4
	やや満足(N=248)	49 19.8	27 10.9	117 47.2	70 28.2	98 39.5	29 11.7	65 26.2	63 25.4	77 31.0	43 17.3	7 2.8	4 1.6
	普通(N=513)	121 23.6	48 9.4	232 45.2	178 34.7	184 35.9	53 10.3	114 22.2	129 25.1	147 28.7	63 12.3	12 2.3	10 1.9
	やや不満(N=64)	13 20.3	6 9.4	34 53.1	16 25.0	23 35.9	10 15.6	18 28.1	15 23.4	23 35.9	6 9.4	2 3.1	1 1.6
	不満(N=11)	2 18.2	1 9.1	6 54.5	2 18.2	5 45.5	0 0.0	3 27.3	2 18.2	3 27.3	0 0.0	2 18.2	0 0.0

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容（環境を良くするために力を入れるべきこと）

自然・環境問題に関して	件数
山・川・海の保全、整備、活用	2
環境問題について学ぶイベントの充実	1
自然を守り育てる意識を定着させるための啓発運動	1
林田川をきれいにしてほしい	1
ゴミ問題に関して	件数
ポイ捨てが多く、マナーの向上が必要	1
業者などに依頼し、地域の清掃、資源回収などを行う	1
ペットボトルやプラスチック、紙類を持ち込むとポイントがもらえる制度を広める	1
普通ゴミで草が大量に出されているが、自然に返すという発想はできないか	1
粗大ゴミの有料化	1
子育てに関して	件数
子育てしやすい環境づくり	1
各地域に幼稚園や公園づくり	1
ボール遊びができる広くて安全な公園づくり	1
防災に関して	件数
台風時に林田川の氾濫が怖い	1
避難所を兼ねた大規模な公園づくり	1
太陽光パネルに関して	件数
太陽光パネルが景観を損なう	1
山林を切り倒してソーラーパネルを設置することは景観を損なう環境破壊であり、災害の誘発にもつながるため規制すべき	1

その他	件数
市街化調整区域の緩和	1
農業の保護と推進	1
道路渋滞の解消、自転車レーンの整備	1

【安全・安心について】

問 12 あなたは、たつの市の安全・安心に関する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

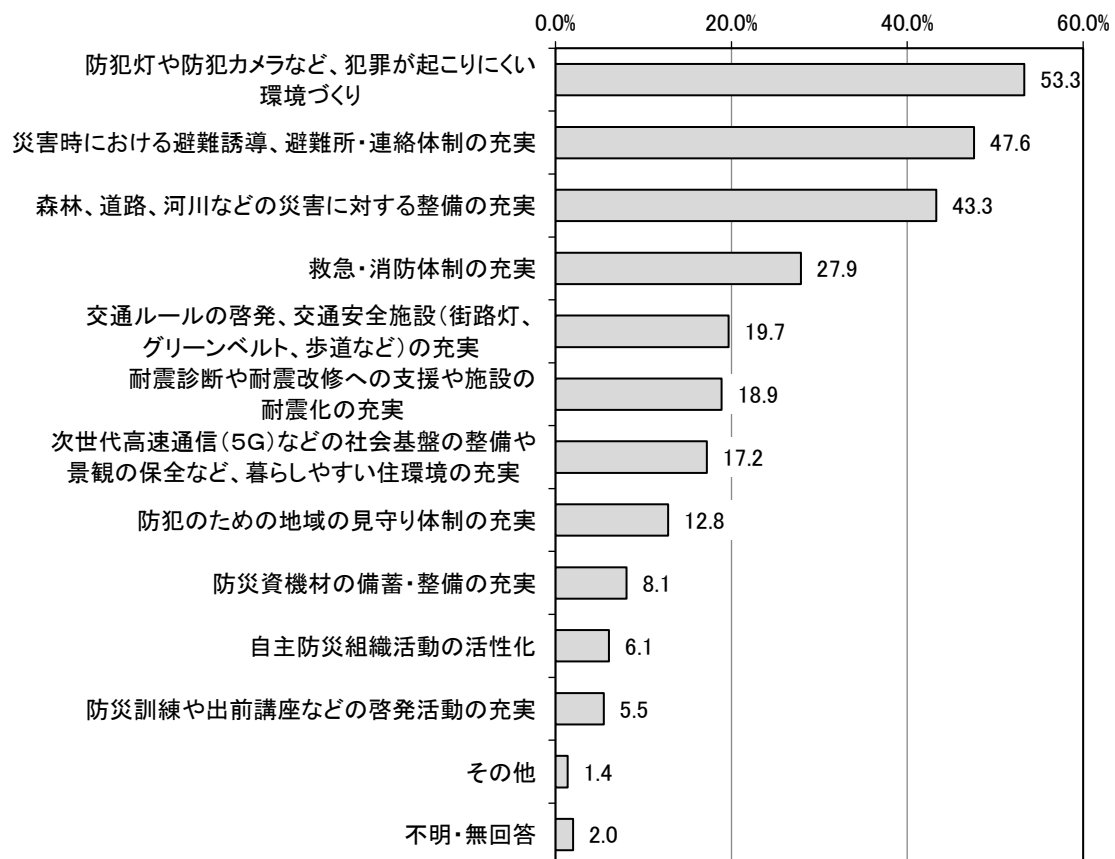
力を入れるべき安全・安心に関する取組については、「防犯灯や防犯カメラなど、犯罪が起きにくい環境づくり」が 53.3%と最も高く、次いで「災害時における避難誘導、避難所・連絡体制の充実」が 47.6%、「森林、道路、河川などの災害に対する整備の充実」が 43.3%となっています。

年齢別でみると、65 歳以上で「次世代高速通信（5G）などの社会基盤の整備や景観の保全など、暮らしやすい住環境の充実」が低くなっています。

住みやすさ別でみると、住みにくいで「防犯灯や防犯カメラなど、犯罪が起きにくい環境づくり」が低くなっています。

「安全・安心な地域づくり」の満足度別でみると、やや不満で「救急・消防体制の充実」が高くなっています。

N=916



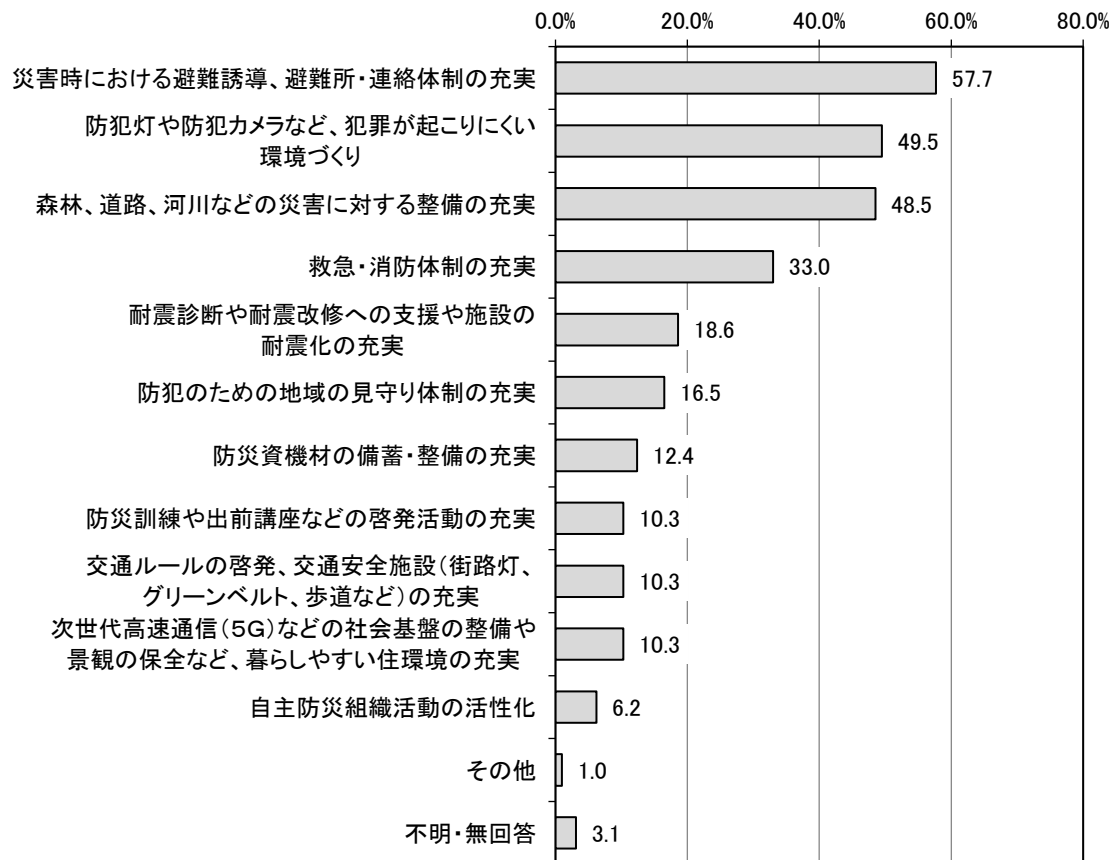
【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		災害時における避難誘導、避難所・連絡体制の充実	防災訓練や出前講座などの啓発活動の充実	耐震診断や耐震改修への支援や施設の耐震化の充実	救急・消防体制の充実	自主防災組織活動の活性化	森林、道路などの災害に対する整備の充実	防災資機材の備蓄・整備の充実	防犯のための地域の見守り体制の充実	防犯灯や防犯カメラなど、犯罪が起こりにくい環境づくり	交通ルールの啓発、交通安全施設(街路灯、グリーンベルト、歩道など)の充実	次世代高速通信(5G)などの社会基盤の整備や景観の保全など、暮らしやすい住環境の充実	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	165 41.7	19 4.8	73 18.4	114 28.8	29 7.3	181 45.7	36 9.1	46 11.6	209 52.8	79 19.9	95 24.0	6 1.5	7 1.8
	女性(N=499)	261 52.3	30 6.0	96 19.2	137 27.5	26 5.2	207 41.5	36 7.2	64 12.8	270 54.1	100 20.0	59 11.8	7 1.4	9 1.8
年齢別	18～19歳(N=7)	3 42.9	2 28.6	1 14.3	2 28.6	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	41 51.9	6 7.6	12 15.2	17 21.5	3 3.8	37 46.8	9 11.4	10 12.7	39 49.4	15 19.0	21 26.6	1 1.3	1 1.3
	30～39歳(N=114)	53 46.5	6 5.3	26 22.8	34 29.8	6 5.3	42 36.8	8 7.0	13 11.4	49 43.0	25 21.9	35 30.7	1 0.9	2 1.8
	40～49歳(N=169)	76 45.0	6 3.6	38 22.5	57 33.7	9 5.3	66 39.1	20 11.8	15 8.9	87 51.5	29 17.2	36 21.3	2 1.2	1 0.6
	50～64歳(N=169)	77 45.6	6 3.6	28 16.6	61 36.1	8 4.7	76 45.0	7 4.1	19 11.2	94 55.6	35 20.7	35 20.7	2 1.2	2 1.2
	65～74歳(N=87)	37 42.5	4 4.6	13 14.9	28 32.2	7 8.0	39 44.8	11 12.6	12 13.8	47 54.0	18 20.7	7 8.0	1 1.1	1 1.1
	75歳以上(N=270)	141 52.2	17 6.3	53 19.6	53 19.6	22 8.1	125 46.3	18 6.7	41 15.2	157 58.1	54 20.0	18 6.7	6 2.2	9 3.3
地区別	龍野町(N=219)	115 52.5	16 7.3	30 13.7	65 29.7	15 6.8	93 42.5	22 10.0	28 12.8	109 49.8	40 18.3	41 18.7	4 1.8	3 1.4
	揖保町(N=50)	24 48.0	0 0.0	12 24.0	16 32.0	2 4.0	19 38.0	4 8.0	4 8.0	30 60.0	10 20.0	3 6.0	2 4.0	1 2.0
	神岡町(N=69)	30 43.5	4 5.8	22 31.9	18 26.1	3 4.3	27 39.1	4 5.8	8 11.6	32 46.4	16 23.2	15 21.7	0 0.0	0 0.0
	誉田町(N=38)	22 57.9	2 5.3	8 21.1	7 18.4	2 5.3	12 31.6	2 5.3	9 23.7	19 50.0	6 15.8	6 15.8	1 2.6	1 2.6
	揖西町(N=98)	46 46.9	6 6.1	15 15.3	26 26.5	5 5.1	44 44.9	7 7.1	8 8.2	60 61.2	17 17.3	16 16.3	2 2.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	69 46.6	9 6.1	20 13.5	32 21.6	9 6.1	73 49.3	12 8.1	15 10.1	87 58.8	33 22.3	23 15.5	2 1.4	3 2.0
	御津町(N=129)	57 44.2	3 2.3	26 20.2	46 35.7	5 3.9	52 40.3	11 8.5	19 14.7	71 55.0	32 24.8	20 15.5	0 0.0	2 1.6
	新宮町(N=148)	67 45.3	8 5.4	37 25.0	45 30.4	13 8.8	69 46.6	11 7.4	22 14.9	70 47.3	23 15.5	30 20.3	2 1.4	5 3.4
	20年以上(N=708)	342 48.3	35 4.9	137 19.4	199 28.1	51 7.2	318 44.9	60 8.5	86 12.1	384 54.2	139 19.6	104 14.7	7 1.0	15 2.1
居住年数別	10年以上20年未満(N=100)	47 47.0	8 8.0	14 14.0	30 30.0	2 2.0	40 40.0	7 7.0	14 14.0	48 48.0	22 22.0	24 24.0	0 0.0	1 1.0
	5年以上10年未満(N=39)	17 43.6	1 2.6	10 25.6	8 20.5	0 0.0	18 46.2	3 7.7	4 10.3	19 48.7	7 17.9	8 20.5	3 7.7	1 2.6
	1年以上5年未満(N=48)	24 50.0	2 4.2	8 16.7	15 31.3	2 4.2	15 31.3	2 4.2	6 12.5	24 50.0	10 20.8	15 31.3	1 2.1	1 2.1
	1年未満(N=11)	3 27.3	1 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1	3 27.3	2 18.2	3 27.3	6 54.5	1 9.1	5 45.5	2 18.2	0 0.0
	住みやすい(N=235)	116 49.4	10 4.3	44 18.7	67 28.5	18 7.7	100 42.6	20 8.5	30 12.8	129 54.9	48 20.4	33 14.0	2 0.9	5 2.1
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	219 48.1	30 6.6	93 20.4	127 27.9	27 5.9	194 42.6	38 8.4	57 12.5	251 55.2	77 16.9	78 17.1	8 1.8	5 1.1
	どちらともいえない(N=119)	57 47.9	3 2.5	14 11.8	39 32.8	7 5.9	52 43.7	8 6.7	16 13.4	59 49.6	27 22.7	30 25.2	0 0.0	3 2.5
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	25 43.9	3 5.3	13 22.8	16 28.1	3 5.3	27 47.4	3 5.3	5 8.8	31 54.4	14 24.6	7 12.3	2 3.5	2 3.5
	住みにくい(N=25)	9 36.0	0 0.0	4 16.0	6 24.0	1 4.0	12 48.0	3 12.0	5 20.0	7 28.0	10 40.0	5 20.0	1 4.0	1 4.0
	ずっと住み続けたい(N=301)	145 48.2	19 6.3	60 19.9	88 29.2	21 7.0	129 42.9	28 9.3	42 14.0	163 54.2	63 20.9	39 13.0	3 1.0	3 1.0
居住意向別	できれば住み続けたい(N=377)	178 47.2	19 5.0	75 19.9	100 26.5	26 6.9	176 46.7	25 6.6	46 12.2	202 53.6	65 17.2	72 19.1	8 2.1	7 1.9
	どちらともいえない(N=153)	76 49.7	9 5.9	23 15.0	48 31.4	7 4.6	61 39.9	14 9.2	16 10.5	83 54.2	34 22.2	32 20.9	0 0.0	3 2.0
	転出(転居)を考えている(N=27)	15 55.6	1 3.7	9 33.3	5 18.5	0 0.0	9 33.3	1 3.7	2 7.4	10 37.0	7 25.9	5 18.5	2 7.4	1 3.7
	転出(転居)を予定している(N=11)	4 36.4	0 0.0	0 0.0	4 36.4	0 0.0	5 45.5	1 9.1	3 27.3	6 54.5	2 18.2	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	15 40.5	1 2.7	4 10.8	10 27.0	2 5.4	14 37.8	5 13.5	5 13.5	19 51.4	8 21.6	4 10.8	0 0.0	2 5.4

上段:件数、下段:%

【問9 市外からの転入に必要な条件で「防災・防犯体制の充実」を回答した方】

N=97



【「安全・安心な地域づくり」の満足度別】

		災害時における避難誘導、避難所・連絡体制の充実	防災訓練や出前講座などの啓発活動の充実	耐震診断や耐震改修への支援や施設の耐震化の充実	救急・消防体制の充実	自主防災組織活動の活性化	森林、道路、河川などの災害に対する整備の充実	防災資機材の備蓄・整備の充実	防犯のための地域の見守り体制の充実	防犯灯や防犯カメラなど、犯罪が起これにくい環境づくり	交通ルールの啓発、交通安全施設(街路灯、グリーンベルト、歩道など)の充実	次世代高速通信(5G)などの社会基盤の整備や景観の保全など、暮らしやすい住環境の充実	その他	不明・無回答
「安全・安心な地域づくり」の満足度別	満足(N=49)	23 46.9	3 6.1	9 18.4	12 24.5	7 14.3	16 32.7	7 14.3	6 12.2	25 51.0	10 20.4	11 22.4	0 0.0	0 0.0
	やや満足(N=228)	115 50.4	15 6.6	42 18.4	48 21.1	17 7.5	111 48.7	18 7.9	30 13.2	120 52.6	54 23.7	36 15.8	4 1.8	4 1.8
	普通(N=526)	247 47.0	28 5.3	99 18.8	152 28.9	26 4.9	222 42.2	41 7.8	66 12.5	287 54.6	93 17.7	91 17.3	7 1.3	9 1.7
	やや不満(N=79)	31 39.2	1 1.3	17 21.5	33 41.8	2 2.5	33 41.8	8 10.1	8 10.1	42 53.2	20 25.3	15 19.0	1 1.3	2 2.5
	不満(N=16)	9 56.3	1 6.3	4 25.0	5 31.3	2 12.5	6 37.5	0 0.0	4 25.0	8 50.0	1 6.3	5 31.3	1 6.3	0 0.0

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容(力を入れるべき安全・安心に関する取組)

防災に関して	件数
大きな地震や津波災害時の避難場所の整備	1
高台に避難所、ヘリポートの設置	1
中央公民館が避難場所指定であるが、洪水の時などは「赤とんぼ荘」の方がよいのではない か	1
揖保川が氾濫して川東地区が水没した場合、防災備蓄倉庫から物資を出せるのか	1
防犯に関して	件数
街灯が少なく、防犯上よくない	2
交通に関して	件数
信号機のない横断歩道で停止する車が少ないので、横断旗を置いてほしい	1
通学路の整備	1
その他	件数
周辺の方々との交流	1
人にやさしく、ハッキリと意見が言える人材を育てる	1
市街化調整区域の見直し、農地支援、農地解放	1
より子育て支援してくれるところ	1

【福祉について】

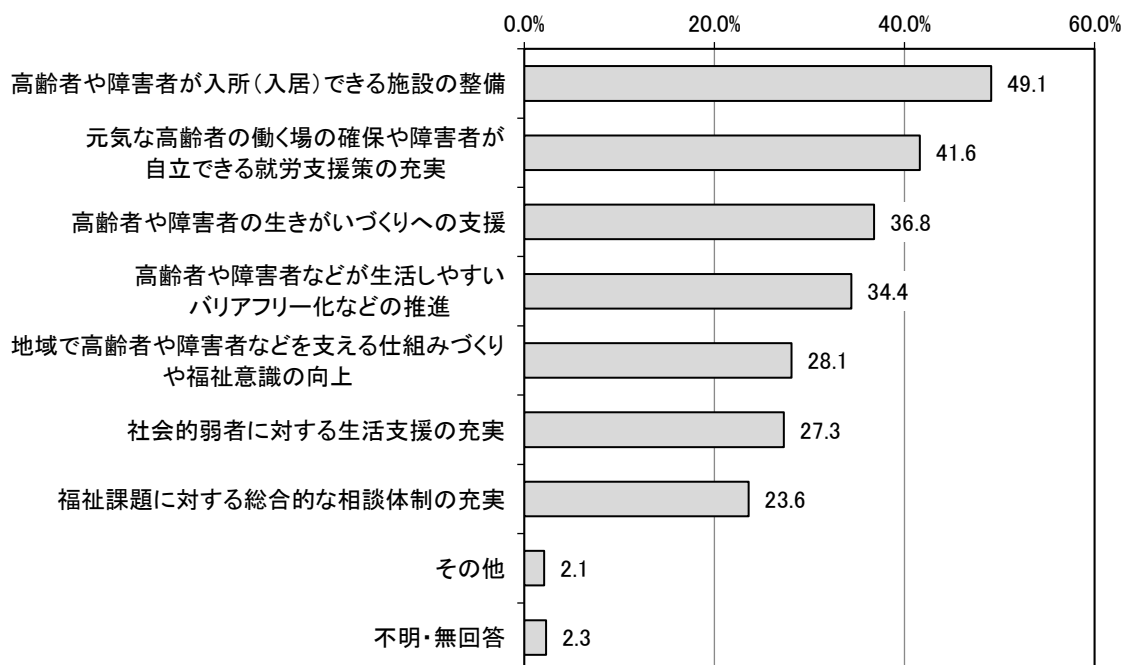
問 13 あなたは、たつの市の福祉に関する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（あてはまるもの3つまでに○）

力を入れるべき福祉に関する取組については、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が49.1%と最も高く、次いで「元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が41.6%、「高齢者や障害者の生きがいきづくりへの支援」が36.8%となっています。

居住意向別でみると、転出（転居）を予定しているで「高齢者や障害者などが生活しやすいバリアフリー化などの推進」が高くなっています。

「地域福祉の充実」の満足度別でみると、不満で「社会的弱者に対する生活支援の充実」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		高齢者や 障害者の 生きがいづ くりへの支 援	地域で高 齢者や障 害者など を支える仕 組みづくり や福祉意 識の向上	高齢者や 障害者な どが生活し やすいバ リアフリー 化などの 推進	福祉課題 に対する総 合的な相 談体制の 充実	社会的弱 者に対する 生活支援 の充実	元気な高 齢者の働 く場の確 保や障害 者が自立 できる就 労支援策 の充実	高齢者や 障害者が 入所(入 居)でき る施設の 整備	その他	不明・無回 答
性別	男性(N=396)	154 38.9	119 30.1	132 33.3	97 24.5	120 30.3	154 38.9	184 46.5	8 2.0	9 2.3
	女性(N=499)	176 35.3	136 27.3	171 34.3	117 23.4	125 25.1	220 44.1	258 51.7	8 1.6	12 2.4
年齢別	18～19歳(N=7)	3 42.9	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	28 35.4	16 20.3	30 38.0	24 30.4	16 20.3	34 43.0	32 40.5	2 2.5	4 5.1
	30～39歳(N=114)	41 36.0	29 25.4	47 41.2	24 21.1	33 28.9	46 40.4	40 35.1	7 6.1	3 2.6
	40～49歳(N=169)	53 31.4	48 28.4	60 35.5	41 24.3	44 26.0	83 49.1	73 43.2	3 1.8	0 0.0
	50～64歳(N=169)	57 33.7	44 26.0	53 31.4	39 23.1	41 24.3	86 50.9	89 52.7	3 1.8	3 1.8
	65～74歳(N=87)	33 37.9	25 28.7	33 37.9	18 20.7	28 32.2	29 33.3	46 52.9	1 1.1	3 3.4
	75歳以上(N=270)	113 41.9	90 33.3	84 31.1	65 24.1	79 29.3	90 33.3	156 57.8	3 1.1	8 3.0
	龍野町(N=219)	83 37.9	60 27.4	87 39.7	49 22.4	70 32.0	95 43.4	86 39.3	2 0.9	4 1.8
地区別	揖保町(N=50)	15 30.0	19 38.0	13 26.0	9 18.0	14 28.0	17 34.0	27 54.0	2 4.0	1 2.0
	神岡町(N=69)	24 34.8	20 29.0	24 34.8	17 24.6	16 23.2	22 31.9	38 55.1	0 0.0	2 2.9
	誉田町(N=38)	14 36.8	14 36.8	10 26.3	8 21.1	7 18.4	18 47.4	17 44.7	1 2.6	3 7.9
	揖西町(N=98)	33 33.7	32 32.7	37 37.8	20 20.4	25 25.5	46 46.9	44 44.9	2 2.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	52 35.1	37 25.0	41 27.7	39 26.4	47 31.8	60 40.5	81 54.7	3 2.0	3 2.0
	御津町(N=129)	49 38.0	29 22.5	38 29.5	33 25.6	32 24.8	56 43.4	80 62.0	3 2.3	1 0.8
	新宮町(N=148)	57 38.5	45 30.4	54 36.5	37 25.0	36 24.3	62 41.9	69 46.6	5 3.4	5 3.4
	20年以上(N=708)	269 38.0	209 29.5	243 34.3	171 24.2	197 27.8	286 40.4	359 50.7	14 2.0	13 1.8
居住年数別	10年以上20年未満(N=100)	37 37.0	30 30.0	24 24.0	21 21.0	20 20.0	49 49.0	50 50.0	0 0.0	1 1.0
	5年以上10年未満(N=39)	10 25.6	7 17.9	15 38.5	8 20.5	11 28.2	20 51.3	18 46.2	3 7.7	1 2.6
	1年以上5年未満(N=48)	12 25.0	8 16.7	22 45.8	10 20.8	15 31.3	18 37.5	15 31.3	1 2.1	5 10.4
	1年未満(N=11)	2 18.2	3 27.3	5 45.5	3 27.3	5 45.5	5 45.5	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	住みやすい(N=235)	100 42.6	65 27.7	80 34.0	65 27.7	48 20.4	96 40.9	124 52.8	2 0.9	3 1.3
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	173 38.0	141 31.0	157 34.5	102 22.4	129 28.4	199 43.7	214 47.0	10 2.2	9 2.0
	どちらともいえない(N=119)	32 26.9	30 25.2	39 32.8	28 23.5	35 29.4	44 37.0	56 47.1	3 2.5	6 5.0
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	14 24.6	14 24.6	27 47.4	12 21.1	18 31.6	24 42.1	34 59.6	3 5.3	0 0.0
	住みにくい(N=25)	10 40.0	5 20.0	4 16.0	5 20.0	11 44.0	8 32.0	12 48.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段：%

【居注意向別、居住基準】

		高齢者や障害者の生きがいつくりへの支援	地域で高齢者や障害者などを支える仕組みづくりや福祉意識の向上	高齢者や障害者などが生活しやすいバリアフリー化などの推進	福祉課題に対する総合的な相談体制の充実	社会的弱者に対する生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実	高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備	その他	不明・無回答
居注意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	128 42.5	86 28.6	113 37.5	72 23.9	71 23.6	120 39.9	154 51.2	4 1.3	3 1.0
	できれば住み続けたい(N=377)	128 34.0	125 33.2	118 31.3	88 23.3	102 27.1	168 44.6	180 47.7	9 2.4	10 2.7
	どちらともいえない(N=153)	54 35.3	32 20.9	50 32.7	35 22.9	48 31.4	60 39.2	80 52.3	4 2.6	4 2.6
	転出(転居)を考えている(N=27)	8 29.6	7 25.9	8 29.6	9 33.3	12 44.4	11 40.7	10 37.0	2 7.4	0 0.0
	転出(転居)を予定している(N=11)	3 27.3	1 9.1	6 54.5	1 9.1	3 27.3	6 54.5	6 54.5	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	11 29.7	6 16.2	13 35.1	9 24.3	11 29.7	14 37.8	16 43.2	0 0.0	4 10.8
	住み続けたい(N=28)	15 53.6	7 25.0	11 39.3	3 10.7	9 32.1	11 39.3	16 57.1	0 0.0	0 0.0
基準居住別	転居(転出)したい(N=14)	1 7.1	3 21.4	5 35.7	5 35.7	6 42.9	5 35.7	6 42.9	1 7.1	0 0.0

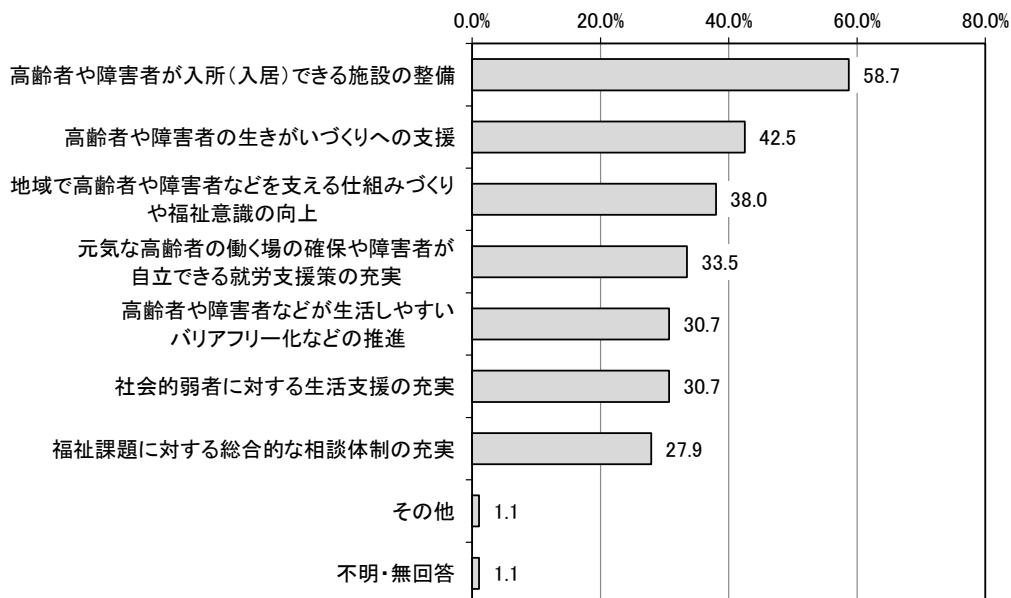
上段: 件数、下段: %

※居住基準別は以下の回答者を抽出している

住み続けたい…問 8(2) たつの市に住み続けたい理由で「福祉施設や医療機関が充実しているから」を回答
 転居(転出)したい…問 8(3) 転出(転居)先を選ぶ基準で「福祉施設や医療機関が充実しているところ」を回答

【問 9 市外からの転入に必要な条件で「福祉サービスの充実」を回答した方】

N=179



【「高齢者福祉の充実」「障害者福祉の充実」「地域福祉の充実」の満足度別】

		高齢者や障害者の生きがいづくりへの支援	地域で高齢者や障害者などを支える仕組みづくりや福祉意識の向上	高齢者や障害者などが生活しやすいバリアフリー化などの推進	福祉課題に対する総合的な相談体制の充実	社会的弱者に対する生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実	高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備	その他	不明・無回答
実「高齢者福祉の充実」の満足度別	満足(N=38)	15 39.5	9 23.7	12 31.6	7 18.4	15 39.5	20 52.6	16 42.1	1 2.6	0 0.0
	やや満足(N=193)	88 45.6	58 30.1	67 34.7	47 24.4	45 23.3	87 45.1	88 45.6	2 1.0	3 1.6
	普通(N=532)	179 33.6	146 27.4	197 37.0	123 23.1	138 25.9	222 41.7	264 49.6	13 2.4	12 2.3
	やや不満(N=116)	43 37.1	35 30.2	27 23.3	31 26.7	39 33.6	39 33.6	68 58.6	2 1.7	1 0.9
	不満(N=30)	11 36.7	9 30.0	11 36.7	7 23.3	11 36.7	11 36.7	13 43.3	1 3.3	1 3.3
実「障害者福祉の充実」の満足度別	満足(N=20)	5 25.0	4 20.0	6 30.0	5 25.0	8 40.0	13 65.0	8 40.0	0 0.0	1 5.0
	やや満足(N=110)	50 45.5	36 32.7	44 40.0	29 26.4	29 26.4	55 50.0	34 30.9	1 0.9	1 0.9
	普通(N=614)	215 35.0	170 27.7	212 34.5	144 23.5	159 25.9	248 40.4	315 51.3	13 2.1	11 1.8
	やや不満(N=116)	45 38.8	36 31.0	36 31.0	24 20.7	38 32.8	50 43.1	61 52.6	3 2.6	3 2.6
	不満(N=23)	8 34.8	7 30.4	8 34.8	5 21.7	10 43.5	8 34.8	13 56.5	0 0.0	0 0.0
実「地域福祉の充実」の満足度別	満足(N=33)	14 42.4	8 24.2	14 42.4	7 21.2	10 30.3	17 51.5	15 45.5	0 0.0	1 3.0
	やや満足(N=157)	69 43.9	39 24.8	55 35.0	35 22.3	41 26.1	75 47.8	72 45.9	5 3.2	4 2.5
	普通(N=592)	202 34.1	173 29.2	205 34.6	142 24.0	159 26.9	241 40.7	290 49.0	11 1.9	9 1.5
	やや不満(N=95)	35 36.8	29 30.5	34 35.8	22 23.2	26 27.4	38 40.0	56 58.9	2 2.1	2 2.1
	不満(N=23)	8 34.8	6 26.1	4 17.4	6 26.1	12 52.2	7 30.4	8 34.8	1 4.3	2 8.7

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容(力を入れるべき福祉に関する取組)

日常生活の支援に関して	件数
障害児の一時預かりや、短期入所のような、障害児をもつ親の負担を減らす取組	1
高齢者が車を使わず買い物できる環境整備	1
市内の歩道の段差や傾きの修繕による車イス対応	1
商店までの巡回バスや、宅配サービスの運営	1
通路の段差を少ない植物園等、高齢者でも安く楽しめる施設づくり	1
高齢者の日常生活の手伝いとして、シルバー人材を利用	1
時間に余裕のある高齢者が社会参加できる仕組み	1
本当に必要な人のところに生活支援が届くようにしてほしい	1
雇用に関して	件数
高齢者や障害者の雇用	1
定年退職から年金支給までの働き先が必要	1

その他	件数
福祉事業従事者の待遇改善	1
積極的なひきこもり対策	1
高齢者に偏らない福祉	1
どの家庭でも安心して住み続けられる福祉体制	1

【子育て環境について】

問 14 あなたは、たつの市の子育て環境を充実するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

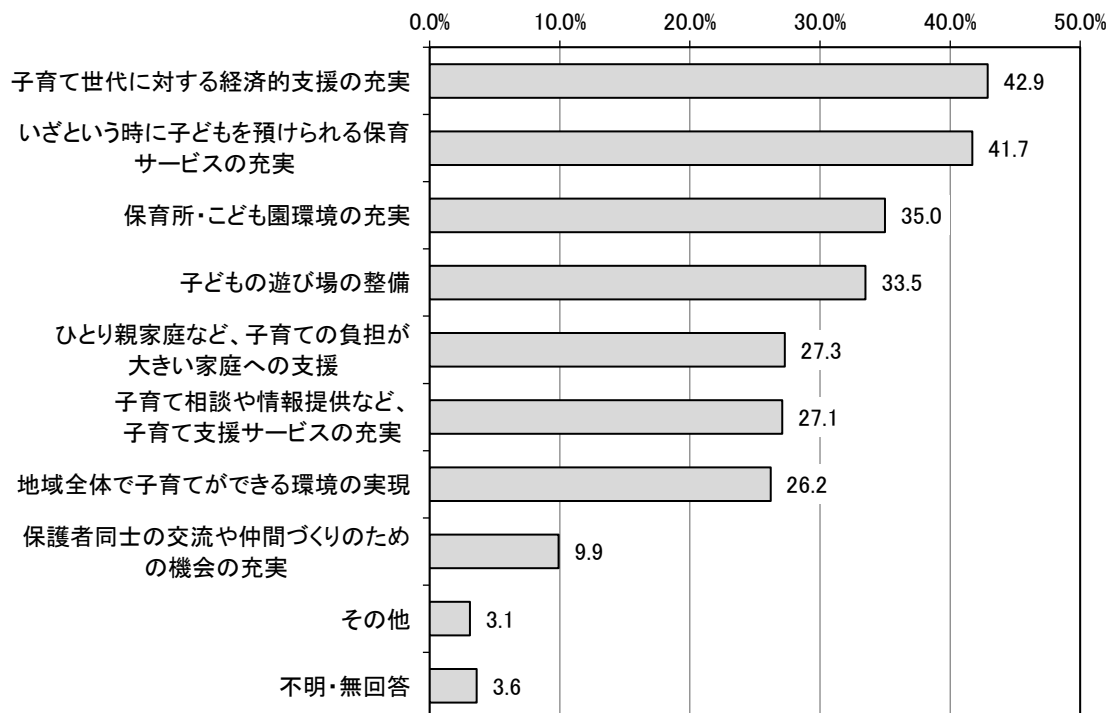
子育て環境を充実するために力を入れるべきことについては、「子育て世代に対する経済的支援の充実」が42.9%と最も高く、次いで「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの充実」が41.7%、「保育所・こども園環境の充実」が35.0%となっています。

地区別でみると、誉田町で「ひとり親家庭など、子育ての負担が大きい家庭への支援」が高くなっています。

居住年数別でみると、1年未満で「保育所・こども園環境の充実」が高くなっています。

居住意向別でみると、転出（転居）を予定しているで「保育所・こども園環境の充実」「子どもの遊び場の整備」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		子育て世 代に対する 経済的 支援の充 実	子育て相 談や情報 提供など、 子育て支 援サービ スの充実	保育所・こ ども園環 境の充実	子どもの 遊び場の 整備	保護者同 士の交流 や仲間づ りのため の機会の 充実	いざとい う時に子 どもを預 けられ る保育サ ービスの 充実	ひとり親 家庭など、 子育ての 負担が大 きい家庭 への支援	地域全体 で子育て ができる 環境の実 現	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=396)	191 48.2	107 27.0	134 33.8	139 35.1	43 10.9	150 37.9	109 27.5	112 28.3	9 2.3	15 3.8
	女性(N=499)	192 38.5	139 27.9	181 36.3	162 32.5	48 9.6	222 44.5	134 26.9	121 24.2	18 3.6	17 3.4
年齢別	18～19歳(N=7)	2 28.6	1 14.3	2 28.6	3 42.9	1 14.3	4 57.1	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	50 63.3	20 25.3	34 43.0	36 45.6	5 6.3	30 38.0	23 29.1	13 16.5	3 3.8	1 1.3
	30～39歳(N=114)	69 60.5	27 23.7	34 29.8	56 49.1	11 9.6	43 37.7	29 25.4	25 21.9	8 7.0	2 1.8
	40～49歳(N=169)	95 56.2	41 24.3	54 32.0	60 35.5	10 5.9	66 39.1	47 27.8	40 23.7	6 3.6	0 0.0
	50～64歳(N=169)	58 34.3	38 22.5	74 43.8	56 33.1	17 10.1	75 44.4	40 23.7	53 31.4	2 1.2	4 2.4
	65～74歳(N=87)	28 32.2	26 29.9	33 37.9	25 28.7	8 9.2	39 44.8	32 36.8	22 25.3	2 2.3	3 3.4
	75歳以上(N=270)	85 31.5	92 34.1	79 29.3	63 23.3	38 14.1	114 42.2	71 26.3	81 30.0	7 2.6	21 7.8
地区別	龍野町(N=219)	90 41.1	50 22.8	78 35.6	87 39.7	19 8.7	93 42.5	66 30.1	56 25.6	11 5.0	8 3.7
	揖保町(N=50)	20 40.0	14 28.0	17 34.0	16 32.0	5 10.0	17 34.0	13 26.0	14 28.0	2 4.0	3 6.0
	神岡町(N=69)	28 40.6	19 27.5	29 42.0	20 29.0	8 11.6	36 52.2	11 15.9	20 29.0	1 1.4	2 2.9
	誉田町(N=38)	14 36.8	13 34.2	11 28.9	7 18.4	6 15.8	15 39.5	16 42.1	10 26.3	2 5.3	1 2.6
	揖西町(N=98)	44 44.9	32 32.7	38 38.8	26 26.5	15 15.3	41 41.8	25 25.5	23 23.5	2 2.0	3 3.1
	揖保川町(N=148)	66 44.6	37 25.0	47 31.8	46 31.1	11 7.4	55 37.2	41 27.7	38 25.7	5 3.4	9 6.1
	御津町(N=129)	52 40.3	42 32.6	44 34.1	47 36.4	12 9.3	59 45.7	36 27.9	26 20.2	1 0.8	1 0.8
	新宮町(N=148)	72 48.6	38 25.7	51 34.5	49 33.1	15 10.1	56 37.8	37 25.0	46 31.1	4 2.7	6 4.1
居住年数別	20年以上(N=708)	282 39.8	198 28.0	247 34.9	221 31.2	75 10.6	298 42.1	200 28.2	201 28.4	16 2.3	29 4.1
	10年以上20年未満(N=100)	49 49.0	21 21.0	34 34.0	38 38.0	6 6.0	42 42.0	26 26.0	23 23.0	3 3.0	1 1.0
	5年以上10年未満(N=39)	24 61.5	7 17.9	18 46.2	17 43.6	4 10.3	13 33.3	7 17.9	5 12.8	3 7.7	1 2.6
	1年以上5年未満(N=48)	30 62.5	16 33.3	12 25.0	21 43.8	3 6.3	19 39.6	14 29.2	6 12.5	4 8.3	1 2.1
	1年未満(N=11)	3 27.3	4 36.4	7 63.6	5 45.5	1 9.1	5 45.5	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1
	住みやすい(N=235)	98 41.7	66 28.1	90 38.3	74 31.5	26 11.1	99 42.1	63 26.8	58 24.7	7 3.0	9 3.8
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	204 44.8	125 27.5	149 32.7	162 35.6	47 10.3	186 40.9	131 28.8	123 27.0	11 2.4	15 3.3
	どちらともいえない(N=119)	45 37.8	32 26.9	47 39.5	44 37.0	12 10.1	51 42.9	26 21.8	28 23.5	4 3.4	4 3.4
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	24 42.1	15 26.3	18 31.6	17 29.8	5 8.8	21 36.8	17 29.8	20 35.1	3 5.3	1 1.8
	住みにくい(N=25)	11 44.0	6 24.0	7 28.0	5 20.0	1 4.0	13 52.0	7 28.0	6 24.0	2 8.0	1 4.0

上段: 件数、下段: %

【居住意向別、居住基準別】

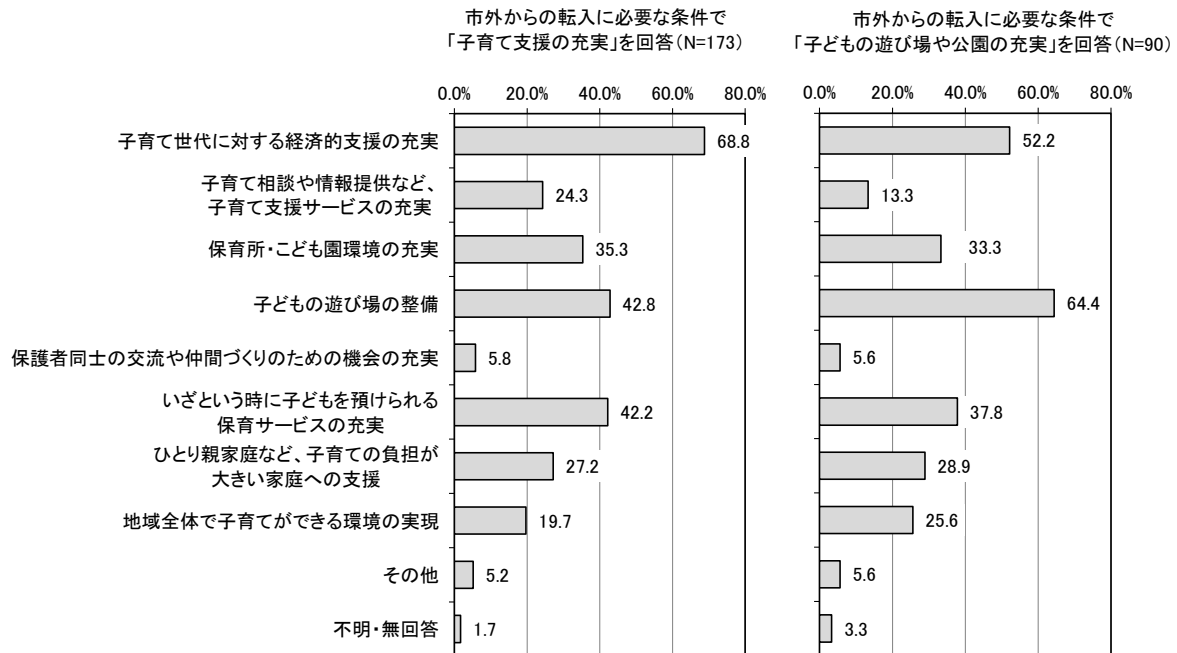
		子育て世代に対する経済的支援の充実	子育て相談や情報提供など、子育て支援サービスの充実	保育所・こども園環境の充実	子どもの遊び場の整備	保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実	いざという時に子どもを預けられる保育サービスの充実	ひとり親家庭など、子育ての負担が大きい家庭への支援	地域全体で子育てができる環境の実現	その他	不明・無回答
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	124 41.2	92 30.6	103 34.2	98 32.6	35 11.6	126 41.9	82 27.2	81 26.9	8 2.7	9 3.0
	できれば住み続けたい(N=377)	170 45.1	100 26.5	129 34.2	124 32.9	38 10.1	150 39.8	108 28.6	107 28.4	9 2.4	15 4.0
	どちらともいえない(N=153)	66 43.1	39 25.5	57 37.3	57 37.3	14 9.2	72 47.1	36 23.5	37 24.2	5 3.3	4 2.6
	転出(転居)を考えている(N=27)	11 40.7	7 25.9	9 33.3	10 37.0	0 0.0	10 37.0	9 33.3	6 22.2	3 11.1	1 3.7
	転出(転居)を予定している(N=11)	4 36.4	1 9.1	6 54.5	6 54.5	2 18.2	4 36.4	3 27.3	2 18.2	0 0.0	1 9.1
	わからない(N=37)	14 37.8	8 21.6	12 32.4	10 27.0	2 5.4	14 37.8	10 27.0	5 13.5	3 8.1	2 5.4
	住み続けたい(N=47)	32 68.1	16 34.0	14 29.8	25 53.2	5 10.6	11 23.4	11 23.4	13 27.7	3 6.4	0 0.0
	転居(転出)したい(N=3)	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
居住基準別											

上段:件数、下段:%

※居住基準別は以下の回答者を抽出している

住み続けたい…問 8(2)たつの市に住み続けたい理由で「子どもの教育環境や子育て環境が良いから」を回答
 転居(転出)したい…問 8(3)転出(転居)先を選ぶ基準で「子どもの教育環境や子育て環境が良いところ」を回答

【問 9 市外からの転入に必要な条件で「子育て支援の充実」「子どもの遊び場や公園の充実」を回答した方】



【「子育て支援などの充実」の満足度別】

		子育て世代に対する経済的支援の充実	子育て相談や情報提供など、子育て支援サービスの充実	保育所・こども園環境の充実	子どもの遊び場の整備	保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実	いざという時に子どもを預けられる保育サービスの充実	ひとり親家庭など、子育ての負担が大きい家庭への支援	地域全体で子育てができる環境の実現	その他	不明・無回答
充実「子育て支援などの満足度別」	満足(N=46)	20 43.5	15 32.6	12 26.1	21 45.7	5 10.9	18 39.1	17 37.0	13 28.3	1 2.2	0 0.0
	やや満足(N=172)	89 51.7	44 25.6	73 42.4	61 35.5	24 14.0	65 37.8	51 29.7	35 20.3	9 5.2	3 1.7
	普通(N=544)	218 40.1	157 28.9	186 34.2	183 33.6	48 8.8	233 42.8	148 27.2	148 27.2	9 1.7	14 2.6
	やや不満(N=95)	49 51.6	23 24.2	35 36.8	31 32.6	9 9.5	49 51.6	26 27.4	29 30.5	4 4.2	0 0.0
	不満(N=24)	12 50.0	5 20.8	10 41.7	6 25.0	1 4.2	9 37.5	5 20.8	6 25.0	4 16.7	1 4.2

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(力を入れるべき子育て環境を充実するための取組)

施設・場所の整備に関して	件数
アスレチック等、思いっきり遊べる場所づくり	2
幼稚園の設置	1
宅地や遊び場を増やす	1
病児保育の充実	1
親の意識や子どもとの関わり方を学ぶ場づくり	1
若者が子育てのしやすい住宅づくり	1
産婦人科の設置	1
経済的支援に関して	件数
多子世帯への支援	1
高校生以上の子への経済支援	1
出産時の出産育児一時金以外の助成金も必要	1
一般不妊治療費助成の全額助成の実現	1
小学校・こども園・保育所の給食費の無償化	1
第3子の手当の拡充	1
各家庭間の格差と子どもの貧困への支援	1
父子家庭への支援	1
制度・仕組みに関して	件数
ひとり親家庭や共働き世帯等、保育園を必要としている保護者が利用できる仕組みづくり	1
子どもの医療費の無料化に伴う、受診者の増加対策	1
シッター制度の導入	1
地域連携に関して	件数
地域のみんなで子どもを育てる取組と意識づくり	2
その他	件数
子育てする親の意識向上の機会を増やす	1
どうしたら赤ちゃんが生まれるのか、増えるのかを考えるべき	1

【健康づくり・医療について】

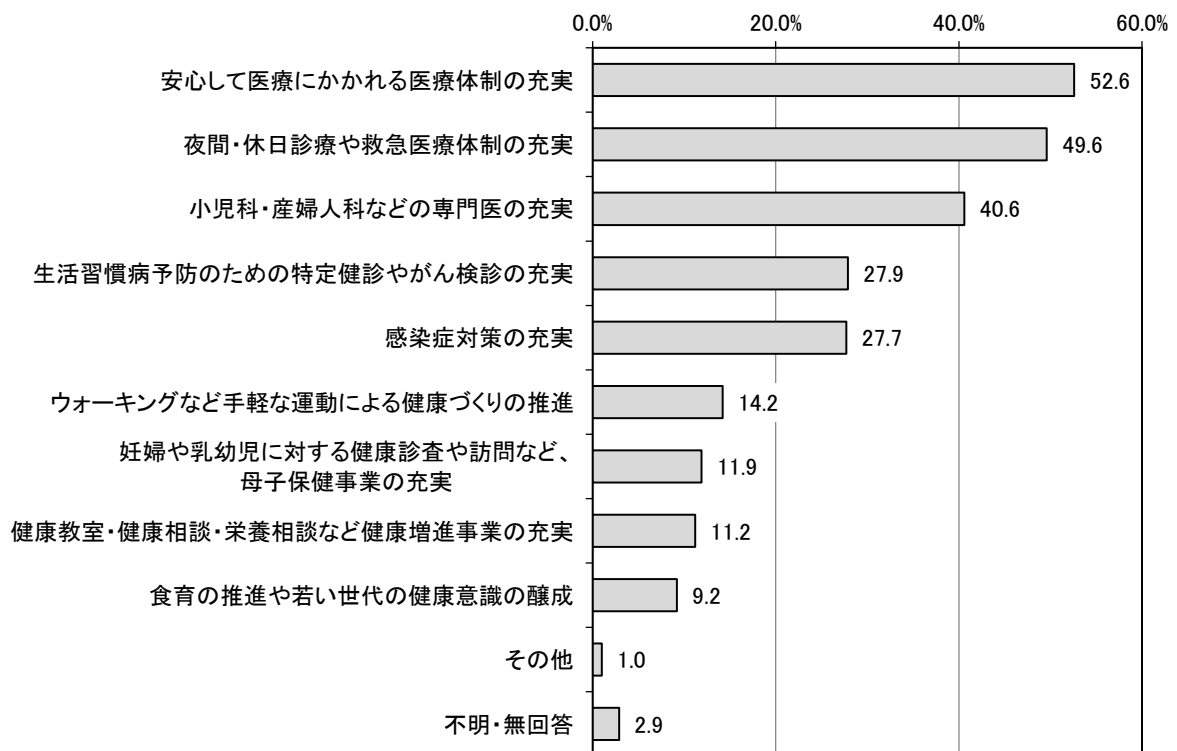
問 15 あなたは、たつの市の健康づくりや医療に関する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（あてはまるもの3つまでに○）

力を入れるべき健康づくりや医療に関する取組については、「安心して医療にかかれる医療体制の充実」が 52.6%と最も高く、次いで「夜間・休日診療や救急医療体制の充実」が 49.6%、「小児科・産婦人科などの専門医の充実」が 40.6%となっています。

年齢別・地区別でみると、30～39 歳・揖西町でそれぞれ「小児科・産婦人科などの専門医の充実」が高くなっています。

居住年数別でみると、1 年未満で「妊婦や乳幼児に対する健康診査や訪問など、母子保健事業の充実」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		妊婦や乳幼児に対する健康診査や訪問など、母子保健事業の充実	生活習慣病予防のための特定健診やがん検診の充実	健康教室・健康相談・栄養相談など健康増進事業の充実	安心して医療にかかれる医療体制の充実	小児科・産婦人科などの専門医の充実	夜間・休日診療や救急医療体制の充実	ウォーキングなど手軽な運動による健康づくりの推進	食育の推進や若い世代の健康意識の醸成	感染症対策の充実	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	50 12.6	125 31.6	45 11.4	202 51.0	150 37.9	199 50.3	65 16.4	37 9.3	110 27.8	3 0.8	10 2.5
	女性(N=499)	54 10.8	125 25.1	55 11.0	270 54.1	215 43.1	245 49.1	61 12.2	45 9.0	142 28.5	6 1.2	16 3.2
年齢別	18～19歳(N=7)	0 0.0	2 28.6	0 0.0	4 57.1	1 14.3	4 57.1	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	18 22.8	27 34.2	9 11.4	29 36.7	35 44.3	35 44.3	10 12.7	11 13.9	18 22.8	2 2.5	2 2.5
	30～39歳(N=114)	22 19.3	42 36.8	10 8.8	44 38.6	65 57.0	59 51.8	18 15.8	11 9.6	21 18.4	3 2.6	0 0.0
	40～49歳(N=169)	17 10.1	57 33.7	13 7.7	89 52.7	58 34.3	92 54.4	14 8.3	14 8.3	51 30.2	3 1.8	4 2.4
	50～64歳(N=169)	16 9.5	35 20.7	17 10.1	92 54.4	73 43.2	84 49.7	25 14.8	15 8.9	49 29.0	0 0.0	3 1.8
	65～74歳(N=87)	4 4.6	19 21.8	10 11.5	55 63.2	33 37.9	42 48.3	12 13.8	5 5.7	26 29.9	0 0.0	5 5.7
	75歳以上(N=270)	30 11.1	69 25.6	42 15.6	156 57.8	100 37.0	124 45.9	46 17.0	26 9.6	83 30.7	1 0.4	12 4.4
地区別	龍野町(N=219)	18 8.2	63 28.8	29 13.2	97 44.3	87 39.7	101 46.1	35 16.0	23 10.5	71 32.4	2 0.9	8 3.7
	揖保町(N=50)	3 6.0	13 26.0	4 8.0	32 64.0	17 34.0	29 58.0	5 10.0	6 12.0	17 34.0	1 2.0	0 0.0
	神岡町(N=69)	12 17.4	14 20.3	8 11.6	39 56.5	26 37.7	43 62.3	6 8.7	5 7.2	19 27.5	0 0.0	2 2.9
	誉田町(N=38)	5 13.2	11 28.9	5 13.2	16 42.1	11 28.9	16 42.1	6 15.8	8 21.1	10 26.3	1 2.6	2 5.3
	揖西町(N=98)	19 19.4	34 34.7	9 9.2	53 54.1	52 53.1	38 38.8	12 12.2	7 7.1	26 26.5	2 2.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	15 10.1	43 29.1	12 8.1	73 49.3	61 41.2	66 44.6	22 14.9	9 6.1	34 23.0	2 1.4	6 4.1
	御津町(N=129)	19 14.7	26 20.2	13 10.1	76 58.9	53 41.1	75 58.1	18 14.0	11 8.5	32 24.8	1 0.8	5 3.9
	新宮町(N=148)	16 10.8	49 33.1	20 13.5	83 56.1	60 40.5	75 50.7	23 15.5	13 8.8	42 28.4	0 0.0	2 1.4
居住年数別	20年以上(N=708)	77 10.9	200 28.2	88 12.4	376 53.1	286 40.4	342 48.3	99 14.0	65 9.2	205 29.0	3 0.4	22 3.1
	10年以上20年未満(N=100)	12 12.0	25 25.0	7 7.0	54 54.0	40 40.0	61 61.0	12 12.0	7 7.0	24 24.0	2 2.0	3 3.0
	5年以上10年未満(N=39)	5 12.8	12 30.8	2 5.1	18 46.2	18 46.2	20 51.3	6 15.4	3 7.7	9 23.1	3 7.7	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	8 16.7	13 27.1	0 0.0	22 45.8	23 47.9	20 41.7	7 14.6	8 16.7	13 27.1	1 2.1	2 4.2
	1年未満(N=11)	5 45.5	3 27.3	4 36.4	5 45.5	2 18.2	3 27.3	4 36.4	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	25 10.6	68 28.9	26 11.1	119 50.6	99 42.1	113 48.1	40 17.0	25 10.6	64 27.2	4 1.7	6 2.6
	まあまあ住みやすい(N=455)	58 12.7	131 28.8	53 11.6	236 51.9	177 38.9	221 48.6	67 14.7	44 9.7	128 28.1	5 1.1	9 2.0
	どちらともいえない(N=119)	14 11.8	30 25.2	9 7.6	71 59.7	49 41.2	69 58.0	10 8.4	5 4.2	39 32.8	0 0.0	4 3.4
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	3 5.3	18 31.6	9 15.8	29 50.9	27 47.4	26 45.6	6 10.5	7 12.3	12 21.1	0 0.0	3 5.3
	住みにくい(N=25)	5 20.0	6 24.0	4 16.0	14 56.0	10 40.0	10 40.0	4 16.0	1 4.0	8 32.0	0 0.0	2 8.0

上段: 件数、下段: %

【居住意向別、居住基準別】

		妊婦や乳幼児に対する健康診査や訪問など、母子保健事業の充実	生活習慣病予防のための特定健診やがん検診の充実	健康教室・健康相談・栄養相談など健康増進事業の充実	安心して医療にかかれる医療体制の充実	小児科・産婦人科などの専門医の充実	夜間・休日診療や救急医療体制の充実	ウォーキングなど手軽な運動による健康づくりの推進	食育の推進や若い世代の健康意識の醸成	感染症対策の充実	その他	不明・無回答
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	31 10.3	91 30.2	40 13.3	153 50.8	118 39.2	150 49.8	46 15.3	35 11.6	85 28.2	5 1.7	6 2.0
	できれば住み続けたい(N=377)	48 12.7	104 27.6	43 11.4	204 54.1	154 40.8	177 46.9	51 13.5	28 7.4	106 28.1	3 0.8	10 2.7
	どちらともいえない(N=153)	14 9.2	42 27.5	12 7.8	86 56.2	69 45.1	85 55.6	18 11.8	16 10.5	43 28.1	0 0.0	6 3.9
	転出(転居)を考えている(N=27)	7 25.9	5 18.5	1 3.7	11 40.7	12 44.4	14 51.9	4 14.8	2 7.4	7 25.9	0 0.0	2 7.4
	転出(転居)を予定している(N=11)	4 36.4	2 18.2	0 0.0	4 36.4	4 36.4	5 45.5	3 27.3	1 9.1	4 36.4	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	4 10.8	10 27.0	4 10.8	19 51.4	10 27.0	16 43.2	8 21.6	2 5.4	9 24.3	1 2.7	3 8.1
基準別 居住	住み続けたい(N=28)	4 14.3	8 28.6	7 25.0	14 50.0	9 32.1	17 60.7	5 17.9	1 3.6	7 25.0	0 0.0	1 3.6
	転居(転出)したい(N=14)	2 14.3	0 0.0	0 0.0	8 57.1	4 28.6	6 42.9	3 21.4	0 0.0	6 42.9	0 0.0	2 14.3

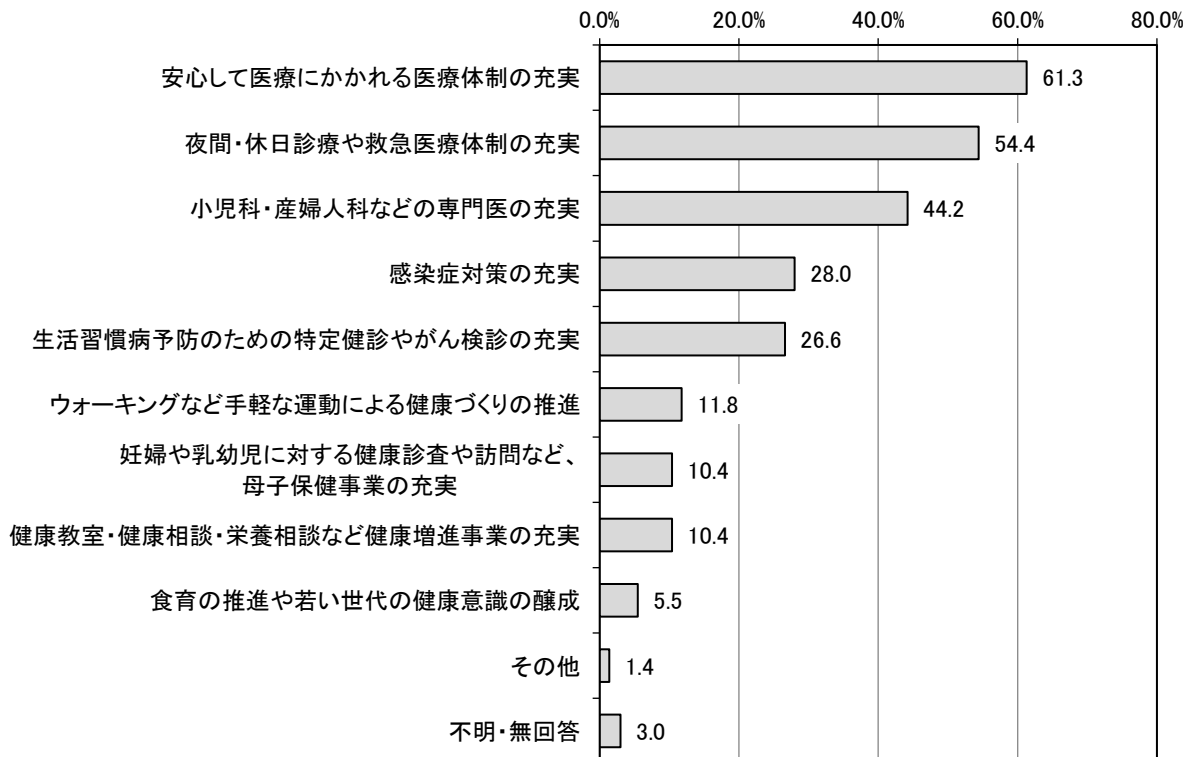
上段:件数、下段:%

※居住基準別は以下の回答者を抽出している

住み続けたい…問 8(2)たつの市に住み続けたい理由で「福祉施設や医療機関が充実しているから」を回答
転居(転出)したい…問 8(3)転出(転居)先を選ぶ基準で「福祉施設や医療機関が充実しているところ」を回答

【問 9 市外からの転入に必要な条件で「医療環境(病院などの医療サービス)」を回答した方】

N=364



【「医療サービス・健康づくりの推進」の満足度別】

		妊婦や乳幼児に対する健康診査や訪問など、母子保健事業の充実	生活習慣病予防のための特定健診やがん検診の充実	健康教室・健康相談・栄養相談など健康増進事業の充実	安心して医療にかけられる医療体制の充実	小児科・産婦人科などの専門医の充実	夜間・休日診療や救急医療体制の充実	ウォーキングなど手軽な運動による健康づくりの推進	食育の推進や若い世代の健康意識の醸成	感染症対策の充実	その他	不明・無回答
健康づくりの満足度別	満足(N=48)	8 16.7	20 41.7	7 14.6	16 33.3	21 43.8	15 31.3	12 25.0	10 20.8	10 20.8	2 4.2	0 0.0
	やや満足(N=208)	28 13.5	68 32.7	30 14.4	103 49.5	90 43.3	102 49.0	30 14.4	25 12.0	60 28.8	4 1.9	4 1.9
	普通(N=470)	47 10.0	121 25.7	48 10.2	254 54.0	173 36.8	231 49.1	70 14.9	43 9.1	133 28.3	2 0.4	12 2.6
	やや不満(N=141)	18 12.8	35 24.8	12 8.5	86 61.0	70 49.6	84 59.6	12 8.5	5 3.5	36 25.5	0 0.0	5 3.5
	不満(N=25)	5 20.0	9 36.0	2 8.0	12 48.0	11 44.0	11 44.0	1 4.0	0 0.0	10 40.0	1 4.0	2 8.0

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容（力を入れるべき健康づくりや医療に関する取組）

施設・設備の整備に関して	件数
殺菌できるエアコン設置（隣保館会議室）	1
体育館や運動場の充実	1
女性が安心してウォーキングやランニングできる公園	1
その他	件数
里帰り出産、まだ里帰り中の母親へのフォロー	1
誤嚥性肺炎予防やオーラルケア等の総合的にサポート	1

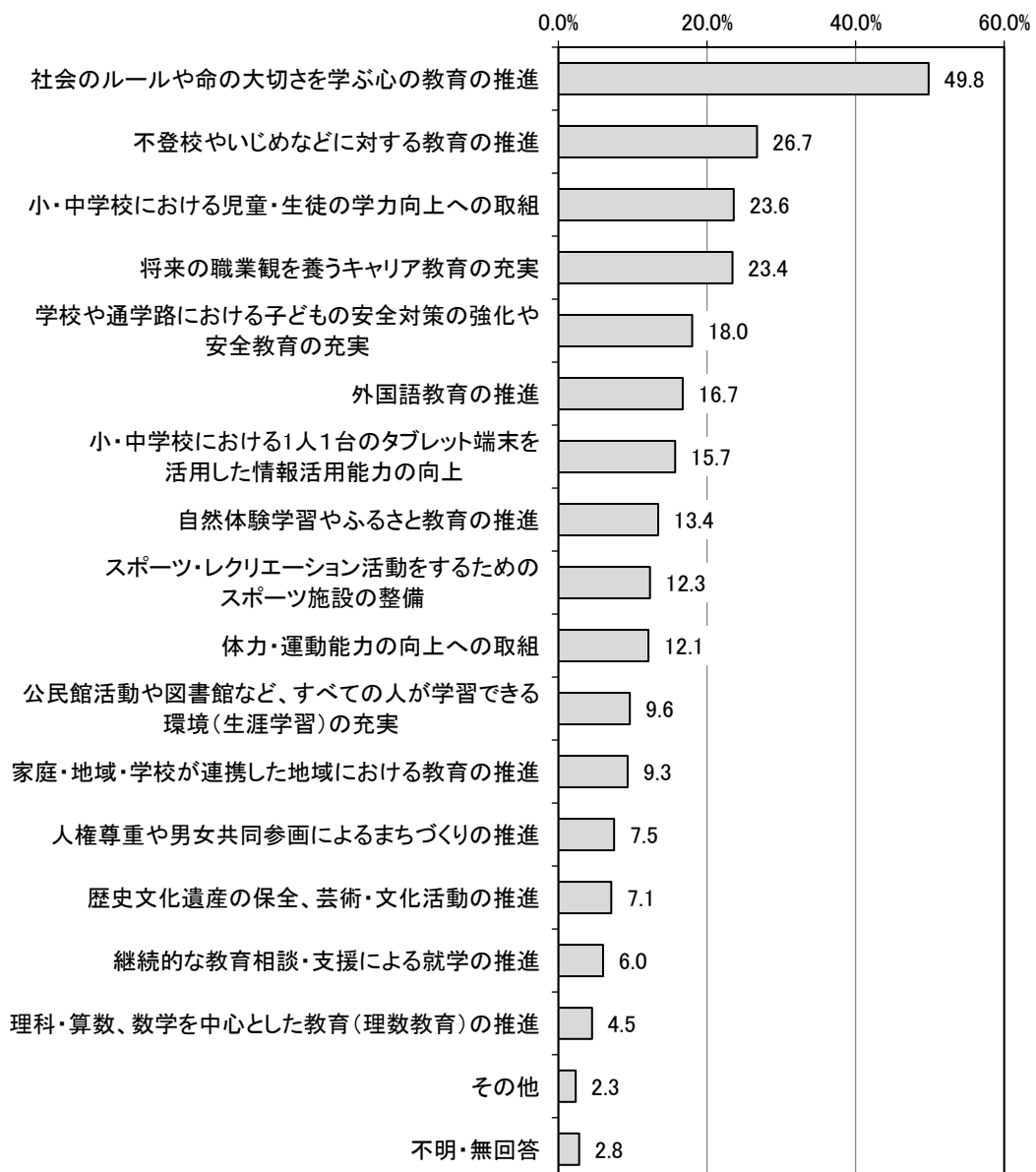
【教育・人権・文化について】

問 16 あなたは、たつの市の教育・人権・文化に関する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

力を入れるべき教育・人権・文化に関する取組については、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が 49.8%と最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対する教育の推進」が 26.7%、「小・中学校における児童・生徒の学力向上への取組」が 23.6%となっています。

居住年数別・居住意向別でみると、1年未満・転出（転居）を予定しているでそれぞれ「不登校やいじめなどに対する教育の推進」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別】

		小・中学校 における児童・生徒の 学力向上 への取組	将来の職 業観を養う キャリア教育の充実	社会の ルールや 命の大切さ を学ぶ心の 教育の推進	家庭・地 域・学校が 連携した地 域における 教育の推進	不登校や いじめなど に対する教育の推進	継続的な 教育相談・ 支援による 就学の推進	学校や通 学路におけ る子どもの 安全対策の 強化や安全 教育の充実	外国語教育の推進	理科・算 数、数学を 中心とした 教育(理数 教育)の推進
性別	男性(N=396)	97 24.5	91 23.0	194 49.0	36 9.1	86 21.7	21 5.3	70 17.7	62 15.7	25 6.3
	女性(N=499)	111 22.2	119 23.8	257 51.5	45 9.0	149 29.9	32 6.4	92 18.4	89 17.8	16 3.2
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	2 28.6	4 57.1	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3
	20～29歳(N=79)	17 21.5	24 30.4	33 41.8	6 7.6	24 30.4	6 7.6	11 13.9	18 22.8	3 3.8
	30～39歳(N=114)	32 28.1	32 28.1	48 42.1	9 7.9	21 18.4	5 4.4	19 16.7	27 23.7	12 10.5
	40～49歳(N=169)	51 30.2	45 26.6	73 43.2	11 6.5	47 27.8	16 9.5	30 17.8	33 19.5	8 4.7
	50～64歳(N=169)	42 24.9	36 21.3	82 48.5	20 11.8	42 24.9	10 5.9	32 18.9	22 13.0	4 2.4
	65～74歳(N=87)	15 17.2	14 16.1	54 62.1	5 5.7	21 24.1	4 4.6	21 24.1	16 18.4	1 1.1
	75歳以上(N=270)	51 18.9	58 21.5	153 56.7	31 11.5	78 28.9	13 4.8	48 17.8	35 13.0	12 4.4
		52 23.7	52 23.7	112 51.1	19 8.7	61 27.9	10 4.6	39 17.8	34 15.5	14 6.4
地区別	龍野町(N=219)	11 22.0	9 18.0	25 50.0	2 4.0	11 22.0	1 2.0	9 18.0	14 28.0	2 4.0
	揖保町(N=50)	10 14.5	15 21.7	40 58.0	9 13.0	17 24.6	5 7.2	10 14.5	12 17.4	4 5.8
	神岡町(N=69)	4 10.5	6 15.8	22 57.9	6 15.8	11 28.9	2 5.3	9 23.7	3 7.9	1 2.6
	菅田町(N=38)	22 22.4	28 28.6	52 53.1	10 10.2	26 26.5	10 10.2	13 13.3	20 20.4	2 2.0
	揖西町(N=98)	37 25.0	30 20.3	65 43.9	12 8.1	35 23.6	9 6.1	32 21.6	28 18.9	10 6.8
	揖保川町(N=148)	31 24.0	29 22.5	61 47.3	13 10.1	40 31.0	5 3.9	25 19.4	17 13.2	5 3.9
	御津町(N=129)	43 29.1	42 28.4	75 50.7	12 8.1	36 24.3	12 8.1	25 16.9	23 15.5	3 2.0
	新宮町(N=148)									

		自然体験 学習やふ るさと教育 の推進	小・中学校 における1 人1台のタ ブレット端 末を活用し た情報活用 能力の向上	公民館活 動や図書 館など、す べての人が 学習できる 環境(生涯 学習)の充実	人権尊重 や男女共 同参画による まちづくり の推進	歴史文化 遺産の保 全、芸術・ 文化活動の 推進	体力・運動 能力の向上 への取組	スポーツ・ レクリエー ション活動 をするための スポーツ 施設の整備	その他	不明・無回 答
性別	男性(N=396)	54 13.6	64 16.2	30 7.6	27 6.8	39 9.8	50 12.6	64 16.2	10 2.5	12 3.0
	女性(N=499)	66 13.2	76 15.2	57 11.4	40 8.0	26 5.2	58 11.6	48 9.6	11 2.2	13 2.6
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	7 8.9	11 13.9	5 6.3	9 11.4	4 5.1	13 16.5	9 11.4	1 1.3	1 1.3
	30～39歳(N=114)	23 20.2	18 15.8	5 4.4	2 1.8	8 7.0	20 17.5	19 16.7	3 2.6	2 1.8
	40～49歳(N=169)	19 11.2	21 12.4	16 9.5	7 4.1	19 11.2	14 8.3	23 13.6	7 4.1	2 1.2
	50～64歳(N=169)	26 15.4	30 17.8	27 16.0	10 5.9	12 7.1	18 10.7	14 8.3	3 1.8	1 0.6
	65～74歳(N=87)	11 12.6	16 18.4	8 9.2	13 14.9	5 5.7	6 6.9	7 8.0	0 0.0	5 5.7
	75歳以上(N=270)	33 12.2	43 15.9	26 9.6	27 10.0	17 6.3	36 13.3	38 14.1	6 2.2	14 5.2
		27 12.3	40 18.3	22 10.0	7 3.2	19 8.7	34 15.5	28 12.8	7 3.2	6 2.7
地区別	龍野町(N=219)	9 18.0	8 16.0	5 10.0	4 8.0	3 6.0	6 12.0	8 16.0	1 2.0	1 2.0
	揖保町(N=50)	5 7.2	6 8.7	9 13.0	6 8.7	5 7.2	8 11.6	8 11.6	3 4.3	2 2.9
	神岡町(N=69)	5 13.2	10 26.3	1 2.6	8 21.1	2 5.3	3 7.9	2 5.3	0 0.0	1 2.6
	菅田町(N=38)	17 17.3	9 9.2	7 7.1	8 8.2	6 6.1	15 15.3	10 10.2	2 2.0	1 1.0
	揖西町(N=98)	22 14.9	23 15.5	15 10.1	13 8.8	9 6.1	16 10.8	17 11.5	5 3.4	6 4.1
	揖保川町(N=148)	19 14.7	27 20.9	12 9.3	14 10.9	10 7.8	10 7.8	13 10.1	1 0.8	4 3.1
	御津町(N=129)	18 12.2	17 11.5	15 10.1	9 6.1	11 7.4	15 10.1	25 16.9	1 0.7	4 2.7
	新宮町(N=148)									

上段:件数、下段:%

【居住年数別、住みやすさ別】

		小・中学校における児童・生徒の学力向上への取組	将来の職業観を養うキャリア教育の充実	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	家庭・地域・学校が連携した地域における教育の推進	不登校やいじめなどに対する教育の推進	継続的な教育相談・支援による就学の推進	学校や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実	外国語教育の推進	理科・算数、数学を中心とした教育(理数教育)の推進
居住年数別	20年以上(N=708)	163 23.0	167 23.6	365 51.6	69 9.7	180 25.4	40 5.6	125 17.7	107 15.1	29 4.1
	10年以上20年未満(N=100)	24 24.0	22 22.0	45 45.0	7 7.0	34 34.0	10 10.0	14 14.0	22 22.0	7 7.0
	5年以上10年未満(N=39)	11 28.2	12 30.8	18 46.2	1 2.6	6 15.4	2 5.1	11 28.2	11 28.2	2 5.1
	1年以上5年未満(N=48)	9 18.8	9 18.8	20 41.7	4 8.3	14 29.2	2 4.2	13 27.1	10 20.8	3 6.3
	1年未満(N=11)	3 27.3	3 27.3	4 36.4	2 18.2	6 54.5	1 9.1	0 0.0	2 18.2	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	57 24.3	44 18.7	121 51.5	25 10.6	64 27.2	18 7.7	42 17.9	38 16.2	11 4.7
	まあまあ住みやすい(N=455)	113 24.8	123 27.0	224 49.2	41 9.0	120 26.4	28 6.2	84 18.5	70 15.4	22 4.8
	どちらともいえない(N=119)	23 19.3	32 26.9	60 50.4	11 9.2	31 26.1	6 5.0	19 16.0	21 17.6	4 3.4
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	12 21.1	10 17.5	29 50.9	5 8.8	14 24.6	2 3.5	11 19.3	13 22.8	3 5.3
	住みにくい(N=25)	5 20.0	1 4.0	12 48.0	0 0.0	7 28.0	1 4.0	6 24.0	4 16.0	0 0.0

		自然体験学習やふるさと教育の推進	小・中学校における1人1台のタブレット端末を活用した情報活用能力の向上	公民館活動や図書館など、すべての人が学習できる環境(生涯学習)の充実	人権尊重や男女共同参画によるまちづくりの推進	歴史文化遺産の保全、芸術・文化活動の推進	体力・運動能力の向上への取組	スポーツ・レクリエーション活動をするためのスポーツ施設の整備	その他	不明・無回答
居住年数別	20年以上(N=708)	100 14.1	115 16.2	76 10.7	59 8.3	56 7.9	84 11.9	87 12.3	13 1.8	23 3.2
	10年以上20年未満(N=100)	10 10.0	13 13.0	7 7.0	6 6.0	6 6.0	12 12.0	11 11.0	3 3.0	2 2.0
	5年以上10年未満(N=39)	5 12.8	7 17.9	2 5.1	1 2.6	1 2.6	3 7.7	5 12.8	3 7.7	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	8 16.7	4 8.3	2 4.2	3 6.3	2 4.2	8 16.7	8 16.7	1 2.1	1 2.1
	1年未満(N=11)	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	30 12.8	40 17.0	18 7.7	18 7.7	13 5.5	28 11.9	35 14.9	3 1.3	8 3.4
	まあまあ住みやすい(N=455)	63 13.8	74 16.3	50 11.0	37 8.1	36 7.9	58 12.7	53 11.6	10 2.2	8 1.8
	どちらともいえない(N=119)	18 15.1	14 11.8	10 8.4	7 5.9	9 7.6	12 10.1	13 10.9	0 0.0	5 4.2
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	7 12.3	10 17.5	9 15.8	1 1.8	5 8.8	4 7.0	9 15.8	3 5.3	1 1.8
	住みにくい(N=25)	3 12.0	3 12.0	1 4.0	5 20.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	3 12.0	1 4.0

上段: 件数、下段: %

【居住意向別、居住基準別】

		小・中学校における児童・生徒の学力向上への取組	将来の職業観を養うキャリア教育の充実	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	家庭・地域・学校が連携した地域における教育の推進	不登校やいじめなどに対する教育の推進	継続的な教育相談・支援による就学の推進	学校や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実	外国語教育の推進	理科・算数、数学を中心とした教育(理数教育)の推進
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	64 21.3	67 22.3	160 53.2	30 10.0	77 25.6	22 7.3	54 17.9	50 16.6	15 5.0
	できれば住み続けたい(N=377)	101 26.8	97 25.7	189 50.1	36 9.5	101 26.8	24 6.4	64 17.0	61 16.2	16 4.2
	どちらともいえない(N=153)	32 20.9	36 23.5	77 50.3	14 9.2	42 27.5	6 3.9	32 20.9	25 16.3	7 4.6
	転出(転居)を考えている(N=27)	6 22.2	5 18.5	11 40.7	1 3.7	6 22.2	2 7.4	3 11.1	4 14.8	0 0.0
	転出(転居)を予定している(N=11)	1 9.1	2 18.2	3 27.3	2 18.2	5 45.5	0 0.0	3 27.3	3 27.3	1 9.1
	わからない(N=37)	5 13.5	7 18.9	15 40.5	0 0.0	9 24.3	1 2.7	8 21.6	9 24.3	2 5.4
居住基準で「子どもの教育環境や子育て環境」を回答										
準居住別住 1基	住み続けたい(N=47)	19 40.4	13 27.7	16 34.0	3 6.4	13 27.7	6 12.8	5 10.6	12 25.5	2 4.3
	転居(転出)したい(N=3)	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住基準で「図書館やホールなど、文化施設」を回答										
準居住別住 2基	住み続けたい(N=37)	12 32.4	12 32.4	13 35.1	1 2.7	10 27.0	1 2.7	7 18.9	9 24.3	3 8.1
	転居(転出)したい(N=2)	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		自然体験学習やふるさと教育の推進	小・中学校における1人1台のタブレット端末を活用した情報活用能力の向上	公民館活動や図書館など、すべての人が学習できる環境(生涯学習)の充実	人権尊重や男女共同参画によるまちづくりの推進	歴史文化遺産の保全、芸術・文化活動の推進	体力・運動能力の向上への取組	スポーツ・レクリエーション活動をするためのスポーツ施設の整備	その他	不明・無回答
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	40 13.3	51 16.9	25 8.3	18 6.0	26 8.6	39 13.0	45 15.0	6 2.0	6 2.0
	できれば住み続けたい(N=377)	51 13.5	60 15.9	37 9.8	33 8.8	26 6.9	45 11.9	42 11.1	7 1.9	10 2.7
	どちらともいえない(N=153)	24 15.7	19 12.4	16 10.5	10 6.5	9 5.9	15 9.8	19 12.4	2 1.3	5 3.3
	転出(転居)を考えている(N=27)	5 18.5	3 11.1	6 22.2	3 11.1	4 14.8	3 11.1	1 3.7	2 7.4	1 3.7
	転出(転居)を予定している(N=11)	2 18.2	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	1 2.7	6 16.2	3 8.1	5 13.5	0 0.0	6 16.2	5 13.5	4 10.8	2 5.4
居住基準で「子どもの教育環境や子育て環境」を回答										
準居住別住 1基	住み続けたい(N=47)	10 21.3	5 10.6	4 8.5	3 6.4	2 4.3	7 14.9	8 17.0	1 2.1	0 0.0
	転居(転出)したい(N=3)	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
居住基準で「図書館やホールなど、文化施設」を回答										
準居住別住 2基	住み続けたい(N=37)	4 10.8	7 18.9	8 21.6	1 2.7	5 13.5	6 16.2	7 18.9	0 0.0	1 2.7
	転居(転出)したい(N=2)	0 0.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数、下段:%

※居住基準別 1 は以下の回答者を抽出している

住み続けたい…問 8(2)たつの市に住み続けたい理由で「子どもの教育環境や子育て環境が良いから」を回答

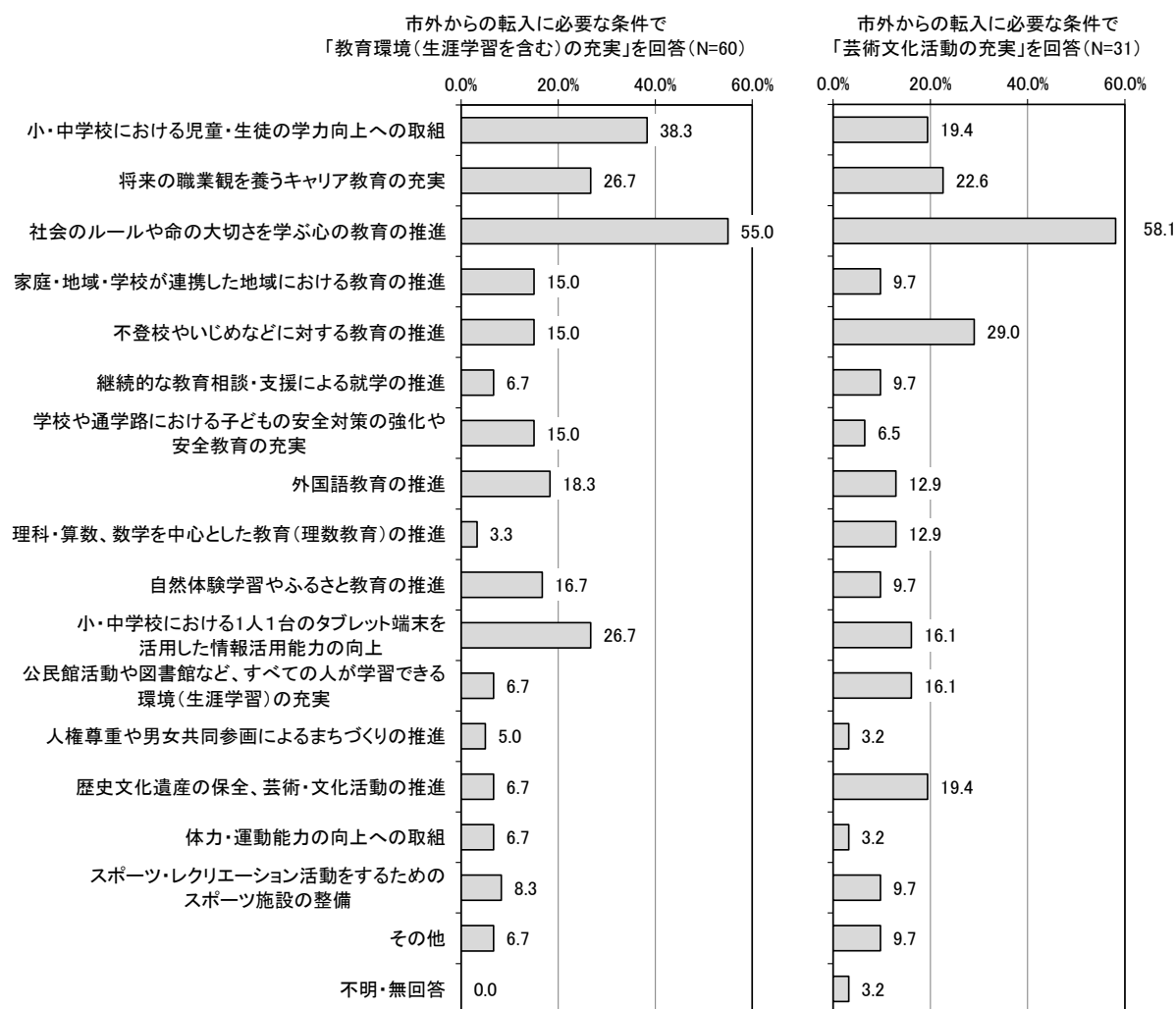
転居(転出)したい…問 8(3)転出(転居)先を選ぶ基準で「子どもの教育環境や子育て環境が良いところ」を回答

※居住基準別 2 は以下の回答者を抽出している

住み続けたい…問 8(2)たつの市に住み続けたい理由で「図書館やホールなど、文化施設が整っているから」を回答

転居(転出)したい…問 8(3)転出(転居)先を選ぶ基準で「図書館やホールなど、文化施設が整っているところ」を回答

【問 9 市外からの転入に必要な条件で「教育環境(生涯学習を含む)の充実」「芸術文化活動の充実」を回答した方】



【「幼児教育・学校教育の充実」「生涯学習・スポーツ活動の推進」「歴史文化遺産の保全と活用・芸術文化活動の推進」
「人権教育・啓発の推進」の満足度別】

		小・中学校における児童・生徒の学力向上への取組	将来の職業観を養うキャリア教育の充実	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	家庭・地域・学校が連携した地域における教育の推進	不登校やいじめなどに対する教育の推進	継続的な教育相談・支援による就学の推進	学校や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実	外国語教育の推進	理科・算数、数学を中心とした教育(理数教育)の推進
育の充実 別「幼児教育・学校教育の満足度」	満足(N=47)	11 23.4	12 25.5	23 48.9	6 12.8	15 31.9	3 6.4	8 17.0	11 23.4	2 4.3
	やや満足(N=181)	49 27.1	49 27.1	90 49.7	13 7.2	50 27.6	12 6.6	36 19.9	34 18.8	7 3.9
	普通(N=543)	119 21.9	124 22.8	283 52.1	51 9.4	146 26.9	30 5.5	91 16.8	91 16.8	24 4.4
	やや不満(N=86)	26 30.2	22 25.6	36 41.9	8 9.3	21 24.4	6 7.0	16 18.6	13 15.1	3 3.5
	不満(N=23)	5 21.7	1 4.3	12 52.2	1 4.3	6 26.1	3 13.0	4 17.4	3 13.0	2 8.7
	ツ活動の推進・スポーツの満足度別	9 21.4	9 21.4	21 50.0	5 11.9	15 35.7	3 7.1	12 28.6	8 19.0	2 4.8
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	満足(N=42)	39 22.2	48 27.3	91 51.7	16 9.1	50 28.4	14 8.0	25 14.2	39 22.2	9 5.1
	やや満足(N=176)	134 24.5	130 23.8	279 51.0	51 9.3	149 27.2	31 5.7	102 18.6	79 14.4	23 4.2
	普通(N=547)	24 22.2	23 21.3	47 43.5	11 10.2	23 21.3	3 2.8	20 18.5	24 22.2	4 3.7
	やや不満(N=108)	6 28.6	1 4.8	12 57.1	0 0.0	5 23.8	3 14.3	1 4.8	3 14.3	2 9.5
	不満(N=21)	16 26.2	16 26.2	30 49.2	5 8.2	19 31.1	5 8.2	10 16.4	10 16.4	3 4.9
	やや満足(N=208)	43 20.7	56 26.9	110 52.9	19 9.1	50 24.0	9 4.3	32 15.4	42 20.2	9 4.3
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	普通(N=547)	139 25.4	123 22.5	266 48.6	51 9.3	152 27.8	33 6.0	102 18.6	86 15.7	25 4.6
	やや不満(N=66)	13 19.7	16 24.2	36 54.5	4 6.1	16 24.2	6 9.1	14 21.2	13 19.7	1 1.5
	不満(N=8)	0 0.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5
	満足(N=31)	7 22.6	8 25.8	14 45.2	6 19.4	11 35.5	1 3.2	4 12.9	5 16.1	4 12.9
	やや満足(N=138)	26 18.8	43 31.2	75 54.3	9 6.5	40 29.0	9 6.5	28 20.3	24 17.4	2 1.4
	普通(N=611)	152 24.9	140 22.9	299 48.9	58 9.5	157 25.7	38 6.2	104 17.0	108 17.7	28 4.6
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	やや不満(N=93)	26 28.0	19 20.4	49 52.7	10 10.8	28 30.1	5 5.4	20 21.5	13 14.0	3 3.2
	不満(N=22)	3 13.6	2 9.1	13 59.1	0 0.0	4 18.2	1 4.5	4 18.2	3 13.6	2 9.1
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	満足(N=61)	8 13.1	10 16.4	4 6.6	2 3.3	8 13.1	8 13.1	9 14.8	2 3.3	1 1.6
	やや満足(N=208)	37 17.8	28 13.5	23 11.1	18 8.7	26 12.5	22 10.6	24 11.5	5 2.4	4 1.9
	普通(N=547)	65 11.9	90 16.5	53 9.7	44 8.0	23 4.2	70 12.8	66 12.1	12 2.2	12 2.2
	やや不満(N=66)	11 16.7	9 13.6	6 9.1	3 4.5	6 9.1	9 13.6	11 16.7	1 1.5	2 3.0
	不満(N=8)	1 12.5	3 37.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	満足(N=31)	3 9.7	6 19.4	1 3.2	1 3.2	3 9.7	4 12.9	3 9.7	0 0.0	0 0.0
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	やや満足(N=138)	22 15.9	25 18.1	17 12.3	10 7.2	12 8.7	14 10.1	20 14.5	5 3.6	1 0.7
	普通(N=611)	86 14.1	90 14.7	62 10.1	49 8.0	40 6.5	75 12.3	72 11.8	8 1.3	13 2.1
	やや不満(N=93)	10 10.8	15 16.1	7 7.5	3 3.2	8 8.6	11 11.8	15 16.1	5 5.4	4 4.3
	不満(N=22)	1 4.5	5 22.7	0 0.0	6 27.3	1 4.5	5 22.7	0 0.0	3 13.6	1 4.5
	満足(N=47)	8 17.0	4 8.5	2 4.3	2 4.3	5 10.6	10 21.3	5 10.6	1 2.1	0 0.0
	やや満足(N=181)	27 14.9	33 18.2	20 11.0	12 6.6	15 8.3	16 8.8	26 14.4	4 2.2	1 0.6
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	普通(N=543)	67 12.3	80 14.7	55 10.1	46 8.5	36 6.6	70 12.9	64 11.8	10 1.8	13 2.4
	やや不満(N=86)	12 14.0	18 20.9	8 9.3	5 5.8	6 7.0	10 11.6	12 14.0	3 3.5	3 3.5
	不満(N=23)	5 21.7	6 26.1	0 0.0	2 8.7	2 8.7	1 4.3	2 8.7	3 13.0	0 0.0
	満足(N=42)	4 9.5	7 16.7	2 4.8	2 4.8	7 16.7	4 9.5	3 7.1	1 2.4	0 0.0
	やや満足(N=176)	27 15.3	26 14.8	18 10.2	14 8.0	13 7.4	23 13.1	16 9.1	3 1.7	5 2.8
	普通(N=547)	77 14.1	80 14.6	52 9.5	44 8.0	38 6.9	63 11.5	62 11.3	12 2.2	11 2.0
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	やや不満(N=108)	10 9.3	23 21.3	11 10.2	7 6.5	4 3.7	16 14.8	26 24.1	4 3.7	2 1.9
	不満(N=21)	3 14.3	6 28.6	3 14.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	3 14.3	1 4.8	0 0.0
	満足(N=61)	8 13.1	10 16.4	4 6.6	2 3.3	8 13.1	8 13.1	9 14.8	2 3.3	1 1.6
	やや満足(N=208)	37 17.8	28 13.5	23 11.1	18 8.7	26 12.5	22 10.6	24 11.5	5 2.4	4 1.9
	普通(N=547)	65 11.9	90 16.5	53 9.7	44 8.0	23 4.2	70 12.8	66 12.1	12 2.2	12 2.2
	やや不満(N=66)	11 16.7	9 13.6	6 9.1	3 4.5	6 9.1	9 13.6	11 16.7	1 1.5	2 3.0
と活用・芸術文化活動の保全 の推進」の満足度別	不満(N=8)	1 12.5	3 37.5	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	満足(N=31)	3 9.7	6 19.4	1 3.2	1 3.2	3 9.7	4 12.9	3 9.7	0 0.0	0 0.0
	やや満足(N=138)	22 15.9	25 18.1	17 12.3	10 7.2	12 8.7	14 10.1	20 14.5	5 3.6	1 0.7
	普通(N=611)	86 14.1	90 14.7	62 10.1	49 8.0	40 6.5	75 12.3	72 11.8	8 1.3	13 2.1
	やや不満(N=93)	10 10.8	15 16.1	7 7.5	3 3.2	8 8.6	11 11.8	15 16.1	5 5.4	4 4.3
	不満(N=22)	1 4.5	5 22.7	0 0.0	6 27.3	1 4.5	5 22.7	0 0.0	3 13.6	1 4.5

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(力を入れるべき教育・人権・文化に関する取組)

学習・教育に関して	件数
少人数で一人一人が多くのことを体験できる教育	2
お金、経済、税金に対する教育	1
子ども達に、道路の「止まれ」の意味を教える	1
本を読んで考える習慣づくり	1
豊かな心を育てる取組	1
S N S の使い方教室	1
タブレット端末ばかりではなく、言葉を大切に授業を行う	1
各自の発達に応じた教育	1
教科書では伝えられない人間力の向上に力を入れる	1
日本人の、日本人による、日本人のための教育	1
その他	件数
教育を支援している取組の発信	1
積極的なひきこもり対策の取組	1
北高校と龍野高校の通学路が狭く危険	1
プールがほしい	1
小学校教師・職場の健全化	1
子どもの健康のためにもタブレットには反対	1
自治会でも、大人へのいじめがあります。意に反すると除け者です	1

【産業・観光振興について】

問 17(1) あなたは、たつの市の産業振興のために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

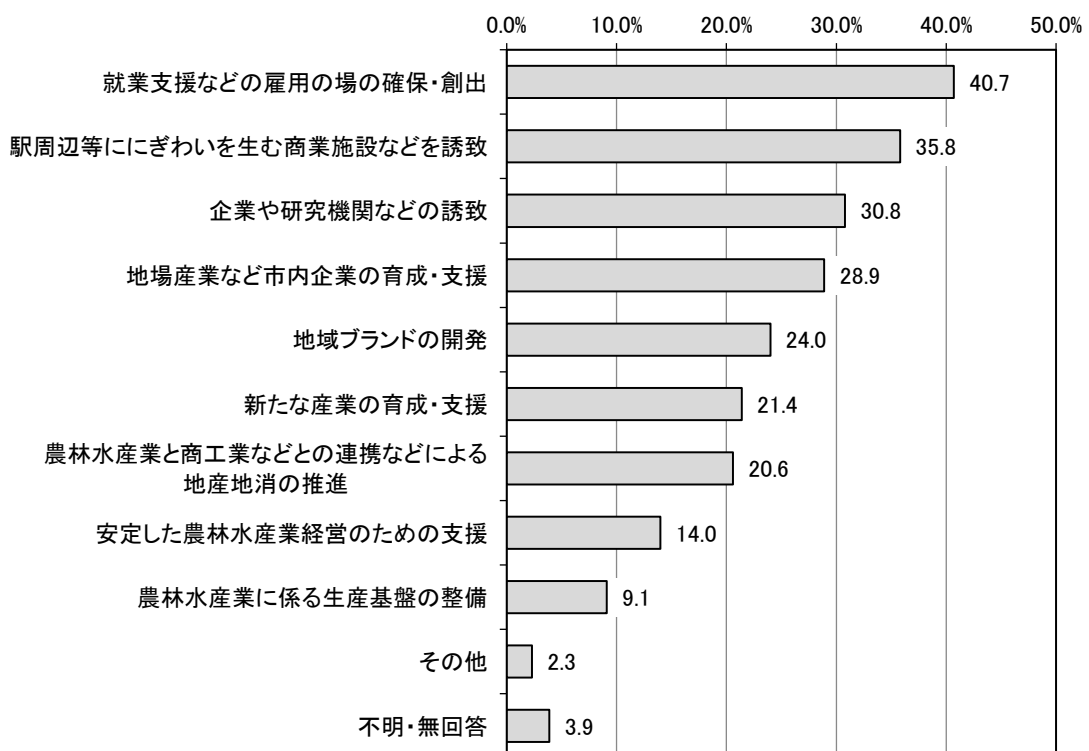
産業振興のために力を入れるべきことについては、「就業支援などの雇用の場の確保・創出」が40.7%と最も高く、次いで「駅周辺等のにぎわいを生む商業施設などを誘致」が35.8%、「企業や研究機関などの誘致」が30.8%となっています。

性別でみると、男性では「企業や研究機関などの誘致」が40.2%と、女性の23.6%よりも16.6ポイント高くなっています。

居住意向別でみると、転出（転居）を考えているで「新たな産業の育成・支援」が高くなっています。

「商工業の振興」の満足度別でみると、満足で「地域ブランドの開発」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		駅周辺等 ににぎわ いを生む 商業施設 などを誘 致	企業や研 究機関な どの誘致	新たな産 業の育 成・支援	地場産業 など市内 企業の育 成・支援	就業支援 などの雇 用の場の 確保・創 出	農林水産 業に係る 生産基盤 の整備	安定した 農林水産 業経営の ための支 援	農林水産 業と商工 業などと の連携な どによる 地産地消 の推進	地域ブラン ドの開 発	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=396)	146 36.9	159 40.2	109 27.5	121 30.6	162 40.9	42 10.6	51 12.9	78 19.7	93 23.5	10 2.5	10 2.5
	女性(N=499)	174 34.9	118 23.6	85 17.0	140 28.1	205 41.1	39 7.8	71 14.2	106 21.2	124 24.8	10 2.0	24 4.8
年齢別	18～19歳(N=7)	3 42.9	3 42.9	4 57.1	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	42 53.2	19 24.1	15 19.0	15 19.0	24 30.4	9 11.4	10 12.7	7 8.9	23 29.1	2 2.5	2 2.5
	30～39歳(N=114)	55 48.2	29 25.4	26 22.8	28 24.6	42 36.8	9 7.9	13 11.4	14 12.3	38 33.3	5 4.4	2 1.8
	40～49歳(N=169)	66 39.1	54 32.0	35 20.7	44 26.0	80 47.3	11 6.5	15 8.9	31 18.3	52 30.8	6 3.6	1 0.6
	50～64歳(N=169)	51 30.2	52 30.8	38 22.5	58 34.3	84 49.7	16 9.5	21 12.4	34 20.1	41 24.3	3 1.8	2 1.2
	65～74歳(N=87)	25 28.7	31 35.6	13 14.9	29 33.3	31 35.6	9 10.3	18 20.7	22 25.3	17 19.5	1 1.1	4 4.6
	75歳以上(N=270)	78 28.9	90 33.3	61 22.6	86 31.9	102 37.8	27 10.0	47 17.4	75 27.8	47 17.4	3 1.1	21 7.8
地区別	龍野町(N=219)	86 39.3	67 30.6	60 27.4	65 29.7	86 39.3	13 5.9	28 12.8	41 18.7	47 21.5	8 3.7	6 2.7
	揖保町(N=50)	15 30.0	18 36.0	11 22.0	14 28.0	17 34.0	4 8.0	7 14.0	12 24.0	18 36.0	1 2.0	1 2.0
	神岡町(N=69)	22 31.9	22 31.9	12 17.4	21 30.4	27 39.1	7 10.1	6 8.7	18 26.1	17 24.6	1 1.4	4 5.8
	誉田町(N=38)	14 36.8	10 26.3	7 18.4	13 34.2	17 44.7	4 10.5	7 18.4	8 21.1	8 21.1	1 2.6	1 2.6
	揖西町(N=98)	34 34.7	33 33.7	22 22.4	23 23.5	49 50.0	7 7.1	17 17.3	21 21.4	28 28.6	0 0.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	70 47.3	44 29.7	21 14.2	49 33.1	57 38.5	11 7.4	15 10.1	25 16.9	40 27.0	4 2.7	6 4.1
	御津町(N=129)	25 19.4	37 28.7	30 23.3	41 31.8	52 40.3	18 14.0	20 15.5	35 27.1	29 22.5	5 3.9	5 3.9
	新宮町(N=148)	58 39.2	45 30.4	31 20.9	34 23.0	62 41.9	15 10.1	24 16.2	25 16.9	29 19.6	1 0.7	10 6.8
居住年数別	20年以上(N=708)	249 35.2	225 31.8	141 19.9	225 31.8	292 41.2	65 9.2	105 14.8	159 22.5	160 22.6	13 1.8	31 4.4
	10年以上20年未満(N=100)	36 36.0	33 33.0	27 27.0	21 21.0	43 43.0	6 6.0	9 9.0	17 17.0	29 29.0	3 3.0	4 4.0
	5年以上10年未満(N=39)	14 35.9	8 20.5	8 20.5	10 25.6	14 35.9	4 10.3	5 12.8	5 12.8	14 35.9	1 2.6	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	21 43.8	12 25.0	14 29.2	5 10.4	17 35.4	2 4.2	6 12.5	2 4.2	14 29.2	2 4.2	1 2.1
	1年未満(N=11)	5 45.5	1 9.1	5 45.5	2 18.2	3 27.3	3 27.3	1 9.1	2 18.2	2 18.2	2 18.2	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	74 31.5	61 26.0	54 23.0	75 31.9	114 48.5	32 13.6	35 14.9	49 20.9	48 20.4	4 1.7	9 3.8
	まあまあ住みやすい(N=455)	176 38.7	145 31.9	89 19.6	128 28.1	178 39.1	36 7.9	71 15.6	102 22.4	120 26.4	9 2.0	13 2.9
	どちらともいえない(N=119)	43 36.1	38 31.9	29 24.4	33 27.7	53 44.5	5 4.2	9 7.6	18 15.1	21 17.6	4 3.4	4 3.4
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	23 40.4	22 38.6	14 24.6	17 29.8	16 28.1	6 10.5	7 12.3	9 15.8	17 29.8	2 3.5	2 3.5
	住みにくい(N=25)	7 28.0	8 32.0	8 32.0	6 24.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	3 12.0	9 36.0	2 8.0	4 16.0
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	103 34.2	93 30.9	56 18.6	93 30.9	135 44.9	31 10.3	39 13.0	64 21.3	63 20.9	5 1.7	9 3.0
	できれば住み続けたい(N=377)	128 34.0	117 31.0	90 23.9	117 31.0	156 41.4	39 10.3	68 18.0	85 22.5	91 24.1	7 1.9	15 4.0
	どちらともいえない(N=153)	68 44.4	51 33.3	33 21.6	39 25.5	52 34.0	5 3.3	15 9.8	28 18.3	43 28.1	5 3.3	3 2.0
	転出(転居)を考えている(N=27)	7 25.9	9 33.3	11 40.7	5 18.5	7 25.9	3 11.1	2 7.4	4 14.8	10 37.0	3 11.1	2 7.4
	転出(転居)を予定している(N=11)	6 54.5	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1	0 0.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	わからない(N=37)	12 32.4	8 21.6	4 10.8	6 16.2	17 45.9	3 8.1	3 8.1	4 10.8	10 27.0	0 0.0	5 13.5

上段:件数、下段:%

【「農林業の振興」「漁業の振興」「商工業の振興」の満足度別】

		駅周辺等ににぎわいを生む商業施設などを誘致	企業や研究機関などの誘致	新たな産業の育成・支援	地場産業など市内企業の育成・支援	就業支援などの雇用の場の確保・創出	農林水産業に係る生産基盤の整備	安定した農林水産業経営のための支援	農林水産業と商工業などの連携などによる地産地消の推進	地域ブランドの開発	その他	不明・無回答
農林業の振興の満足度別	満足(N=15)	4 26.7	6 40.0	3 20.0	1 6.7	3 20.0	1 6.7	2 13.3	5 33.3	5 33.3	0 0.0	1 6.7
	やや満足(N=79)	32 40.5	16 20.3	19 24.1	23 29.1	38 48.1	9 11.4	10 12.7	17 21.5	22 27.8	3 3.8	1 1.3
	普通(N=557)	204 36.6	166 29.8	122 21.9	165 29.6	233 41.8	39 7.0	62 11.1	104 18.7	127 22.8	11 2.0	18 3.2
	やや不満(N=181)	64 35.4	69 38.1	39 21.5	63 34.8	69 38.1	22 12.2	35 19.3	40 22.1	51 28.2	5 2.8	5 2.8
	不満(N=48)	15 31.3	15 31.3	8 16.7	8 16.7	15 31.3	10 20.8	15 31.3	15 31.3	9 18.8	2 4.2	2 4.2
漁業の振興の満足度別	満足(N=15)	3 20.0	6 40.0	4 26.7	2 13.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7	5 33.3	5 33.3	1 6.7	1 6.7
	やや満足(N=92)	38 41.3	26 28.3	25 27.2	21 22.8	43 46.7	11 12.0	15 16.3	23 25.0	24 26.1	4 4.3	1 1.1
	普通(N=649)	238 36.7	200 30.8	133 20.5	196 30.2	259 39.9	56 8.6	87 13.4	122 18.8	156 24.0	12 1.8	18 2.8
	やや不満(N=89)	28 31.5	32 36.0	22 24.7	29 32.6	41 46.1	10 11.2	13 14.6	24 27.0	23 25.8	2 2.2	2 2.2
	不満(N=10)	3 30.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0
商工業の振興の満足度別	満足(N=22)	9 40.9	6 27.3	4 18.2	4 18.2	3 13.6	4 18.2	3 13.6	5 22.7	9 40.9	0 0.0	1 4.5
	やや満足(N=107)	40 37.4	20 18.7	26 24.3	34 31.8	47 43.9	19 17.8	17 15.9	29 27.1	25 23.4	2 1.9	1 0.9
	普通(N=535)	195 36.4	159 29.7	101 18.9	154 28.8	226 42.2	35 6.5	72 13.5	105 19.6	130 24.3	11 2.1	17 3.2
	やや不満(N=178)	63 35.4	68 38.2	50 28.1	58 32.6	73 41.0	20 11.2	27 15.2	36 20.2	46 25.8	4 2.2	5 2.8
	不満(N=38)	13 34.2	20 52.6	11 28.9	8 21.1	12 31.6	3 7.9	4 10.5	6 15.8	5 13.2	4 10.5	3 7.9

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(産業振興のために力を入れるべきこと)

企業誘致・雇用促進に関して	件数
企業などの誘致	1
雇用を増やす	1
大きな駐車場がある商業施設を郊外設置	1
中学生や高校生に地元の企業を紹介し、就職を後押しする取組	1
都市部の副業人材を市内の企業とマッチング	1
居酒屋や宿泊施設の誘致	1
交通・都市開発に関して	件数
公共交通機関の充実	1
新舞子周辺の観光資源の有効活用と姫路地区との経済圏の一体化のための山電網干線の新舞子までの延長	1
魅力を感じるような施設設立	1
JR 山陽本線「竜野駅」の駅舎の建て替えを含む再開発	1
その他	件数
ITを活用した、農林水産業と商工業などの連携と、消費者への直接販売	1
龍野城の再建	1

本物を知ること	1
道の駅の拡充	1
地域で子どもを育てること	1
インターネットなどで SNS 拡散	1
動物園	1

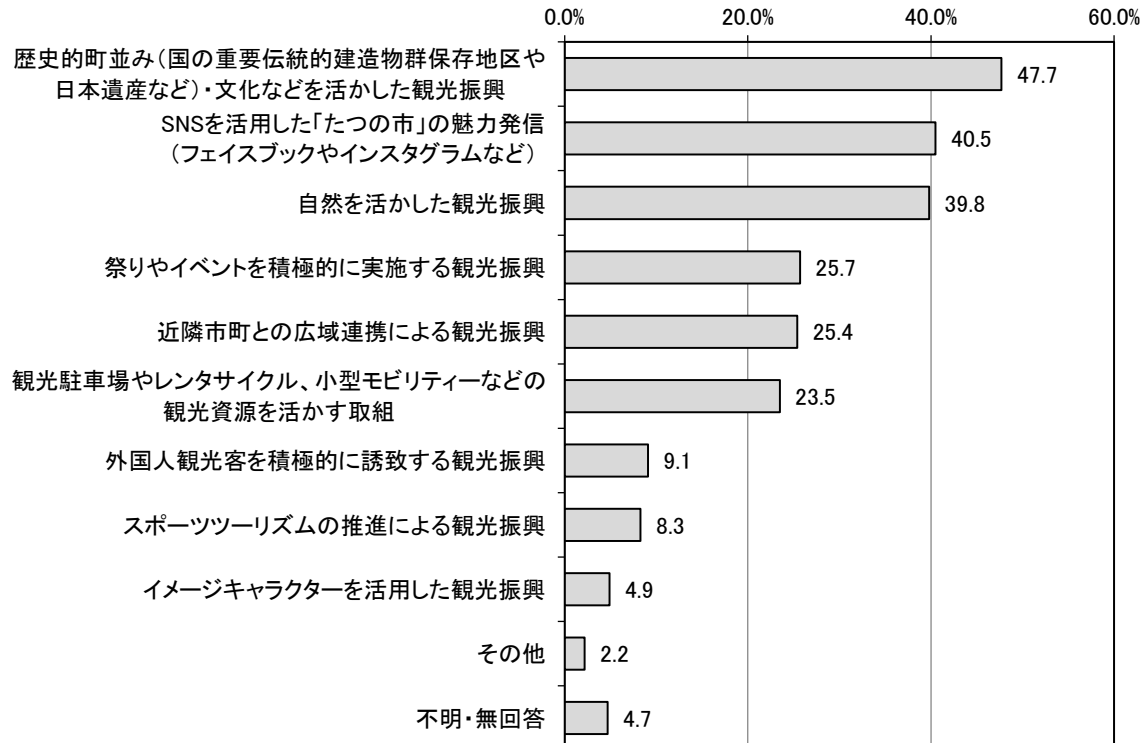
問 17(2) あなたは、たつの市の観光振興のために、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

観光振興のために力を入れるべきことについては、「歴史的町並み（国の重要伝統的建造物群保存地区や日本遺産など）・文化などを活かした観光振興」が 47.7%と最も高く、次いで「SNSを活用した『たつの市』の魅力発信（フェイスブックやインスタグラムなど）」が 40.5%、「自然を活かした観光振興」が 39.8%となっています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「自然を活かした観光振興」「近隣市町との広域連携による観光振興」が高くなっています。

居住年数別でみると、1年未満で「観光駐車場やレンタサイクル、小型モビリティなどの観光資源を活かす取組」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		SNSを活用した「たつの市」の魅力発信(フェイスブックやインスタグラムなど)	自然を活かした観光振興	歴史的町並み(国の重要伝統的建造物群保存地区や日本遺産など)・文化などを活かした観光振興	観光駐車場やレンタサイクル、小型モビリティなどの観光資源を活かす取組	外国人観光客を積極的に誘致する観光振興	祭りやイベントを積極的に実施する観光振興	近隣市町との広域連携による観光振興	イメージキャラクターを活用した観光振興	スポーツツーリズムの推進による観光振興	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	152 38.4	169 42.7	179 45.2	92 23.2	49 12.4	108 27.3	120 30.3	21 5.3	39 9.8	10 2.5	14 3.5
	女性(N=499)	210 42.1	189 37.9	250 50.1	118 23.6	31 6.2	122 24.4	111 22.2	23 4.6	35 7.0	9 1.8	27 5.4
年齢別	18～19歳(N=7)	4 57.1	2 28.6	1 14.3	0 0.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	40 50.6	24 30.4	38 48.1	18 22.8	6 7.6	30 38.0	11 13.9	3 3.8	10 12.7	2 2.5	1 1.3
	30～39歳(N=114)	51 44.7	39 34.2	41 36.0	30 26.3	18 15.8	44 38.6	23 20.2	5 4.4	22 19.3	5 4.4	2 1.8
	40～49歳(N=169)	82 48.5	64 37.9	83 49.1	35 20.7	19 11.2	33 19.5	36 21.3	9 5.3	17 10.1	5 3.0	3 1.8
	50～64歳(N=169)	72 42.6	69 40.8	88 52.1	50 29.6	12 7.1	40 23.7	39 23.1	9 5.3	8 4.7	3 1.8	3 1.8
	65～74歳(N=87)	32 36.8	36 41.4	39 44.8	20 23.0	9 10.3	26 29.9	21 24.1	5 5.7	3 3.4	2 2.3	6 6.9
	75歳以上(N=270)	78 28.9	124 45.9	140 51.9	59 21.9	13 4.8	59 21.9	98 36.3	13 4.8	11 4.1	3 1.1	25 9.3
地区別	龍野町(N=219)	83 37.9	70 32.0	106 48.4	61 27.9	17 7.8	67 30.6	47 21.5	11 5.0	21 9.6	6 2.7	9 4.1
	揖保町(N=50)	23 46.0	16 32.0	27 54.0	13 26.0	9 18.0	11 22.0	13 26.0	1 2.0	3 6.0	1 2.0	3 6.0
	神岡町(N=69)	29 42.0	22 31.9	35 50.7	19 27.5	4 5.8	14 20.3	23 33.3	5 7.2	4 5.8	1 1.4	4 5.8
	誉田町(N=38)	18 47.4	14 36.8	18 47.4	9 23.7	4 10.5	11 28.9	10 26.3	1 2.6	3 7.9	2 5.3	0 0.0
	揖西町(N=98)	41 41.8	51 52.0	66 67.3	15 15.3	11 11.2	25 25.5	24 24.5	3 3.1	6 6.1	1 1.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	62 41.9	56 37.8	62 41.9	31 20.9	12 8.1	37 25.0	39 26.4	6 4.1	20 13.5	2 1.4	10 6.8
	御津町(N=129)	54 41.9	67 51.9	47 36.4	30 23.3	9 7.0	30 23.3	37 28.7	10 7.8	5 3.9	3 2.3	6 4.7
	新宮町(N=148)	53 35.8	64 43.2	70 47.3	31 20.9	13 8.8	38 25.7	36 24.3	7 4.7	12 8.1	2 1.4	8 5.4
	20年以上(N=708)	274 38.7	292 41.2	364 51.4	160 22.6	54 7.6	178 25.1	197 27.8	33 4.7	47 6.6	11 1.6	36 5.1
	10年以上20年未満(N=100)	48 48.0	32 32.0	36 36.0	29 29.0	14 14.0	20 20.0	18 18.0	5 5.0	13 13.0	2 2.0	4 4.0
居住年数別	5年以上10年未満(N=39)	23 59.0	16 41.0	13 33.3	6 15.4	5 12.8	14 35.9	5 12.8	3 7.7	5 12.8	2 5.1	1 2.6
	1年以上5年未満(N=48)	19 39.6	15 31.3	16 33.3	12 25.0	4 8.3	18 37.5	9 18.8	4 8.3	7 14.6	4 8.3	1 2.1
	1年未満(N=11)	2 18.2	4 36.4	5 45.5	7 63.6	3 27.3	4 36.4	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	住みやすい(N=235)	102 43.4	92 39.1	123 52.3	57 24.3	16 6.8	68 28.9	61 26.0	11 4.7	14 6.0	5 2.1	9 3.8
	まあまあ住みやすい(N=455)	184 40.4	189 41.5	232 51.0	110 24.2	41 9.0	112 24.6	115 25.3	23 5.1	41 9.0	9 2.0	16 3.5
住みやすさ別	どちらともいえない(N=119)	48 40.3	44 37.0	48 40.3	22 18.5	12 10.1	33 27.7	30 25.2	5 4.2	9 7.6	0 0.0	7 5.9
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	19 33.3	26 45.6	18 31.6	15 26.3	7 12.3	14 24.6	13 22.8	4 7.0	9 15.8	4 7.0	2 3.5
	住みにくい(N=25)	8 32.0	6 24.0	8 32.0	4 16.0	3 12.0	5 20.0	8 32.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0
	ずっと住み続けたい(N=301)	118 39.2	121 40.2	156 51.8	76 25.2	20 6.6	80 26.6	81 26.9	16 5.3	20 6.6	4 1.3	10 3.3
居住意向別	できれば住み続けたい(N=377)	148 39.3	169 44.8	190 50.4	74 19.6	38 10.1	100 26.5	100 26.5	16 4.2	30 8.0	6 1.6	18 4.8
	どちらともいえない(N=153)	72 47.1	51 33.3	55 35.9	37 24.2	13 8.5	45 29.4	38 24.8	9 5.9	18 11.8	3 2.0	6 3.9
	転出(転居)を考えている(N=27)	13 48.1	6 22.2	12 44.4	10 37.0	6 22.2	4 14.8	2 7.4	1 3.7	4 14.8	4 14.8	1 3.7
	転出(転居)を予定している(N=11)	6 54.5	6 54.5	4 36.4	3 27.3	1 9.1	2 18.2	3 27.3	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	わからない(N=37)	10 27.0	9 24.3	16 43.2	13 35.1	3 8.1	4 10.8	7 18.9	2 5.4	3 8.1	2 5.4	6 16.2
	上段: 件数、下段: %											

上段: 件数、下段: %

【「観光の振興」の満足度別】

		SNSを活用した「たつの市」の魅力発信(フェイスブックやインスタグラムなど)	自然を活用した観光振興	歴史的町並み(国の重要伝統的建造物群保存地区や日本遺産など)・文化などを活かした観光振興	観光駐車場やレンタサイクル、小型モビリティなどの観光資源を活かす取組	外国人観光客を積極的に誘致する観光振興	祭りやイベントを積極的に実施する観光振興	近隣市町との広域連携による観光振興	イメージキャラクターを活用した観光振興	スポーツツーリズムの推進による観光振興	その他	不明・無回答
の観光満足度別	満足(N=29)	15 51.7	15 51.7	13 44.8	10 34.5	2 6.9	8 27.6	5 17.2	1 3.4	3 10.3	1 3.4	0 0.0
	やや満足(N=157)	75 47.8	66 42.0	74 47.1	36 22.9	10 6.4	42 26.8	38 24.2	5 3.2	9 5.7	2 1.3	5 3.2
	普通(N=502)	189 37.6	207 41.2	241 48.0	111 22.1	44 8.8	124 24.7	124 24.7	30 6.0	38 7.6	7 1.4	25 5.0
	やや不満(N=161)	74 46.0	56 34.8	89 55.3	40 24.8	20 12.4	46 28.6	52 32.3	6 3.7	20 12.4	1 0.6	4 2.5
	不満(N=41)	14 34.1	12 29.3	9 22.0	14 34.1	6 14.6	11 26.8	7 17.1	3 7.3	5 12.2	8 19.5	4 9.8

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(観光振興のために力を入れるべきこと)

既存資源の活用に関して	件数
御津町 250 号線をロードバイクのイベントロードとして活用	1
空き家を利用した古民家、五右衛門風呂、まき割り、釣り、農業等の体験	1
自然を守り、古いものを後世に伝えてほしい	1
グランピングやオートキャンプ場等、播磨シーサイドロードをもっと活用する	1
駐車場・休憩スペースに関して	件数
観光駐車場を増やす	2
公衆トイレをきれいにしてほしい	1
歩道等にも休むところをつくり観光地図に記載する	1
情報発信に関して	件数
現地での観光案内・観光マップのデジタル化	1
気楽に入れる大きめの飲食店や「赤とんぼ」を全面PR	1
観光 web カメラの設置	1
その他	件数
全国各地との差別化、聖地巡礼等の繰り返し訪れてもらえる取組	1
他市との連携、姉妹都市をつくる	1
小型バスで、高齢者一人でも観光地巡りを楽しめるようにする	1
リピートのための施策を総合的にやる人材が必要	1
感染症対策の徹底	1
おいしいお店がいっぱいほしい	1
植物園	1
レンタカーの充実、土産物店やアンテナショップの充実	1
観光に力を入れても市民には何の恩恵も無い	1

【交通について】

問 18 あなたは、たつの市の交通基盤を充実するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

交通基盤を充実するために力を入れるべきことについては、「高齢者タクシー券助成などの支援制度の拡充」が34.4%と最も高く、次いで「市民乗り合いタクシー（あかねちゃん）の充実」が29.6%、「姫新線播磨新宮駅～姫路駅の運行頻度の向上（現状：約30分／本）」が29.5%となっています。

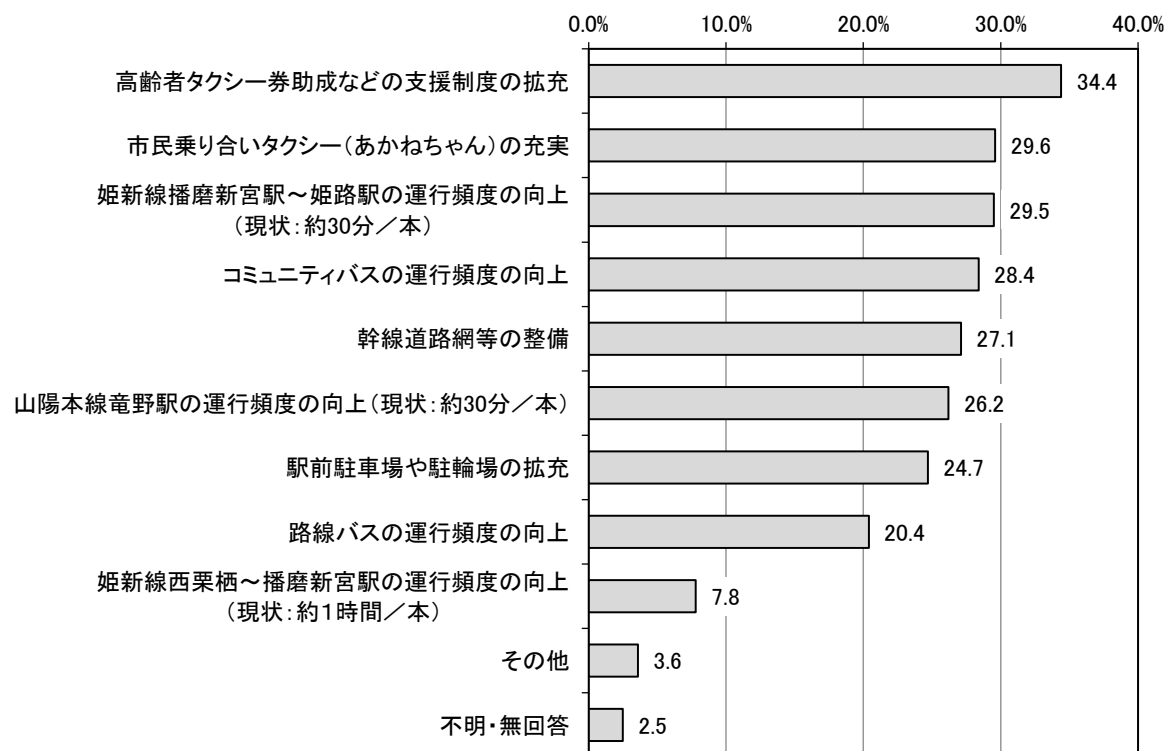
性別でみると、男性では「幹線道路網等の整備」が38.9%と女性の18.2%よりも20.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、概ね年齢が上がるにつれて「高齢者タクシー券助成などの支援制度の拡充」「市民乗り合いタクシー（あかねちゃん）の充実」が高くなっています。

地区別でみると、龍野町・神岡町・誉田町で「姫新線播磨新宮駅～姫路駅の運行頻度の向上」、揖保町・揖西町・揖保川町で「山陽本線竜野駅の運行頻度の向上」がそれぞれ高くなっています。

居住意向別でみると、転出（転居）を考えているで「コミュニティバスの運行頻度の向上」、転出（転居）を予定しているで「路線バスの運行頻度の向上」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		山陽本線 竜野駅の 運行頻度 の向上 (現状:約 30分/ 本)	姫新線播 磨新宮駅 ～姫路駅 の運行頻 度の向上 (現状:約 30分/ 本)	姫新線西 栗栖～播 磨新宮駅 の運行頻 度の向上 (現状:約 1時間/ 本)	コミュニ ティバス の運行頻 度の向上	路線バス の運行頻 度の向上	駅前駐車 場や駐輪 場の拡充	市民乗り 合いタク シー(あ かねちゃ ん)の充 実	高齢者タ クシー券 助成など の支援制 度の拡充	幹線道路 網等の整 備	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=396)	105 26.5	128 32.3	30 7.6	108 27.3	66 16.7	106 26.8	100 25.3	120 30.3	154 38.9	12 3.0	12 3.0
	女性(N=499)	129 25.9	136 27.3	40 8.0	148 29.7	118 23.6	112 22.4	163 32.7	186 37.3	91 18.2	19 3.8	11 2.2
年齢別	18～19歳(N=7)	4 57.1	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	4 57.1	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	24 30.4	38 48.1	16 20.3	17 21.5	15 19.0	22 27.8	14 17.7	18 22.8	18 22.8	3 3.8	1 1.3
	30～39歳(N=114)	36 31.6	42 36.8	10 8.8	30 26.3	22 19.3	41 36.0	22 19.3	23 20.2	34 29.8	5 4.4	3 2.6
	40～49歳(N=169)	57 33.7	47 27.8	9 5.3	54 32.0	34 20.1	47 27.8	43 25.4	48 28.4	47 27.8	8 4.7	1 0.6
	50～64歳(N=169)	44 26.0	42 24.9	13 7.7	46 27.2	39 23.1	40 23.7	47 27.8	65 38.5	56 33.1	6 3.6	2 1.2
	65～74歳(N=87)	19 21.8	23 26.4	2 2.3	27 31.0	19 21.8	20 23.0	28 32.2	35 40.2	25 28.7	1 1.1	3 3.4
	75歳以上(N=270)	49 18.1	67 24.8	20 7.4	82 30.4	52 19.3	45 16.7	112 41.5	115 42.6	60 22.2	9 3.3	13 4.8
地区別	龍野町(N=219)	42 19.2	109 49.8	16 7.3	41 18.7	51 23.3	62 28.3	49 22.4	63 28.8	62 28.3	11 5.0	5 2.3
	揖保町(N=50)	18 36.0	7 14.0	2 4.0	20 40.0	11 22.0	10 20.0	19 38.0	14 28.0	17 34.0	0 0.0	1 2.0
	神岡町(N=69)	7 10.1	30 43.5	7 10.1	27 39.1	11 15.9	11 15.9	23 33.3	27 39.1	15 21.7	1 1.4	2 2.9
	誉田町(N=38)	8 21.1	15 39.5	2 5.3	8 21.1	5 13.2	3 7.9	15 39.5	18 47.4	12 31.6	1 2.6	3 7.9
	揖西町(N=98)	39 39.8	14 14.3	3 3.1	22 22.4	16 16.3	30 30.6	34 34.7	32 32.7	28 28.6	4 4.1	3 3.1
	揖保川町(N=148)	87 58.8	10 6.8	2 1.4	50 33.8	26 17.6	57 38.5	28 18.9	46 31.1	41 27.7	6 4.1	3 2.0
	御津町(N=129)	22 17.1	4 3.1	5 3.9	48 37.2	43 33.3	16 12.4	49 38.0	58 45.0	36 27.9	7 5.4	1 0.8
	新宮町(N=148)	11 7.4	77 52.0	33 22.3	42 28.4	20 13.5	30 20.3	48 32.4	48 32.4	33 22.3	1 0.7	5 3.4
居住年数別	20年以上(N=708)	164 23.2	195 27.5	53 7.5	211 29.8	139 19.6	159 22.5	228 32.2	265 37.4	199 28.1	24 3.4	19 2.7
	10年以上20年未満 (N=100)	42 42.0	38 38.0	8 8.0	22 22.0	26 26.0	33 33.0	16 16.0	24 24.0	25 25.0	3 3.0	2 2.0
	5年以上10年未満 (N=39)	15 38.5	12 30.8	2 5.1	12 30.8	7 17.9	13 33.3	9 23.1	7 17.9	10 25.6	3 7.7	0 0.0
	1年以上5年未満 (N=48)	12 25.0	18 37.5	4 8.3	7 14.6	12 25.0	14 29.2	11 22.9	11 22.9	10 20.8	3 6.3	2 4.2
	1年未満(N=11)	4 36.4	4 36.4	3 27.3	5 45.5	2 18.2	3 27.3	3 27.3	2 18.2	2 18.2	0 0.0	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	49 20.9	70 29.8	24 10.2	68 28.9	40 17.0	51 21.7	93 39.6	79 33.6	58 24.7	9 3.8	8 3.4
	まあまあ住みやすい (N=455)	135 29.7	145 31.9	29 6.4	116 25.5	91 20.0	127 27.9	110 24.2	161 35.4	122 26.8	15 3.3	11 2.4
	どちらともいえない (N=119)	32 26.9	30 25.2	10 8.4	38 31.9	31 26.1	24 20.2	32 26.9	39 32.8	42 35.3	2 1.7	1 0.8
	あまり住みやすいとは いえない(N=57)	15 26.3	15 26.3	5 8.8	25 43.9	13 22.8	12 21.1	18 31.6	19 33.3	14 24.6	2 3.5	0 0.0
	住みにくい(N=25)	5 20.0	6 24.0	2 8.0	8 32.0	7 28.0	5 20.0	9 36.0	7 28.0	7 28.0	2 8.0	1 4.0

上段:件数、下段:%

【居住意向別、居住基準別】

		山陽本線 竜野駅の 運行頻度 の向上 (現状:約 30分/ 本)	姫新線播 磨新宮駅 ～姫路駅 の運行頻 度の向上 (現状:約 30分/ 本)	姫新線西 栗栖～播 磨新宮駅 の運行頻 度の向上 (現状:約 1時間/ 本)	コミュニ ティバス の運行頻 度の向上	路線バス の運行頻 度の向上	駅前駐車 場や駐輪 場の拡充	市民乗り 合いタク シー(あ かねちゃ ん)の充 実	高齢者タ クシー券 助成など の支援制 度の拡充	幹線道路 網等の整 備	その他	不明・無 回答
居住 意向 別	ずっと住み続けたい (N=301)	63 20.9	90 29.9	22 7.3	81 26.9	54 17.9	65 21.6	102 33.9	103 34.2	81 26.9	11 3.7	10 3.3
	できれば住み続けたい (N=377)	111 29.4	112 29.7	27 7.2	114 30.2	68 18.0	101 26.8	114 30.2	136 36.1	108 28.6	11 2.9	9 2.4
	どちらともいえない(N=153)	48 31.4	43 28.1	13 8.5	41 26.8	37 24.2	40 26.1	33 21.6	47 30.7	42 27.5	6 3.9	1 0.7
	転出(転居)を考えている (N=27)	10 37.0	10 37.0	1 3.7	11 40.7	10 37.0	4 14.8	7 25.9	6 22.2	3 11.1	4 14.8	0 0.0
	転出(転居)を予定している (N=11)	2 18.2	2 18.2	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	2 18.2	2 18.2	6 54.5	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	4 10.8	10 27.0	7 18.9	10 27.0	9 24.3	12 32.4	8 21.6	14 37.8	7 18.9	1 2.7	3 8.1
基準 別 居住	住み続けたい(N=135)	46 34.1	50 37.0	11 8.1	32 23.7	27 20.0	45 33.3	32 23.7	38 28.1	43 31.9	7 5.2	3 2.2
	転居(転出)したい(N=19)	7 36.8	8 42.1	0 0.0	8 42.1	11 57.9	3 15.8	4 21.1	2 10.5	2 10.5	3 15.8	0 0.0

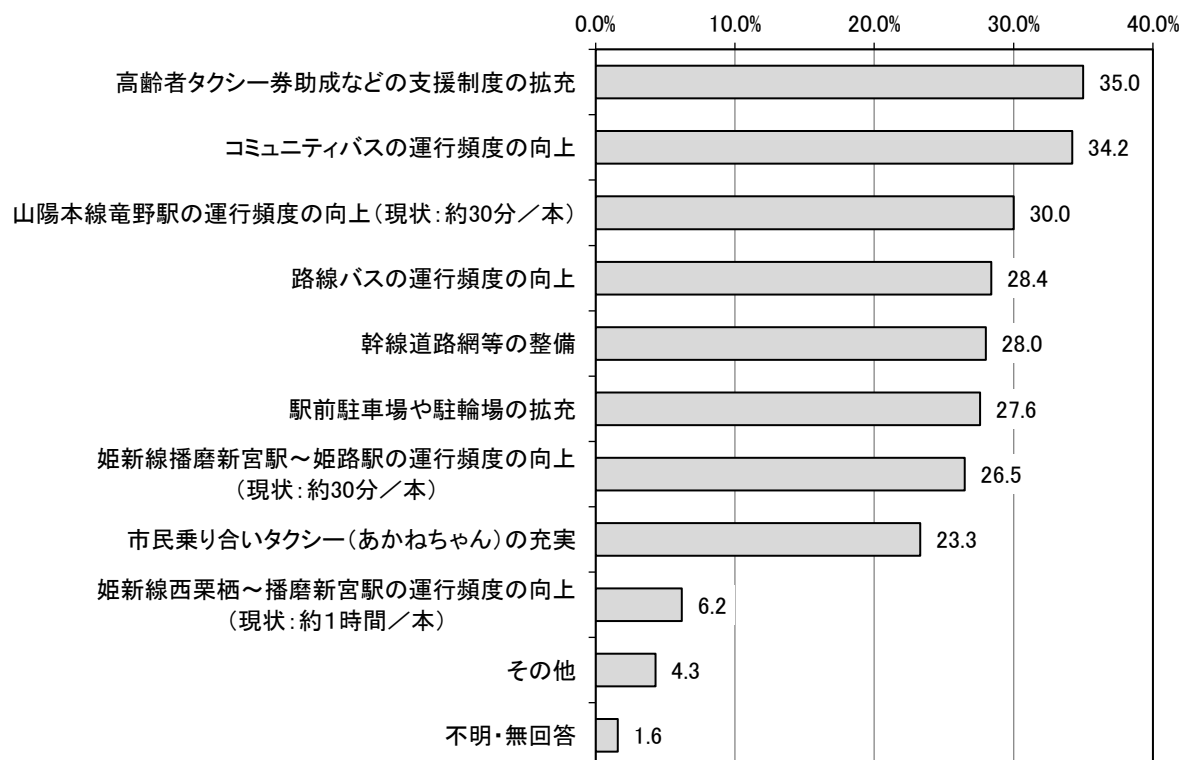
上段:件数、下段:%

※居住基準別は以下の回答者を抽出している

住み続けたい…問 8(2)たつの市に住み続けたい理由で「通勤・通学など、交通環境が便利だから」を回答
転居(転出)したい…問 8(3)転出(転居)先を選ぶ基準で「通勤・通学など、交通環境が便利なところ」を回答

【問 9 市外からの転入に必要な条件で「交通基盤の充実」を回答した方】

N=257



【「道路網の整備、公共交通の充実」の満足度別】

		山陽本線 竜野駅の 運行頻度 の向上 (現状:約 30分/ 本)	姫新線播 磨新宮駅 ～姫路駅 の運行頻 度の向上 (現状:約 30分/ 本)	姫新線西 栗栖～播 磨新宮駅 の運行頻 度の向上 (現状:約 1時間/ 本)	コミュニ ティバス の運行頻 度の向上	路線バス の運行頻 度の向上	駅前駐車 場や駐輪 場の拡充	市民乗 り合いタク シー(あ かねちゃん) の充実	高齢者タ クシー券 助成など の支援制 度の拡充	幹線道路 網等の整 備	その他	不明・無 回答
公共交通の 満足度別	満足(N=50)	9 18.0	13 26.0	4 8.0	10 20.0	6 12.0	15 30.0	14 28.0	13 26.0	16 32.0	3 6.0	3 6.0
	やや満足(N=210)	55 26.2	75 35.7	15 7.1	60 28.6	44 21.0	54 25.7	64 30.5	70 33.3	52 24.8	3 1.4	6 2.9
	普通(N=367)	98 26.7	100 27.2	29 7.9	88 24.0	66 18.0	93 25.3	113 30.8	144 39.2	91 24.8	13 3.5	11 3.0
	やや不満(N=203)	57 28.1	65 32.0	18 8.9	74 36.5	50 24.6	45 22.2	52 25.6	59 29.1	64 31.5	6 3.0	0 0.0
	不満(N=77)	20 26.0	17 22.1	4 5.2	26 33.8	20 26.0	18 23.4	25 32.5	24 31.2	24 31.2	7 9.1	1 1.3

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(交通基盤を充実するために力を入れるべきこと)

交通機関の充実に関して	件数
JR 網干駅までの交通手段の確保、アクセスの改善	3
姫新線の車両を通勤通学時間の間、1 から 2 輦増やす	1
本庁に寄るバスを増やす	1
A I を活用した小型車のオンデマンド運行の実施	1
観光客にもコミュニティバスの使用を促す	1
バスの車両を増やしてほしい	1
予約なしで利用できる路線バス運行	1
市内全域を回るバスが無い	1
御津地区の路線バスが市民病院で昼間止めているのを大浦まで運行してもらいたい	1
渋滞の解消に関して	件数
車が多く混んでおり、働く人のために考えてほしい	1
姫路上郡線の渋滞解消、新大橋右折車線の拡幅	1
姫路上郡線の渋滞を何とかしてほしい	1
駐車・駐輪スペースに関して	件数
駅の駐車場やロータリーの整備	1
本竜野駅西側にも無料の駐輪場を造ってほしい	1
竜野駅近隣にパーキングを増やしてほしい	1
道路の整備に関して	件数
サイクリングロード・ツーリングロード・広域農道等を整備し、車との差別化	1
自転車で通りやすい道を増やす	1
御津町へ通じる道路の充実	1
歩道を車イスで歩けるよう、斜め道を直してほしい	1
その他	件数
交通基盤整備の前に人口増加しておく	1
アニメ聖地への観光	1

JR の駅を御津町に誘致する	1
姫路駅までの新快速、無人駅は飛ばしてほしい	1
最寄り駅が最寄り駅でなく不便	1

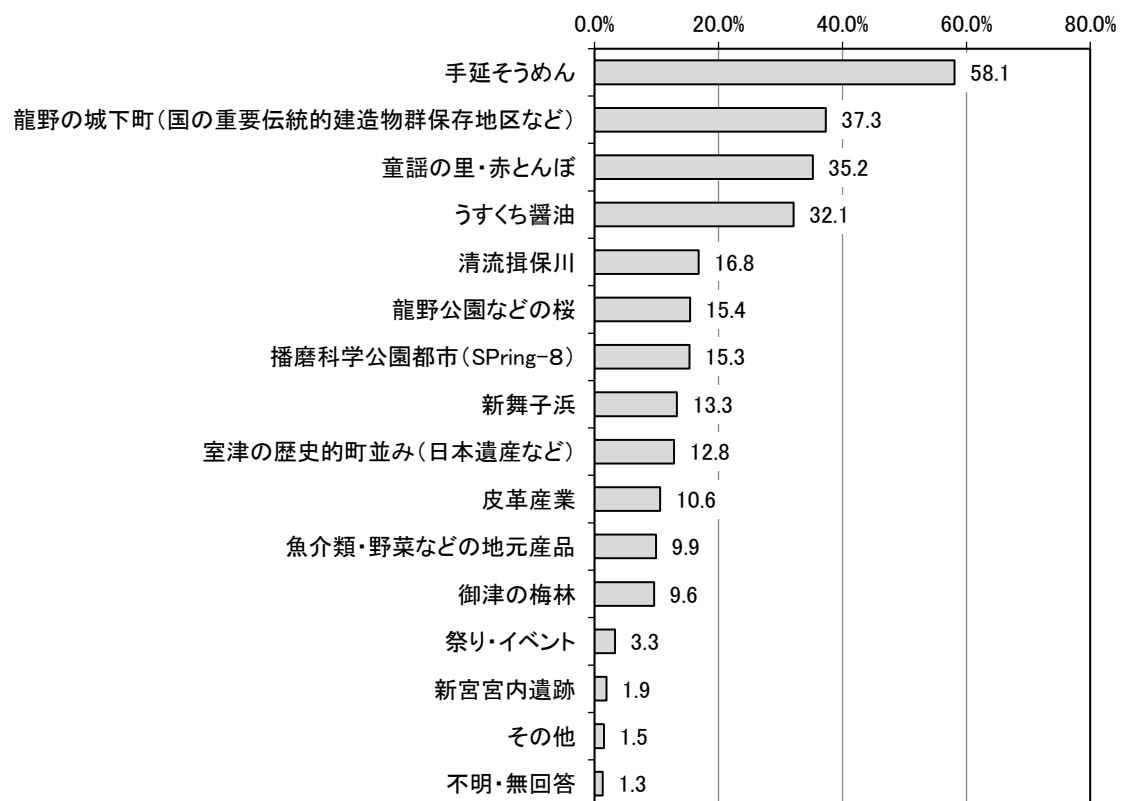
【全般について】

問 19 あなたが「たつのらしさ」を市外にPRするとしたら、次のどれを選びますか。(あてはまるもの3つまでに○)

「たつのらしさ」を市外にPRする際に選ぶものについては、「手延そうめん」が58.1%と最も高く、次いで「龍野の城下町（国の重要伝統的建造物群保存地区など）」が37.3%、「童謡の里・赤とんぼ」が35.2%となっています。

地区別でみると、御津町で「新舞子浜」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		童謡の 里・赤 とんぼ	清流 保川	龍野の 城下町 (国の 重要伝 統的建 造物群 保存地 区など)	室津の 歴史的 町並み (日本 遺産な ど)	新舞子 浜	新宮宮 内遺跡	龍野公 園など の桜	御津の 梅林	手延そ うめん	うすくち 醤油	皮革産 業	播磨科 学公園 都市 (SPrin g-8)	祭り・イ ベント	魚介 類・野 菜など の地元 産品	その他	不明・ 無回答
性別	男性(N=396)	137 34.6	83 21.0	150 37.9	59 14.9	53 13.4	7 1.8	52 13.1	40 10.1	219 55.3	113 28.5	37 9.3	73 18.4	16 4.0	33 8.3	9 2.3	5 1.3
	女性(N=499)	181 36.3	67 13.4	186 37.3	56 11.2	68 13.6	10 2.0	86 17.2	43 8.6	303 60.7	172 34.5	60 12.0	62 12.4	12 2.4	55 11.0	5 1.0	7 1.4
年齢別	18～19歳(N=7)	3 42.9	0 0.0	1 14.3	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 71.4	3 42.9	0 0.0	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	29 36.7	11 13.9	28 35.4	8 10.1	7 8.9	1 1.3	11 13.9	4 5.1	56 70.9	27 34.2	19 24.1	10 12.7	4 5.1	4 5.1	0 0.0	0 0.0
	30～39歳(N=114)	25 21.9	20 17.5	37 32.5	5 4.4	16 14.0	2 1.8	12 10.5	16 14.0	80 70.2	43 37.7	17 14.9	16 14.0	7 6.1	12 10.5	1 0.9	1 0.9
	40～49歳(N=169)	51 30.2	27 16.0	65 38.5	21 12.4	25 14.8	3 1.8	21 12.4	10 5.9	111 65.7	56 33.1	28 16.6	23 13.6	4 2.4	20 11.8	5 3.0	0 0.0
	50～64歳(N=169)	51 30.2	33 19.5	63 37.3	18 10.7	28 16.6	2 1.2	20 11.8	19 11.2	117 69.2	57 33.7	14 8.3	19 11.2	3 1.8	18 10.7	4 2.4	2 1.2
	65～74歳(N=87)	37 42.5	14 16.1	37 42.5	12 13.8	13 14.9	0 0.0	14 16.1	10 11.5	41 47.1	23 26.4	8 9.2	11 12.6	1 1.1	9 10.3	1 1.1	1 1.1
	75歳以上(N=270)	120 44.4	47 17.4	103 38.1	48 17.8	32 11.9	9 3.3	61 22.6	25 9.3	113 41.9	76 28.1	11 4.1	53 19.6	8 3.0	24 8.9	3 1.1	8 3.0
地区別	龍野町(N=219)	81 37.0	33 15.1	94 42.9	23 10.5	16 7.3	2 0.9	49 22.4	14 6.4	129 58.9	89 40.6	28 12.8	27 12.3	5 2.3	17 7.8	5 2.3	0 0.0
	揖保町(N=50)	21 42.0	8 16.0	24 48.0	5 10.0	1 2.0	1 2.0	7 14.0	1 2.0	32 64.0	21 42.0	5 10.0	9 18.0	0 0.0	2 4.0	1 2.0	1 2.0
	神岡町(N=69)	35 50.7	11 15.9	21 30.4	6 8.7	1 1.4	1 1.4	5 7.2	4 5.8	51 73.9	30 43.5	11 15.9	6 8.7	0 0.0	3 4.3	0 0.0	0 0.0
	誉田町(N=38)	17 44.7	5 13.2	14 36.8	4 10.5	3 7.9	1 2.6	12 31.6	0 0.0	24 63.2	11 28.9	4 10.5	4 10.5	3 7.9	4 10.5	0 0.0	0 0.0
	揖西町(N=98)	39 39.8	17 17.3	54 55.1	8 8.2	8 8.2	0 0.0	21 21.4	6 6.1	51 52.0	30 30.6	5 5.1	11 11.2	5 5.1	10 10.2	1 1.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	46 31.1	33 22.3	55 37.2	22 14.9	21 14.2	0 0.0	17 11.5	7 4.7	79 53.4	42 28.4	18 12.2	20 13.5	8 5.4	13 8.8	4 2.7	5 3.4
	御津町(N=129)	25 19.4	11 8.5	24 18.6	39 30.2	64 49.6	0 0.0	9 7.0	41 31.8	56 43.4	26 20.2	10 7.8	15 11.6	3 2.3	29 22.5	1 0.8	2 1.6
	新宮町(N=148)	53 35.8	33 22.3	53 35.8	10 6.8	7 4.7	12 8.1	19 12.8	11 7.4	101 68.2	38 25.7	15 10.1	42 28.4	5 3.4	9 6.1	2 1.4	2 1.4
	20年以上(N=708)	260 36.7	121 17.1	268 37.9	100 14.1	98 13.8	14 2.0	111 15.7	67 9.5	401 56.6	216 30.5	65 9.2	103 14.5	19 2.7	67 9.5	11 1.6	12 1.7
居住年数別	10年以上20年未満(N=100)	37 37.0	17 17.0	39 39.0	10 10.0	9 9.0	2 0.0	13 13.0	8 8.0	63 63.0	37 37.0	13 13.0	19 19.0	7 7.0	6 6.0	2 2.0	0 0.0
	5年以上10年未満(N=39)	8 20.5	4 10.3	14 35.9	3 7.7	4 10.3	0 0.0	8 20.5	4 10.3	25 64.1	10 25.6	11 28.2	6 15.4	2 5.1	7 17.9	0 0.0	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	13 27.1	5 10.4	16 33.3	3 6.3	7 14.6	0 0.0	6 12.5	6 12.5	31 64.6	19 39.6	7 14.6	6 12.5	2 4.2	8 16.7	0 0.0	0 0.0
	1年未満(N=11)	2 18.2	5 45.5	3 27.3	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	3 27.3	7 63.6	6 54.5	1 9.1	2 18.2	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0
	住みやすい(N=235)	96 40.9	43 18.3	104 44.3	41 17.4	39 16.6	5 2.1	42 17.9	25 10.6	119 50.6	69 29.4	32 13.6	24 10.2	7 3.0	21 8.9	4 1.7	2 0.9
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	161 35.4	71 15.6	176 38.7	52 11.4	52 11.4	8 1.8	76 16.7	43 9.5	274 60.2	155 34.1	48 10.5	60 13.2	14 3.1	44 9.7	5 1.1	3 0.7
	どちらともいえない(N=119)	33 27.7	20 16.8	33 27.7	9 7.6	20 16.8	0 0.0	14 11.8	16 13.4	81 68.1	39 32.8	11 9.2	22 18.5	4 3.4	12 10.1	2 1.7	2 1.7
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	16 28.1	12 21.1	20 35.1	9 15.8	9 15.8	4 7.0	3 5.3	4 7.0	27 47.4	17 29.8	4 7.0	18 31.6	4 7.0	5 8.8	2 3.5	1 1.8
	住みにくい(N=25)	9 36.0	3 12.0	6 24.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	3 12.0	0 0.0	16 64.0	4 16.0	1 4.0	6 24.0	1 4.0	4 16.0	0 0.0	1 4.0
	ずっと住み続けたい(N=301)	131 43.5	43 14.3	127 42.2	41 13.6	37 12.3	11 3.7	49 16.3	28 9.3	157 52.2	101 33.6	34 11.3	34 11.3	10 3.3	18 6.0	4 1.3	5 1.7
居住意向別	できれば住み続けたい(N=377)	118 31.3	68 18.0	149 39.5	50 13.3	59 15.6	5 1.3	62 16.4	39 10.3	223 59.2	116 30.8	41 10.9	50 13.3	10 2.7	46 12.2	6 1.6	3 0.8
	どちらともいえない(N=153)	42 27.5	27 17.6	47 30.7	17 11.1	20 13.1	1 0.7	14 9.2	13 8.5	101 66.0	51 33.3	18 11.8	33 21.6	10 6.5	16 10.5	3 2.0	1 0.7
	転出(転居)を考えている(N=27)	9 33.3	4 14.8	9 33.3	5 18.5	2 7.4	0 0.0	4 14.8	3 11.1	15 55.6	8 29.6	2 7.4	8 29.6	0 0.0	1 3.7	1 3.7	0 0.0
	転出(転居)を予定している(N=11)	4 36.4	4 36.4	4 36.4	1 9.1	3 27.3	0 0.0	2 18.2	2 18.2	6 54.5	3 27.3	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	14 37.8	7 18.9	4 10.8	3 8.1	0 0.0	0 0.0	7 18.9	3 8.1	26 70.3	10 27.0	1 2.7	10 27.0	0 0.0	7 18.9	0 0.0	2 5.4

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容(「たつのらしさ」を市外にPRする際に選ぶもの)

たつのらしさ	件数
野見宿禰の活用	1
亀ノ山周辺道の山陽自然歩道	1
梅公園頂上にある施設を活かす	1
海と山両方を楽しめるイベント	1
キャンプ場の整備	1
カントリーライフの受け入れ	1
農業と教育を組みこむ	1
皮革産業は国内外に売り込み、レザーをブランド化する	1
伝統建造保存地区と絡ませ、秋の聚遠亭や龍野公園に桜や紅葉を増しPRする	1
私が暮らしている城下町では、古民家を活用したレストランなどが数多くある。それらの店をPRしてみてもどうか	1
室津の夕日	1
オータムフェスティバル	1
紅葉	1
素麺と醤油ばかりに頼っては駄目	1
山電の延長	1

■選択肢「祭り・イベント」の具体的内容

具体例	件数
オータムフェスティバル	4
桜まつり	2
春にテクノポリスで行われているイベント	1
たつのが花火大会の規模を大きくする	1
バス釣りイベント	1

【行財政改革について】

問 20 将来に向けて限られた財源の中で、今の行政サービスを維持していくために、重点的に取り組む必要があると思うものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまでに○)

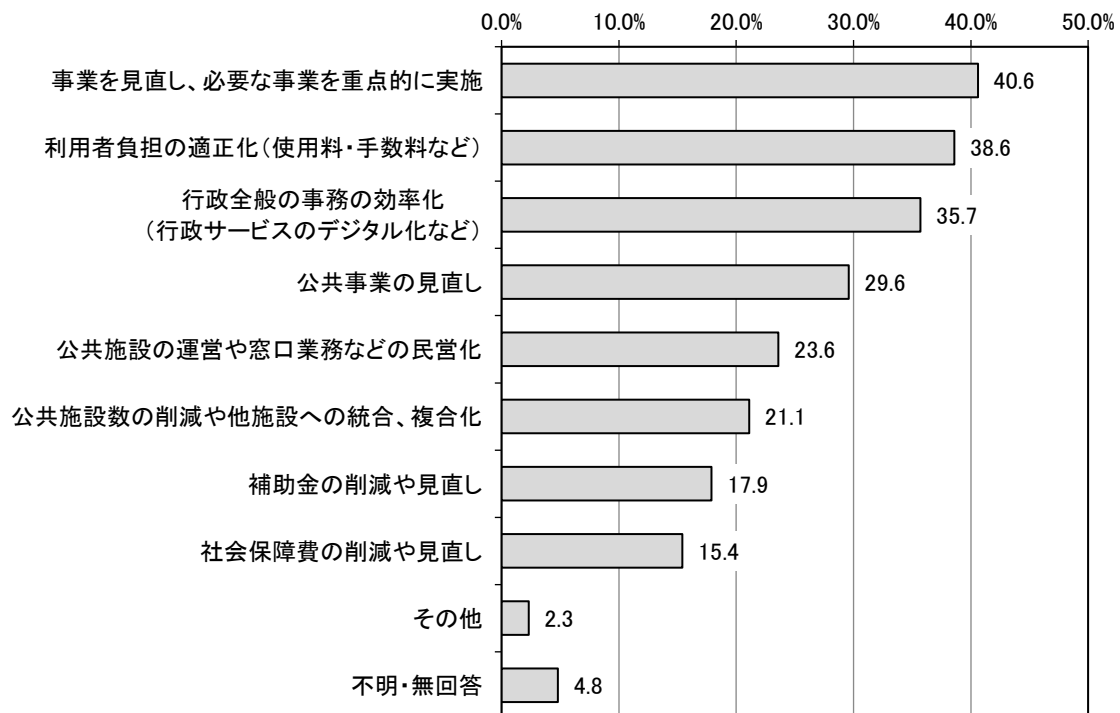
今の行政サービスを維持するために重点的に取り組む必要があると思うものについては、「事業を見直し、必要な事業を重点的に実施」が40.6%と最も高く、次いで「利用者負担の適正化（使用料・手数料など）」が38.6%、「行政全般の事務の効率化（行政サービスのデジタル化など）」が35.7%となっています。

地区別でみると、誉田町で「公共施設数の削減や他施設への統合、複合化」が高くなっています。

居住意向別でみると、転出（転居）を考えているで「公共事業の見直し」が高くなっています。

「持続可能な行財政運営の推進」の満足度別でみると、満足で「公共施設の運営や窓口業務などの民営化」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		利用者負担の適正化(使用料・手数料など)	行政全般の事務の効率化(行政サービスのデジタル化など)	事業を見直し、必要な事業を重点的に実施	補助金の削減や見直し	社会保障費の削減や見直し	公共事業の見直し	公共施設数の削減や他施設への統合、複合化	公共施設の運営や窓口業務などの民営化	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	154 38.9	169 42.7	158 39.9	64 16.2	65 16.4	125 31.6	98 24.7	98 24.7	10 2.5	15 3.8
	女性(N=499)	190 38.1	152 30.5	210 42.1	96 19.2	71 14.2	141 28.3	92 18.4	116 23.2	9 1.8	26 5.2
年齢別	18～19歳(N=7)	2 28.6	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	3 42.9	2 28.6	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	35 44.3	36 45.6	32 40.5	14 17.7	16 20.3	21 26.6	12 15.2	13 16.5	1 1.3	2 2.5
	30～39歳(N=114)	44 38.6	45 39.5	47 41.2	14 12.3	28 24.6	31 27.2	22 19.3	36 31.6	2 1.8	3 2.6
	40～49歳(N=169)	63 37.3	70 41.4	66 39.1	24 14.2	26 15.4	50 29.6	31 18.3	44 26.0	6 3.6	2 1.2
	50～64歳(N=169)	63 37.3	61 36.1	72 42.6	25 14.8	20 11.8	63 37.3	36 21.3	38 22.5	5 3.0	1 0.6
	65～74歳(N=87)	26 29.9	32 36.8	40 46.0	15 17.2	7 8.0	30 34.5	19 21.8	16 18.4	2 2.3	7 8.0
	75歳以上(N=270)	113 41.9	76 28.1	109 40.4	66 24.4	36 13.3	68 25.2	66 24.4	67 24.8	4 1.5	25 9.3
地区別	龍野町(N=219)	95 43.4	73 33.3	82 37.4	43 19.6	35 16.0	62 28.3	43 19.6	55 25.1	3 1.4	5 2.3
	揖保町(N=50)	21 42.0	18 36.0	17 34.0	4 8.0	6 12.0	13 26.0	12 24.0	15 30.0	2 4.0	3 6.0
	神岡町(N=69)	24 34.8	25 36.2	30 43.5	16 23.2	13 18.8	21 30.4	13 18.8	14 20.3	3 4.3	2 2.9
	誉田町(N=38)	15 39.5	13 34.2	14 36.8	4 10.5	6 15.8	13 34.2	14 36.8	6 15.8	1 2.6	2 5.3
	揖西町(N=98)	46 46.9	39 39.8	48 49.0	19 19.4	11 11.2	19 19.4	26 26.5	25 25.5	1 1.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	52 35.1	49 33.1	60 40.5	23 15.5	22 14.9	48 32.4	27 18.2	42 28.4	4 2.7	9 6.1
	御津町(N=129)	49 38.0	49 38.0	56 43.4	23 17.8	18 14.0	42 32.6	28 21.7	27 20.9	2 1.6	5 3.9
	新宮町(N=148)	46 31.1	54 36.5	62 41.9	30 20.3	25 16.9	48 32.4	27 18.2	30 20.3	4 2.7	14 9.5
居住年数別	20年以上(N=708)	274 38.7	246 34.7	297 41.9	131 18.5	101 14.3	211 29.8	157 22.2	166 23.4	15 2.1	38 5.4
	10年以上20年未満(N=100)	37 37.0	40 40.0	35 35.0	22 22.0	15 15.0	28 28.0	20 20.0	30 30.0	2 2.0	1 1.0
	5年以上10年未満(N=39)	10 25.6	19 48.7	16 41.0	6 15.4	5 12.8	13 33.3	6 15.4	9 23.1	2 5.1	1 2.6
	1年以上5年未満(N=48)	24 50.0	16 33.3	18 37.5	3 6.3	11 22.9	13 27.1	8 16.7	8 16.7	1 2.1	2 4.2
	1年未満(N=11)	5 45.5	3 27.3	5 45.5	0 0.0	4 36.4	2 18.2	2 18.2	2 18.2	0 0.0	1 9.1
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	104 44.3	78 33.2	93 39.6	50 21.3	41 17.4	57 24.3	41 17.4	51 21.7	4 1.7	12 5.1
	まあまあ住みやすい(N=455)	180 39.6	181 39.8	199 43.7	66 14.5	54 11.9	138 30.3	104 22.9	108 23.7	6 1.3	14 3.1
	どちらともいえない(N=119)	38 31.9	39 32.8	44 37.0	27 22.7	26 21.8	39 32.8	26 21.8	31 26.1	3 2.5	7 5.9
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	18 31.6	20 35.1	23 40.4	8 14.0	12 21.1	21 36.8	14 24.6	13 22.8	3 5.3	3 5.3
	住みにくい(N=25)	6 24.0	5 20.0	3 12.0	7 28.0	4 16.0	9 36.0	3 12.0	10 40.0	3 12.0	3 12.0
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	130 43.2	101 33.6	119 39.5	53 17.6	46 15.3	80 26.6	53 17.6	65 21.6	2 0.7	14 4.7
	できれば住み続けたい(N=377)	147 39.0	151 40.1	165 43.8	63 16.7	53 14.1	112 29.7	95 25.2	91 24.1	8 2.1	16 4.2
	どちらともいえない(N=153)	50 32.7	51 33.3	61 39.9	32 20.9	27 17.6	51 33.3	31 20.3	42 27.5	3 2.0	4 2.6
	転出(転居)を考えている(N=27)	8 29.6	11 40.7	8 29.6	2 7.4	2 7.4	14 51.9	3 11.1	8 29.6	4 14.8	2 7.4
	転出(転居)を予定している(N=11)	5 45.5	4 36.4	3 27.3	4 36.4	3 27.3	3 27.3	3 27.3	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	10 27.0	7 18.9	15 40.5	8 21.6	7 18.9	9 24.3	7 18.9	9 24.3	4 10.8	4 10.8

上段: 件数、下段: %

【「持続可能な行財政運営の推進」の満足度別】

		利用者負担の適正化(使用料・手数料など)	行政全般の事務の効率化(行政サービスのデジタル化など)	事業を見直し、必要な事業を重点的に実施	補助金の削減や見直し	社会保障費の削減や見直し	公共事業の見直し	公共施設数の削減や他施設への統合、複合化	公共施設の運営や窓口業務などの民営化	その他	不明・無回答
満足度別	満足(N=13)	7 53.8	4 30.8	3 23.1	2 15.4	1 7.7	2 15.4	1 7.7	7 53.8	1 7.7	0 0.0
	やや満足(N=76)	30 39.5	33 43.4	37 48.7	16 21.1	13 17.1	21 27.6	15 19.7	20 26.3	0 0.0	2 2.6
	普通(N=605)	244 40.3	207 34.2	245 40.5	108 17.9	92 15.2	188 31.1	122 20.2	125 20.7	8 1.3	27 4.5
	やや不満(N=160)	53 33.1	69 43.1	69 43.1	25 15.6	22 13.8	51 31.9	43 26.9	51 31.9	6 3.8	6 3.8
	不満(N=24)	6 25.0	9 37.5	6 25.0	1 4.2	6 25.0	4 16.7	3 12.5	9 37.5	4 16.7	2 8.3

上段:件数、下段:%

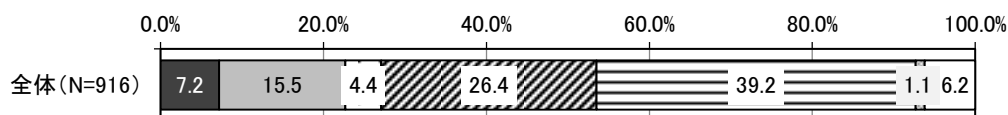
■その他の回答内容(今の行政サービスを維持するために重点的に取り組む必要があると思うもの)

庁内の体制・施設に関して	件数
公務員・議員の給与、ボーナスを抑制	4
職員の適正配置が必要	1
市の窓口業務を地方独立行政法人化し、職員を他部署に配置する	1
職員のスキルアップ	1
職員数の削減	1
合併のため重複している施設の整理	1
人口増に向けた取組に関して	件数
転入者への補助や人口を増やす取組	1
家計の負担を減らす等の人口を増やす取組	1
出産・育児助成制度を手厚くしてほしい	1
その他	件数
デジタル化など高齢者が暮らしにくくなる取組は違うと思う	2
5年、10年を見据えた計画性	1
高齢者の就労環境整備	1
全て削減を基としていることに疑問	1
市民負担を多くしている	1
安易な方法での財源確保は反対	1
ひきこもりが働きやすい環境づくり	1
2040年ごろの団塊の世代の消失	1

問 21 今後の行政サービスの水準と費用負担について、あなたの考えに一番近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

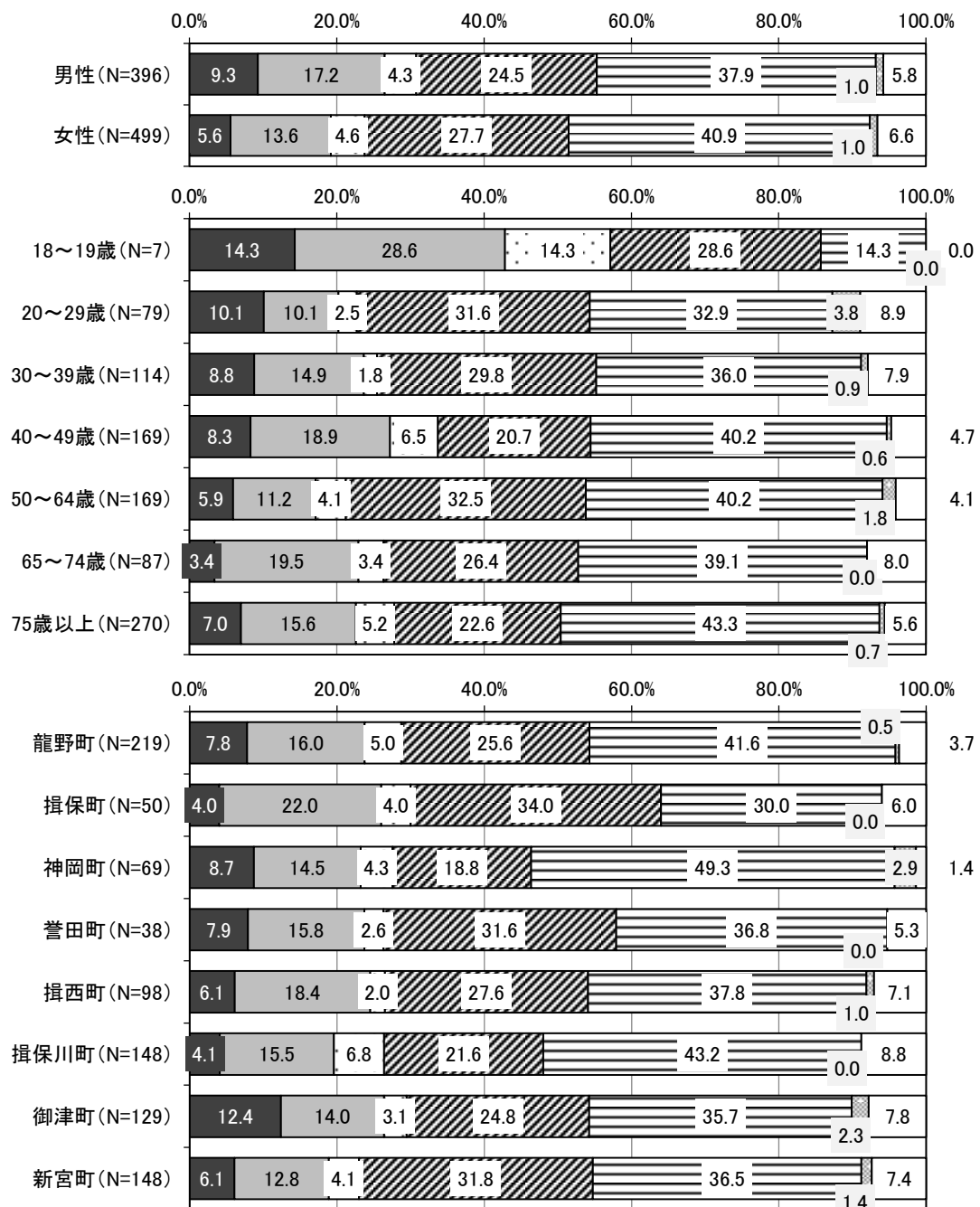
今後の行政サービスの水準と費用負担に対する考えについては、「市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、類似施設の整理や民間事業者による公共施設の運営など、効率的に運営すべき」が39.2%と最も高く、次いで「市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、コンビニ・郵便局での証明書発行の拡大や近隣市町との共同事務処理など、組織を見直すべき」が26.4%、「行政サービスの水準を維持させるためには、そのサービスを直接受けている利用者だけ負担を増やす（または受益を減らす）ことが望ましく、市民全体の負担を増やすべきではない」が15.5%となっています。

居住年数別でみると、居住年数が長いほど「行政サービスの水準を維持させるためには、そのサービスを直接受けている利用者だけ負担を増やす（または受益を減らす）ことが望ましく、市民全体の負担を増やすべきではない」が高くなっています。



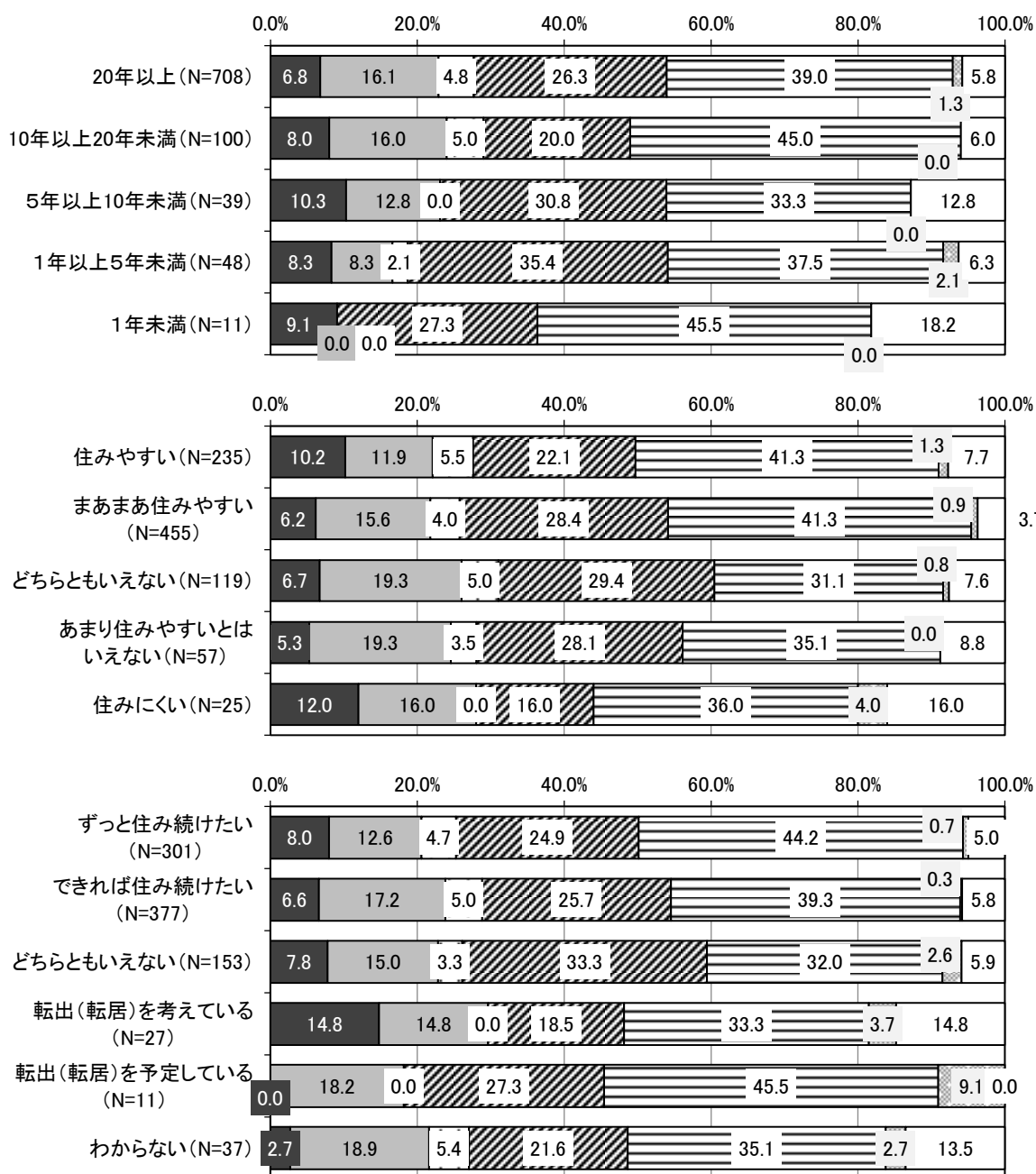
- ☒ 行政サービスの水準を維持・充実させるためには、市民全体の負担が増えてもやむを得ない
- ☐ 行政サービスの水準を維持させるためには、そのサービスを直接受けている利用者だけ負担を増やす（または受益を減らす）ことが望ましく、市民全体の負担を増やすべきではない
- ☐ 市民の負担が増えるなら、ある程度の行政サービスの水準は維持できなくてもやむを得ない
- ☒ 市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、コンビニ・郵便局での証明書発行の拡大や近隣市町との共同事務処理など、組織を見直すべき
- ☐ 市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、類似施設の整理や民間事業者による公共施設の運営など、効率的に運営すべき
- ☒ その他
- ☐ 不明・無回答

【性別、年齢別、地区別】



- ☒ 行政サービスの水準を維持・充実させるためには、市民全体の負担が増えてもやむを得ない
- ☐ 行政サービスの水準を維持させるためには、そのサービスを直接受けている利用者だけ負担を増やす（または受益を減らす）ことが望ましく、市民全体の負担を増やすべきではない
- ☐ 市民の負担が増えるなら、ある程度の行政サービスの水準は維持できなくてもやむを得ない
- ☒ 市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、コンビニ・郵便局での証明書発行の拡大や近隣市町との共同事務処理など、組織を見直すべき
- ☐ 市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、類似施設の整理や民間事業者による公共施設の運営など、効率的に運営すべき
- ☐ その他
- ☐ 不明・無回答

【居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】



■ 行政サービスの水準を維持・充実させるためには、市民全体の負担が増えてもやむを得ない

□ 行政サービスの水準を維持させるためには、そのサービスを直接受けている利用者だけ負担を増やす(または受益を減らす)ことが望ましく、市民全体の負担を増やすべきではない

□ 市民の負担が増えるなら、ある程度の行政サービスの水準は維持できなくてもやむを得ない

☑ 市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、コンビニ・郵便局での証明書発行の拡大や近隣市町との共同事務処理など、組織を見直すべき

☐ 市民全体の負担を増やすことなく行政サービスを維持させていくために、類似施設の整理や民間事業者による公共施設の運営など、効率的に運営すべき

■ その他

□ 不明・無回答

■その他の回答内容(今後の行政サービスの水準と費用負担に対する考え)

行政サービスの見直しに関して	件数
行政サービスのやり方に無駄がある	2
痛みを感じる行政がなされていない	1
若い世代が本当に負担すべきなのかをしっかり検討すべき	1
立場ある人がもらい過ぎている報酬を削り、無駄な経費を見直す	1
コンビニ・郵便局での証明書発行の拡大や近隣市町との共同事務処理など組織の見直しを進めた上でなお必要であれば、市民全体の負担を増やすことはやむを得ない	1
現在の行政サービスの必要性を精査、見直しを図り、広域連携なども検討する	1
その他	件数
負担は増えても、生活する上で助かっていると思うことがない	1
職員の給料を下げる	1

問 22 今後の行政サービスについてのご意見を自由に記入してください(自由記述)

今後の行政サービスについてのご意見についてみると、「運営・サービス内容について」が 18 件と最も多く、次いで「職員の対応等について」が 10 件、「手続き・料金等について」が 7 件となっています。

回答内容	件数
運営・サービス内容について	18
職員の対応等について	10
手続き・料金等について	7
窓口・情報提供について	6
交通について	6
支援について	5
その他	10
合計	62

内容
運営・サービス内容について
民営化した方が充実することが多い
まずは人口を増やす。出産＋転入。そのための政策は、あなた方が考えるべき
① 老朽化した施設等の廃止や統合、用途の転換を行い、経費を減らすべき
② 生涯学習プログラムの充実。住民が利用できる運動・スポーツ施設の充実
③ 子育て、医療に関する助成金の充実
④ 子どもから高齢者まで、住みやすい街にしたい

ゴミの分別をしているが、焼き場では混ぜて焼くと聞く。わざわざ別にするのはパフォーマンスなのか？資源ごみの立ち当番をいつまでするのか疑問！！
税金を大切に使用してほしい
① 人を少なくして仕事を増やしたり、人事で人を縛ることはいけない ② 何故ワクチンに資金を廻さないのか ③ 科学の基礎・日本の成り立ちの基礎・日本語の特殊性の基礎・漢字の基礎、英会話を学ぶべき
現代貨幣理論（MMT）によると、過度なインフレにならない限り貨幣の供給量を増やせることなので、政府に支援を要請すべき
効率的に運営すべき
行政サービスにおいて、民営店で可能なことは任せ、公務員数を減らす。税金額を減らす工夫が必要である
国の財政同様、市民全体の義務として考えるべき
居住年数が長ければ減らしたり、土地の値段を下げたりすれば人は来ると思う
龍野図書館運営を民間に委託できないか。サービス内容の改善や効率化、コスト削減を図ることができる。また地域コミュニティの拠点として有効活用できる
公共施設の有効利用を考え、無駄な人員を減らす
産婦人科や小児科を増やしてほしい。産前産後に母子が通ったり宿泊できる施設がほしい
一市三町のたつの市は、偏った行政になっている。交通環境が優れている揖保川町の発展が一番遅れている
揖保川庁舎の空きスペースを有効利用すべき
民間で出来る事は、民間に任せて、行政サービスの、スリム化を図る
公共施設の統廃合や民間活力の導入を進める
職員の対応等について
対応が人によって違い過ぎる。市民に対して平等に思いやりをもって対応すべきだ
職員は、その道のプロであってほしい
公民館の職員数が多いと感じる。仕事内容について見直し、削減はできないものか
気が緩んでいる職員が多い。仕事ができない人を何故採用するのか。人材を選ぶべき
① 財源確保が大きな課題 ② 仕事をしていると感じる職員が少ない。人員削減は可能である
職員は市民に親切心を持ち対応してほしい。相談等の際も、市民目線で対応してほしい
教員の資質評価による教育レベルの通常化と、継続的に向上できる仕組みを希望する。少子高齢化が進む将来を支える若者の足を引っ張る人間が育成されている現状に不満がある
職員の対応の悪さと受付時間の見直し
市役所の待ち時間が長く、職員は偉そう
新しい庁舎になって一回だけ利用したことがありますが、案内が手厚くなった気がします
手続き・料金等について
使用料・手数料の見直しは、是非考えていただきたい
マイナカードを有効活用すべき

デジタル化が進む中、付いて行けない人が出てくることが予測され、アナログ対応も残しておく必要がある
窓口業務は市民が尋ねやすいよう対応してほしい。細かい案内が無く、慣れていない書類の提出や相談に行きにくい。高齢者が行きやすい雰囲気を作してほしい
マイナンバー制度を充実させて紙媒体を減らす。ネットで全て完結できるようにしてほしい。市役所は能力向上の施設等にしてもらいたい
オンラインで手続きできること
オンライン化のメリット・デメリットを考慮した、各年代への取り組み方を議論する
窓口・情報提供について
行政サービスは若者にもわかるように周知してほしい
平日に窓口に行くことは難しく、土日曜日に窓口があれば助かる
隔週でよいので、市役所窓口を開けてほしい
平日のみの営業なので利用が困難
宍粟市が行っている GIS データ開示サービスをしてほしい
行政サービスは、誰でもわかりやすく利用しやすいようにしてほしい
交通について
病院に通いやすいように、乗合タクシーを使いやすくしてほしい。行きのみ利用できても、帰りの時間は変更できず、タクシー利用しなければ帰れなくなる人が多くいる。コミュニティバスも本数を増やし、同時に運行してほしい
コミュニティバスや乗合タクシーの運行は、利用しやすいように考えてほしい
あかねちゃんバスは簡単に利用できるようにする必要がある
老人タクシー券を縮小し、その分「あかねちゃん」を充実する
以前のように、市内を回るバスの運行を望む
JR 山陽本線「竜野駅」の再開発が大事
支援について
積極的なひきこもり対策、相談窓口、居場所、ひきこもり経験者の活用
高齢者や子育て世代への補助を見直す
正直者が馬鹿を見る世の中であってはならない。困っていなくても補助を受けている人、困っているのに辛抱している人もいる。所得があっても申告しない、高収入なのに補助を受けている人もいる。本当にちゃんと調べているのか疑問である
助成制度では無料をアピールしているものもあるが、もとは市民の税金である。支払い能力がある人には助成する必要はない
出産や育児に関して、力を入れてほしい。子どもを増やす努力をする
その他
小宅地区のみ活性化されており、他の地区は衰退する感がある
車椅子は片づけるのは難しい
今後はひとり親家庭や結婚という形に捉われない男女の関係が増え、そのような家庭事情の中で産まれてくる子どもも増える

約 20 年後、多くの年金生活者がここで長い時間を過ごすことになる。生産年齢人口のみでの負担は不可能で、高齢者にも生産や行政参画も求められることとなる。健康寿命を延ばす生活へ、一人ひとりが意識することが必要

市の予算や決済を知らないので、わからない

障害者を理解する

市民の負担が増えないように頑張してほしい

簡略してスピードを上げる

若い人達に魅力を感じて来てもらえる「たつの市」になってほしい

大変だとは思いますが、頑張ってください

【今後の社会について】

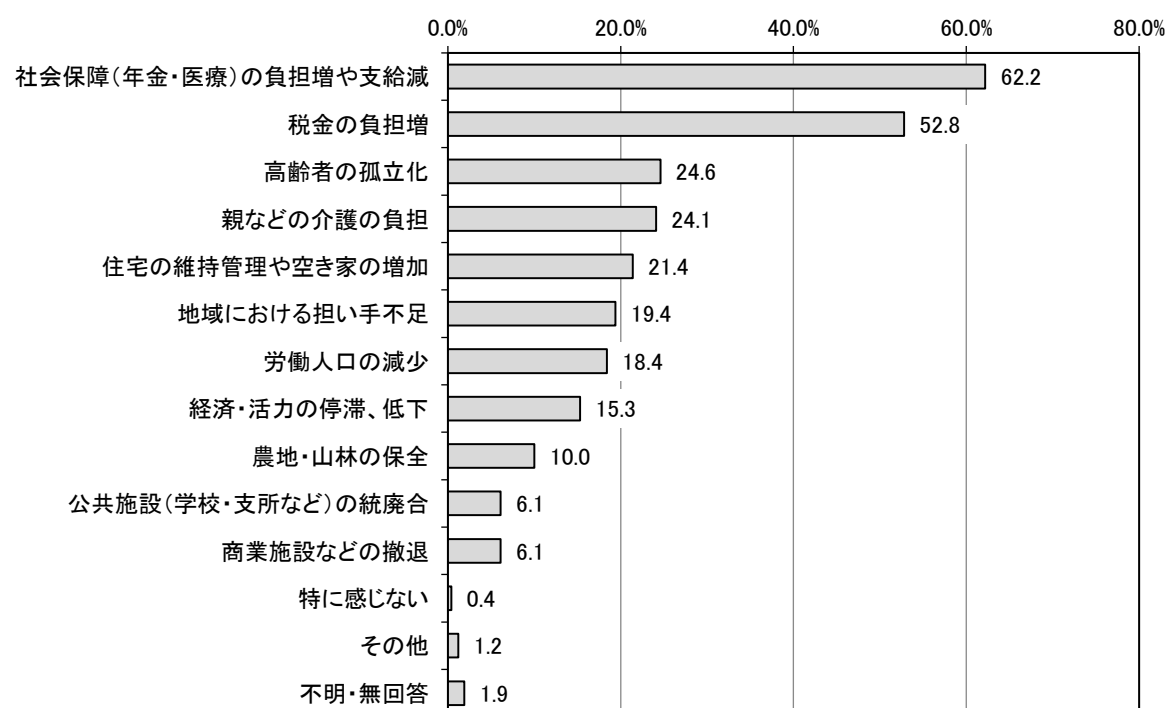
問 23 これからの暮らしにおいて、あなたが不安であると感じていることはどんなことですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

これからの暮らしにおける不安については、「社会保障(年金・医療)の負担増や支給減」が 62.2%と最も高く、次いで「税金の負担増」が 52.8%、「高齢者の孤立化」が 24.6%となっています。

年齢別でみると、20 歳以上では概ね年齢が上がるにつれて「税金の負担増」が低く、「高齢者の孤立化」「地域における担い手不足」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		労働人口の減少	税金の負担増	社会保障(年金・医療)の負担増や支給減	高齢者の孤立化	親などの介護の負担	経済・活力の停滞、低下	地域における担い手不足	農地・山林の保全	住宅の維持管理や空き家の増加	公共施設(学校・支所など)の統廃合	商業施設などの撤退	特に感じない	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	93	198	232	89	93	74	84	50	80	30	34	1	8	9
		23.5	50.0	58.6	22.5	23.5	18.7	21.2	12.6	20.2	7.6	8.6	0.3	2.0	2.3
	女性(N=499)	73	274	327	132	120	65	91	40	111	26	22	3	3	7
		14.6	54.9	65.5	26.5	24.0	13.0	18.2	8.0	22.2	5.2	4.4	0.6	0.6	1.4
年齢別	18～19歳(N=7)	5	4	4	0	2	1	0	0	0	1	2	0	0	0
		71.4	57.1	57.1	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(N=79)	9	56	47	14	22	16	9	1	14	10	9	1	2	1
		11.4	70.9	59.5	17.7	27.8	20.3	11.4	1.3	17.7	12.7	11.4	1.3	2.5	1.3
	30～39歳(N=114)	19	71	65	16	43	18	13	7	16	13	12	0	1	0
		16.7	62.3	57.0	14.0	37.7	15.8	11.4	6.1	14.0	11.4	10.5	0.0	0.9	0.0
	40～49歳(N=169)	31	103	104	34	68	26	21	8	23	7	15	0	3	2
		18.3	60.9	61.5	20.1	40.2	15.4	12.4	4.7	13.6	4.1	8.9	0.0	1.8	1.2
	50～64歳(N=169)	30	90	105	48	51	21	37	17	41	5	6	0	3	3
		17.8	53.3	62.1	28.4	30.2	12.4	21.9	10.1	24.3	3.0	3.6	0.0	1.8	1.8
地区別	65～74歳(N=87)	16	45	53	25	8	13	22	13	23	3	3	0	1	2
		18.4	51.7	60.9	28.7	9.2	14.9	25.3	14.9	26.4	3.4	3.4	0.0	1.1	2.3
	75歳以上(N=270)	54	101	178	85	18	44	75	45	75	16	9	3	1	8
		20.0	37.4	65.9	31.5	6.7	16.3	27.8	16.7	27.8	5.9	3.3	1.1	0.4	3.0
	龍野町(N=219)	40	119	143	51	50	43	31	10	43	9	15	1	4	3
		18.3	54.3	65.3	23.3	22.8	19.6	14.2	4.6	19.6	4.1	6.8	0.5	1.8	1.4
	揖保町(N=50)	12	25	32	17	9	5	8	6	9	2	0	0	0	2
		24.0	50.0	64.0	34.0	18.0	10.0	16.0	12.0	18.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	神岡町(N=69)	11	44	45	17	16	8	17	8	12	1	6	0	0	1
		15.9	63.8	65.2	24.6	23.2	11.6	24.6	11.6	17.4	1.4	8.7	0.0	0.0	1.4
居住年数別	菅田町(N=38)	10	18	19	8	10	9	10	6	7	0	2	0	0	2
		26.3	47.4	50.0	21.1	26.3	23.7	26.3	15.8	18.4	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3
	揖保川町(N=148)	16	46	61	24	24	18	30	16	22	2	5	0	1	2
		16.3	46.9	62.2	24.5	24.5	18.4	30.6	16.3	22.4	2.0	5.1	0.0	1.0	2.0
	御津町(N=129)	28	74	94	33	39	22	26	9	31	14	8	2	3	3
		18.9	50.0	63.5	22.3	26.4	14.9	17.6	6.1	20.9	9.5	5.4	1.4	2.0	2.0
	新宮町(N=148)	26	65	75	34	31	19	28	11	31	8	9	0	1	1
		20.2	50.4	58.1	26.4	24.0	14.7	21.7	8.5	24.0	6.2	7.0	0.0	0.8	0.8
		25	82	90	37	35	14	26	23	38	20	10	1	2	2
		16.9	55.4	60.8	25.0	23.6	9.5	17.6	15.5	25.7	13.5	6.8	0.7	1.4	1.4
住みやすさ別	20年以上(N=708)	128	363	443	195	155	93	154	84	161	44	32	3	6	17
		18.1	51.3	62.6	27.5	21.9	13.1	21.8	11.9	22.7	6.2	4.5	0.4	0.8	2.4
	10年以上20年未満(N=100)	23	58	65	15	36	27	9	2	21	3	12	0	1	0
		23.0	58.0	65.0	15.0	36.0	27.0	9.0	2.0	21.0	3.0	12.0	0.0	1.0	0.0
	5年以上10年未満(N=39)	8	21	24	6	13	6	4	2	6	2	5	0	0	0
		20.5	53.8	61.5	15.4	33.3	15.4	10.3	5.1	15.4	5.1	12.8	0.0	0.0	0.0
居住意向別	1年以上5年未満(N=48)	8	32	28	4	10	10	5	2	6	6	7	1	2	0
		16.7	66.7	58.3	8.3	20.8	20.8	10.4	4.2	12.5	12.5	14.6	2.1	4.2	0.0
	1年未満(N=11)	1	5	4	3	2	3	4	1	0	1	0	0	1	0
		9.1	45.5	36.4	27.3	18.2	27.3	36.4	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	住みやすい(N=235)	48	120	142	59	50	35	54	20	60	15	9	2	1	5
		20.4	51.1	60.4	25.1	21.3	14.9	23.0	8.5	25.5	6.4	3.8	0.9	0.4	2.1
居住意向別	まあまあ住みやすい(N=455)	81	235	285	121	121	79	81	44	90	29	29	1	5	5
		17.8	51.6	62.6	26.6	26.6	17.4	17.8	9.7	19.8	6.4	6.4	0.2	1.1	1.1
	どちらともいえない(N=119)	21	77	78	22	31	14	24	14	18	7	9	0	3	1
		17.6	64.7	65.5	18.5	26.1	11.8	20.2	11.8	15.1	5.9	7.6	0.0	2.5	0.8
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	15	24	36	13	8	8	11	8	15	2	4	0	1	2
		26.3	42.1	63.2	22.8	14.0	14.0	19.3	14.0	26.3	3.5	7.0	0.0	1.8	3.5
居住意向別	住みにくい(N=25)	3	15	14	8	4	0	3	3	6	3	3	0	1	1
		12.0	60.0	56.0	32.0	16.0	0.0	12.0	12.0	24.0	12.0	12.0	0.0	4.0	4.0
	ずっと住み続けたい(N=301)	59	143	180	83	53	44	66	35	77	18	15	3	3	5
		19.6	47.5	59.8	27.6	17.6	14.6	21.9	11.6	25.6	6.0	5.0	1.0	1.0	1.7
	できれば住み続けたい(N=377)	78	197	234	95	99	70	77	41	71	23	20	0	4	6
		20.7	52.3	62.1	25.2	26.3	18.6	20.4	10.9	18.8	6.1	5.3	0.0	1.1	1.6
居住意向別	どちらともいえない(N=153)	19	94	102	29	44	19	25	10	29	11	16	0	3	2
		12.4	61.4	66.7	19.0	28.8	12.4	16.3	6.5	19.0	7.2	10.5	0.0	2.0	1.3
	転出(転居)を考えている(N=27)	6	16	17	5	3	3	6	1	7	2	1	0	1	1
		22.2	59.3	63.0	18.5	11.1	11.1	22.2	3.7	25.9	7.4	3.7	0.0	3.7	3.7
	転出(転居)を予定している(N=11)	2	7	6	3	3	1	0	1	1	2	1	1	0	0
		18.2	63.6	54.5	27.3	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0
居住意向別	わからない(N=37)	5	24	26	7	15	2	1	3	8	0	3	0	0	2
		13.5	64.9	70.3	18.9	40.5	5.4	2.7	8.1	21.6	0.0	8.1	0.0	0.0	5.4

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(これからの暮らしにおける不安)

回答	件数
ひきこもり対策が実質全くされていないこと	1
耕作放棄地の管理	1
若者の都会への流出	1
子どもが結婚できない	1
優れた人物の減少	1
過疎化の地域差と、学区の割り振り	1
揖保川流域の水害	1
医療と介護の負担や施設の充実	1

【将来像について】

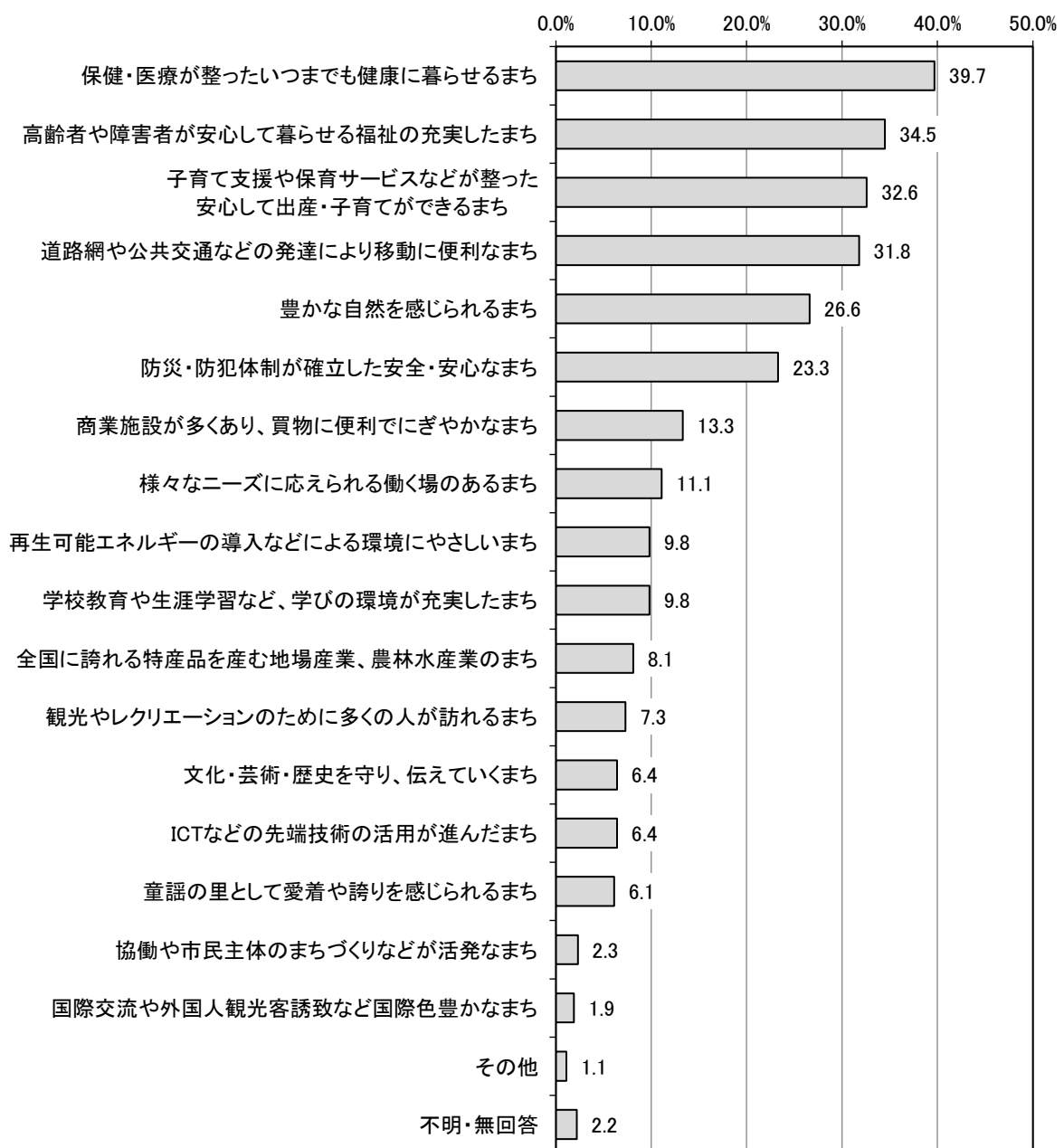
問 24 あなたは、たつの市が将来どのようなまちになってほしいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

たつの市が将来どのようなまちになってほしいかについては、「保健・医療が整ったいつまでも健康に暮らせるまち」が39.7%と最も高く、次いで「高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉の充実したまち」が34.5%、「子育て支援や保育サービスなどが整った安心して出産・子育てができるまち」が32.6%となっています。

年齢別でみると、20～39歳で「子育て支援や保育サービスなどが整った安心して出産・子育てができるまち」が高くなっています。

地区別でみると、御津町で「豊かな自然を感じられるまち」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別】

		豊かな自然を感じられるまち	再生可能エネルギーの導入などによる環境にやさしいまち	道路網や公共交通などの発達により移動に便利なまち	防災・防犯体制が確立した安全・安心なまち	子育て支援や保育サービスなどが整った安心して出産・子育てができるまち	高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉の充実したまち	保健・医療が整ったいつでも健康に暮らせるまち	学校教育や生涯学習など、学びの環境が充実したまち	文化・芸術・歴史を守り、伝えていくまち	全国に誇れる特産品を産む地場産業、農林水産業のまち
性別	男性(N=396)	107 27.0	51 12.9	129 32.6	88 22.2	131 33.1	118 29.8	139 35.1	33 8.3	27 6.8	40 10.1
	女性(N=499)	130 26.1	36 7.2	157 31.5	123 24.6	158 31.7	192 38.5	219 43.9	56 11.2	29 5.8	33 6.6
年齢別	18～19歳(N=7)	2 28.6	1 14.3	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	13 16.5	9 11.4	25 31.6	14 17.7	43 54.4	18 22.8	22 27.8	12 15.2	3 3.8	9 11.4
	30～39歳(N=114)	33 28.9	7 6.1	35 30.7	19 16.7	65 57.0	21 18.4	35 30.7	20 17.5	7 6.1	6 5.3
	40～49歳(N=169)	47 27.8	16 9.5	58 34.3	44 26.0	55 32.5	53 31.4	68 40.2	21 12.4	19 11.2	9 5.3
	50～64歳(N=169)	50 29.6	14 8.3	53 31.4	49 29.0	34 20.1	67 39.6	71 42.0	13 7.7	8 4.7	19 11.2
	65～74歳(N=87)	21 24.1	10 11.5	27 31.0	20 23.0	20 23.0	31 35.6	37 42.5	5 5.7	7 8.0	12 13.8
	75歳以上(N=270)	72 26.7	29 10.7	84 31.1	64 23.7	73 27.0	117 43.3	118 43.7	18 6.7	12 4.4	19 7.0
地区別	龍野町(N=219)	65 29.7	24 11.0	64 29.2	58 26.5	76 34.7	71 32.4	85 38.8	17 7.8	18 8.2	13 5.9
	揖保町(N=50)	8 16.0	2 4.0	19 38.0	11 22.0	16 32.0	15 30.0	18 36.0	6 12.0	3 6.0	8 16.0
	神岡町(N=69)	12 17.4	4 5.8	18 26.1	25 36.2	18 26.1	23 33.3	32 46.4	8 11.6	3 4.3	5 7.2
	誉田町(N=38)	7 18.4	9 23.7	11 28.9	8 21.1	12 31.6	12 31.6	9 23.7	4 10.5	2 5.3	3 7.9
	揖西町(N=98)	25 25.5	7 7.1	33 33.7	20 20.4	39 39.8	34 34.7	36 36.7	9 9.2	9 9.2	7 7.1
	揖保川町(N=148)	30 20.3	11 7.4	54 36.5	33 22.3	43 29.1	55 37.2	59 39.9	20 13.5	11 7.4	13 8.8
	御津町(N=129)	52 40.3	11 8.5	49 38.0	25 19.4	41 31.8	42 32.6	58 45.0	9 7.0	6 4.7	12 9.3
	新宮町(N=148)	42 28.4	19 12.8	37 25.0	32 21.6	48 32.4	57 38.5	56 37.8	16 10.8	7 4.7	12 8.1

		商業施設が多くあり、買物に便利でにぎやかなまち	様々なニーズに応えられる働く場のあるまち	観光やレクリエーションのために多くの人が訪れるまち	国際交流や外国人観光客誘致など国際色豊かなまち	童謡の里として愛着や誇りを感じられるまち	協働や市民主体のまちづくりなどが活発なまち	ICTなどの先端技術の活用が進んだまち	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	53 13.4	44 11.1	29 7.3	7 1.8	21 5.3	13 3.3	38 9.6	4 1.0	11 2.8
	女性(N=499)	66 13.2	57 11.4	36 7.2	9 1.8	34 6.8	8 1.6	20 4.0	6 1.2	9 1.8
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	15 19.0	7 8.9	10 12.7	1 1.3	1 1.3	0 0.0	7 8.9	0 0.0	1 1.3
	30～39歳(N=114)	15 13.2	12 10.5	11 9.6	5 4.4	3 2.6	2 1.8	18 15.8	2 1.8	1 0.9
	40～49歳(N=169)	25 14.8	14 8.3	10 5.9	3 1.8	5 3.0	3 1.8	13 7.7	1 0.6	3 1.8
	50～64歳(N=169)	21 12.4	16 9.5	13 7.7	3 1.8	12 7.1	4 2.4	9 5.3	3 1.8	3 1.8
	65～74歳(N=87)	10 11.5	11 12.6	6 6.9	2 2.3	8 9.2	4 4.6	4 4.6	0 0.0	2 2.3
	75歳以上(N=270)	34 12.6	37 13.7	13 4.8	2 0.7	25 9.3	8 3.0	6 2.2	3 1.1	10 3.7
地区別	龍野町(N=219)	31 14.2	26 11.9	17 7.8	2 0.9	19 8.7	2 0.9	18 8.2	2 0.9	3 1.4
	揖保町(N=50)	6 12.0	7 14.0	5 10.0	1 2.0	5 10.0	0 0.0	2 4.0	1 2.0	3 6.0
	神岡町(N=69)	13 18.8	7 10.1	4 5.8	0 0.0	7 10.1	2 2.9	3 4.3	1 1.4	2 2.9
	誉田町(N=38)	7 18.4	6 15.8	5 13.2	0 0.0	1 2.6	2 5.3	2 5.3	1 2.6	2 5.3
	揖西町(N=98)	13 13.3	12 12.2	7 7.1	5 5.1	4 4.1	4 4.1	4 4.1	0 0.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	25 16.9	12 8.1	8 5.4	2 1.4	11 7.4	3 2.0	10 6.8	1 0.7	3 2.0
	御津町(N=129)	8 6.2	10 7.8	9 7.0	3 2.3	3 2.3	6 4.7	8 6.2	2 1.6	2 1.6
	新宮町(N=148)	19 12.8	21 14.2	10 6.8	3 2.0	4 2.7	2 1.4	10 6.8	2 1.4	3 2.0

上段:件数、下段: %

【居住年数別、住みやすさ別、居住意向別】

		豊かな自然を感じられるまち	再生可能エネルギーの導入などによる環境にやさしいまち	道路網や公共交通などの発達により移動に便利なまち	防災・防犯体制が確立した安全・安心なまち	子育て支援や保育サービスなどが整った安心して出産・子育てができるまち	高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉の充実したまち	保健・医療が整ったいつでも健康に暮らせるまち	学校教育や生涯学習など、学びの環境が充実したまち	文化・芸術・歴史を守り、伝えていくまち	全国に誇れる特産品を産む地場産業、農林水産業のまち
居住年数別	20年以上(N=708)	186 26.3	72 10.2	224 31.6	168 23.7	210 29.7	257 36.3	294 41.5	64 9.0	43 6.1	57 8.1
	10年以上20年未満(N=100)	28 28.0	8 8.0	35 35.0	22 22.0	31 31.0	30 30.0	34 34.0	7 7.0	11 11.0	7 7.0
	5年以上10年未満(N=39)	13 33.3	4 10.3	11 28.2	11 28.2	21 53.8	10 25.6	11 28.2	8 20.5	2 5.1	4 10.3
	1年以上5年未満(N=48)	12 25.0	3 6.3	15 31.3	8 16.7	28 58.3	10 20.8	13 27.1	9 18.8	2 4.2	4 8.3
	1年未満(N=11)	2 18.2	1 9.1	4 36.4	2 18.2	4 36.4	5 45.5	6 54.5	1 9.1	1 9.1	2 18.2
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	68 28.9	28 11.9	61 26.0	58 24.7	83 35.3	88 37.4	94 40.0	24 10.2	16 6.8	21 8.9
	まあまあ住みやすい(N=455)	135 29.7	45 9.9	140 30.8	99 21.8	153 33.6	162 35.6	183 40.2	47 10.3	32 7.0	37 8.1
	どちらともいえない(N=119)	26 21.8	6 5.0	50 42.0	33 27.7	30 25.2	37 31.1	49 41.2	9 7.6	5 4.2	7 5.9
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	8 14.0	5 8.8	26 45.6	15 26.3	15 26.3	19 33.3	17 29.8	4 7.0	3 5.3	4 7.0
	住みにくい(N=25)	4 16.0	2 8.0	10 40.0	3 12.0	7 28.0	6 24.0	10 40.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	85 28.2	32 10.6	93 30.9	68 22.6	97 32.2	102 33.9	132 43.9	29 9.6	19 6.3	25 8.3
	できれば住み続けたい(N=377)	112 29.7	40 10.6	108 28.6	94 24.9	135 35.8	141 37.4	138 36.6	33 8.8	24 6.4	30 8.0
	どちらともいえない(N=153)	31 20.3	7 4.6	63 41.2	35 22.9	38 24.8	50 32.7	63 41.2	17 11.1	8 5.2	11 7.2
	転出(転居)を考えている(N=27)	5 18.5	6 22.2	12 44.4	3 11.1	10 37.0	4 14.8	8 29.6	2 7.4	3 11.1	2 7.4
	転出(転居)を予定している(N=11)	4 36.4	2 18.2	5 45.5	1 9.1	5 45.5	2 18.2	4 36.4	1 9.1	2 18.2	3 27.3
	わからない(N=37)	5 13.5	2 5.4	8 21.6	11 29.7	10 27.0	12 32.4	14 37.8	7 18.9	3 8.1	3 8.1

		商業施設が多くあり、買物に便利でにぎやかなまち	様々なニーズに応えられる働く場のあるまち	観光やレクリエーションのために多くの人が訪れるまち	国際交流や外国人観光客誘致など国際色豊かなまち	童謡の里として愛着や誇りを感じられるまち	協働や市民主体のまちづくりなどが活発なまち	ICTなどの先端技術の活用が進んだまち	その他	不明・無回答
居住年数別	20年以上(N=708)	92 13.0	77 10.9	50 7.1	11 1.6	45 6.4	18 2.5	41 5.8	8 1.1	20 2.8
	10年以上20年未満(N=100)	12 12.0	13 13.0	9 9.0	6 6.0	8 8.0	2 2.0	10 10.0	2 2.0	0 0.0
	5年以上10年未満(N=39)	4 10.3	7 17.9	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.1	0 0.0	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	14 29.2	5 10.4	5 10.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 10.4	0 0.0	0 0.0
	1年未満(N=11)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	26 11.1	28 11.9	15 6.4	2 0.9	18 7.7	5 2.1	8 3.4	3 1.3	5 2.1
	まあまあ住みやすい(N=455)	60 13.2	49 10.8	31 6.8	6 1.3	27 5.9	11 2.4	40 8.8	3 0.7	9 2.0
	どちらともいえない(N=119)	19 16.0	12 10.1	12 10.1	5 4.2	2 1.7	3 2.5	6 5.0	2 1.7	1 0.8
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	13 22.8	7 12.3	6 10.5	3 5.3	4 7.0	1 1.8	3 5.3	1 1.8	2 3.5
	住みにくい(N=25)	3 12.0	3 12.0	1 4.0	0 0.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0
居住意向別	ずっと住み続けたい(N=301)	37 12.3	30 10.0	25 8.3	5 1.7	18 6.0	6 2.0	15 5.0	2 0.7	5 1.7
	できれば住み続けたい(N=377)	51 13.5	41 10.9	24 6.4	4 1.1	26 6.9	13 3.4	27 7.2	4 1.1	10 2.7
	どちらともいえない(N=153)	24 15.7	19 12.4	11 7.2	7 4.6	5 3.3	1 0.7	11 7.2	3 2.0	2 1.3
	転出(転居)を考えている(N=27)	7 25.9	4 14.8	3 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 14.8	1 3.7	0 0.0
	転出(転居)を予定している(N=11)	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=37)	2 5.4	6 16.2	2 5.4	1 2.7	3 8.1	1 2.7	1 2.7	0 0.0	2 5.4

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(たつの市が将来どのようなまちになってほしいと思うか)

回答	件数
みんなが住みたくなるまち	1
移住者が増えるまちづくり	1
最先端の介護ロボットを導入し、高齢者が自然に囲まれつつ介護の負担が軽減するまち	1
人口減を食い止めるまち	1
若い方の増加	1
ふるさと納税を有効活用して行政サービスの財源確保	1
人口を増やす政策	1
調整区域など人を減退させるような意味の無いことを廃止する	1

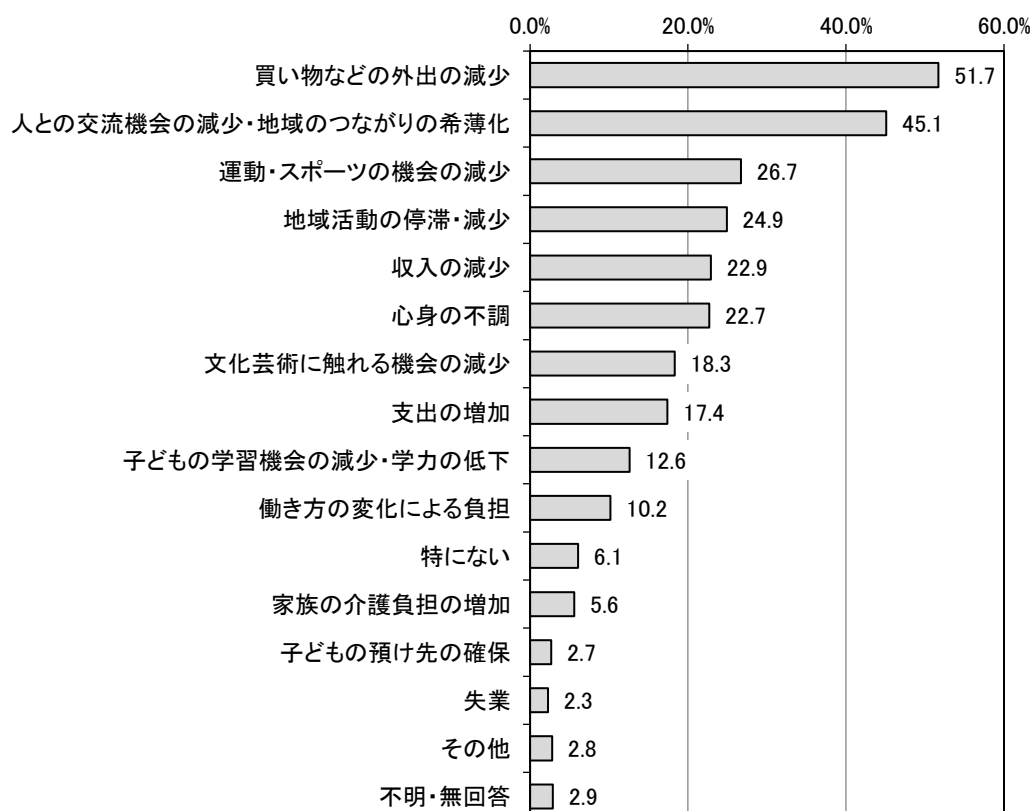
【コロナ禍、コロナ収束後のまちづくりについて】

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響により、生活の中で困りごとがありましたか。(あてはまるもの3つまでに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による生活の中で困りごとについては、「買い物などの外出の減少」が51.7%と最も高く、次いで「人との交流機会の減少・地域のつながりの希薄化」が45.1%、「運動・スポーツの機会の減少」が26.7%となっています。

年齢別でみると、40～49 歳で「子どもの学習機会の減少・学力の低下」が高くなっています。住みやすさ別でみると、住みにくいで「心身の不調」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		収入の 減少	支出の 増加	失業	働き方 の変化 による 負担	心身の 不調	子どもの 預け先 の確保	子どもの 学習機 会の減 少・学力 の低下	家族の 介護負 担の増 加	地域活 動の停 滞・減少	文化芸 術に触 れる機 会の減 少	運動・ス ポーツ の機会 の減少	人との 交流機 会の減 少・地域 のつなが りの希 薄化	買い物 などの 外出の 減少	特にな い	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=396)	96 24.2	63 15.9	10 2.5	50 12.6	86 21.7	9 2.3	45 11.4	25 6.3	109 27.5	71 17.9	104 26.3	174 43.9	194 49.0	27 6.8	8 2.0	13 3.3
	女性(N=499)	108 21.6	90 18.0	7 1.4	41 8.2	118 23.6	15 3.0	67 13.4	25 5.0	114 22.8	96 19.2	134 26.9	234 46.9	275 55.1	28 5.6	18 3.6	13 2.6
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	3 42.9	3 42.9	5 71.4	0 0.0	2 28.6	0 0.0
	20～29歳(N=79)	22 27.8	15 19.0	3 3.8	18 22.8	14 17.7	8 10.1	7 8.9	2 2.5	20 25.3	18 22.8	23 29.1	34 43.0	45 57.0	2 2.5	3 3.8	1 1.3
	30～39歳(N=114)	31 27.2	20 17.5	1 0.9	18 15.8	27 23.7	10 8.8	21 18.4	5 4.4	18 15.8	17 14.9	42 36.8	47 41.2	71 62.3	7 6.1	4 3.5	2 1.8
	40～49歳(N=169)	50 29.6	48 28.4	9 5.3	24 14.2	33 19.5	2 1.2	49 29.0	7 4.1	33 19.5	25 14.8	56 33.1	48 28.4	81 47.9	10 5.9	7 4.1	2 1.2
	50～64歳(N=169)	44 26.0	25 14.8	1 0.6	18 10.7	31 18.3	1 0.6	13 7.7	14 8.3	34 20.1	34 20.1	37 21.9	65 38.5	80 47.3	14 8.3	6 3.6	5 3.0
	65～74歳(N=87)	21 24.1	19 21.8	3 3.4	4 4.6	19 21.8	1 1.1	6 6.9	5 5.7	23 26.4	17 19.5	23 26.4	40 46.0	43 49.4	3 3.4	1 1.1	3 3.4
	75歳以上(N=270)	30 11.1	24 8.9	1 0.4	6 2.2	76 28.1	2 0.7	14 5.2	14 5.2	94 34.8	56 20.7	57 21.1	171 63.3	142 52.6	19 7.0	2 0.7	13 4.8
地区別	龍野町(N=219)	49 22.4	45 20.5	2 0.9	21 9.6	51 23.3	10 4.6	34 15.5	9 4.1	49 22.4	42 19.2	60 27.4	101 46.1	115 52.5	11 5.0	8 3.7	4 1.8
	揖保町(N=50)	13 26.0	4 8.0	2 4.0	6 12.0	9 18.0	0 0.0	7 14.0	2 4.0	14 28.0	9 18.0	9 44.0	22 38.0	19 38.0	3 6.0	3 6.0	3 6.0
	神岡町(N=69)	24 34.8	12 17.4	3 4.3	8 11.6	16 23.2	1 1.4	4 5.8	5 7.2	22 31.9	9 13.0	21 30.4	27 39.1	35 50.7	3 4.3	3 4.3	2 2.9
	営田町(N=38)	9 23.7	7 18.4	2 5.3	2 5.3	9 23.7	1 2.6	6 15.8	1 2.6	15 39.5	6 15.8	11 28.9	21 55.3	16 42.1	3 7.9	1 2.6	3 7.9
	揖西町(N=98)	19 19.4	14 14.3	0 0.0	13 13.3	25 25.5	4 4.1	13 13.3	4 4.1	28 28.6	17 17.3	35 35.7	43 43.9	57 57.1	2 2.0	2 2.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	29 19.6	25 16.9	2 1.4	11 7.4	31 20.9	1 0.7	20 13.5	10 6.8	33 22.3	28 18.9	35 23.6	67 45.3	70 47.3	12 8.1	3 2.0	5 3.4
	御津町(N=129)	29 22.5	19 14.7	5 3.9	13 10.1	30 23.3	3 2.3	14 10.9	6 4.7	29 22.5	21 16.3	31 24.0	64 49.6	85 65.9	12 9.3	4 3.1	1 0.8
	新宮町(N=148)	33 22.3	28 18.9	3 2.0	13 8.8	29 19.6	4 2.7	13 8.8	12 8.1	33 22.3	34 23.0	38 25.7	63 42.6	70 47.3	10 6.8	2 1.4	6 4.1
	20年以上(N=708)	161 22.7	114 16.1	10 1.4	65 9.2	165 23.3	15 2.1	70 9.9	46 6.5	183 25.8	132 18.6	183 25.8	332 46.9	365 51.6	44 6.2	14 2.0	25 3.5
	10年以上20年未満 (N=100)	23 23.0	28 28.0	4 4.0	10 10.0	27 27.0	2 2.0	27 27.0	4 4.0	21 21.0	18 18.0	33 33.0	33 33.0	47 47.0	5 5.0	5 5.0	1 1.0
	5年以上10年未満 (N=39)	7 17.9	5 12.8	0 0.0	7 17.9	5 12.8	6 15.4	9 23.1	0 0.0	6 15.4	7 17.9	14 35.9	20 51.3	23 59.0	2 5.1	4 10.3	0 0.0
居住年数別	1年以上5年未満 (N=48)	12 25.0	9 18.8	4 8.3	9 18.8	9 18.8	1 2.1	5 10.4	0 0.0	12 25.0	10 20.8	9 18.8	21 43.8	28 58.3	4 8.3	2 4.2	1 2.1
	1年未満(N=11)	4 36.4	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0 0.0	3 27.3	0 0.0	3 27.3	4 36.4	5 45.5	1 9.1	1 9.1	0 0.0
	住みやすい(N=235)	40 17.0	29 12.3	5 2.1	18 7.7	48 20.4	6 2.6	33 14.0	9 3.8	69 29.4	45 19.1	51 21.7	110 46.8	113 48.1	24 10.2	11 4.7	9 3.8
	まあまあ住みやすい (N=455)	108 23.7	81 17.8	6 1.3	46 10.1	98 21.5	14 3.1	58 12.7	24 5.3	111 24.4	88 19.3	139 30.5	220 48.4	246 54.1	18 4.0	8 1.8	9 2.0
	どちらともいえない (N=119)	35 29.4	24 20.2	5 4.2	17 14.3	30 25.2	4 3.4	15 12.6	11 9.2	24 20.2	13 10.9	28 23.5	43 36.1	60 50.4	10 8.4	4 3.4	2 1.7
	あまり住みやすいとは いえない(N=57)	14 24.6	13 22.8	1 1.8	7 12.3	16 28.1	1 1.8	6 10.5	5 8.8	18 31.6	14 24.6	17 29.8	19 33.3	34 59.6	2 3.5	1 1.8	2 3.5
	住みにくい(N=25)	9 36.0	7 28.0	2 8.0	2 8.0	11 44.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	3 12.0	8 32.0	13 52.0	0 0.0	2 8.0	1 4.0

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容(新型コロナウイルス感染症の影響による生活の中で困りごと)

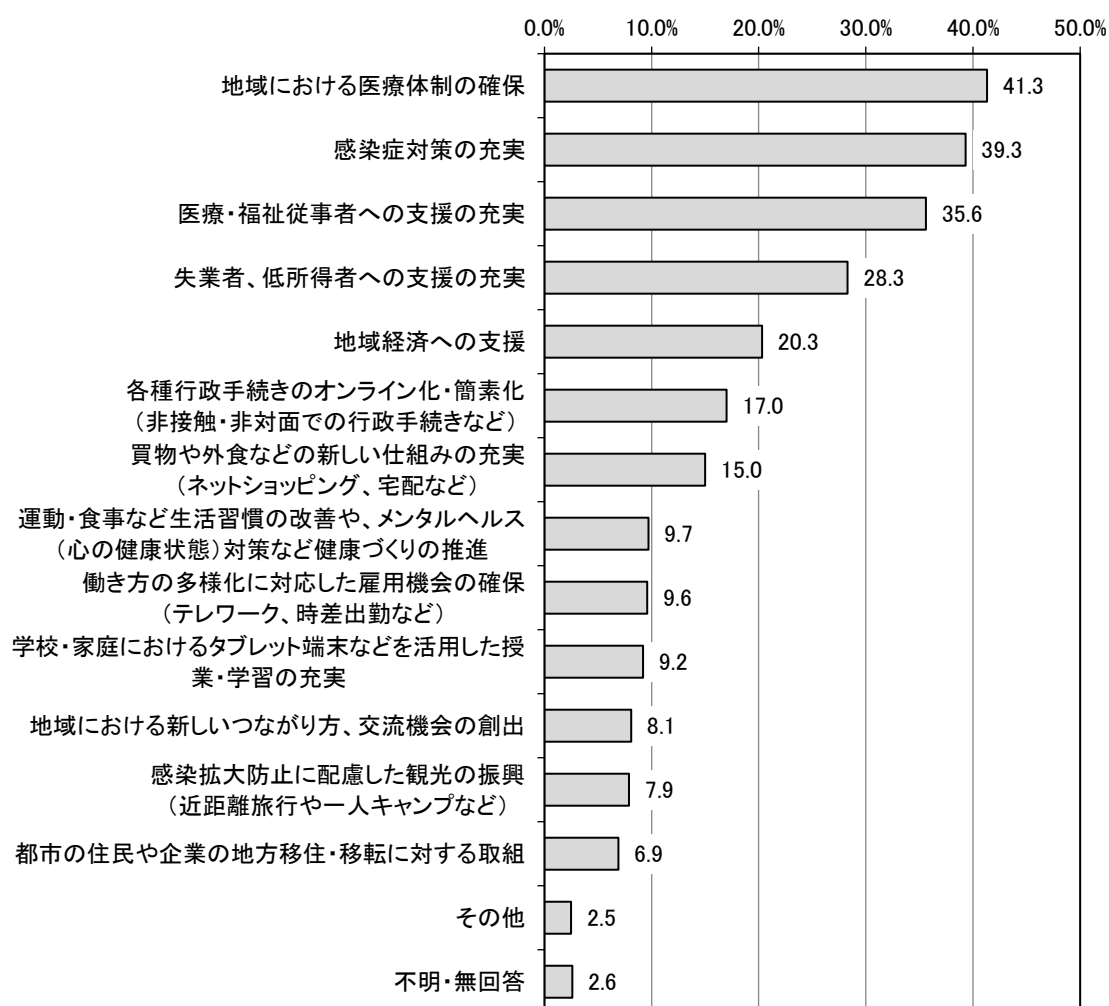
行動制限に関して	件数
子どもの遊びの制限でストレスがたまり、学びの機会も減った	1
これまでの生活ができない不自由さ、ソーシャルディスタンスにより人の心が離れることの不安	1
ファミリーサポートなどが利用できなくなり、子育ての孤立化を感じている	1
子どもたちのスポーツの機会がなくなり、心理的ストレスとなっている	1
家族一同で食事ができない	1
他県に住んでいる友人に会えない	1
オンライン授業ばかりで、友達ができない	1
子どもが友だちと遊ぶ機会が減り、テレビやYouTubeを観ることが増えた	1
子どもが外食への不安を持ち、家事負担が増えた	1
健康に関して	件数
健康への不安	1
マスク生活の息苦しさ	1
コロナに似た症状になったが検査拒否され、その後も何か月も病状が続いた	1
仕事に関して	件数
仕事の負担が増え、家族にしわ寄せ	1
家族の就職活動	1
仕事には影響は無かったが、通勤でのリスクに不安	1
コロナ差別にて退職	1
施設利用に関して	件数
体育館が利用できない	1
店などの感染予防対策を早急に徹底してほしい	1
イベント・行事に関して	件数
子ども達の宿泊を伴う活動や運動会などの中止に落胆し、自己否定感が強まった	1
楽しみにしていた行事などが中止や縮小になり、やりきれない気持ち	1
その他	件数
補助金などが出ない	1
スマートフォンやインターネットでワクチンの予約ができず、電話もつながらない	1
感染者に対する偏見	1
地域活動負担の増加	1
県外の人がバーベキューをしていて不安になる	1
子どもに勝手に触れる人がいた	1

問 26 コロナ禍、コロナ収束後において、たつの市ではどんなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

コロナ禍、コロナ収束後において、たつの市で力を入れるべきことについては、「地域における医療体制の確保」が 41.3%と最も高く、次いで「感染症対策の充実」が 39.3%、「医療・福祉従事者への支援の充実」が 35.6%となっています。

年齢別でみると、概ね年齢が上がるにつれて「感染症対策の充実」が高くなっています。また、20～39 歳で「地域における医療体制の確保」が低くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		失業者、低所得者への支援の充実	医療・福祉従事者への支援の充実	感染症対策の充実	地域経済への支援	各種行政手続きのオンライン化・簡素化（非接触・非対面での行政手続きなど）	地域における医療体制の確保	感染拡大防止に配慮した観光の振興（近距離旅行や一人キャンプなど）	都市の住民や企業の地方移住・移転に対する取組	学校・家庭におけるタブレット端末などを活用した授業・学習の充実	働き方の多様化に対応した雇用の確保（テレワーク、時差出勤など）	運動・食生活など生活習慣の改善や、メンタルヘルス（心の健康状態）対策など健康づくりの推進	買物や外食などの新しい仕組みの充実（ネットショッピング、宅配など）	地域における新しいつながり方、交流機会の創出	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	108 27.3	139 35.1	153 38.6	98 24.7	81 20.5	155 39.1	32 8.1	38 9.6	35 8.8	39 9.8	37 9.3	51 12.9	30 7.6	11 2.8	11 2.8
	女性(N=499)	142 28.5	179 35.9	202 40.5	84 16.8	71 14.2	214 42.9	37 7.4	25 5.0	48 9.6	48 9.6	51 10.2	84 16.8	42 8.4	12 2.4	12 2.4
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	3 42.9	3 42.9	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	26 32.9	25 31.6	21 26.6	22 27.8	20 25.3	18 22.8	11 13.9	3 3.8	7 8.9	11 13.9	8 10.1	21 26.6	3 3.8	3 3.8	1 1.3
	30～39歳(N=114)	39 34.2	39 34.2	32 28.1	31 27.2	27 23.7	34 29.8	10 8.8	4 3.5	16 14.0	22 19.3	14 12.3	28 24.6	7 6.1	6 5.3	1 0.9
	40～49歳(N=169)	48 28.4	58 34.3	56 33.1	36 21.3	44 26.0	70 41.4	17 10.1	11 6.5	25 14.8	18 10.7	5 3.0	26 15.4	7 4.1	5 3.0	2 1.2
	50～64歳(N=169)	46 27.2	70 41.4	72 42.6	29 17.2	30 17.8	70 41.4	12 7.1	14 8.3	14 8.3	15 8.9	8 4.7	24 14.2	16 9.5	4 2.4	3 1.8
	65～74歳(N=87)	18 20.7	30 34.5	38 43.7	14 16.1	12 13.8	48 55.2	5 5.7	10 11.5	5 5.7	7 8.0	10 11.5	10 11.5	4 4.6	1 1.1	3 3.4
	75歳以上(N=270)	72 26.7	95 35.2	131 48.5	49 18.1	18 6.7	124 45.9	15 5.6	19 7.0	16 5.9	13 4.8	42 15.6	28 10.4	35 13.0	1 1.1	12 4.4
	龍野町(N=219)	55 25.1	80 36.5	79 36.1	50 22.8	36 16.4	73 33.3	17 7.8	15 6.8	21 9.6	26 11.9	23 10.5	43 19.6	19 8.7	9 4.1	3 1.4
地区別	揖保町(N=50)	13 26.0	15 30.0	23 46.0	10 20.0	9 18.0	19 38.0	4 8.0	1 2.0	4 8.0	4 8.0	5 10.0	7 14.0	4 8.0	0 0.0	2 4.0
	神岡町(N=69)	23 33.3	24 34.8	26 37.7	11 15.9	13 18.8	27 39.1	3 4.3	5 7.2	5 7.2	8 11.6	6 8.7	13 18.8	4 5.8	1 1.4	2 2.9
	菅田町(N=38)	11 28.9	13 34.2	15 39.5	7 18.4	6 15.8	14 36.8	4 10.5	4 10.5	4 10.5	7 18.4	2 5.3	6 15.8	6 15.8	2 5.3	2 5.3
	揖西町(N=98)	28 28.6	46 46.9	44 44.9	20 20.4	17 17.3	49 50.0	9 9.2	7 7.1	6 6.1	7 7.1	6 6.1	13 13.3	4 4.1	1 1.0	2 2.0
	揖保川町(N=148)	43 29.1	56 37.8	52 35.1	34 23.0	27 18.2	65 43.9	8 5.4	9 6.1	12 8.1	12 8.1	15 10.1	16 10.8	14 9.5	3 2.0	4 2.7
	御津町(N=129)	33 25.6	41 31.8	55 42.6	27 20.9	24 18.6	57 44.2	11 8.5	7 5.4	19 14.7	9 7.0	14 10.9	20 15.5	7 5.4	4 3.1	3 2.3
	新宮町(N=148)	45 30.4	46 31.1	61 41.2	25 16.9	21 14.2	65 43.9	14 9.5	15 10.1	12 8.1	15 10.1	15 10.1	16 10.8	15 10.1	2 1.4	5 3.4
	20年以上(N=708)	195 27.5	239 33.8	291 41.1	149 21.0	113 16.0	300 42.4	48 6.8	53 7.5	60 8.5	63 8.9	77 10.9	97 13.7	63 8.9	13 1.8	22 3.1
居住年数別	10年以上20年未満(N=100)	28 28.0	37 37.0	33 33.0	18 18.0	23 23.0	38 38.0	10 10.0	4 4.0	15 15.0	13 13.0	4 4.0	21 21.0	8 8.0	3 3.0	1 1.0
	5年以上10年未満(N=39)	9 23.1	25 64.1	15 38.5	6 15.4	7 17.9	15 38.5	7 17.9	0 0.0	5 12.8	4 10.3	3 7.7	6 15.4	0 0.0	1 2.6	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	20 41.7	17 35.4	14 29.2	10 20.8	10 20.8	16 33.3	3 6.3	4 8.3	3 6.3	6 12.5	4 8.3	9 18.8	2 4.2	4 8.3	0 0.0
	1年未満(N=11)	3 27.3	6 54.5	3 27.3	2 18.2	1 9.1	3 27.3	3 27.3	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0
	住みやすい(N=235)	72 30.6	89 37.9	94 40.0	51 21.7	32 13.6	85 36.2	17 7.2	7 3.0	22 9.4	18 7.7	25 10.6	34 14.5	17 7.2	6 2.6	8 3.4
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	116 25.5	159 34.9	175 38.5	91 20.0	93 20.4	193 42.4	40 8.8	37 8.1	47 10.3	50 11.0	48 10.5	63 13.8	44 9.7	10 2.2	6 1.3
	どちらともいえない(N=119)	28 23.5	40 33.6	50 42.0	22 18.5	20 16.8	66 55.5	5 4.2	8 6.7	9 7.6	12 10.1	11 9.2	24 20.2	7 5.9	3 2.5	3 2.5
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	20 35.1	19 33.3	22 38.6	13 22.8	4 7.0	18 31.6	6 10.5	7 12.3	4 7.0	5 8.8	3 5.3	10 17.5	6 10.5	2 3.5	2 3.5
	住みにくい(N=25)	13 52.0	12 48.0	11 44.0	6 24.0	3 12.0	7 28.0	1 4.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0	5 20.0	0 0.0	1 4.0	1 4.0

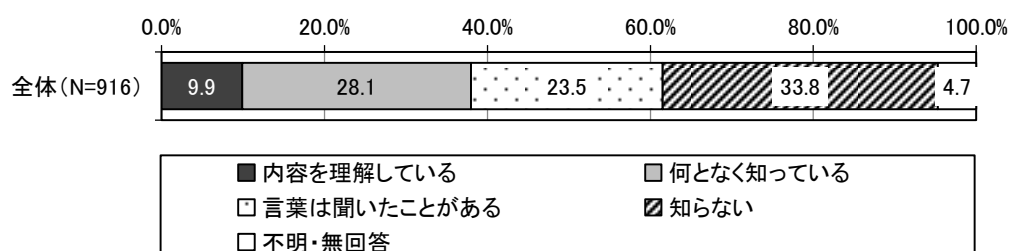
上段：件数、下段：%

【SDGsの推進について】

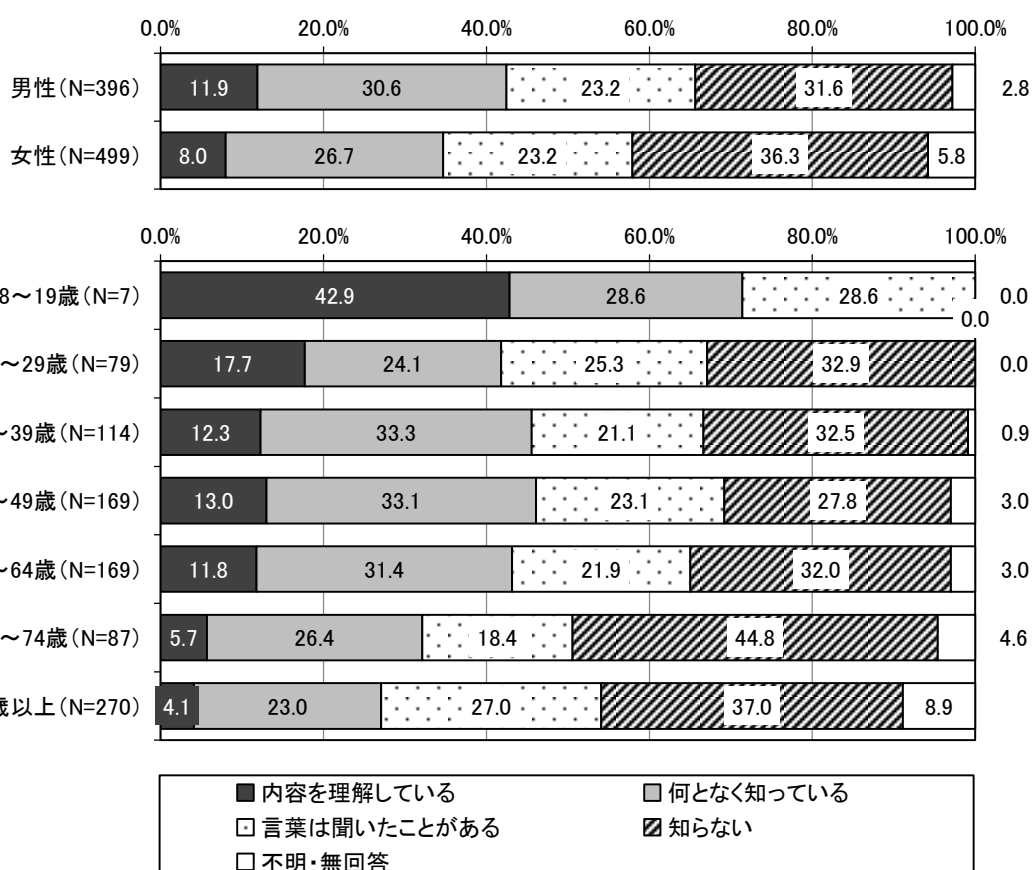
問 27 2030 年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標であるSDGs(エスディーズ)について、おたずねします。(1つに○)

SDGs(エスディーズ)については、「知らない」が33.8%と最も高く、次いで「何となく知っている」が28.1%、「言葉は聞いたことがある」が23.5%となっています。

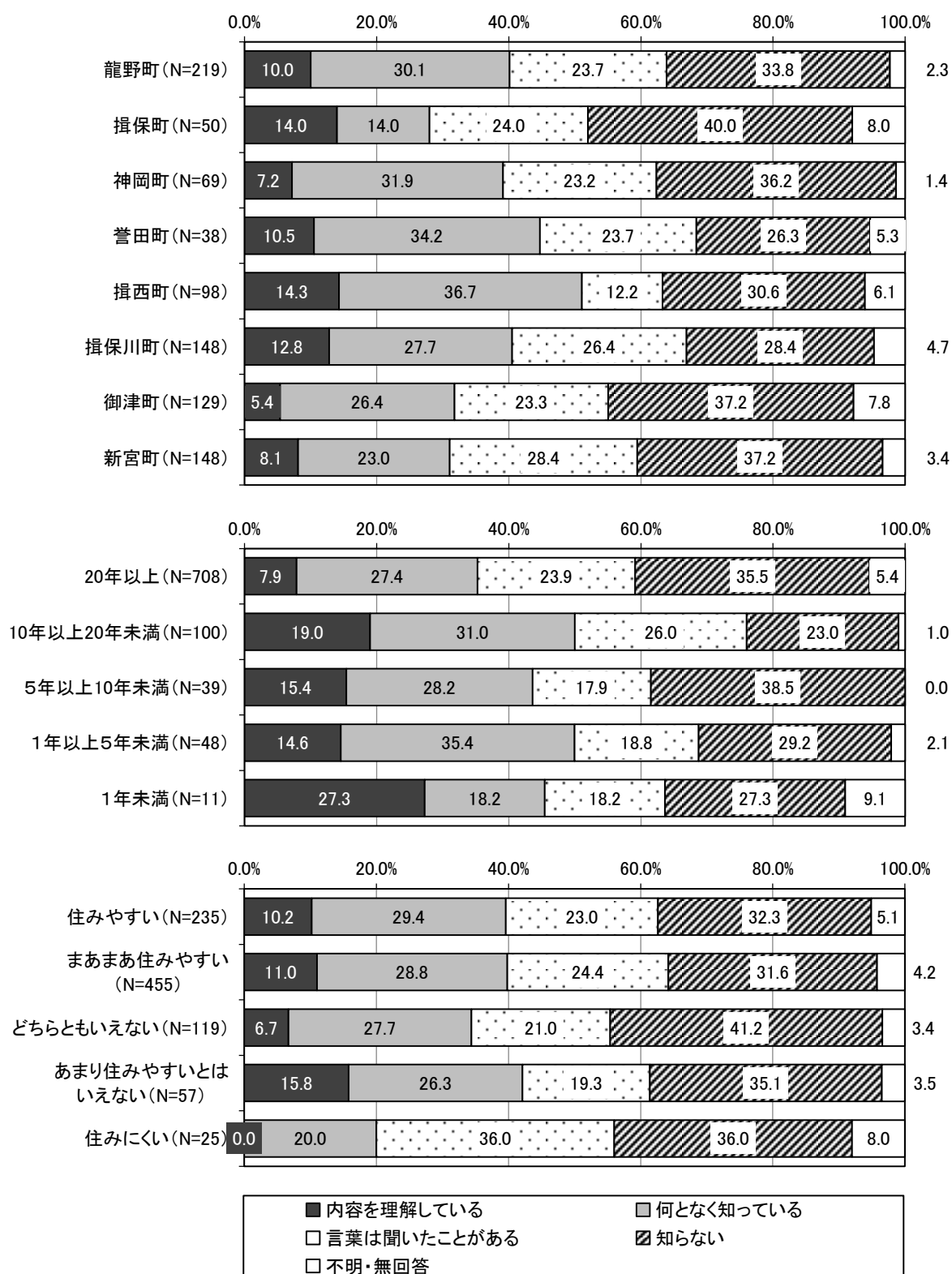
年齢別でみると、概ね年齢が上がるほど「内容を理解している」が低くなっています。



【性別、年齢別】



【地区別、居住年数別、住みやすさ別】

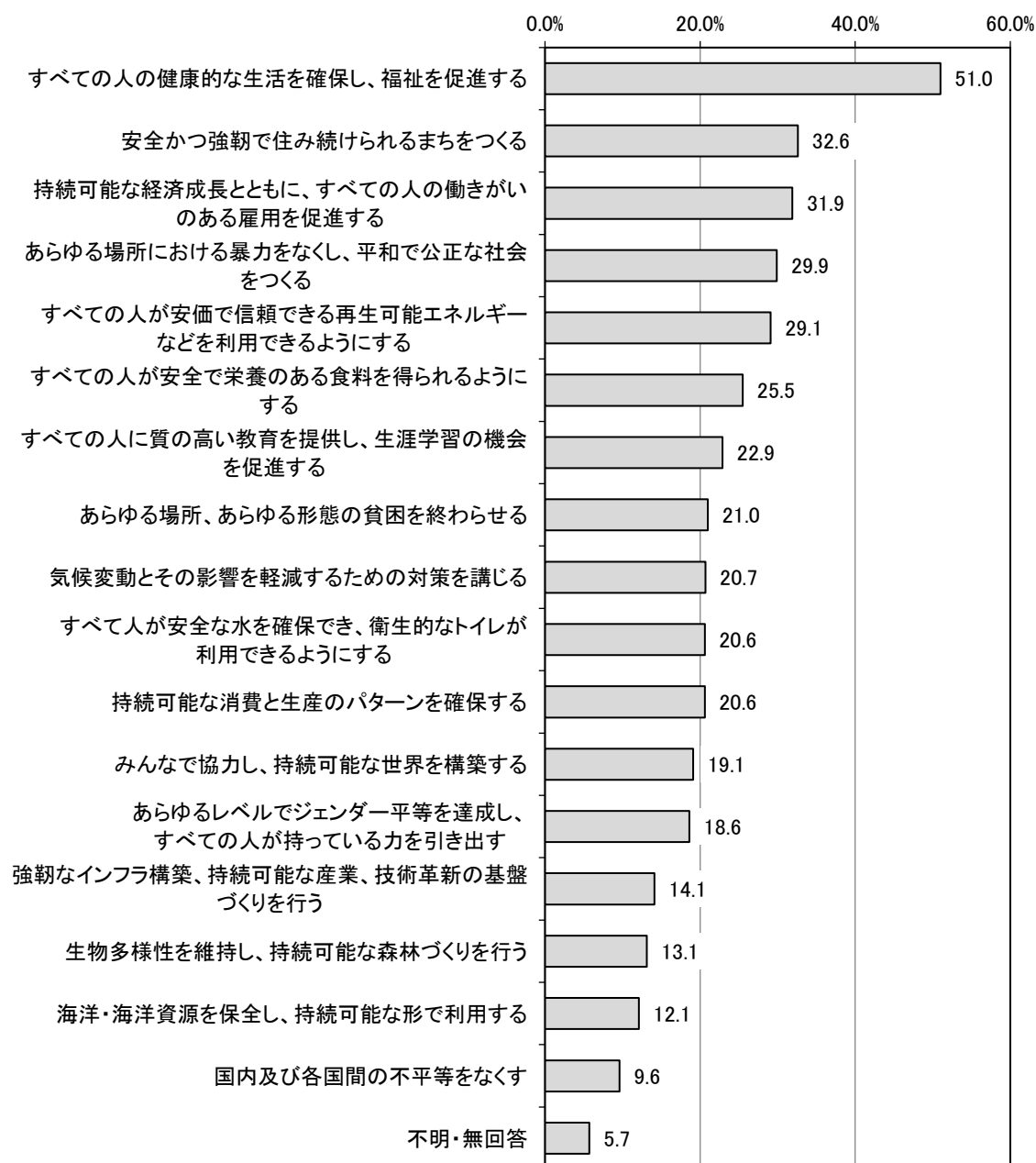


問 28 SDGsの17の目標のうち、たつの市ではどの分野に力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

SDGsの17の目標のうち、たつの市で力を入れるべき分野については、「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」が51.0%と最も高く、次いで「安全かつ強靱で住み続けられるまちをつくる」が32.6%、「持続可能な経済成長とともに、すべての人の働きがいのある雇用を促進する」が31.9%となっています。

居住年数別でみると、概ね居住年数が短くなるにつれて「強靱なインフラ構築、持続可能な産業、技術革新の基盤づくりを行う」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別】

		あらゆる場所、あらゆる形態の貧困を終わらせる	すべての人が安全で栄養のある食料を得られるようにする	すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	すべての人に質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	あらゆるレベルでジェンダー平等を達成し、すべての人が持っている力を引き出す	すべての人が安全な水を確保でき、衛生的なトイレが利用できるようにする	すべての人が安価で信頼できる再生可能エネルギーなどを利用できるようにする	持続可能な経済成長とともに、すべての人の働きがいのある雇用を促進する	強靱なインフラ構築、持続可能な産業、技術革新の基盤づくりを行う
性別	男性(N=396)	76 19.2	95 24.0	197 49.7	107 27.0	60 15.2	81 20.5	127 32.1	121 30.6	69 17.4
	女性(N=499)	113 22.6	133 26.7	262 52.5	99 19.8	105 21.0	106 21.2	136 27.3	169 33.9	58 11.6
年齢別	18～19歳(N=7)	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3
	20～29歳(N=79)	19 24.1	27 34.2	37 46.8	17 21.5	21 26.6	17 21.5	18 22.8	21 26.6	15 19.0
	30～39歳(N=114)	27 23.7	29 25.4	44 38.6	37 32.5	26 22.8	21 18.4	32 28.1	31 27.2	24 21.1
	40～49歳(N=169)	39 23.1	43 25.4	77 45.6	36 21.3	36 21.3	30 17.8	37 21.9	49 29.0	23 13.6
	50～64歳(N=169)	40 23.7	40 23.7	96 56.8	43 25.4	33 19.5	35 20.7	42 24.9	59 34.9	19 11.2
	65～74歳(N=87)	13 14.9	22 25.3	47 54.0	18 20.7	8 9.2	19 21.8	27 31.0	26 29.9	12 13.8
	75歳以上(N=270)	49 18.1	68 25.2	154 57.0	53 19.6	41 15.2	60 22.2	102 37.8	99 36.7	31 11.5
地区別	龍野町(N=219)	49 22.4	63 28.8	115 52.5	53 24.2	43 19.6	50 22.8	69 31.5	73 33.3	28 12.8
	揖保町(N=50)	10 20.0	9 18.0	24 48.0	8 16.0	8 16.0	6 12.0	18 36.0	12 24.0	10 20.0
	神岡町(N=69)	15 21.7	16 23.2	33 47.8	13 18.8	14 20.3	11 15.9	22 31.9	18 26.1	3 4.3
	誉田町(N=38)	9 23.7	10 26.3	22 57.9	7 18.4	9 23.7	9 23.7	13 34.2	18 47.4	9 23.7
	揖西町(N=98)	21 21.4	25 25.5	46 46.9	24 24.5	16 16.3	19 19.4	19 19.4	34 34.7	8 8.2
	揖保川町(N=148)	31 20.9	31 20.9	81 54.7	34 23.0	28 18.9	26 17.6	42 28.4	40 27.0	26 17.6
	御津町(N=129)	22 17.1	41 31.8	69 53.5	28 21.7	23 17.8	28 21.7	34 26.4	41 31.8	24 18.6
	新宮町(N=148)	32 21.6	34 23.0	68 45.9	38 25.7	28 18.9	34 23.0	46 31.1	52 35.1	18 12.2

		国内及び各国間の不平等をなくす	安全かつ強靱で住み続けられるまちをつくる	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	気候変動とその影響を軽減するための対策を講じる	海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	生物多様性を維持し、持続可能な森林づくりを行う	あらゆる場所における暴力をなくし、平和で公正な社会をつくる	みんなで協力し、持続可能な世界を構築する	不明・無回答
性別	男性(N=396)	34 8.6	134 33.8	78 19.7	81 20.5	49 12.4	50 12.6	119 30.1	71 17.9	19 4.8
	女性(N=499)	54 10.8	162 32.5	105 21.0	109 21.8	61 12.2	67 13.4	150 30.1	100 20.0	32 6.4
年齢別	18～19歳(N=7)	1 14.3	2 28.6	2 28.6	2 28.6	0 0.0	2 28.6	2 28.6	2 28.6	0 0.0
	20～29歳(N=79)	7 8.9	23 29.1	21 26.6	12 15.2	9 11.4	12 15.2	23 29.1	21 26.6	2 2.5
	30～39歳(N=114)	12 10.5	29 25.4	23 20.2	9 7.9	13 11.4	22 19.3	25 21.9	18 15.8	4 3.5
	40～49歳(N=169)	12 7.1	56 33.1	39 23.1	27 16.0	20 11.8	21 12.4	42 24.9	32 18.9	1 0.6
	50～64歳(N=169)	17 10.1	51 30.2	38 22.5	31 18.3	23 13.6	23 13.6	52 30.8	33 19.5	7 4.1
	65～74歳(N=87)	10 11.5	35 40.2	16 18.4	19 21.8	14 16.1	10 11.5	20 23.0	22 25.3	10 11.5
	75歳以上(N=270)	29 10.7	97 35.9	45 16.7	87 32.2	32 11.9	28 10.4	103 38.1	44 16.3	27 10.0
地区別	龍野町(N=219)	25 11.4	76 34.7	50 22.8	46 21.0	29 13.2	30 13.7	69 31.5	39 17.8	7 3.2
	揖保町(N=50)	5 10.0	20 40.0	7 14.0	10 20.0	6 12.0	7 14.0	18 36.0	9 18.0	6 12.0
	神岡町(N=69)	6 8.7	20 29.0	14 20.3	14 20.3	6 8.7	3 4.3	22 31.9	13 18.8	2 2.9
	誉田町(N=38)	3 7.9	14 36.8	7 18.4	6 15.8	3 7.9	5 13.2	8 21.1	10 26.3	2 5.3
	揖西町(N=98)	6 6.1	27 27.6	17 17.3	14 14.3	12 12.2	17 17.3	29 29.6	17 17.3	5 5.1
	揖保川町(N=148)	11 7.4	51 34.5	35 23.6	33 22.3	16 10.8	21 14.2	39 26.4	27 18.2	12 8.1
	御津町(N=129)	14 10.9	39 30.2	28 21.7	31 24.0	23 17.8	15 11.6	36 27.9	30 23.3	3 2.3
	新宮町(N=148)	18 12.2	49 33.1	28 18.9	33 22.3	14 9.5	19 12.8	48 32.4	28 18.9	14 9.5

上段:件数、下段:%

【居住年数別、住みやすさ別】

		あらゆる場所、あらゆる形態の貧困を終わらせる	すべての人が安全で栄養のある食料を得られるようにする	すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	すべての人に質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	あらゆるレベルでジェンダー平等を達成し、すべての人が持っている力を引き出す	すべての人が安全な水を確保でき、衛生的なトイレが利用できるようにする	すべての人が安価で信頼できる再生可能エネルギーなどを利用できるようにする	持続可能な経済成長とともに、すべての人の働きがいのある雇用を促進する	強靱なインフラ構築、持続可能な産業、技術革新の基盤づくりを行う
居住年数別	20年以上(N=708)	148 20.9	181 25.6	387 54.7	161 22.7	117 16.5	148 20.9	218 30.8	224 31.6	89 12.6
	10年以上20年未満(N=100)	21 21.0	18 18.0	36 36.0	19 19.0	27 27.0	17 17.0	23 23.0	37 37.0	12 12.0
	5年以上10年未満(N=39)	9 23.1	12 30.8	19 48.7	14 35.9	7 17.9	6 15.4	11 28.2	11 28.2	9 23.1
	1年以上5年未満(N=48)	11 22.9	17 35.4	16 33.3	9 18.8	15 31.3	13 27.1	9 18.8	13 27.1	14 29.2
	1年未満(N=11)	1 9.1	3 27.3	4 36.4	3 27.3	2 18.2	2 18.2	4 36.4	4 36.4	4 36.4
	住みやすい(N=235)	42 17.9	61 26.0	127 54.0	43 18.3	44 18.7	49 20.9	67 28.5	74 31.5	29 12.3
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	101 22.2	121 26.6	242 53.2	113 24.8	85 18.7	96 21.1	144 31.6	152 33.4	67 14.7
	どちらともいえない(N=119)	25 21.0	24 20.2	53 44.5	25 21.0	20 16.8	21 17.6	23 19.3	29 24.4	14 11.8
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	12 21.1	18 31.6	23 40.4	17 29.8	13 22.8	12 21.1	17 29.8	20 35.1	11 19.3
	住みにくい(N=25)	8 32.0	4 16.0	11 44.0	6 24.0	5 20.0	5 20.0	8 32.0	8 32.0	2 8.0

		国内及び各国間の不平等をなくす	安全かつ強靱で住み続けられるまちをつくる	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	気候変動とその影響を軽減するための対策を講じる	海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	生物多様性を維持し、持続可能な森林づくりを行う	あらゆる場所における暴力をなくし、平和で公正な社会をつくる	みんなで協力し、持続可能な世界を構築する	不明・無回答
居住年数別	20年以上(N=708)	65 9.2	230 32.5	137 19.4	162 22.9	86 12.1	86 12.1	219 30.9	135 19.1	47 6.6
	10年以上20年未満(N=100)	10 10.0	32 32.0	24 24.0	16 16.0	9 9.0	16 16.0	29 29.0	15 15.0	1 1.0
	5年以上10年未満(N=39)	2 5.1	16 41.0	12 30.8	3 7.7	5 12.8	5 12.8	9 23.1	9 23.1	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	7 14.6	15 31.3	9 18.8	6 12.5	8 16.7	8 16.7	10 20.8	9 18.8	3 6.3
	1年未満(N=11)	4 36.4	4 36.4	3 27.3	1 9.1	2 18.2	2 18.2	3 27.3	5 45.5	1 9.1
	住みやすい(N=235)	21 8.9	74 31.5	47 20.0	45 19.1	23 9.8	27 11.5	69 29.4	48 20.4	12 5.1
住みやすさ別	まあまあ住みやすい(N=455)	40 8.8	154 33.8	100 22.0	94 20.7	65 14.3	64 14.1	137 30.1	89 19.6	16 3.5
	どちらともいえない(N=119)	10 8.4	39 32.8	19 16.0	19 16.0	8 6.7	11 9.2	32 26.9	15 12.6	12 10.1
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	8 14.0	18 31.6	13 22.8	18 31.6	8 14.0	11 19.3	23 40.4	13 22.8	4 7.0
	住みにくい(N=25)	4 16.0	5 20.0	2 8.0	7 28.0	3 12.0	2 8.0	6 24.0	4 16.0	2 8.0

上段：件数、下段：%

【デジタル化(スマートシティ)の推進について】

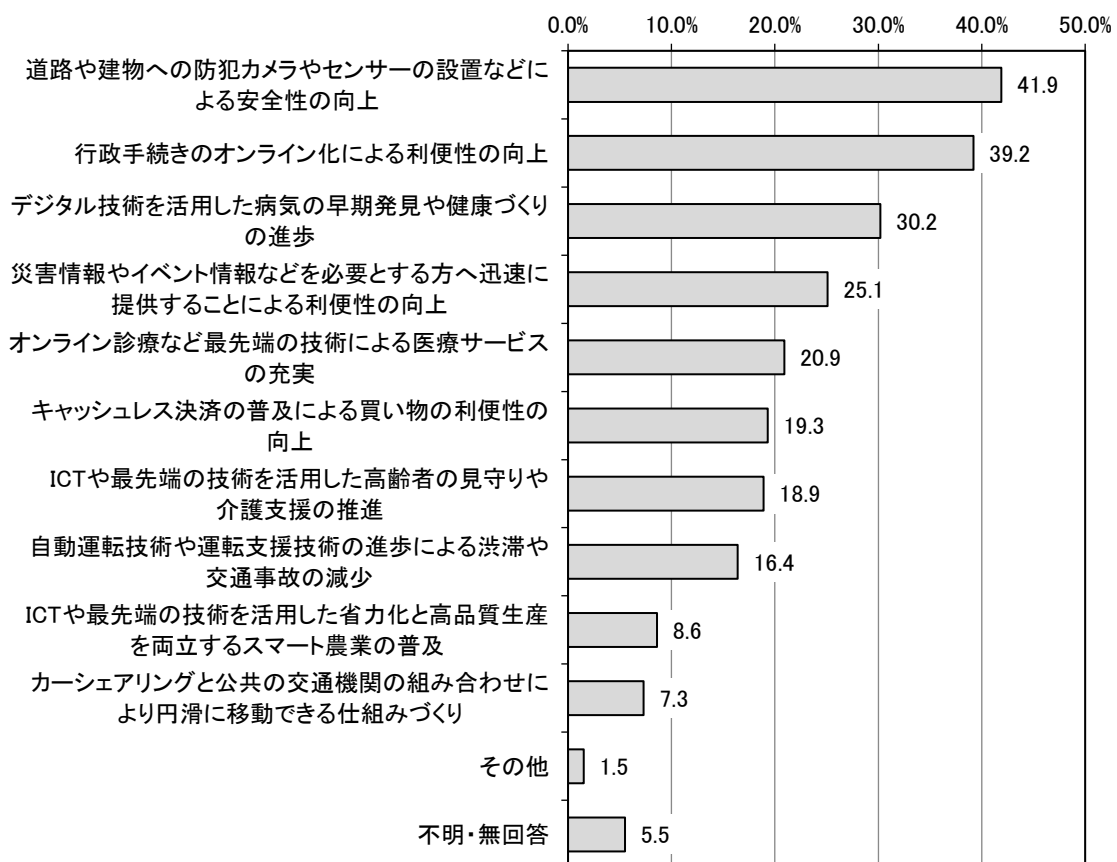
問 29 今後デジタル化が進むことによってどんな変化を期待しますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

今後デジタル化が進むことによって期待する変化については、「道路や建物への防犯カメラやセンサーの設置などによる安全性の向上」が 41.9%と最も高く、次いで「行政手続きのオンライン化による利便性の向上」が 39.2%、「デジタル技術を活用した病気の早期発見や健康づくりの進歩」が 30.2%となっています。

年齢別でみると、20 歳以上では年齢が上がるにつれて「キャッシュレス決済の普及による買い物の利便性の向上」が低くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		行政手続 きのオン ライン化 による利 便性の向 上	災害情報 やイベン ト情報な どを必要 とする方 へ迅速に 提供する ことによ る利便性 の向上	キャッ シュレス 決済の普 及による 買い物の 利便性の 向上	道路や建 物への防 犯カメラ やセン サーの設 置などに よる安全 性の向上	ICTや最 先端の技 術を活用 した高齢 者の見守 りや介護 支援の推 進	ICTや最 先端の技 術を活用 した省力 化と高品 質生産を 両立する スマート 農業の普 及	デジタル 技術を活 用した病 気の早期 発見や健 康づくり の進歩	オンライ ン診療な ど最先端 の技術に よる医療 サービスの 充実	自動運転 技術や運 転支援技 術の進歩 による渋 滞や交通 事故の減 少	カーシェ アリング と公共の 交通機関 の組み合 わせによ り円滑に 移動でき る仕組み づくり	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=396)	169 42.7	93 23.5	82 20.7	161 40.7	70 17.7	46 11.6	122 30.8	94 23.7	79 19.9	32 8.1	2 0.5	19 4.8
	女性(N=499)	180 36.1	132 26.5	92 18.4	214 42.9	100 20.0	30 6.0	147 29.5	95 19.0	70 14.0	33 6.6	11 2.2	29 5.8
年齢別	18～19歳(N=7)	2 28.6	1 14.3	2 28.6	3 42.9	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳(N=79)	48 60.8	19 24.1	31 39.2	25 31.6	11 13.9	5 6.3	12 15.2	17 21.5	15 19.0	5 6.3	1 1.3	0 0.0
	30～39歳(N=114)	50 43.9	23 20.2	36 31.6	42 36.8	16 14.0	13 11.4	40 35.1	21 18.4	25 21.9	8 7.0	4 3.5	1 0.9
	40～49歳(N=169)	85 50.3	44 26.0	38 22.5	68 40.2	37 21.9	14 8.3	44 26.0	38 22.5	26 15.4	6 3.6	2 1.2	2 1.2
	50～64歳(N=169)	75 44.4	45 26.6	33 19.5	72 42.6	27 16.0	12 7.1	52 30.8	30 17.8	33 19.5	7 4.1	3 1.8	6 3.6
	65～74歳(N=87)	28 32.2	24 27.6	9 10.3	35 40.2	21 24.1	11 12.6	24 27.6	16 18.4	6 6.9	12 13.8	0 0.0	8 9.2
	75歳以上(N=270)	62 23.0	70 25.9	25 9.3	128 47.4	57 21.1	20 7.4	94 34.8	65 24.1	38 14.1	28 10.4	3 1.1	31 11.5
地区別	龍野町(N=219)	94 42.9	56 25.6	45 20.5	93 42.5	40 18.3	17 7.8	57 26.0	48 21.9	41 18.7	10 4.6	1 0.5	7 3.2
	揖保町(N=50)	21 42.0	14 28.0	7 14.0	21 42.0	8 16.0	6 12.0	13 26.0	13 26.0	11 22.0	4 8.0	0 0.0	6 12.0
	神岡町(N=69)	31 44.9	21 30.4	12 17.4	33 47.8	9 13.0	8 11.6	22 31.9	10 14.5	10 14.5	2 2.9	2 2.9	4 5.8
	誉田町(N=38)	12 31.6	9 23.7	9 23.7	18 47.4	9 23.7	6 15.8	15 39.5	7 18.4	6 15.8	1 2.6	0 0.0	1 2.6
	揖西町(N=98)	30 30.6	32 32.7	18 18.4	44 44.9	23 23.5	6 6.1	34 34.7	27 27.6	16 16.3	6 6.1	1 1.0	4 4.1
	揖保川町(N=148)	54 36.5	38 25.7	27 18.2	63 42.6	26 17.6	10 6.8	45 30.4	24 16.2	21 14.2	16 10.8	3 2.0	8 5.4
	御津町(N=129)	54 41.9	29 22.5	29 22.5	50 38.8	29 22.5	12 9.3	35 27.1	30 23.3	14 10.9	11 8.5	3 2.3	6 4.7
	新宮町(N=148)	57 38.5	27 18.2	26 17.6	53 35.8	26 17.6	12 8.1	48 32.4	31 20.9	26 17.6	15 10.1	4 2.7	13 8.8
居住年数別	20年以上(N=708)	275 38.8	191 27.0	121 17.1	294 41.5	132 18.6	60 8.5	224 31.6	148 20.9	109 15.4	56 7.9	11 1.6	44 6.2
	10年以上20年未満(N=100)	39 39.0	18 18.0	24 24.0	39 39.0	20 20.0	7 7.0	24 24.0	20 20.0	23 23.0	6 6.0	2 2.0	3 3.0
	5年以上10年未満(N=39)	16 41.0	8 20.5	13 33.3	18 46.2	11 28.2	2 5.1	13 33.3	7 17.9	7 17.9	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	21 43.8	10 20.8	13 27.1	22 45.8	5 10.4	6 12.5	9 18.8	12 25.0	8 16.7	2 4.2	1 2.1	1 2.1
	1年未満(N=11)	4 36.4	2 18.2	4 36.4	4 36.4	3 27.3	3 27.3	1 9.1	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0	2 18.2
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	87 37.0	66 28.1	47 20.0	104 44.3	40 17.0	15 6.4	72 30.6	49 20.9	32 13.6	14 6.0	2 0.9	12 5.1
	まあまあ住みやすい(N=455)	194 42.6	114 25.1	85 18.7	193 42.4	96 21.1	44 9.7	147 32.3	94 20.7	85 18.7	32 7.0	6 1.3	15 3.3
	どちらともいえない(N=119)	44 37.0	25 21.0	28 23.5	49 41.2	19 16.0	11 9.2	34 28.6	23 19.3	15 12.6	10 8.4	3 2.5	7 5.9
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	21 36.8	18 31.6	11 19.3	26 45.6	10 17.5	7 12.3	10 17.5	12 21.1	11 19.3	6 10.5	2 3.5	5 8.8
	住みにくい(N=25)	9 36.0	4 16.0	4 16.0	6 24.0	2 8.0	0 0.0	6 24.0	7 28.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	4 16.0

上段：件数、下段：%

【「持続可能な行財政運営の推進」の満足度別】

		行政手続きのオンライン化による利便性の向上	災害情報やイベント情報などを必要とする方へ迅速に提供することによる利便性の向上	キャッシュレス決済の普及による買い物の利便性の向上	道路や建物への防犯カメラやセンサーの設置などによる安全性の向上	ICTや最先端の技術を活用した高齢者の見守りや介護支援の推進	ICTや最先端の技術を活用した省力化と高品質生産を両立するスマート農業の普及	デジタル技術を活用した病気の早期発見や健康づくりの進歩	オンライン診療など最先端の技術による医療サービスの充実	自動運転技術や運転支援技術の進歩による渋滞や交通事故の減少	カーシェアリングと公共交通機関の組み合わせにより円滑に移動できる仕組みづくり	その他	不明・無回答
「持続可能な行財政運営の推進」の満足度別	満足(N=13)	5 38.5	0 0.0	4 30.8	7 53.8	2 15.4	0 0.0	5 38.5	2 15.4	4 30.8	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	やや満足(N=76)	25 32.9	20 26.3	13 17.1	26 34.2	21 27.6	14 18.4	29 38.2	17 22.4	13 17.1	6 7.9	1 1.3	3 3.9
	普通(N=605)	249 41.2	161 26.6	112 18.5	258 42.6	104 17.2	44 7.3	180 29.8	121 20.0	97 16.0	40 6.6	9 1.5	29 4.8
	やや不満(N=160)	67 41.9	45 28.1	36 22.5	69 43.1	31 19.4	18 11.3	48 30.0	41 25.6	26 16.3	13 8.1	3 1.9	6 3.8
	不満(N=24)	6 25.0	3 12.5	6 25.0	8 33.3	4 16.7	2 8.3	4 16.7	6 25.0	3 12.5	2 8.3	0 0.0	4 16.7

上段:件数、下段:%

■その他の回答内容(今後デジタル化が進むことによって期待する変化)

回答	件数
デジタル化で困る人への支援	3
高齢者でも使えるデジタル化	2
回覧板のデジタル化	1
田舎にはデジタル化は期待しない	1
理解ができない	1
全てにデジタル化を推進してほしくない	1

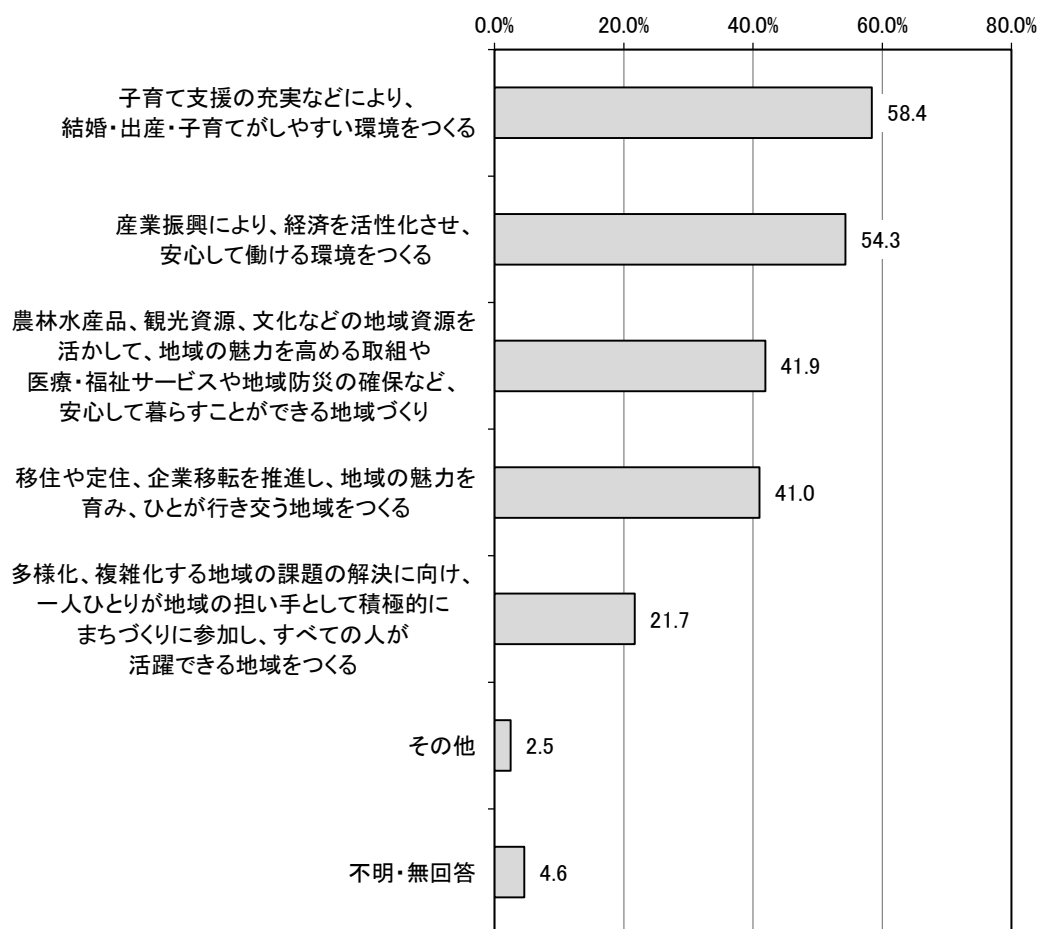
【人口減少に対する取組について】

問 30 人口減少が急速に進行している中、活力ある地域を目指して、たつの市が取り組むべきことは何だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

活力ある地域を目指して、たつの市が取り組むべきことについては、「子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育てがしやすい環境をつくる」が58.4%と最も高く、次いで「産業振興により、経済を活性化させ、安心して働ける環境をつくる」が54.3%、「農林水産品、観光資源、文化などの地域資源を活かして、地域の魅力を高める取組や医療・福祉サービスや地域防災の確保など、安心して暮らすことができる地域づくり」が41.9%となっています。

年齢別でみると、20～39歳で「子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育てがしやすい環境をつくる」が高くなっています。

N=916



【性別、年齢別、地区別、居住年数別、住みやすさ別】

		産業振興により、経済を活性化させ、安心して働ける環境をつくる	移住や定住、企業移転を推進し、地域の魅力を育み、ひとが行き交う地域をつくる	子育て支援の充実などにより、結婚・出産・子育てがしやすい環境をつくる	農林水産品、観光資源、文化などの地域資源を活かして、地域の魅力を高める取組や医療・福祉サービスや地域防災の確保など、安心して暮らすことができる地域づくり	多様化、複雑化する地域の課題の解決に向け、一人ひとりが地域の担い手として積極的にまちづくりに参加し、すべての人が活躍できる地域をつくる	その他	不明・無回答
性別	男性(N=396)	216 54.5	172 43.4	237 59.8	158 39.9	97 24.5	12 3.0	14 3.5
	女性(N=499)	271 54.3	199 39.9	287 57.5	220 44.1	97 19.4	9 1.8	25 5.0
年齢別	18～19歳(N=7)	5 71.4	2 28.6	3 42.9	3 42.9	2 28.6	1 14.3	0 0.0
	20～29歳(N=79)	40 50.6	32 40.5	63 79.7	19 24.1	12 15.2	5 6.3	0 0.0
	30～39歳(N=114)	60 52.6	41 36.0	78 68.4	48 42.1	22 19.3	6 5.3	3 2.6
	40～49歳(N=169)	81 47.9	77 45.6	101 59.8	70 41.4	30 17.8	2 1.2	1 0.6
	50～64歳(N=169)	99 58.6	70 41.4	84 49.7	65 38.5	31 18.3	3 1.8	6 3.6
	65～74歳(N=87)	49 56.3	40 46.0	51 58.6	41 47.1	22 25.3	1 1.1	5 5.7
	75歳以上(N=270)	151 55.9	107 39.6	144 53.3	131 48.5	75 27.8	5 1.9	24 8.9
地区別	龍野町(N=219)	118 53.9	82 37.4	125 57.1	93 42.5	51 23.3	8 3.7	6 2.7
	揖保町(N=50)	28 56.0	22 44.0	33 66.0	17 34.0	14 28.0	0 0.0	5 10.0
	神岡町(N=69)	36 52.2	26 37.7	41 59.4	24 34.8	16 23.2	3 4.3	4 5.8
	菅田町(N=38)	25 65.8	13 34.2	21 55.3	12 31.6	11 28.9	2 5.3	1 2.6
	揖西町(N=98)	55 56.1	43 43.9	65 66.3	44 44.9	20 20.4	1 1.0	3 3.1
	揖保川町(N=148)	73 49.3	67 45.3	83 56.1	66 44.6	25 16.9	0 0.0	10 6.8
	御津町(N=129)	69 53.5	55 42.6	78 60.5	56 43.4	28 21.7	3 2.3	1 0.8
	新宮町(N=148)	85 57.4	63 42.6	80 54.1	62 41.9	30 20.3	6 4.1	10 6.8
居住年数別	20年以上(N=708)	390 55.1	295 41.7	394 55.6	310 43.8	158 22.3	13 1.8	38 5.4
	10年以上20年未満(N=100)	58 58.0	39 39.0	65 65.0	34 34.0	17 17.0	2 2.0	0 0.0
	5年以上10年未満(N=39)	18 46.2	17 43.6	27 69.2	20 51.3	8 20.5	1 2.6	0 0.0
	1年以上5年未満(N=48)	22 45.8	19 39.6	34 70.8	11 22.9	9 18.8	4 8.3	2 4.2
	1年未満(N=11)	4 36.4	5 45.5	7 63.6	5 45.5	1 9.1	2 18.2	1 9.1
住みやすさ別	住みやすい(N=235)	128 54.5	94 40.0	151 64.3	103 43.8	60 25.5	3 1.3	7 3.0
	まあまあ住みやすい(N=455)	258 56.7	195 42.9	271 59.6	196 43.1	95 20.9	8 1.8	16 3.5
	どちらともいえない(N=119)	56 47.1	49 41.2	59 49.6	45 37.8	22 18.5	5 4.2	6 5.0
	あまり住みやすいとはいえない(N=57)	35 61.4	22 38.6	28 49.1	22 38.6	12 21.1	3 5.3	5 8.8
	住みにくい(N=25)	7 28.0	10 40.0	12 48.0	6 24.0	5 20.0	4 16.0	3 12.0

上段：件数、下段：%

■その他の回答内容(活力ある地域を目指して、たつの市が取り組むべきこと)

土地利用に関して	件数
市街化調整区域を廃止	2
土地があっても家を建てられない	1
農地の開放、企業誘致に繋げる	1
人口の少ない地域にも公共施設を設置	1
若者が住みやすいようショッピングモールの設置	1
市中心街の住宅価格を下げる	1
休耕田が多く、有効活用が望まれる	1
実業高校跡地に大学をつくる	1
移住・交流に関して	件数
空き家を利用した移住の支援	1
ふるさと納税を活用した交流人口の拡大	1
市が誇れるものをイベント化し、もう一度来たい意欲を生み出す	1
その他	件数
新旧住民が自立意識をもち、相互扶助の活動による社会形成を成すこと	1
渋滞があることで居住者が減っている	1
子どもが3人以上いる家は支援する	1
社会減を食い止めるために現状を把握し、それを本気で食い止める施策を考える	1
公園の草刈を市が行う	1

最後に、たつの市の将来やこれからのまちづくり、定住・移住促進を図るために必要だと思う取組について、あなたのお考えやアイデアをご自由にご記入ください。

取組についての考えやアイデアの自由記述についてみると、「自然を守り、だれもが安全に安心して住み続けたいまち」についてが 89 件と最も多く、次いで「子育てにやさしく、すべての市民が健やかに暮らせるまち」についてが 60 件、「新たな地域産業の創出と観光立市を目指すにぎわいのまち」についてが 48 件となっています。

分野	小分類	件数
自然を守り、 だれもが安全に安心して 住み続けたいまち	自然環境の保全	4
	持続可能な社会の実現	1
	良好な住環境の整備	54
	道路網の整備、公共交通の充実	22
	安全・安心な地域づくり	8
子育てにやさしく、 すべての市民が健やかに 暮らせるまち	子育て支援などの充実	21
	高齢者福祉の充実	9
	障害者福祉の充実	1
	地域福祉の充実	8
	医療サービス・健康づくりの推進	21
学都たつのの輝きと 歴史・文化が薫るまち	幼児教育・学校教育の充実	14
	生涯学習・スポーツ活動の推進	9
	歴史文化遺産の保全と活用・芸術文化活動の推進	3
	人権教育・啓発の推進	2
新たな地域産業の創出と 観光立市を目指す にぎわいのまち	農林業の振興	5
	漁業の振興	0
	観光の振興	7
	商工業の振興	36
市民や地域と協働し、 地域力あふれるまち	参画と協働のまちづくり	12
	市の魅力発信・交流の推進	12
	持続可能な行財政運営の推進	14
アンケートについて		8
コロナについて		6
その他		22

自然を守り、だれもが安全に安心して住み続けたいまち
自然環境の保全
自然環境の充実した生活の維持
自然豊かで大好きな故郷です。子ども達も豊かに暮らしてほしい
田舎だが、自然の良さが感じられず中途半端
健康に暮らせる未来のために、自然を守ることが大切だと考える。デジタル化が進み便利であるが、何でも機械に任せた生活は、学力低下や健康への悪影響を及ぼしかねない。環境への影響も心配である。自然豊かで、市民が穏やかに暮らせる市になることを期待する
持続可能な社会の実現
ゴミの不法投棄が多い。瓶・缶・生ゴミ・衣類等、投げ捨て
良好な住環境の整備
姫路市のように公園の遊具を充実させてほしい
大型遊具が全然ないので、わざわざ姫路市まで行かないと子どもたちが遊べない
充実した公園が少ない
子どもが安心して遊べる公園がほしい
・下水道はほぼ完備しているが、されていない家はどのように排水されているのか？くみ取りを見たことが無い。地区内の溝や林田川への排水を調査してほしい ・年末の門松印刷紙はいらない。貼っている家はほとんど無い
空き家が多く行政が買い上げて移住者に譲渡・賃貸などの仲介をしたらよいのではないか
・美味しい水の確保と維持 ・小都市のあり得る状況を把握し、一人ひとりの生活の豊かさを実感できる町でありたい ・若い人達が住んでよかった（住みたい）と思えるシステム作り
・新宮中学校の通学路は、宮内区は道幅が狭く危険である ・播磨新宮駅の南北通路の整備を早急にしてほしい
・若者向けの店が少なく、姫路まで行かざるを得ない時もある ・公園が少ないために一つの場所に人が集まり、車も止められず遊べない時がある ・将来のことを考えると、若者や子どもにやさしくしなければ、移住したいと思わない
・竜野駅周辺道路を拡大整備し、駅ビル建設をすれば定住・移住の促進になると思う ・車道と歩道の区別が曖昧な所が多く、歩行者や自転車の学生が安全に通行できるようにしてほしい
中川原にいい公園があるが駐車場が無く、公園の北側の林を駐車場にしてほしい。車社会なのに残念である
有能な同級生は街に出て帰らない。子どもも他府県の大学に出て戻らず、たつの市全体というのは無理なので、駅前をコンパクトシティにし、徐々に拡大すればいいのではないか
揖保町にはマンションやアパート等が無く、調整区域しかないため移住が難しい。子育て世代は太子町や相生市などに移住するため高齢化が進み、各種行事や会合も現役世代の負担が増大。その状況を見ている若い世代は市外に移り住み、悪循環である

本竜野駅周辺に商業施設を充実させ、公園や河川敷を楽しい遊び場にすれば、少しは人口が増えるのではないかと。商業施設をまとめると、交通も便利になると思う
竜野駅を利用しやすいように、周辺を早急に整備する
旬彩蔵を揖西にも作ってほしい。車に乗れなくなると、今の所へは野菜を買いに行けない
JR 竜野駅周辺整備
・若者が住みたいと思えば、たつの市の子どもの数が増えそう。家を建てたいと思っても土地が無いと聞くが、空き家も多い。そのあたりが上手くかみ合えばよい ・たつの市は市民の声を聞こうとしている。また直ぐに実行するところは凄いと感じている。住みやすい市であってほしい
住んでいる場所の電波状況が悪く、改善してほしい
市営住宅のリフォームを行い、幅広い年齢層の入居を可能とし、空き家を減らす。リフォームが困難であれば、家賃を減額して負担を減らす
空き家対策として、購入者にはリノベーション費用支援、市外からの移住者には支援増を行い、人口減少に歯止めをかける
定住すればするほど、お金を使わなくて済む制度を考えたらどうか
施設が充実した、大きくて美しい公園を作る
街灯整備
親子と一緒に住める町にしたい
空き家活用
・川西地区では空き家が増え、一人暮らしも多くなり、ゴーストタウン化の心配がある。商店も少なく赤とんぼ荘も真っ暗で、夜間は淋しげである。空き家をリノベーションし、若い人に安価販売や賃貸できるような活動をすべき。子育て世代に移住してもらうことで、学校や保育も活発になってほしい ・赤とんぼ荘は宿泊可能な子どもの館として利用できないか。きれいに整備し、館内もいろいろな体験ができるようにすれば、他県からの利用も見込まれる。若い親達には魅力的だと思う
空き家や相続で所有した面積の少ない土地、個人で活用困難な土地等を市が所有し、居住可能な土地として整備し、必要な人達に売却する
「空き家物件」非常に古く、リフォーム費用を負担してもらえらる支援事業があると嬉しい（令和4年3月31日までの住宅取得に限らず、継続してほしい）
空き家対策、定住・移住にかかる資金の補助。農地整備など、若い世代が新しいことにチャレンジできる町になってほしい。人口増加により地域が活性化し、高齢者や障害者への見守りなども充実するように思われる
市の中心部ばかり開発せず、全体の中で公共施設の配置や店舗、医療機関が配置されることで市全体が活性化する。特に高齢者には店舗と医療機関は欠かせない条件である。コンビニでよいので近くにあればとの声は多い
帰郷して実家近くに新築を建てたいが、規制のため自由に建てられないと聞く。もう少し子ども世代が家を自由に建てることできれば、「田舎に帰ろう」と思う人もいるはず

御津町室津は他所から来る人達は「海あり山あり自然に恵まれ、災害も少なく住んでみたい」と言うが、市街化調整区域のため何もできない。そのため新しい人も移住しない。人間的にも思いやりも少なく、助け合いも無い
空き家の宅地管理を充実してほしい。隣接している者は迷惑している
定住移住促進を図るには、若者が魅力を感じる街でなければならない。都市とのアクセスが容易な環境であること。具体的には姫新線の気動車によるローカルなイメージから脱却。そのためには電化の推進。本竜野駅周辺は都市化が進みつつあるが、東鯨崎、新宮の駅周辺の都市化が必要だと感じる。また光都の広大な敷地の企業誘致により、地元雇用の推進を図る
神岡地区は市街化調整区域で家が建てられないことが多く、人口が減少している。自由に建てられるようにしてほしい。そうすれば店もできる
・ たつの市駅近くにコンビニがあれば便利 ・ 市街化調整区域を開発してほしい（揖保川町役場周辺）
農業従事者の高齢化により田畑の管理に不安があり、市で考えてほしい。市街化調整区域として田畑を縛り付けている限り住宅や店も建てられず、人口が増えないのではないかと
空き家の撤退、周囲の手入れ。スーパーや学童周辺など、身近な場所から片づける
空き家を更地にして分譲住宅を建てれば、人口も増えるのではないかと。たつの市は海も山も近く、住みやすい町だと思う。もっと安心して住みやすい市になることを祈る
地域により若い人が少なく、極端なことになっている。若い人が住んでいる地域は活気があり、そのような所を増やしてほしい。市街化調整区域などで家が建てられない地域は若い人が増えず、子どもの数が減る一方である
大型の買い物施設があれば人が集まる。駅前にコンビニがあれば便利だと思う。朝夕夜に赤とんぼが鳴るのはよい。きれいな公園がある自治体は印象が良い。たつの動物園は動物に活気が無い。駅や公園など公共施設がきれいな地域は防犯も良い気がする。定住支援奨励金があるので家を建てた。市役所も新しくなり、比較的コンパクトシティに感じるため、転入して良かったと思う。経済支援を求む
・ 駐車場がある広めの公園 ・ バリアフリー、おむつ替えができるトイレの設置
高齢化が進む中、若い世代が移住できるように、農地や空き地利用を願う。移住を希望しても家を建てることができず、断念するケースもある。若い世代が住みやすい環境づくりが、市の発展に繋がる。 *家を建てられる基準がよくわからない *所有している田畑でも、簡単に住宅を建てられないのは何故なのか
街灯が少なすぎる！
公園を近くに作って欲しい。中垣内は公園がほとんどなく、自分の住んでいる地域には、20年程前に老朽化で遊具が撤去され、そのまま。たつの市の住宅地にはキレイな公園が出来ても、子どもの少ない田舎は遊び場が何もない。田んぼや道、川で遊ぶしかない。公園が出来ると子どもが集まり、老人も集まってきて自然と交流が出来ると思う

河川敷の公園は、広く整備されているが、何もない。ユニークな遊具や、日差しよけになるような植物や屋根、仮設ではないトイレが欲しい（特にせせらぎ公園）。広い土地と豊かな自然を活かし、他にはあまりないような要素を盛り込んだ場所にする。滅茶苦茶長い滑り台とか、迷路とか作ると面白いかも。植物を植えまくり、独特な空間を作るのもアリ。何せ色々もったいない
市中心街の住宅価格を下げる
老後歩いて買い物に行ける店作り。空いている農地を宅地にし移住を増やす
・空き家を利用してオープンな形の集会場を各地に作れば、子ども達の見守りの場や、高齢者のフレイル予防として場になるのではないか ・空地は小さな公園にする
高齢化と空き家問題、人が地域を離れていく。空き家の有効活用を願う
コロナ禍により、自然と触れ合い、きれいな空気の中でゆったりと過ごせる地方の良さが見直されている時なので、デジタル環境を整備し、働く世代の定住を促進してほしい
大きな公園や子ども達だけでも遊べるような施設があれば助かる
1～3歳の子どもが遊べる遊具のある公園整備と充実
道路網の整備、公共交通の充実
公共交通機関の充実
「あかねちゃん」に昼休みは必要なのか。タクシーのように、電話で受け付けてもらえるサービスはできないのか。不便なことが多くある
旧たつの市中心の考え方になっている。「御津→海の財産」「新宮→山の財産（佐用・山崎へのアクセス）」「揖保川→JR 本線の活用（人口増加を目指す）」等、全体として考えるべき
高齢者が徒歩で行ける店が無い。スーパーの移動販売車を見かけるが、市からの助成はあるのか。市内の隅々まで回ってもらえると助かる。年齢を重ね自動車に乗れなくなった場合は不便になる
ビクトリア駅を新幹線が停車する駅として建ててほしい
交通網の整備
公共交通機関の充実
・市営バスがあると便利である ・福祉タクシー導入
・国道 2 号線たつの市内は人の往来が無い。通過地点になっている太子町のように賑やかになればいい
バスは人が乗ろうと乗るまいと、朝から夜 10 時頃までは運行してほしい。車が無い人や運転できなくなった場合に外出意欲が無くなる
コミュニティバス「竜野⇄神岡ルート」の復活
朝晩（通勤時間）のみ定期的コミュニティバス運行
てくてくバスを増やしてほしい
山陽本線と姫新線の連絡を図る
姫新線の終電が早すぎる

老いて自分のことが出来なくなった時、この町に住み一人で生活できるかと考えてしまう。地域の中で買い物や病院行くのには、コミュニティバスが必要となる。またタクシー券も月に数回使用できるシステムがあればと思う。静かで良い町ではあるが、活気が無い気がする。子どもも少なくなり、これからの課題である
交通の便が悪すぎる！
以前から思っていたことですが、御津地区が他のたつの市内に比べて交通の便が市の方から区別をされているように感じておりました。 新宮は姫新線及び神姫バス、龍野は新宮と同様、揖保川には山陽本線、御津には何も電車的なものがない、その中で御津地区は神姫バスが他の地区で走っている電車に匹敵と思われるが、市民病院までの運転になっている。以前のように赤字かもしれないが大浦まで走らせてもらいたい。姫新線ばかり補助を出し過ぎに思われる。 またルートも現状停留所を少し移動し、中島郵便局前や黒崎にも回れるルートは十分走れるルートと思われます。 神姫バスが無理ならば赤とんぼの運転を大浦迄伸ばしてもらいたい。相生からバスが来ているのだからこれも可能と思われる。 とにかく御津地区はたつの市になってから不便になったと強く思う。このような状態なので転出を考えています
問 26 で記入しましたテレワークについて。 あと、あかねちゃんについてですが、子供の習い事の送迎などに利用したい場合、もう少し利用可能時間が遅ければと思います。 また段医院に高校生の子が通っていたことがあるのですが、たつの市ではないので難しいと思うのですが利用できる範囲を広げてもらえたらと思いました
主要幹線道路で交通渋滞が起こっているため、分散させるための経路整備が必要
山陽本線の本数が少なく、人の流れが低下。本数が増えれば住宅も増える
JR 山陽本線「竜野駅」再開発！
安全・安心な地域づくり
防犯防災体制の充実強化
・自動車運転の仕方改善（一旦停止を守らない等） ・カーブミラーの取り換え（曇って見えない時があり危険）
アジア系の移住者が増え、高級車や暴走族が走り回り騒がしくなった。早く日本社会に馴染んでもらうために、外国人向けの日本語や生活習慣のマナー講座を開催してはどうか。治安の維持には注力してほしい
生活道路への車両進入制限（生活している人以外は進入禁止など。抜け道として車がスピードを出して走り危険なため、アンケートを実施してほしい）
・中川公園の横断歩道に信号を付けてほしい。小学生が渡りたくても、車は全く停車せず危険 ・不審者目撃情報が多いにも拘わらず、学校の門が施錠されていない。危機管理ができておらず見直してほしい ・公園に防犯カメラを設置し、子ども達が安全に過ごせるようにしてほしい

生活道路の整備。住む地域により見放された感がある。
・道路のセンターラインや右折可ライン等が消えている ・道路に木がはみ出していて、運転に支障がある ・防災無線が聞こえない。設置場所を考えてほしい
ゲリラ豪雨を考えた場合、揖保川の水位が上昇し、馬路川や片島川の排水が出来なくなり、低地での浸水が心配である。一時的に水をためる対策を行ったが、それ以上の降水量の場合は排水が追い付かず、浸水の可能性が考えられる。対策として、「馬路川排水ポンプの台数を増やすか、容量アップ」「揖保川の木や草を取り除き、水がスムーズに流れるように整備」。以上、対策を希望する
揖保川の底を掘り下げ、氾濫の危険度を下げてほしい
子育てにやさしく、すべての市民が健やかに暮らせるまち
子育て支援などの充実
近隣の市町と比べて、たつの市は子育て支援が充実していると感じるので、この点に特化するべきと考える。例えば、子供の遊び場が少ないことが、休日に市外に出かける要因になっていると感じる。レクリエーション施設や公園の遊具がもっと充実するとよいのではないかと
子育て支援として夫婦共働きができるよう、老人家庭などで格安に預けられるようにしたらどうか
多子世帯への支援が少な過ぎる。インフルエンザの予防接種など、子どもが複数いれば高額になる。年齢でなく何人目の子が無料など、多子世帯にやさしい町づくりにしてほしい。保育園においても卒園した子どもを含め、人数を数えてほしい。多子世帯には損しかない
子育てするには充実した環境だとは思いますが、任意の予防接種助成等もできるはず。おむつの配達が良い取り組みだとは思いますが、1歳までであれば嬉しい
高齢者の負担を増やし、子育て世代への負担を軽減すれば若者の流出を減らせる。高齢者が預金しているだけでお金を回せる仕組みをつくる
子どもにお金がかかるので、子育て支援がさらに充実してほしい
子育て支援の充実強化
中学校の給食が無償化になっているように、小学生以下の子ども達がいる小学校・こども園・保育所等も無償化対象にしてほしい
たつの市で働けること、子育てに関わる支援の充実。出生率の低下が問題だと思う。龍野より西や北の地域の人からは、「たつの市は積極的だし、買い物も不便なく、住むにはいいよね」と言われる。そのあたりをアピールし、若い世代が住んでもらえるようになればいい
子育て支援の充実
妊婦健診時の交通費無料サービス、出産祝い金や品の充実
第三子に金銭的補助（出産育児）
結婚・出産及び子育てしやすい環境や支援制度が鍵を握る
若い人に移住してもらうことが重要。子育て支援（給食費無料、医療費18歳まで無料）を行いPRする
若い未婚者を減らすため、保育所を増やす。企業誘致を積極的に行う

女性が出産後も子育てしながら働ける環境をつくり、2人目、3人目への出産に踏み切ってほしい。現状は夫や実家の親の援助が無いと、職場復帰は難しい
・多子世帯への支援の充実 ・保育園の充実 ・キラキラクーポン再開
生活保護や母子家庭の見直し調査が必要
公園の整備をしたり、子育て支援に力を入れて働き盛りの人たちの移住を促す
子育て支援や教育など将来を担う世代への投資が大切だと考えます
人口が減り行政サービスが減少し負担が増えると、ますます子育てが難しく少子化になり悪循環になる。子育て世代を移住・定住促進するために、税制面での優遇だけでなく、子育てしながら働ける仕事や病後児保育の拡充に取り組む必要がある
高齢者福祉の充実
志んぐ荘や赤とんぼ荘などを高齢者対策施設として利用してはどうか
高齢者が多く車が必要となるが、公共施設が整っていて、自然も多く住みやすい都市だと思う。後は収入に応じた無理のない暮らしが送れるように、支援をしてほしい
高齢者が一人暮らしになっても地域と繋がっていられる町、生きがいを持って過ごせる町
家族同居であると高齢者サービスが受けにくい。家族が助けてくれるものでもない。第三者に頼りやすいサービスの充実を願う
高齢者を守る若者の育成
シニアが収入を得られるような社会にしてほしい
高齢化の中、施設確保が難しく、金額にも不安がある
高齢者の施設待機が減るように施設を増やし、介護負担において働けない若い人が働けるようにする
就労先の創出・斡旋や認知症予防事業による高齢者の生活支援が大切だと考えます
障害者福祉の充実
障害者が安心して住める町になってほしい。雇用場所、地域での見守り、孤立化しない取り組みに力を入れてほしい。希望があれば、それに応じた制度や取り組みなどの情報をわかりやすく提示するシステムがあればいい。就労場所の誘致などができるのであれば企業に依頼し、障害者が主力になるような会社ができればいい
地域福祉の充実
積極的なひきこもり対策（一括した相談窓口、居場所、ひきこもり経験者の積極的な活用）
一人住まいの者への支援も必要。子どもがいる世帯と同様、一人世帯でもお金は必要である
高齢者への支援は整っている。若者にもっと支援を希望する
貧困家庭への支援
市営住宅入居制限等、肩身の狭さを感じる。高齢者や母子家庭が多く、様々な面で困難や不備が生じる
地域の子ども達が住んでいる居心地の良さを家庭や地域から感じられるような地域支援や家庭支援を願う

たつの市応援商品券について、先着順に一部の人だけが得をするような販売方法は納得できない。希望する全ての人に行き渡るように計画してほしい
福祉的ハンディキャップがある場合は、思いやりある制度対応してほしい。子どもが障害者の場合、親が高齢の場合は年金で面倒を見なければならない。この先、国が面倒見てくれるかわからない。親に支援をしてもらわなければ、先行きが不安である
医療サービス・健康づくりの推進
産婦人科はあるが、出産はたつの市内で出来ないので、産院があれば子育て世代には安心。近くても 20 分から 30 分かけて産院に行かないといけないのが大変である
市民病院は市民の病院として機能していないように感じる。有能な医師や設備を見直し検討してほしい
年末に家族が鼻から大量出血して 119 番通報したが、マイカーを利用してくれと言われた。運転できる者はおらず、やむなくタクシーで市民病院に行き鼻の手術を行った。消防ではろくに容態も聞かず、応じてくれなかった。医師には「救急車を何故呼ばなかったのか」と言われた。調査を行い、回答してほしい
市内に産科病院を作してほしい。例として、山田レディースクリニックを市が借り上げ経営するとか、市民病院に産科を新設するなど
医療機関の充実
医療体制
夜間救急を 24 時間体制にする
産婦人科不足で、安心して子どもが産める町になってほしい
小児科やちゃんとした医療を増やし、安心して子育てでき住める町づくりに取り組む
市民病院の医療体制が整ったらよい。小児科が無ければ子育て世代は不安であり、充実していれば「住んでも安心」と思える
しっかりした総合病院の確立。赤穂市や姫路市に行くことが多い。近くで安心して受診できる病院があれば嬉しい
「医療」ホームページでは充実していると掲載されているが、そう思えない
夜間救急を充実してほしい。姫路まで行くのは大変である。小児科を増やしてほしい。怪我をしても「外科でない」と断られる。年末年始や土日祝日・夜間診療をわかりやすくしてほしい。医療を整備し、子どもを育てやすい環境の整った地域づくりをしてほしい
産婦健診費用の助成を希望
新宮町に獣医を増やしてほしい
婦人科はあっても出産できる場所が無く、子育て世代は悩む。障害者や高齢者に対しても支援を確実に充実させてほしい。小さな不便が多く、長く住みたいとは言えない。自分にしてほしいことを考えれば、住みたい・やさしい町になるのではないか
産婦人科が近くになく、地元で出産できるようにしたい
産婦人科病院
医療の充実
安心して出産、子育てできる街にしてほしい。まずは産婦人科病院の設立。

妊婦健診の助成券の金額を増やしてほしい
学都たつの輝きと歴史・文化が薫るまち
幼児教育・学校教育の充実
小宅地区に住宅地が多くて、子供の人数も多いが、他の地区は、土地があっても、住宅地として売れなくて、子供の人数が増える見込みがない。どうにかならないのか？ 空いている教室が多く、もったいなく思う
児童数の減少で学校統合が行われているが、学校が無くなることにより過疎化が進む。統合を考える前に児童数を増やすことを考えるべき
地域により少子化が進んでおり、学校統廃合の話もある。廃校にせず、校区の見直しを考えてほしい
子どもの安全な生活と安定した精神、子どもを取り巻く大人たちの安定した精神、見直した教育を考えてほしい
小中学校における最新教育トレンドの導入
・子どもの教育向上に力を入れる ・親と同居し、助け合いができる教育をする
・小宅小学校の生徒数が多く、一人ひとりの教育レベルがどうなのか。登下校においても学校まで遠すぎる子や交通量が多い場所もあり安全面が充実していないと感じる ・小学校の生徒数が多いため、軽度の発達障害児が支援級に入れない。環境改善が必要
「教育」揖保・誉田・小宅小校区編成を見直してほしい
河内小学校は児童数が少なく統廃合の話も聞くが、ますます廃れてしまう。子どもにとっては良い環境で、他地域の子どもも受け入れるような留学制度などできないか
・義務や権利をわきまえ、教育の強化 ・言ったもの勝ちの生活を無くし協調を教育 ・成人者への教育よりも、幼年者に対して義務・権利・協調についての教育を行う
「IT先進都市たつの市」を提案 ◎IT教育の充実（実践的授業を実現するための教員研修とICT推進者の募集） たつの市がこれからの時代を生き残るためには、IT産業の活性化と担い手の確保が不可欠である
学童保育（預かり）を充実
新宮町の学童クラブを利用してるが、長期休暇時の利用時間が8時からしか対応してもらえない。8時以降で勤務は難しく、転職を考えた時にためらってしまう
新宮町の小学校は統合の話が出ている地域もあれば、マンモス校もある。人が住みたい地域は反対や強制できないが、市がもう少し考えて分散すればいい。1クラスの人数が多いと教師も生徒も大変である。たつの市内で人口増加や減少する状況を見直し、解決できる町づくりを進めてほしい
生涯学習・スポーツ活動の推進
総合運動公園を設け、プロのスポーツ観戦や実業団チーム誘致などが可能であれば、「活気あるまち」になる。経済効果も見込まれる

スポーツ施設を充実させて、大会誘致や合宿所として活用
スポーツ施設や図書館の刷新（御津町体育館等）
“食育”は子どもだけでなく大人にも必要であり、指導をしてもらえる機会がほしい
2号線北側に公園やスポーツができ、人と人がふれあえる場所がほしい
・揖保川を活用し、健康のため海から山へ歩いたり走ったり、サイクリングできるような市民参加の計画を望む ・図書館が小宅地区に無い。中央図書館は車も置けない。暗い。人口と本の割合が合っていない ・小宅の山は、気軽に登山できる道や休憩所を設置する
太地陸上競技場のような市外からも来て、大会など行える競技場があるとよい
御津体育館建て替えを希望する
・図書館を便利な場所に建てる ・運動ができる施設を増やす
歴史文化遺産の保全と活用・芸術文化活動の推進
城下町の整備
・古民家を活用した施設を作る ・熟年者による、たつの市の伝統を子ども達に教える
昔ながらの景観を生かした町づくりの推進に向けては、城下町で古くから暮らしている人達の説得に大きな壁があると聞く。市は積極的に推進していくことを伝え進めるべき
人権教育・啓発の推進
自治会との繋がりが無く過ごしている。婦人会に入会しないので、昔から住んでいる住民に「村を出ていけ」と言われた。人権相談窓口では話を聞くだけで助けてもらえず。数名の住民は泣き寝入りをしている。何かあると地域の人「昔からこうなの」と話を終わらせる。今は慣れて、他地域の人に助けてもらっている
「他の者」「よそ者」意識や、先住者優先の感覚は払拭する必要がある。いずれトラブルになる。他地域から移住者を受け入れ定住を図るためには、受け入れ側住民の意識改革が求められる
新たな地域産業の創出と観光立市を目指すにぎわいのまち
農林業の振興
大学卒業後は都会で就職し、生まれ育った地には定住しない。現在、高齢者が農業を担い、続けるのも農機具が高額なため、年金生活では購入しがたい。山や畑を守る仕組みを考えなければ、小動物の住処となる。市とJA農業協同組合がともに対策を考案してほしい。たつの市に住みたい人達に対し、家や田畑・山林などでの仕事に繋がる支援も必要である。定住できる“仕組み”づくりを願う
市場では空き家が増え、荒れた田畑も増えている。今のままでは自然環境も農地も守れず寂れるだけ。猪などが住み着き、駆除の際に住人が怪我をした。定住移住促進を進め、市街化調整区域の制限を緩和し、農業PRを行うなどの対策を講じてほしい

昨年、御津町で大根が天候により出荷できなかったと聞いた。“ヤーコン”はどうですか？糖尿病に効果がある健康野菜で、保存もでき販売しやすいかと思う
定住・移住を促進するために、食料自給率を上昇させる必要がある。そのためには、消費者が地元の製品や国産品を買うことが重要である
美しい田園環境を保持するためにも、若い人にも魅力的で取り組みやすい効率的な農業のための施策を実施
観光の振興
観光地を若者向けにアピールする
光都にキャンプ場やアスレチックなどの野外活動ができる場所を作れば、新しい観光地ができる
自然資源を活かした産業を利用する
他府県から続々と観光に来てもらえるように、飽きのこない街づくりが必要。また来たいと思える余韻の残る街
新舞子をマリンスポーツのメッカにする。カヤック、SUP、スラックライン、ビーチバレーがいつも出来る場所にする。揖保川でカヤックが出来るようにする。菖蒲谷公園のバイクアップール
他の市でしているような観光戦略やICT分野等専門的分野において民間人材を登用して、まちづくりに活かしてもらいたい。 観光スポットやお店、特産品など、たつの市にはたくさんの魅力がある。それらの情報を市民も巻き込み、SNSなどを活用し、市全体でたつの市の魅力を発信できるような取り組みを進めて欲しい
赤とんぼ荘（跡）の立地は最高であり、周辺道路を整備して民間施設を招聘できれば、観光の起爆剤になる
商工業の振興
コストコや大きなイオンタウンなどの大型商業施設の誘致
移住者を増やすためには、若者が安心して働ける場所が必要。行政が企業誘致を行い全体を活性化する
大型商業施設の誘致
たつの市内で働ける場を増やす。子どもが成長しても親と同居できるようにして、独居老人をつくらないようにする
地区では商店が無い。せめて食料品だけでも売ってほしい
働く場所が無ければ、若者はたつの市にはいなくなる。働く場所を求めて、都会に行ってしまう
高齢者が徒歩で行ける店が無い。スーパーの移動販売車を見かけるが、市からの助成はあるのか。市内の隅々まで回ってもらえると助かる。年齢を重ね自動車に乗れなくなった場合は不便になる
商業施設の誘致
高齢者がイキイキと暮らせる就業環境を整備

企業誘致を積極的に行い、市街化調整区域などの建設許可規制を緩和し、他地域からの人を呼び込むことが必要
農地の見直しや開放。若い世代の増加を図るため、住宅や企業転入を進める
出産を機に仕事を退職した人への就労先の斡旋
・ 駅や高速道路 IC 周辺に商業施設を誘致し、市内外からも人を呼び込んで活性化する ・ サイクリストやランナー・ライダーの宿泊地として、国民宿舎を整備して活用する ・ リモートワーク対応として、国民宿舎を活用する。IT 環境整備も必要 ・ 海・山・川などの自然を活かし、アウトドア施設の充実。それによる雇用の確保
郊外に商業施設を建てる
光都は広々とした土地や森林が多く感激する。この場所に高齢者や障害者向けの工場や作業所を作り、市の中心部と連絡バスで繋がればよいのではないか
オフィスビルやビジネスホテルの建設
就職がたつの市で可能なこと
近隣市町から来るような大型商業施設を本竜野駅周辺に誘致する
特有の産業を開拓し、若者が働ける場所を増やす
若者の就労の場が必要である。たつの市だけでなく、両播磨全体で考えてほしい
余っている土地の利用価値、産業を活性化させ、地元で働くことができるように企業誘致する
企業誘致、農地集約、住宅団地造成
「IT 先進都市たつの市」を提案 ◎ IT 企業の誘致（普段からコネクションを形成） ◎ 都市部からの人材移住促進（廃業したホテルを施設に改装） たつの市がこれからの時代を生き残るためには、IT 産業の活性化と担い手の確保が不可欠である
播磨科学公園都市等、広い土地に大型の商業施設があるとよい。定住にも繋がる
たつの市で欲しいものがない。大きなショッピングモールがあればいい。購入したい物が無いため、お金を落とせない。チェーン店も無く、飲食店も魅力あるものが無い。いつも混んでいて行く気が無くなる。若者に住んでほしいのならば、若者が求めるものを作るべき。地元愛が無い限り住み続けるのは難しい。高齢者にやさしいとは思いますが、それだけでは先が無い。遊べる場所も無く市外に出ている。頑張って誘致を願う
企業誘致を積極的に行う
企業誘致
高齢者と子どもが暮らしやすい町づくり（商業施設を増やす）
大きなショッピングモールがあれば老若男女問わず足を運ぶと思う。大津イオンのような…
・ 産業の誘致・創出・育成により雇用と税収の確保 ・ インフラの保全・更新と商業施設の誘致・整備などによる働きやすい、消費しやすい環境の構築が大切だと考えます

働く場所の確保のための、企業誘致の推進。生活必要品が買い揃えられる、商業施設の誘致、充実による、人が集い、交流できる場の創設
在宅ワークの定着によって都市部以外でも就労人口を増やすことが可能になると考える。得られることが難しい豊かな自然環境を既に持っているアドバンテージを生かし、大学の誘致など教育に力を入れ、転入者の増加を促すのが良いと考える
空いた土地を有効に活用して大規模商業施設(アウトレットなど)の誘致をすすめ、市外、県外からのアクセスのしやすさをアピールしながら活発な経済活動を推進していくことを期待している。 高齢者などの福祉よりも、若年層を意識した政策、施策を実施しないと、若者は協力しない。若者の力を上手く使う(SNSやY o u T u b e等)と想像以上の効果が期待できると思います
企業誘致を行い働く場を作り、人口の増える町にしてほしい。子育てしやすい町とし、若者が増える町としてほしい
姫路バイパスや山陽道など交通環境が整っていて静かな町なのに、買い物する場所がない。日用品は困らないが、その他生活環境を豊かにする買い物は姫路まで行かなくてはならない。これではたつの市に落とす消費が他市に流れていく。せつかくの交通環境がもったいない。大型のショッピングモール誘致をしてほしい
地場産業の振興
市民や地域と協働し、地域力あふれるまち
参画と協働のまちづくり
隣り近所と仲良く交流ができるように、その手助けをする人を育成するシステム作り
赤とんぼ荘の将来的なあるべき姿への理想像は？市民が気軽に集まり、懇親できる安価な宿泊施設や会議等を開催し、現代的施設にしてはどうか
年齢関係なくいろいろな人がふれあえる社会、町づくりを願う。いろいろなことがデジタル化して、人との交流が少なくなるのは寂しい。若者も高齢者も興味を持てるイベントや講座などを提供することにより、賑やかで勢いある町になると思う
・市役所（支所）施設の土日曜日営業 ・地域行事（祭り）への参加は、強制的な雰囲気無くす
たつの市全体は住みやすいが、地域ごとに問題や課題がある。その問題への負担が不安である
空き家が目立つため積極的に市が買い取り、地域の人達が学びや軽い運動の場として気軽に利用でき、地域の先生（特技のある人や多趣味の方）などに教えてもらえる場になればよい。空き家ごとに名前を付ける
教育・健康・防災などの意識の「高い人」「元気な人」「人と交わるのが上手な人」は、いろんな場所で参加できるが、高齢になり「一人でいたい」「煩わしい」「動けない」人は孤立しやすい。地域の人に任せるのではなく、行政として関わるような体制にしてほしい
赤とんぼ荘が喫茶のみの営業となり残念である。格安の宿や民間に依頼するとか、公民館のようなサークル活動の場にするなど、会費を安くすれば利用者は多くいると思う
【市民交流について】

・コロナで疎遠になった人と人とのふれあいを早急に復旧させる支援 ・祭り、交流会、習い事、人と人がふれあえる場所や機会環境をつくる ・高齢者が働く場所も大切だが、働き世代への支援を厚くすることで、市や市民にとって潤いとなり、全体が豊かになる
一人ひとりが地域の担い手として、積極的にまちづくりに参加できるようにしてほしい。継続して取り組むべきことが見えない。補助等の出し方も再検討すべき 住民の意識で向上すること。新産業振興など、国のプロジェクトによるもの。歴史や文化等、先人から引き継いだ“たつの市”の良いものを発信する
たつの市の古い町は静かで良いが、人と人が自然に出会える環境ではない。地域に溶け込むのに長い時間がかかる
南山地区に家を建てたが、自治会が嫌過ぎて引っ越ししたい。草刈りや掃除欠席のペナルティが1回あたり3000円～6000円。ほぼ強制的に係があり、祭りごとを手伝う準備や運営をしなければならない。朝のゴミ捨て当番、掃除、公民館の掃除、回覧板等。町内放送は何を言っているのか聞こえない。時代に合わない自治会で、新しい入居者が合わせなければならないのが苦痛である。市が介入し、簡素化するように働きかけてほしい。地域の用事をするほど暇ではない。時代に合った改善を望む
市の魅力発信・交流の推進
テレワークにより転職しない移住が可能。豊かな自然を好む人は多く、海産物農産物なども合わせてインスタやTwitterで紹介する
たつの市の良さを強力にアピールできる人間が現れることに期待したい
人口減少と農業人口減少による農地対策として、行政は移住者促進を図るべき
たつの市をアピールするために、人との交流の場を設ける
他市町村からの居住補助金を来年で打ち切らず、もう少し延ばせば人口増加に繋がると思う
・たつの市チャンネルの実現により、市民へのダイレクトメッセージを常時届ける（近隣市町のチャンネルを参考にして） ・各戸に放送機器を設置し、毎日定時にメッセージを届ける
退職後に自然に恵まれた町で野菜や花を育て、ウォーキングを楽しみたい人にはよい町だと思う。そこそこ田舎で、姫路や神戸のような都会も近い。これらにアピールして移住してもらえる企画やイベントの開催が必要
各自治会が見所や自慢できるものを作り上げ、相互に相談して交流する
発展性に乏しい町なのは行政が悪いのか？全町それぞれ特徴があるが、活かされていない
場所に影響されない職種の人（プログラマーなど）が住みよいまちになればいいと思う。物価が安いのは強みだと思う。ショッピングや旅行は、インフラやネットの充実で影響が少なくなっていくのではないだろうか
第2の人生をたつので、という方が移住して来てくれて、地域に活力を与えてくれている事はいいい事だと思う。一方で、若者は都市へ出て行ってしまいが、若い人が愛着を持ち、たつので暮らしたいと思ってもらえる取り組みに力を入れてほしい。言うのは簡単ですが、行政で取り組まれる上では難しい事だと思いますが、よろしくお願いします

移住を促進させる為、空き家を安く貸し出したり、雇用を充実させる必要がある
持続可能な行財政運営の推進
とにかく税金や水道代などが高すぎて生活を圧迫している。税金が足りないなら市役所を建て直したりせず、職員の給料も見直し、一般市民の負担を減らす事を考えるべきだ
土地や家屋の税金見直し
揖保川町にプールがほしい
市民税の低減
行政手続きの簡素化
I C Tを積極的に活用し、伝統や歴史を市外の人達に知ってもらうだけでなく、市民にも再発見してもらえるような“まちづくり”を期待する
他市町村に比べ、市民税が高すぎる
税金が高い。高齢者になったらどう支払うのか
・行政手続きオンライン化推進 ・国や県との連携強化
税金が安いと魅力に感じる
所得を出していない人の徹底調査
住民税の削減
インターネット環境整備が不可欠
高齢者が理解しやすい行政手続きの簡素化を願う。スマートフォンが無ければワクチン接種の手続きもできないのは変だと思う。全ての住民が受けやすいサービスが必要
アンケートについて
前回も同じようなアンケートを回答したが、改善が見られない
このアンケートも全てオンライン化した方がよい
私は高齢のため、将来のことは言えない。今を大切にしている。アンケートなどは、若い世代の意見を聞いてほしい
アンケートに協力を求めるならば、粗品を提供すべき
アンケートの対象年齢再考、高齢者は必要あるのか？
70歳を超えると、アンケートに答えられない設問もある
このアンケートは重なる箇所が多く、回答しにくいところがあった。ハイテクに突入する世の中は高齢者にとって住みにくい。世の中のスピードに負けて心が折れ、自殺者が増える。頭脳面だけの発達や進歩だけを考えることは間違っている。人間らしさは9割環境によるものだということを忘れないでほしい。市内は小学生が安全に自然の中で遊べる場所が少なく、幼少期から習い事に通わされている。子どもが元気な声を出し遊べる活気溢れた市にしなければ、イキイキと楽しめる大人になれるはずはない
アンケートで市民の声を集めるならば、世代毎に質問内容を変え、その世代に合った質問をしたほうが精度が上がり答える側もアンケートに真摯に向き合う事ができます。このアンケートを答えながらそう感じました

コロナについて
コロナで密を避けないといけないのに、子どもの健診では大勢集まるのは如何なものか
デジタル化が進むことに対応できるように頑張りたいと思うが、自信が無い。今回のようなコロナ禍の中、市の放送が高齢者向けに多くあってもよいのではないかと感じた。ワクチンについても、わかりやすい言葉で放送してほしい。緊急事態宣言の市町の放送は、高齢者達は喜んでいて。市民全員に繋がり通じる方法の一つだと感じた
たつの市は欠点の無い町だと思う。コロナの影響も酷く感じられないのがよい
・コロナ禍で、毎日終活整理をしている者には難しいアンケートです。若い世代が住みよい町になればと思う。「市では未収金がないのか?」「人事異動で業務に支障はないか?」など気になる ・コロナワクチン接種しました。他市町の人には、「たつの市は 80 歳以上の高齢者には、ハガキやで、ネットやラインと違う」と自慢した
市役所職員もコロナ対策大変だと思います。ありがとうございます
新型コロナウイルス感染に関して情報が少な過ぎる。どの辺りで感染したかなどがわからないと危機感を持たない。市のホームページには、適切に情報公開する必要がある
その他
市の広報誌が届かず、市政がどういう状況なのか確認する機会が少ない。さまざまな媒体で市政の取り組み状況を発信していただきたい
・結婚を機にたつの市に来た。地区では祭りが盛んで、半ば強制的なイベントに疑問がある。このような状況では、誰も移り住んではくれないと思う ・市民税以外の地区費や隣保会費等が高すぎる
何よりも人口増加。考えがまとまれば、市長になります
老若男女問わず親切に対応してくれる市役所職員に感謝している
市営の野良猫保護施設を検討願う。広報に餌をあげてはいけないと掲載のみ。他市では去勢手術を安価でしてくれる病院もある。インターネットで NPO 法人の保護猫団体が紹介されているが、たつの市も検討してほしい
たつの市の将来について、勉強させてもらいました
何をしても反対意見はある。人の意見よりも発言・実行に権限がある人が「やりたい」ということを実行してもらえれば付いて行ける。相談やデータ集めは混乱を招き、平均的な改善に落ち着いてしまう。大きく変えたい場合、アンケートの質問以上の秘策があるのか疑問である。現状では安心安全は感じている
他との同調、マネは駄目
たつの市としての一体感の醸成
いつ何が起きても仕方がない世の中で、生きていくのが大変である
市役所での接遇向上を求める。離婚時の手続きの際、ベテラン世代の担当者が大きな声で個人の情報を話し伝えてきて、無神経で気分を害した。民間企業ではあり得ないこと。電話対応や窓口等、教育面で劣っている。言葉遣いも悪く、これでは若手が育たない。高圧的な態度で気が悪い対応は、たつの市は有名である

外国人はいらない
コンビニなど店側の対策が不十分で、マスク未着用の客は入店不可などの対応をしてほしい。安心して働けない
納骨だけできるメモリアルパークを探している。明るく公園のような、宗派は関係なく安心して納骨できる場所を作してほしい
春にゴキブリ駆除用品を配布してほしい。欲しいものが自由に選択でき、得られるようにしてほしい
葬式も家族葬、法事も無い、知人がいつの間にか亡くなっていた。昔のように親しみも付き合いも無くなり、淋しい町になった
年金が少ない
市長が変わっても、市役所はオープンにしてもらえると有難い。以前、駐車場がゲート制になり閉鎖的になったことに疑問を感じていた
先のことに思えて、具体性に乏しい。何故しょうもない悪いことをする記事ばかりなのか。手短なことから始めてはどうか
最後の方になると少し考えないといけないので難しい
住みやすい町だと思う
グラウンド、ボールする所、川や山あるところ、子も元気です。神戸に住んでいたが